MITSUBISHI

Changes for the Better

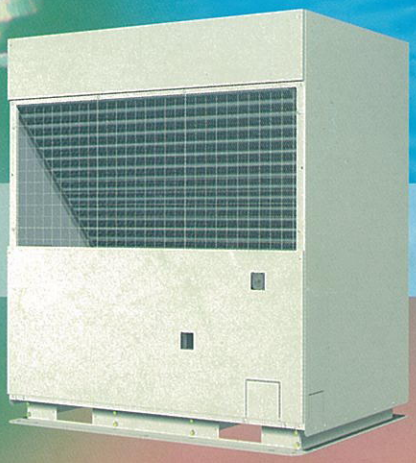
三菱電機コンデンシングユニット [スクロール形] [半密閉形]

R404A 2006-1 総合カタログ

冷産冷1087

もっとやさしく——

環境志向。



コンデンシングユニット【スクロール形】【半密閉形】R404A

コンデンシングユニット
【ロータリ形】【全密閉形】

アルミ製ユニットクーラ

冷蔵庫冷却システム クールマルチ

コンデンシングユニット
【スクロール形】【半密閉形】R22

Condensing Unit

大形インバータマルチ（26kW、30kW※、新冷媒(R404A)対応コンデンシング

一体空冷式コンデンシングユニット

好評の省エネ型インバータコンデンシングユニットに大形マルチタイプ（26kW、30kW※、33.5kW※）を新たに加え、大型店舗などでの大容量用途に対しても柔軟に対応します。
さらに高温用インバータコンデンシングユニット（4.5kW、9.7kW)もラインアップ。

※30kW、33.5kWは2006年3月発売予定。

■R404A対応一体空冷式コンデンシングユニットラインナップ表

○=発売中

タイプ	搭載圧縮機		蒸発温度(℃)	2.2kW	3.0kW	3.7kW	4.5kW	5.5kW	7.5kW	9.7kW	11.0kW	15.0kW	18.5kW	22.5kW	26.0kW	30.0kW	33.5kW
インバータ	スクロール	高温用	−45℃〜+5℃	—	—	—	—	—	—	○NEW	—	—	—	—	—	—	—
			−20℃〜+10℃				○NEW			—							
		低温用	−5℃〜−20℃	—	—	—	○	○	—	—	○	—	○	—	○ NEW	2006年3月発売予定	2006年3月発売予定
			−20℃〜−45℃				—	—									
一定速	スクロール	低温用	−5℃〜−20℃	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
			−20℃〜−45℃									○		○			
	半密閉		−5℃〜−20℃	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—
			−20℃〜−45℃										—	—			

※30.0kW、33.5kWは2006年3月発売予定です。仕様につきましては別途ご照会願います。

一体空冷式インバータタイプ

▼DCインバータスクロール圧縮機搭載（EP55A形）による省エネ、サイドフロー構造などによる低騒音、省スペースタイプ。

ERAV-EP45A・EP55A

ERAV-EP110A

▲高性能大容量DCスクロール圧縮機搭載による省エネインバータタイプ。

▼高性能大容量DCスクロール圧縮機搭載大形インバータマルチタイプ。

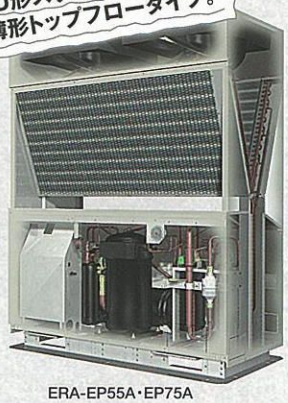
ECAV-EP260A

一体空冷式一定速タイプ

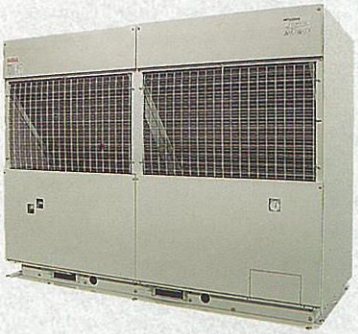
ERA-EP22A・EP30A・EP37A・EP45A

◀サイドフロー構造などによる低騒音、省スペースタイプ。

▼高性能U形スクロール圧縮機搭載、薄形トップフロータイプ。



ERA-EP55A・EP75A



ECA-P185A（半密閉マルチ）

▲大形スクロールマルチ、半密閉マルチタイプ。

33.5kW※）や高温用などを新たに加え、ユニットラインアップ急拡大中！

※30kW、33.5kWは、2006年3月発売予定です。

リモート空冷式、水冷式コンデンシングユニット

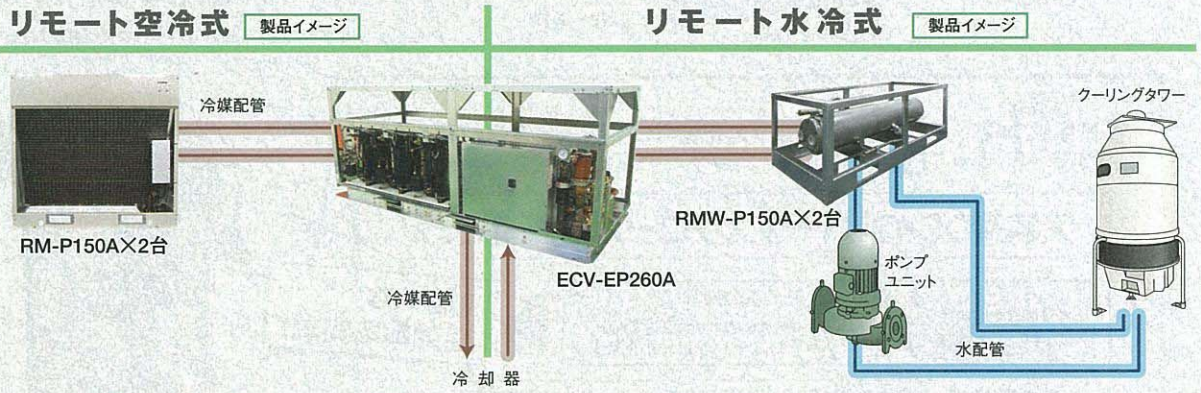
リモート空冷式、水冷式に大容量インバータマルチ（26kW）を加え、さらに小容量（2.2kW、3.0kW）を新たにラインアップ。

■R404A対応リモート空冷式・水冷式コンデンシングユニットラインナップ表　○=発売中

タイプ		搭載圧縮機		蒸発温度(℃)	2.2kW	3.0kW	3.7kW	4.5kW	5.5kW	7.5kW	11.0kW	15.0kW	18.5kW	22.5kW	26.0kW
リモート空冷	インバータ	スクロール	低温用	−5℃〜−45℃			−	−	−	−	○	−	○	−	○ NEW
リモート空冷	一定速	スクロール	低温用	−5℃〜−20℃	○ NEW	○ NEW	○	○	○	○	−	−	−	−	−
リモート空冷	一定速	スクロール	低温用	−20℃〜−45℃								○		○	
リモート水冷	インバータ	スクロール	低温用	−5℃〜−45℃			−	−	−	−	○	−	○	−	○ NEW
リモート水冷	一定速	スクロール	低温用	−5℃〜−20℃	○ NEW	○ NEW	○	○	○	○	−	−	−	−	−
リモート水冷	一定速	スクロール	低温用	−20℃〜−45℃								○		○	

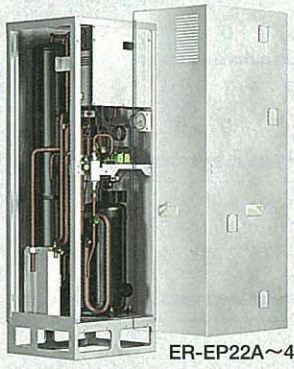
リモート空冷式・水冷式インバータタイプ

【35馬力の例】



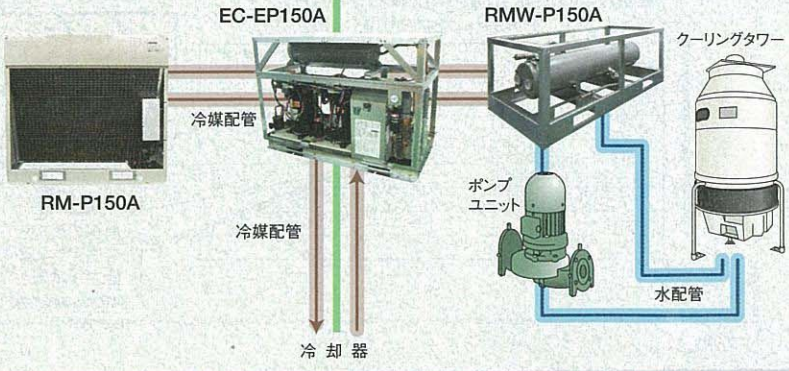
リモート空冷式・水冷式一定速タイプ

▼省スペースコンパクトタイプ。



ER-EP22A〜45A

【20馬力の例】



業界初※1の大容量DCイン

■R404A対応インバータコンデンシングユニットラインナップ表　○=発売中　☆=2006年3月発売予定

		蒸発温度(℃)	4.5KW	5.5KW	7.5KW	9.7KW	11.0KW	15.0KW	18.5KW	22.5KW	26.0KW	30.0KW	33.5KW
一体空冷	高温用	−45℃〜+5℃	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		−20℃〜+10℃	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	低温用	−5℃〜−20℃	○	○	—	—	○	—	○	—	○	☆	☆
		−20℃〜−45℃	—	—	—	—		—		—			
リモート空冷	低温用	−5℃〜−45℃	—	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—
リモート水冷	低温用	−5℃〜−45℃	—	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—

おすすめポイント1　とにかく電気代がお得になります！

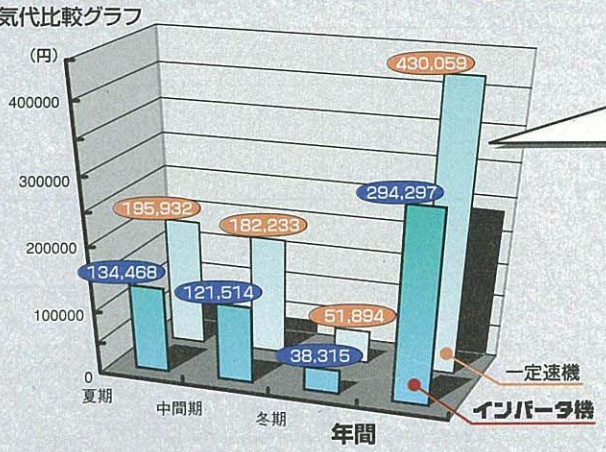
【冷蔵庫における定格出力11kW（15馬力）の当社一定速シングル機と比較】

■平均消費電力比較（kW）

	インバータ機	一定速機	省エネ効果
夏期	5.50	8.01	31.4%
中間期	3.31	4.96	33.3%
冬期	1.31	1.77	26.2%
年間合計	3.20	4.67	31.6%

従来の一定速機に比べ
31.6%の省エネ！

■電気代比較グラフ



年間の電気代が
約135,000円
お安くできます。

【試算条件】
1. 運転条件：電源：200V、50Hz、蒸発温度−10℃、冷媒R404A
2. コンデンシングユニット構成；
   (1) 一定速機：半密閉圧縮機【11kW（15馬力）】1台搭載
   (2) インバータ機：スクロール圧縮機【11kW（15馬力）】1台搭載
3. 冷却器（ユニットクーラ）構成；
   所要能力：20kW（4kW×5台）、TD＝10K時、余裕率30%

なぜ省エネになるの？1. 業界初※の高効率大容量DCインバータスクロール圧縮機を採用！

※定格出力11kW（15馬力）相当低温用スクロール圧縮機（単体）搭載（2005年6月現在）

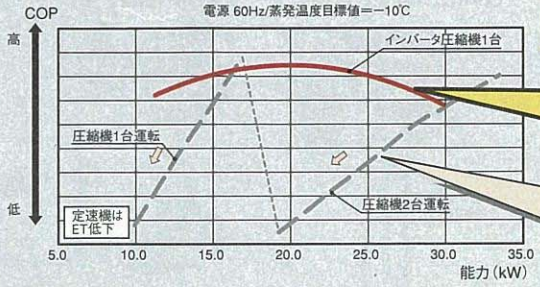
大容量DCインバータスクロール圧縮機とは？

ロータ内に永久磁石を配置した**同期電動機** → 二次銅損がなくなる → **モータの効率UP**
発熱減少により **ガス冷媒のプレスーパーヒートを減少** → **飛躍的な高効率を実現！**

圧縮機単体では、業界初の定格出力11kW（15馬力）相当の大容量機を開発。従来は圧縮機2台のマルチ式が15馬力コンデンシングユニットも圧縮機1台で対応可能。

なぜ省エネになるの？2. 独自のインバータ制御により、負荷変動時においても、高効率運転を実現！

■能力-COP比較【冷蔵】11kW（15馬力）



インバータ機
周波数を可変することで、負荷が減少した場合でも高効率運転が可能となります。

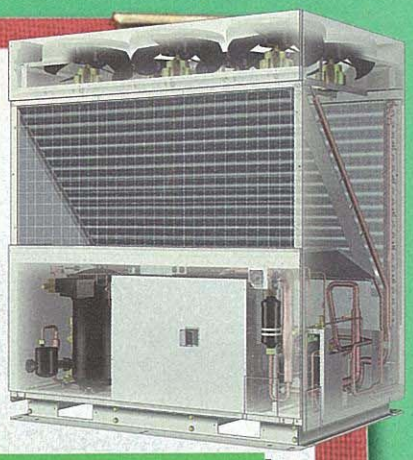
一定速機
夏場の負荷ピーク時に必要な能力で、使用するコンデンシングユニットを選定する必要があるため、冬季・中間期にはコンデンシングユニットの能力が余剰となり、発停回数が増加することになります。

パータスクロール圧縮機搭載!!

ERAV-EP110A▶

新冷媒 R404A

35・40・45馬力※2を新たにラインナップ！



※1. 定格出力11kW（15馬力）相当低温用スクロール圧縮機（単体）搭載（2005年6月現在）
※2. 40,45馬力は、2006年3月発売予定です。

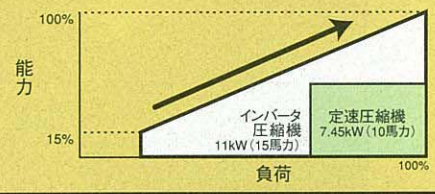
おすすめポイント2 安定した温度管理を実現します！

インバータ制御により、冷蔵庫・ショーケースとの組合わせでより安定した温度管理が可能。

●容量制御のイメージ図【18.5kW（25馬力）の場合】

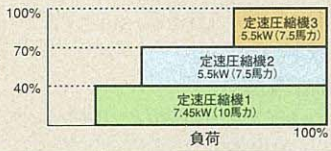
インバータ機

能力を15～100%までリニアに可変でき、年間を通し安定した運転が可能。

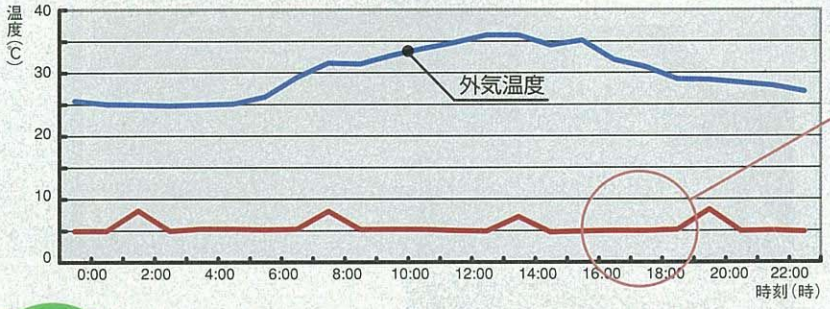


一定速機

従来のマルチ機では、定速圧縮機の複数台による段階制御となるため、負荷が少ない中間期、冬期に発停回数が増加。



●インバータ制御によるショーケース温度管理データ



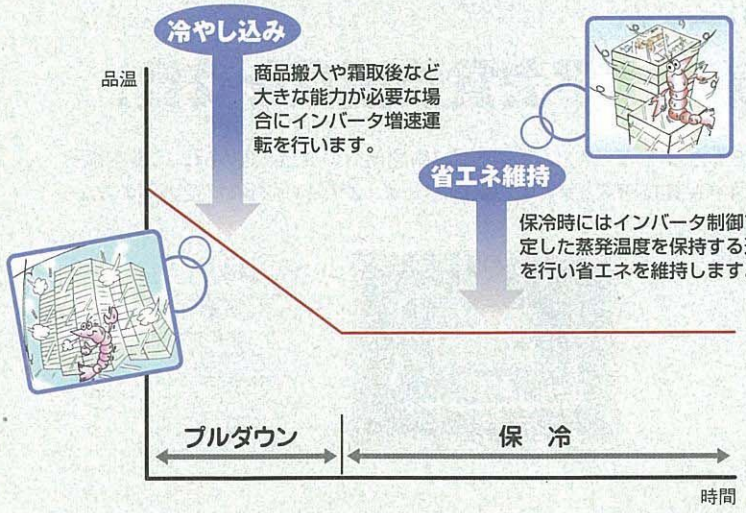
ショーケース温度

夏季でも外気温度に影響されず、安定して常時5℃近辺をキープ！

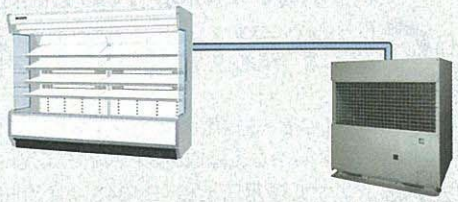
※定期的に温度が上がっているのは「霜取り」のためです。

おすすめポイント3 負荷変動の大きい用途にも柔軟に対応します！

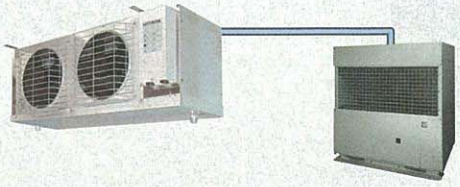
特に負荷変動の大きいスーパーマーケットのショーケースや、冷凍冷蔵庫に対してインバータ制御による優れた追従性能を発揮。



ショーケース



ユニットクーラ



納入事例レポート　インバータコンデンシングユニット

▲工場は球磨川と支流の前川が形成する三角州に立地

球磨川の河口で15年にわたり食肉のアウトパック（商品化包装）業を営むサン・ビーフ株式会社様。出荷先は地元九州にとどまらず、関西、関東、北は秋田まで様々なメーカーに及びます。2005年春、業務の拡張にともない、急遽プレハブ冷凍庫を増設され、三菱電機のクールマルチをご採用いただきました。システムの熱源側に選定されたのはインバータコンデンシングユニットERAV-EP110A形です。

同社はISO9001の取得を積極的に行うなど品質管理を徹底。特に、わずかな温度の上下が品質の劣化、細菌の増殖を招く食肉加工では、冷蔵庫内の安定した温度管理が欠かせません。業務の工程にあわせ大小7室のプレハブ冷蔵庫・冷凍庫をすでにお持ちでしたが、インバータ機の導入は今回が初めて。正肉の仕入れ→加工→凍結→包装→出荷というプロセスにともなった庫内の負荷変動へのスムーズな追随性を考慮してのご選定でした。

DATA

- ■お 客 様：サン・ビーフ株式会社様（ISO9001認証取得）
- ■所 在 地：熊本県八代市中北町3086−4
- ■事業内容：食肉のアウトパック生産（商品化包装加工）
- ■工場面積：約900㎡（事務室・休憩室等を含まず）
- ■日産能力：約10,000パック
- ■施設規模：10坪プレハブ冷凍庫（庫内天井高2,700mm）
- ■施設用途：生肉の緩慢凍結
- ■設計施工：有限会社ミライ冷機
- ■稼働開始：2005年4月4日
- ■納入機種：クールマルチ15馬力システムAFRV-P15VHS×1
  エアーカーテンMK-5010TA×2
  〈クールマルチ構成機種内訳〉
  コンデンシングユニットERAV-EP110A（インバータタイプ）
  ユニットクーラUCR-P15VHB
  スタンダードコントローラRBR-20HSC1（LED表示仕様）

▲入口脇に設置されたコントローラ

▲▶資材倉庫の中に新設された10坪のプレハブ冷凍庫（緩慢凍結庫）。庫内冷却用のユニットクーラ能力はTD（入口温度と蒸発温度の差）9.5Kで11kW。エアーカーテンも三菱電機製だ

◀スライスされた肉はメッシュケースで冷凍庫へ

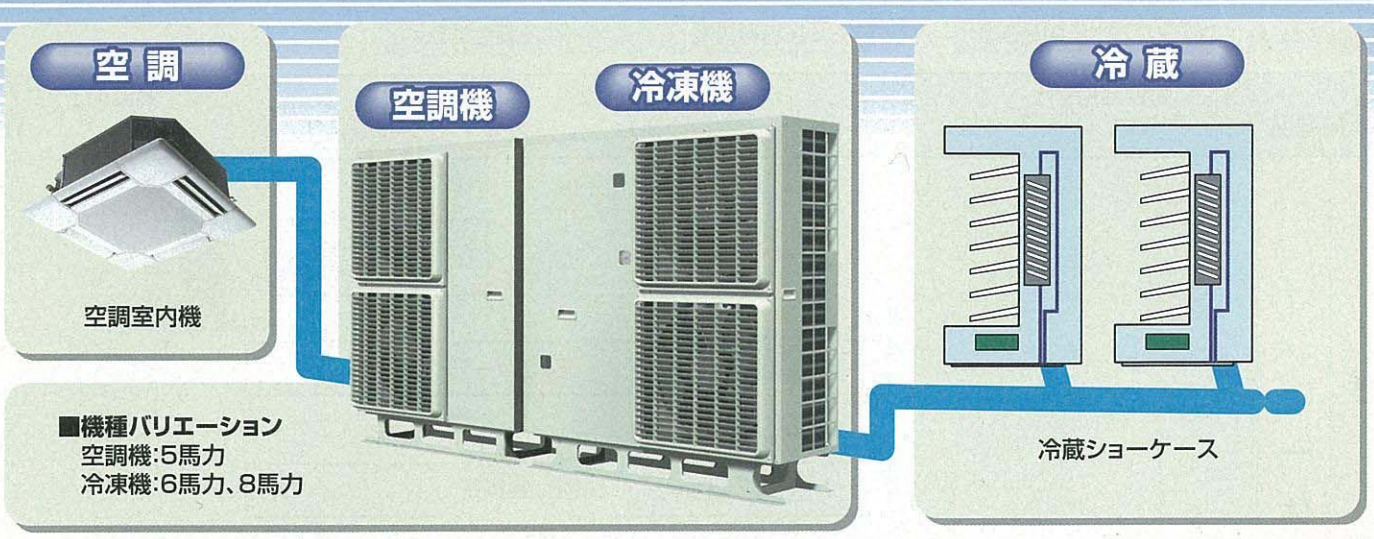
◀コンデンシングユニットには15馬力のインバータタイプ（R404A仕様）をご採用いただいた。工場裏手に既設コンデンシングユニットと並置

空調・冷蔵用の圧縮機Hシリーズが
平成16年度日本冷凍空調学会賞技術賞を受賞！

DCモータ搭載大型全密閉スクロール圧縮機（16馬力級Hシリーズ）が冷凍空調技術発展への貢献を認められ、冷凍空調分野において権威ある「平成16年度日本冷凍空調学会賞技術賞」受賞の栄に輝きました。この高い技術は、空調用のみならず低温用圧縮機（R404A冷媒用HDB形）に利用されており、当社インバータコンデンシングユニット（8馬力）に搭載しています。

コンビニエンスストアなどでの冷凍機・空調機を複合し、高い省エネ性を実現した

冷凍・空調複合システム

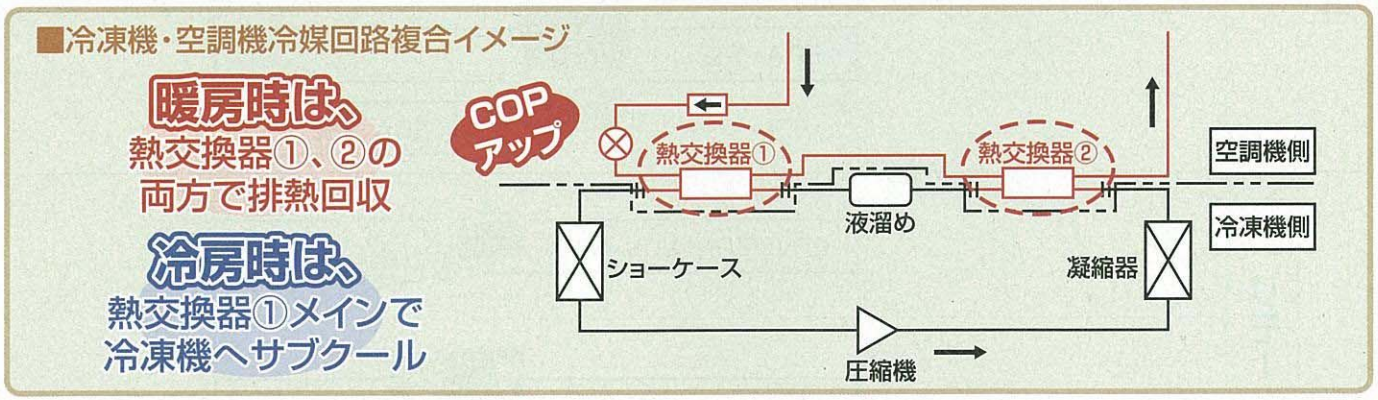


1 冷凍機と空調機の複合化による省エネルギー化

従来比※ 約40% 省エネ

※従来機(冷凍機一定速機)システムとの比較

- 冷凍機と空調機の複合により、空調機の暖房時は冷凍機からの排熱回収運転、冷房時にはエコノマイザー効果による、冷凍機の過冷却(サブクール)向上による高COP運転が可能。
- DCインバータ圧縮機搭載及び独自の制御で省エネ性能を更に向上。



2 高信頼性

- 冷媒回路が独立しているため、万一の機器故障時にも運転停止等の被害が最小限度となる本質的安全設計とし各機器のサービス・メンテナンス時にも、他機器への影響がありません。
- 暖房時には新開発の「暖房ノンストップデフロスト回路」により、暖房を止めずにデフロスト(霜取り)ができ、店内温度変化を最小限に抑えられます。

3 省スペース、低騒音、優れた拡張性

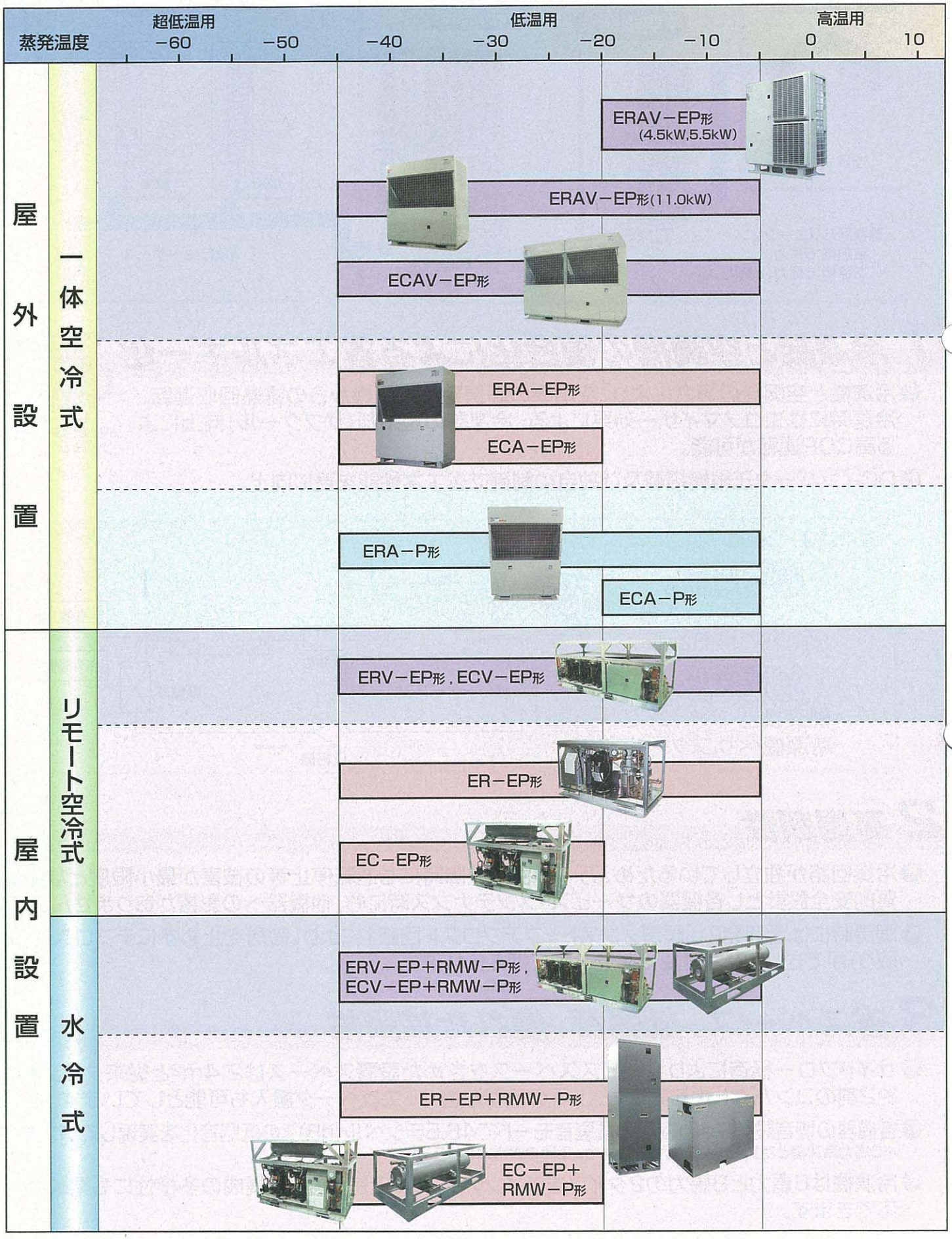
- サイドフロー構造によりサービススペースを含めた設置スペースは2.4m²と従来タイプより約2割のコンパクト化を実現し、上下の段積設置や、エレベータ搬入も可能としています。
- 各機器の静音設計により夜間の低騒音モードで46.5デシベル(dB)※の低騒音化を実現しています。
  ※6馬力冷凍機と空調機の組み合わせの場合。昼間の通常運転は51dB。
- 冷凍機は6馬力と8馬力の2タイプをラインアップし、店舗の規模・構成の多様性にも柔軟に対応できます。

タイプいろいろ

使用温度帯で（選べる）コンデンシングユニット

－HFC（R404A）冷媒対応機－

R404A　インバータ圧縮機搭載　スクロール圧縮機搭載　半密閉圧縮機搭載



■屋外設置

＜一体空冷式＞ ●耐塩害・耐重塩害仕様もあります。（一部受注品）

タイプ	搭載圧縮機	蒸発温度(℃)	3.7kW	4.5kW	5.5kW	7.5kW	9.7kW	11.0kW	15.0kW	18.5kW	22.5kW	26.0kW	30.0kW	33.5kW
インバータ INV	スクロール形	-5～-20（冷蔵用）		⑮ ERAV-EP45A	⑯ ERAV-EP55A			⑰ ERAV-EP110A		⑱ ECAV-EP185A		⑲ ECAV-EP260A	★★ ECA-EP300A-Q 06年3月発売予定	★★ ECA-EP335A-Q 06年3月発売予定
		-20～-45（冷凍用）												
		-20～+10（高温用）		★ ⑳ ERAV-EP45HA										
		-45～+5（高温用）					★ ㉑ ERAV-EP97HA							

タイプ	搭載圧縮機	蒸発温度(℃)	2.2kW	3.0kW	3.7kW	4.5kW	5.5kW	7.5kW	9.7kW	11.0kW	15.0kW	18.5kW	22.5kW	26.0kW
シングル	スクロール形	-5～-45（冷蔵・冷凍共用）	㉒ ERA-EP22A	㉓ ERA-EP30A	㉔ ERA-EP37A	㉕ ERA-EP45A	㉖ ERA-EP55A	㉗ ERA-EP75A						
	半密閉形									㉚ ERA-P110A	㉛ ERA-P150A			
マルチ	スクロール形	-20～-45（冷凍用）									㉘ ECA-EP150A		㉙ ECA-EP225A	
	半密閉形	-5～-20（冷蔵用）										㉝ ECA-P185A	㉞ ECA-P225A	

■冷凍空調複合システム

	4.5kW	5.5kW
冷蔵室外機	★ ㉟ ERAV-EP45A-CV	★ ㊱ ERAV-EP55A-CV
空調室外機	★ ㊲ EPUZ-WRP140HA	

■屋内設置

＜リモート空冷式＞ ●リモート空冷式は、下表内圧縮ユニットに加えリモートコンデンサが必要となります。

タイプ	搭載圧縮機	蒸発温度(℃)	2.2kW	3.0kW	3.7kW	4.5kW	5.5kW	7.5kW	11.0kW	15.0kW	18.5kW	22.5kW	26.0kW
インバータ INV	スクロール形	-5～-45（冷蔵・冷凍共用）							㊳ ERV-EP110A		㊴ ECV-EP185A		㊵ ECV-EP260A
シングル		-5～-45（冷蔵・冷凍共用）	★ ㊶ ER-EP22A	★ ㊷ ER-EP30A	㊸ ER-EP37A	㊹ ER-EP45A	㊺ ER-EP55A	㊻ ER-EP75A					
マルチ		-20～-45（冷凍用）								㊼ EC-EP150A		㊽ EC-EP225A	

＜水冷式＞

タイプ	搭載圧縮機	蒸発温度(℃)	2.2kW	3.0kW	3.7kW	4.5kW	5.5kW	7.5kW	11.0kW	15.0kW	18.5kW	22.5kW	26.0kW
インバータ INV	スクロール形	-5～-45（冷蔵・冷凍共用）							㊾ ERV-EP110A RMW-P150A		㊿ ECV-EP185A RMW-P225A		51 ECV-EP260A RMW-P150A×2台
シングル		-5～-45（冷蔵・冷凍共用）	★ 52 ER-EP22A RMW-P30A	★ 53 ER-EP30A RMW-P30A	54 ER-EP37A RMW-P45A	55 ER-EP45A RMW-P45A	56 ER-EP55A RMW-P75A	57 ER-EP75A RMW-P75A					
マルチ		-20～-45（冷凍用）								58 EC-EP150A RMW-P150A		59 EC-EP225A RMW-P225A	

＜リモートコンデンサ＞ ●耐塩害・耐重塩害仕様もあります。

○空冷

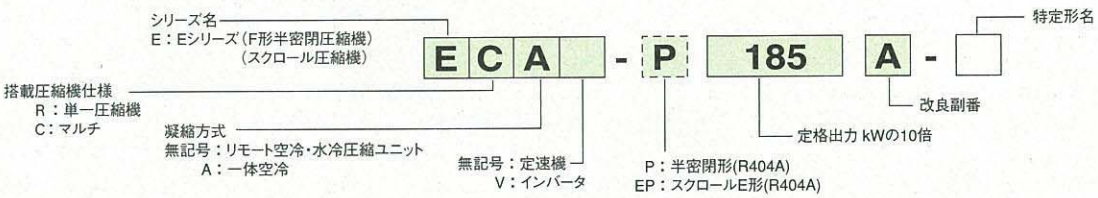
3.0kW	3.7kW	4.5kW	5.5kW	7.5kW	11.0kW	15.0kW
60 RM-P30A	61 RM-P37A	62 RM-P45A	63 RM-P55A	64 RM-P75A	65 RM-P110A	66 RM-P150A

○水冷

2.2～3.0kW	3.7～4.5kW	5.5～7.5kW	11.0～15.0kW	18.5～22.5kW
67 RMW-P30A	68 RMW-P45A	69 RMW-P75A	70 RMW-P150A	71 RMW-P225A

※ ★は新製品
★は受注対応品（仕様等は別途お問い合わせください。）
○の中の番号は仕様・外形図の記載ページを表示しています。

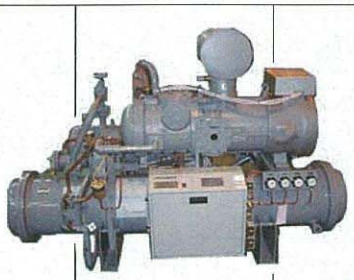
〈形名〉



大形コンデンシングユニットシリーズ（新冷媒HFC対応）

HFC対応製品（個別物件対応品）

（注）称呼出力表示とユニット形名との関係は、従来のレシプロ機をベースとした関係で表示しています。（予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承お願いいたします。）

		コンデンシングユニット											
機種		単段						二段					
		水冷		リモート空冷		一体空冷		水冷		リモート空冷		一体空冷	
		レシプロ	スクリュー	レシプロ	スクリュー	レシプロ	スクリュー	レシプロ	スクリュー	レシプロ	スクリュー	レシプロ	スクリュー
		ERW		ERR		ERA		SLU	MSW	SFU	MSF	SFA	MSA
温度		蒸発温度（℃） −5 −20 −30 −40 −50 −60 −70 ERW・ERR・ERA MSW・MSF・MSA											
外観													
容量	15kW							25G2A		25G2A		25DA	
	19kW	P190A		P190A		P190A		30G2A		30G2A		30DA	
	22kW	P220A		P220A		P220A		40G2A		40G2A		40DA	
	30kW	P300A		P300A		P300A			300ASA		300ASA		300ASA
	37kW		SP370A		SP370A		SP370A		370ASA		370ASA		370ASA
	45kW		SP450A		SP450A		SP450A						
	55kW								550BSA		550BSA		550BSA
	60kW		SP600A		SP600A		SP600A						
	65kW								650BSA		650BSA		
	75kW		SP750A		SP750A		SP750A		750BSA		750BSA		750BSA
	90kW		SP900A		SP900A		SP900A						
	110kW								1100BSDA		1100BSDA		
	130kW								1300BSDA		1300BSDA		
	150kW								1500BSDA		1500BSDA		
	165kW								1650BSTA		1650BSTA		
	195kW								1950BSTA		1950BSTA		
	225kW								2250BSTA		2250BSTA		

- 単段機は、+5℃対応も可能（ただし、オプション対応）。
- 上記製品は大形専用カタログに掲載されています。詳細は大形専用カタログをご覧ください。

MITSUBISHI

使用条件

次の環境では使用しないでください。
①他の熱源から直接ふく射熱を受ける所。
②ユニットから発生する騒音が隣家の迷惑になる所。
③本体の質量に充分耐えられない強度のない所。
④工事説明書記載のサービススペースが充分確保できない所。
⑤可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある所。
⑥酸性の溶液や特殊なスプレー（イオウ系）を頻繁に使用する所。
⑦油・蒸気・硫化ガスの多い特殊環境。（煙突の排気口の近くも含まれます。）
⑧降雪地域で、工事説明書記載の防雪対策が施せない所。
⑨車両や船舶のように常に振動している所。
⑩特殊環境（温泉・化学薬品を使用する場所）
⑪当社のVK形サーモバンクユニット以外のホットガス霜取運転（単純霜取運転、他社サーモバンクユニットの組合せ等）は使用できません。
⑫屋内設置機器（リモート形の圧縮ユニット等）は、雨水や直射日光の当らない場所に設置してください。
⑬法定冷凍トンについて
本ユニットは合算して法定冷凍トン20トン以上になる冷凍装置、又は付属冷凍としては使用できませんのでご注意ください。

■スクロール形

ユニットタイプ		一体空冷式	リモート空冷式	リモート水冷式
用途	−	低温用	低温用	
使用冷媒	−	R404A		
蒸発温度	℃	−20〜−5 −45〜−5（−20）	−45〜−5（−20）	
吸入ガス過熱度	K	10〜40		
凝縮温度	℃	10〜58		
周囲温度（本体ユニット、圧縮ユニット）	℃	−15〜+43	−5〜+40	
周囲温度（リモートコンデンサ）	℃	−	−15〜+43	+5〜+40
電源電圧	−	三相180V〜 220V,50/60Hz		
電圧不平衡率	−	2%以下		
接続配管長さ（吸入・液）	m	（注3,4,5）		
接続配管長さ（リモートコンデンサ）	m	−	45以下（注5）	
設置場所（本体ユニット、圧縮ユニット）	−	屋外設置	屋内設置	
設置場所（リモートコンデンサ）	−	−	屋外設置	

注）1.（ ）内数値は、機種により異なる事を示します。詳細は、機種個別仕様表をご参考ください。
2.リモートコンデンサの電源電圧は、機種個別仕様表をご参考ください。
3.ERAV-EP45A,55A形,ERA,ER-EP形 50m以下,その他 100m以下
4.工事説明書記載の配管工事等施工条件を満たし、装置への確実な油戻りが保証されること、および冷媒過充てんとならない場合の数値です。
5.液配管長さは負荷側・リモートコンデンサ側の合計が「接続配管長さ（吸入・液）」の上限値以下としてください。

■半密閉形

ユニットタイプ		一体空冷式
用途	−	低温用
使用冷媒	−	R404A
蒸発温度	℃	−20〜−5（ERA-P:−45〜−5）
吸入ガス過熱度	K	7〜20
凝縮温度	℃	22〜61
周囲温度	℃	−15〜+43
電源電圧	−	三相 180V〜220V, 50/60Hz
電圧不平衡率	−	2%以下
接続配管長さ（吸入・液）	m	100以下（注2）
設置場所	−	屋外設置

注）1.（ ）内数値は、機種により異なる事を示します。詳細は、機種個別仕様表をご参考ください。
2.工事説明書記載の配管工事等施工条件を満たし、装置への確実な油戻りが保証されること、および冷媒過充てんとならない場合の数値です。

能力表

〈冷凍空調複合システム用冷蔵ユニット〉R404A 50Hz

単位:kW

形名	出力周波数(Hz)	蒸発温度(℃)									
		−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERAV-EP45A-CV(-BS)	定格(63)	−	−	−	−	−	9.64	10.8	11.7	14.0	16.7
ERAV-EP55A-CV(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	12.1	13.4	14.4	17.0	20.0

〈屋外設置一体空冷式〉R404A

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形　高温用・低温用 50Hz

単位:kW

形名	出力周波数(Hz)	蒸発温度(℃)												
		−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5	0	+5	+10
ERAV-EP45A(-BS)	定格(68)	−	−	−	−	−	9.00	10.6	11.8	14.0	17.1	−	−	−
ERAV-EP55A(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	12.1	13.4	14.4	17.0	20.0	−	−	−
ERAV-EP110A(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	20.7	23.1	24.7	29.1	33.7	−	−	−
	定格(90)	7.58	10.3	12.7	15.6	19.0	23.0	25.7	27.5	32.4	37.6	−	−	−
ECAV-EP185A(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	33.2	37.2	39.8	47.2	54.7	−	−	−
	定格(90)	11.4	15.4	19.3	23.9	29.4	35.7	39.9	42.8	50.7	58.7	−	−	−
ECAV-EP260A(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	43.7	48.8	52.1	61.5	71.2	−	−	−
	定格(90)	15.4	20.8	25.6	31.4	38.2	46.0	51.4	54.9	64.7	75.0	−	−	−
ERAV-EP45HA(-BS)	定格(60)	−	−	−	−	−	8.87	9.91	10.6	12.5	14.7	17.1	19.8	22.8
ERAV-EP97HA(-BS)	定格(80)	6.10	8.27	10.2	12.5	15.2	18.3	20.4	21.8	25.7	29.8	34.3	39.2	−

※蒸発温度が−20℃以上、かつ、外気温度が32℃以上の運転になると、周波数が減速する場合がありますので、機種選定において、冷凍能力は80Hzの能力値を用いてください。(ER(C)AV-EP110・185・260Aのみ)

■シングル式スクロール圧縮機搭載形　低温用 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERA-EP22A(-BS)	1.61	1.97	2.33	2.82	3.41	4.14	4.70	5.07	6.00	6.93
ERA-EP30A(-BS)	2.01	2.63	3.25	3.94	4.76	5.76	6.43	6.88	8.00	9.12
ERA-EP37A(-BS)	2.41	3.17	3.93	4.81	5.88	7.11	7.93	8.47	10.0	11.5
ERA-EP45A(-BS)	3.11	4.05	4.99	5.93	7.22	8.74	9.87	10.6	12.5	14.4
ERA-EP55A(-BS)	4.03	4.96	6.13	7.58	9.29	11.3	12.6	13.5	16.0	18.8
ERA-EP75A(-BS)	4.82	5.84	7.13	8.73	10.6	12.8	14.2	15.3	18.0	21.1

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ECA-EP150A(-BS)	9.3	11.2	13.7	17.2	21.2	26.4	−	−	−	−
ECA-EP225A(-BS)	15.1	18.0	22.1	27.1	32.9	39.6	−	−	−	−

■シングル式半密閉圧縮機搭載形 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERA-P110A(-BS)	3.42	5.34	7.89	11.1	14.9	19.3	22.2	24.3	30.0	36.3
ERA-P150A(-BS)	4.60	7.10	10.4	14.6	19.6	25.6	29.5	32.4	40.0	48.5

■マルチ式半密閉圧縮機搭載形 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ECA-P185A(-BS)	−	−	−	−	−	35.3	39.0	41.7	50.0	60.1
ECA-P225A(-BS)	−	−	−	−	−	41.9	46.8	50.3	60.0	70.9

注1.一体空冷式の冷凍能力の条件は次の通りです。
　周囲温度:32℃、吸入ガス温度:18℃、サブクール:5K
注2.(−BS)は耐塩害仕様です。

●負荷計算の際、R404A機の能力を換算する係数

蒸発温度(℃)	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5	0	+5	+10
換算係数(%)	90.9	91.5	92.1	92.7	93.3	94.0	94.2	94.4	95.0	95.6	96.8	98.0	99.2

R404A機のカタログ冷凍能力(吸入ガス温度18℃)は同容量R22機に比べて大きくなります。
しかし、実用上の能力(スーパーヒート5〜10)は蒸発温度に応じて小さくなりますので、換算係数を用いて補正してください。

〈冷凍空調複合システム用冷蔵ユニット〉R404A 60Hz

単位:kW

形名	出力周波数(Hz)	蒸発温度(℃)									
		−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERAV-EP45A-CV(-BS)	定格(63)	−	−	−	−	−	9.64	10.8	11.7	14.0	16.7
ERAV-EP55A-CV(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	12.1	13.4	14.4	17.0	20.0

〈屋外設置一体空冷式〉R404A

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形　高温用・低温用 60Hz

単位:kW

形名	出力周波数(Hz)	蒸発温度(℃)												
		−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5	0	+5	+10
ERAV-EP45A(-BS)	定格(68)	−	−	−	−	−	9.00	10.6	11.8	14.0	17.1	−	−	−
ERAV-EP55A(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	12.1	13.4	14.4	17.0	20.0	−	−	−
ERAV-EP110A(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	20.7	23.1	24.7	29.1	33.7	−	−	−
	定格(90)	7.58	10.3	12.7	15.6	19.0	23.0	25.7	27.5	32.4	37.6	−	−	−
ECAV-EP185A(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	36.5	40.7	43.5	51.4	59.6	−	−	−
	定格(90)	13.1	17.8	21.8	26.6	32.3	38.8	43.3	46.1	54.4	63.0	−	−	−
ECAV-EP260A(-BS)	定格(80)	−	−	−	−	−	48.6	54.3	58.0	68.5	79.3	−	−	−
	定格(90)	16.9	22.9	28.2	34.7	42.3	51.0	56.9	60.9	71.9	83.3	−	−	−
ERAV-EP45HA(-BS)	定格(60)	−	−	−	−	−	8.87	9.91	10.6	12.5	14.7	17.1	19.8	22.8
ERAV-EP97HA(-BS)	定格(80)	6.10	8.27	10.2	12.5	15.2	18.3	20.4	21.8	25.7	29.8	34.3	39.2	−

※蒸発温度が−20℃以上、かつ、外気温度が32℃以上の運転になると、周波数が減速する場合がありますので、機種選定において、冷凍能力は80Hzの能力値を用いてください。(ER(C)AV-EP110・185・260Aのみ)

■シングル式スクロール圧縮機搭載形　低温用 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERA-EP22A(-BS)	1.86	2.42	2.98	3.60	4.22	5.04	5.60	5.97	7.10	8.23
ERA-EP30A(-BS)	2.53	3.11	3.69	4.49	5.53	6.58	7.27	7.73	9.00	10.3
ERA-EP37A(-BS)	2.90	3.75	4.60	5.68	6.99	8.44	9.45	10.1	11.8	13.5
ERA-EP45A(-BS)	3.74	4.72	5.70	6.98	8.63	10.5	11.8	12.7	15.0	17.3
ERA-EP55A(-BS)	4.87	5.90	7.16	8.75	10.6	12.8	14.3	15.3	18.0	21.1
ERA-EP75A(-BS)	5.64	6.88	8.43	10.3	12.5	15.1	16.8	18.0	21.2	24.8

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ECA-EP150A(-BS)	11.7	13.2	16.3	20.3	25.1	30.3	−	−	−	−
ECA-EP225A(-BS)	17.4	21.2	26.4	32.1	38.5	45.4	−	−	−	−

■シングル式半密閉圧縮機搭載形 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERA-P110A(-BS)	4.93	6.67	9.19	12.5	16.6	21.4	24.7	27.1	33.5	40.7
ERA-P150A(-BS)	6.90	9.00	12.2	16.6	22.2	28.9	33.6	36.5	45.0	55.8

■マルチ式半密閉圧縮機搭載形 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ECA-P185A(-BS)	−	−	−	−	−	39.5	44.1	47.3	56.0	65.6
ECA-P225A(-BS)	−	−	−	−	−	46.0	52.6	56.9	67.0	76.3

注1.一体空冷式の冷凍能力の条件は次の通りです。
　周囲温度:32℃、吸入ガス温度:18℃、サブクール:5K
注2.(−BS)は耐塩害仕様です。

●負荷計算の際、R404A機の能力を換算する係数

蒸発温度(℃)	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5	0	+5	+10
換算係数(%)	90.9	91.5	92.1	92.7	93.3	94.0	94.2	94.4	95.0	95.6	96.8	98.0	99.2

R404A機のカタログ冷凍能力(吸入ガス温度18℃)は同容量R22機に比べて大きくなります。
しかし、実用上の能力(スーパーヒート5〜10)は蒸発温度に応じて小さくなりますので、換算係数を用いて補正してください。

能力表

〈屋内設置リモート空冷式〉R404A

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形(注2) 50Hz

単位:kW

形名	出力周波数(Hz)	蒸発温度(℃)									
		−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERV-EP110A	定格(80)	−	−	−	−	−	20.7	23.1	24.7	29.1	33.7
	定格(90)	7.58	10.3	12.7	15.6	19.0	23.0	25.7	27.5	32.4	37.6
ECV-EP185A	定格(80)	−	−	−	−	−	33.2	37.2	39.8	47.2	54.7
	定格(90)	11.4	15.4	19.3	23.9	29.4	35.7	39.9	42.8	50.7	58.7
ECV-EP260A	定格(80)	−	−	−	−	−	43.7	48.8	52.1	61.5	71.2
	定格(90)	15.4	20.8	25.6	31.4	38.2	46.0	51.4	54.9	64.7	75.0

※蒸発温度が−20℃以上、かつ、外気温度が32℃以上の運転になると、周波数が減速する場合がありますので、機種選定において、冷凍能力は80Hzの能力値を用いてください。

■シングル式スクロール圧縮機搭載形(注2) 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ER-EP22A	1.61	1.97	2.33	2.82	3.41	4.14	4.70	5.07	6.00	6.93
ER-EP30A	2.01	2.63	3.25	3.94	4.76	5.76	6.43	6.88	8.00	9.12
ER-EP37A	2.41	3.17	3.93	4.81	5.88	7.11	.93	8.47	10.0	11.5
ER-EP45A	3.11	4.05	4.99	5.93	7.22	8.74	9.87	10.6	12.5	14.4
ER-EP55A	4.03	4.96	6.13	7.58	9.29	11.3	12.6	13.5	16.0	18.8
ER-EP75A	4.82	5.84	7.13	8.73	10.6	12.8	14.3	15.3	18.0	21.1

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形(注2) 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
EC-EP150A	9.3	11.2	13.7	17.2	21.2	26.4	−	−	−	−
EC-EP225A	15.1	18.0	22.1	27.1	32.9	39.6	−	−	−	−

〈屋内設置リモート水冷式〉R404A

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERV-EP110A+RMW-P150A	7.64	10.5	13.1	16.2	20.0	24.4	27.4	29.4	35.2	41.2
ECV-EP185A+RMW-P225A	12.1	16.5	20.9	26.0	32.1	39.2	44.1	47.3	56.3	65.9
ECV-EP260A+RMW-P150A×2	15.6	21.3	26.5	32.8	40.5	49.5	55.9	60.1	72.0	84.8

■シングル式スクロール圧縮機搭載形 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ER-EP22A+RMW-P30A	1.76	2.20	2.70	3.33	4.12	5.04	5.62	6.04	7.22	8.50
ER-EP30A+RMW-P30A	2.31	2.88	3.56	4.45	5.49	6.74	7.55	8.09	9.77	11.6
ER-EP37A+RMW-P45A	2.59	3.25	3.99	4.99	6.19	7.61	8.54	9.17	11.0	13.1
ER-EP45A+RMW-P45A	3.30	4.16	5.13	6.41	7.87	9.63	10.8	11.6	13.9	16.4
ER-EP55A+RMW-P75A	3.88	4.70	5.91	7.51	9.35	11.6	13.1	14.1	17.0	20.2
ER-EP75A+RMW-P75A	4.37	5.46	6.76	8.58	10.6	13.1	14.8	15.9	19.2	22.9

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形 50Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃)									
	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
EC-EP150A+RMW-P150A	9.3	11.5	14.6	18.5	23.2	28.7	−	−	−	−
EC-EP225A+RMW-P225A	14.5	18.1	22.5	28.2	35.1	43.3	−	−	−	−

注1.リモート空冷式の冷凍能力の条件は次の通りです。
周囲温度:32℃、吸入ガス温度:18℃、サブクール:5K
リモート水冷式の冷凍能力の条件は次の通りです。
凝縮温度:35℃、吸入ガス温度:18℃、サブクール:5K
但し、ER-EP37A・45A・55A・75A+RMWの場合は、
凝縮温度:40℃、吸込ガス温度:18℃、サブクール:5K
注2.推奨リモートコンデンサを組合わせた場合の能力です。

●負荷計算の際、R404A機の能力を換算する係数

蒸発温度(℃)	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5	0	+5	+10
換算係数(%)	90.9	91.5	92.1	92.7	93.3	94.0	94.2	94.4	95.0	95.6	96.8	98.0	99.2

R404A機のカタログ冷凍能力(吸入ガス温度18℃)は同容量R22機に比べて大きくなります。
しかし、実用上の能力(スーパーヒート5〜10)は蒸発温度に応じて小さくなりますので、換算係数を用いて補正してください。

〈屋内設置リモート空冷式〉R404A

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形(注2) 60Hz

単位:kW

形名	出力周波数(Hz)	蒸発温度(℃) −45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERV-EP110A	定格(80)	−	−	−	−	−	20.7	23.1	24.7	29.1	33.7
	定格(90)	7.58	10.3	12.7	15.6	19.0	23.0	25.7	27.5	32.4	37.6
ECV-EP185A	定格(80)	−	−	−	−	−	36.5	40.7	43.5	51.4	59.6
	定格(90)	13.1	17.8	21.8	26.6	32.3	38.8	43.3	46.1	54.4	63.0
ECV-EP260A	定格(80)	−	−	−	−	−	48.6	54.3	58.0	68.5	79.3
	定格(90)	16.9	22.9	28.2	34.7	42.3	51.0	56.9	60.9	71.9	83.3

※蒸発温度が−20℃以上、かつ、外気温度が32℃以上の運転になると、周波数が減速する場合がありますので、機種選定において、冷凍能力は80Hzの能力値を用いてください。

■シングル式スクロール圧縮機搭載形(注2) 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃) −45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ER-EP22A	1.86	2.42	2.98	3.60	4.22	5.04	5.60	5.97	7.10	8.23
ER-EP30A	2.53	3.11	3.69	4.49	5.53	6.58	7.27	7.73	9.00	10.3
ER-EP37A	2.90	3.75	4.60	5.68	6.99	8.44	9.45	10.1	11.8	13.5
ER-EP45A	3.74	4.72	5.70	6.98	8.63	10.5	11.8	12.7	15.0	17.3
ER-EP55A	4.87	5.90	7.16	8.75	10.6	12.8	14.3	15.3	18.0	21.1
ER-EP75A	5.64	6.88	8.43	10.3	12.5	15.1	16.8	18.0	21.2	24.8

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形(注2) 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃) −45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
EC-EP150A	11.2	13.2	16.3	20.3	25.1	30.3	−	−	−	−
EC-EP225A	17.4	21.2	26.4	32.1	38.5	45.4	−	−	−	−

〈屋内設置リモート水冷式〉R404A

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃) −45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ERV-EP110A+RMW-P150A	7.64	10.5	13.1	16.2	20.0	24.4	27.4	29.4	35.2	41.2
ECV-EP185A+RMW-P225A	13.2	18.2	22.5	27.7	34.2	41.7	47.0	50.5	60.3	71.3
ECV-EP260A+RMW-P150A×2	17.2	23.5	29.3	36.3	45.0	55.1	62.3	67.1	80.4	95.3

■シングル式スクロール圧縮機搭載形 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃) −45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
ER-EP22A+RMW-P30A	2.14	2.58	3.17	4.00	4.87	5.95	6.66	7.11	8.56	10.1
ER-EP30A+RMW-P30A	2.78	3.40	4.23	5.32	6.53	7.98	8.93	9.56	11.4	13.5
ER-EP37A+RMW-P45A	3.11	3.86	4.78	6.01	7.38	9.04	10.1	10.9	13.0	15.4
ER-EP45A+RMW-P45A	3.86	4.85	5.94	7.46	9.19	11.3	12.6	13.6	16.3	19.3
ER-EP55A+RMW-P75A	4.61	5.63	7.04	8.99	11.1	13.7	15.5	16.7	20.1	24.1
ER-EP75A+RMW-P75A	5.44	6.69	8.36	10.6	13.0	16.0	18.0	19.4	23.3	27.6

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形 60Hz

単位:kW

形名	蒸発温度(℃) −45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5
EC-EP150A+RMW-P150A	11.2	13.8	17.4	22.0	27.6	34.3	−	−	−	−
EC-EP225A+RMW-P225A	16.9	21.1	26.6	33.8	42.3	52.2	−	−	−	−

注1.リモート空冷式の冷凍能力の条件は次の通りです。
周囲温度:32℃、吸入ガス温度:18℃、サブクール:5K
リモート水冷式の冷凍能力の条件は次の通りです。
凝縮温度:35℃、吸入ガス温度:18℃、サブクール:5K
但し、ER-EP37A・45A・55A・75A+RMWの場合は、
凝縮温度:40℃、吸込ガス温度:18℃、サブクール:5K
注2.推奨リモートコンデンサを組合わせた場合の能力です。

●負荷計算の際、R404A機の能力を換算する係数

蒸発温度(℃)	−45	−40	−35	−30	−25	−20	−17	−15	−10	−5	0	+5	+10
換算係数(%)	90.9	91.5	92.1	92.7	93.3	94.0	94.2	94.4	95.0	95.6	96.8	98.0	99.2

R404A機のカタログ冷凍能力(吸入ガス温度18℃)は同容量R22機に比べて大きくなります。
しかし、実用上の能力(スーパーヒート5〜10)は蒸発温度に応じて小さくなりますので、換算係数を用いて補正してください。

ERAV-EP45A

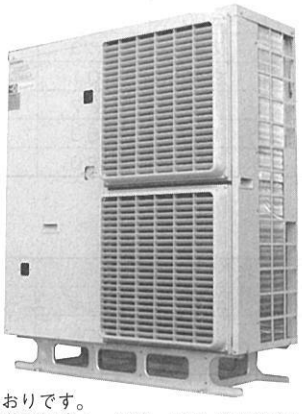
据付方法　屋外設置
周囲温度−15〜+43℃ <注4>

空冷式　スクロール　インバータ　4.5kW 呼称出力　3.07 法定冷凍トン

−20〜−5℃ 吸入圧力飽和温度範囲　R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11〜12	P72	P105	P110〜113	P114〜122

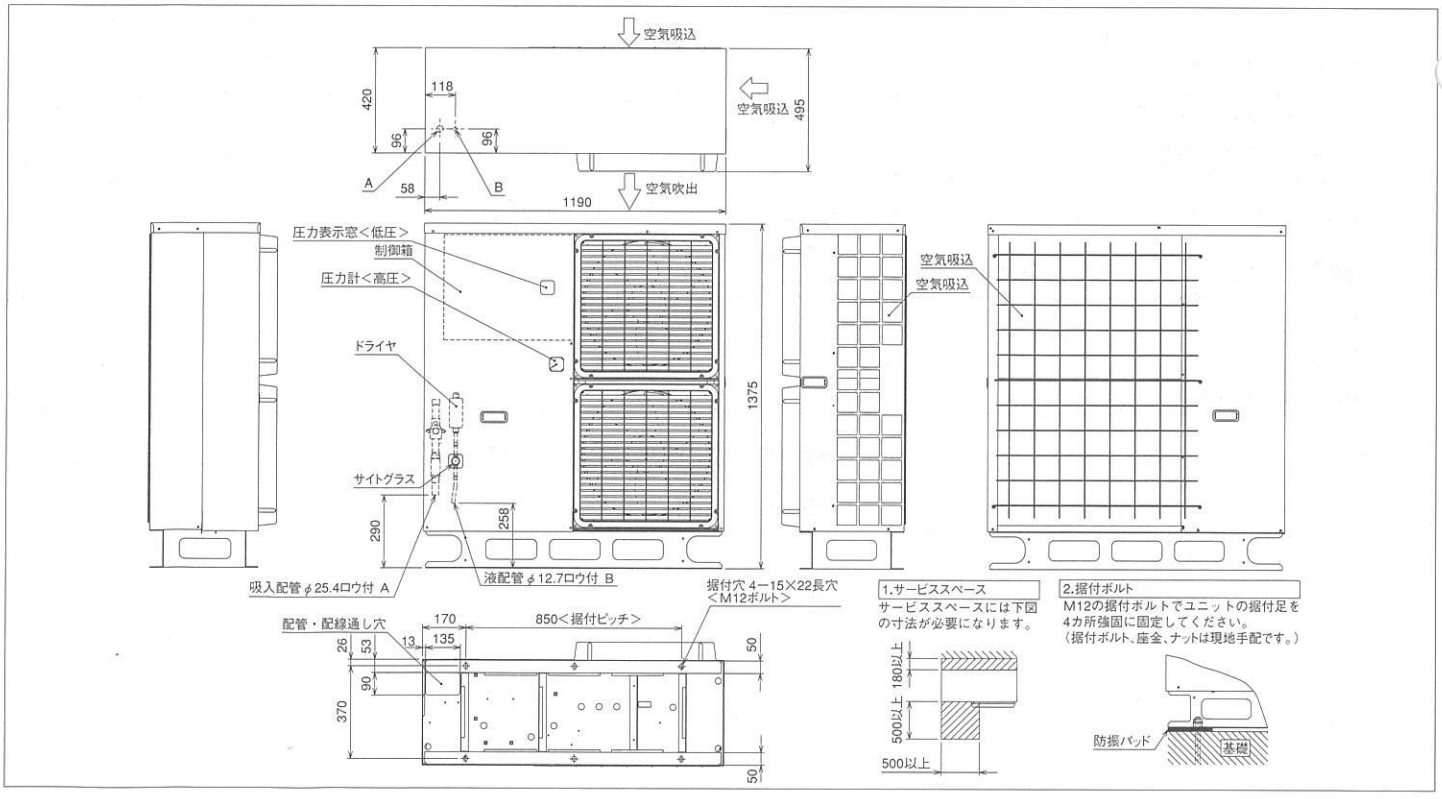


三相　200V　50／60Hz

項目			形名	ERAV-EP45A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>		kW	6.6
	運転電流<注1>		A	20.9
	力率 <注1>		%	91
	始動電流		A	149／132<商用運転時>
圧縮機	形名			HDV92FB
	定格出力		kW	4.5
	押しのけ量		m³/h	25.1
	クランクケースヒータ		W	45
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量	圧縮機	L	3.0
		その他	L	−
	正規充てん量		L	3.0
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式
	送風機	電動機出力	W	88+88
		ファン径	mm	φ490×2
	風量		m³/min	110／115
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ
受液器	内容量		L	13.2
	可溶栓			有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
高圧カット防止機能				有
保護装置	高低圧圧力開閉器			有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	電磁開閉器・熱動過電流継電器			有<インバータ運転：32A設定、商用運転：31A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			有<OFF:130℃、ON:108℃>
	ヒューズ	操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 6A<−>
	逆相防止器			有<基板組込>
	油温検出保護			有
内蔵品	圧力計			有<高圧>
	サクションアキュムレータ			有<9L>
	油分離器			有
	ドライヤ			有
	サイトグラス			有
付属部品				チェックジョイント
外装色				マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,375×1,190×420
製品質量<荷造質量>			kg	198<202>
配管寸法<注2・6>	吸入配管		mm	φ25.4S
	液配管		mm	φ12.7S
	ホットガス配管		mm	ホットガス取出は、できません
騒音<注3>			dB(A)	48（42）

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
運転周波数：68Hz
2. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
3. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，運転周波数：55Hz
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
（　）内は夜間などの周囲温度が25℃以下となった場合の値を示します。
4. 設置条件により−15〜+40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
5. ファン遅延方式のクーラと組合わせる場合、ファン遅延時間は3分以下としてください。
6. 配管長は50m以下となります。
7. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ERAV-EP55A

据付方法　屋外設置
周囲温度−15〜+43℃ <注4>

空冷式 | スクロール | インバータ | 5.5kW 呼称出力 | 4.0 法定冷凍トン

−20〜−5℃ 吸入圧力飽和温度範囲 | R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

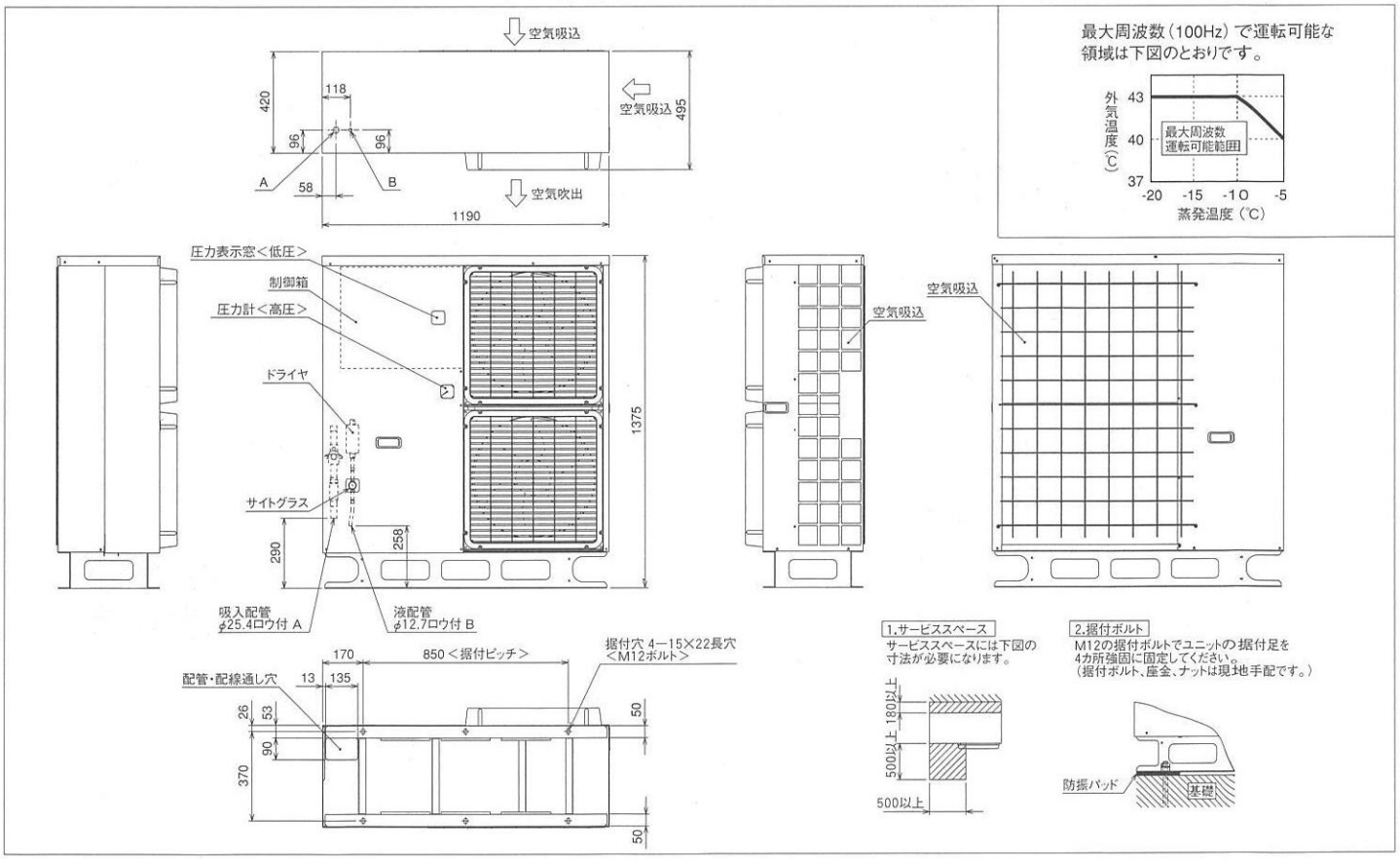
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11〜12	P73	P105	P110〜113	P114〜122

三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ERAV-EP55A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>	kW	7.9
	運転電流<注1>	A	24.6
	力率 <注1>	%	92.7
	始動電流	A	15.0／15.0
圧縮機	形名		HDB92FA
	定格出力	kW	5.5
	押しのけ量	m³/h	32.8
	クランクケースヒータ	W	45
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量 圧縮機	L	3.0
	初期充てん量 その他	L	−
	正規充てん量	L	3.0
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機 電動機出力	W	110+110
	送風機 ファン径	mm	φ490×2
	風量	m³/min	118／129
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
受液器	内容量	L	13.2
	可溶栓		有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
高圧カット防止機能			有
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	過電流保護		有<41A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		−
	ヒューズ 操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 6A<−>
	逆相防止器		有<基板組込>
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有<高圧>
	サクションアキュムレータ		有<9L>
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有
付属部品			チェックジョイント
外装色			マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,375×1,190×420
製品質量<荷造質量>		kg	196<200>
配管寸法<注2・6>	吸入配管	mm	φ25.4S
	液配管	mm	φ12.7S
	ホットガス配管	mm	ホットガス取出は、できません
騒音<注3>		dB(A)	51（45）

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
運転周波数：80Hz
2. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
3. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，運転周波数：60Hz
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
（　）内は夜間などの周囲温度が25℃以下となった場合の値を示します。
4. 設置条件により−15〜+40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
5. ユニットクーラとの組合わせでご使用になる場合には、当社製クーラとの組合わせでご使用お願いします。
6. 配管長は50m以下となります。
7. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



ERAV-EP110A

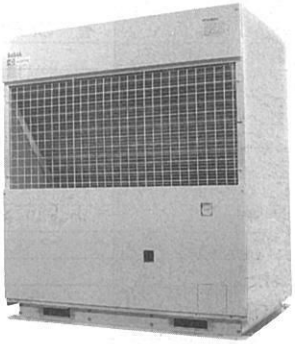
据付方法	屋外設置 周囲温度−15〜+43℃ <注5>

空冷式	スクロール	インバータ	11.0kW 呼称出力	6.6 法定冷凍トン

−45〜−5℃ 吸入圧力 飽和温度範囲	R404A 冷媒	0-23〜100% (インバータ始動) 容量制御

(耐塩害・耐重塩害仕様もあります。)

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ/オプション
P11〜12	P74	P105	P110〜113	P114〜122

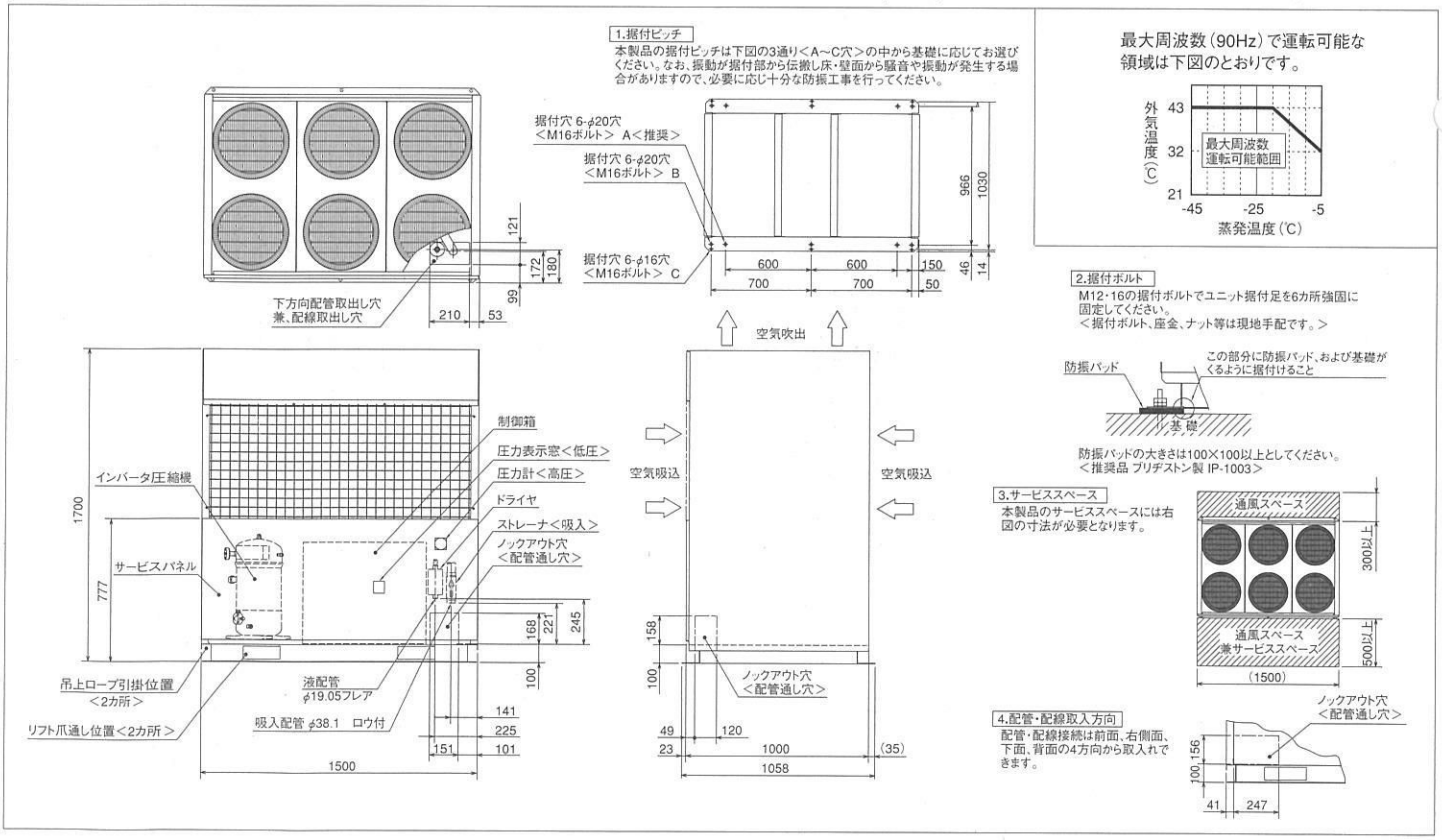


三相 200V 50/60Hz

項目		形名	ERAV-EP110A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>	kW	13.0 (90Hz運転時:16.3)
	運転電流<注1>	A	40.3 (90Hz運転時:50.0)
	力率 <注1>	%	93 (90Hz運転時:94)
	始動電流	A	25.0/25.0
圧縮機	形名		UDK165FA-RH
	定格出力	kW	11.0
	押しのけ量	m³/h	53.6
	クランクケースヒータ	W	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期充てん量 圧縮機	L	3.5
	初期充てん量 その他	L	6<アキュムレータ内>
	正規充てん量<注2>	L	3.5+6
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機 電動機出力	W	100×6
	送風機 ファン径	mm	φ400×6
	風量	m³/min	400/400
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
受液器	内容量	L	48
	可溶栓		有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>
高圧カット防止機能			有
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧:機械式、低圧:デジタル式>
	過電流保護		有<53A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		−
	ヒューズ 操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1
	ヒューズ 凝縮器送風機用		250V 15A×3
	逆相防止器		有
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有<高圧>
	サクションアキュムレータ		有<18L>
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有<付属>
付属部品			予備ヒューズ<15A、6A、5A、3A、2A、1A、>、チェックジョイント
外装色			マンセル 5Y 8/1
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,700×1,500×1,000<1,058>
製品質量<荷造質量>		kg	425<430>
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ38.1S
	液配管	mm	φ19.05F
	ホットガス配管	mm	ホットガス取出は、できません
騒音<注4>		dB(A)	53.5

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
運転周波数：75Hz
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−40℃，運転周波数：75Hz
ファンコントロール設定：目標凝縮温度=外気温度+12℃
測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 設置条件により−15〜+40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ECAV-EP185A

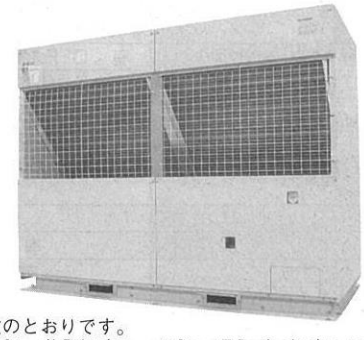
据付方法	屋外設置 周囲温度－15～＋43℃ <注5>

空冷式	スクロール	インバータ	18.5kW 呼称出力	10.1/10.7 法定冷凍トン

－45～－5℃ 吸入圧力 飽和温度範囲	R404A 冷媒	0-15～100%／0-14～100% （インバータ始動＋順次始動） 容量制御

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11～12	P75	P105	P110～113	P114～122

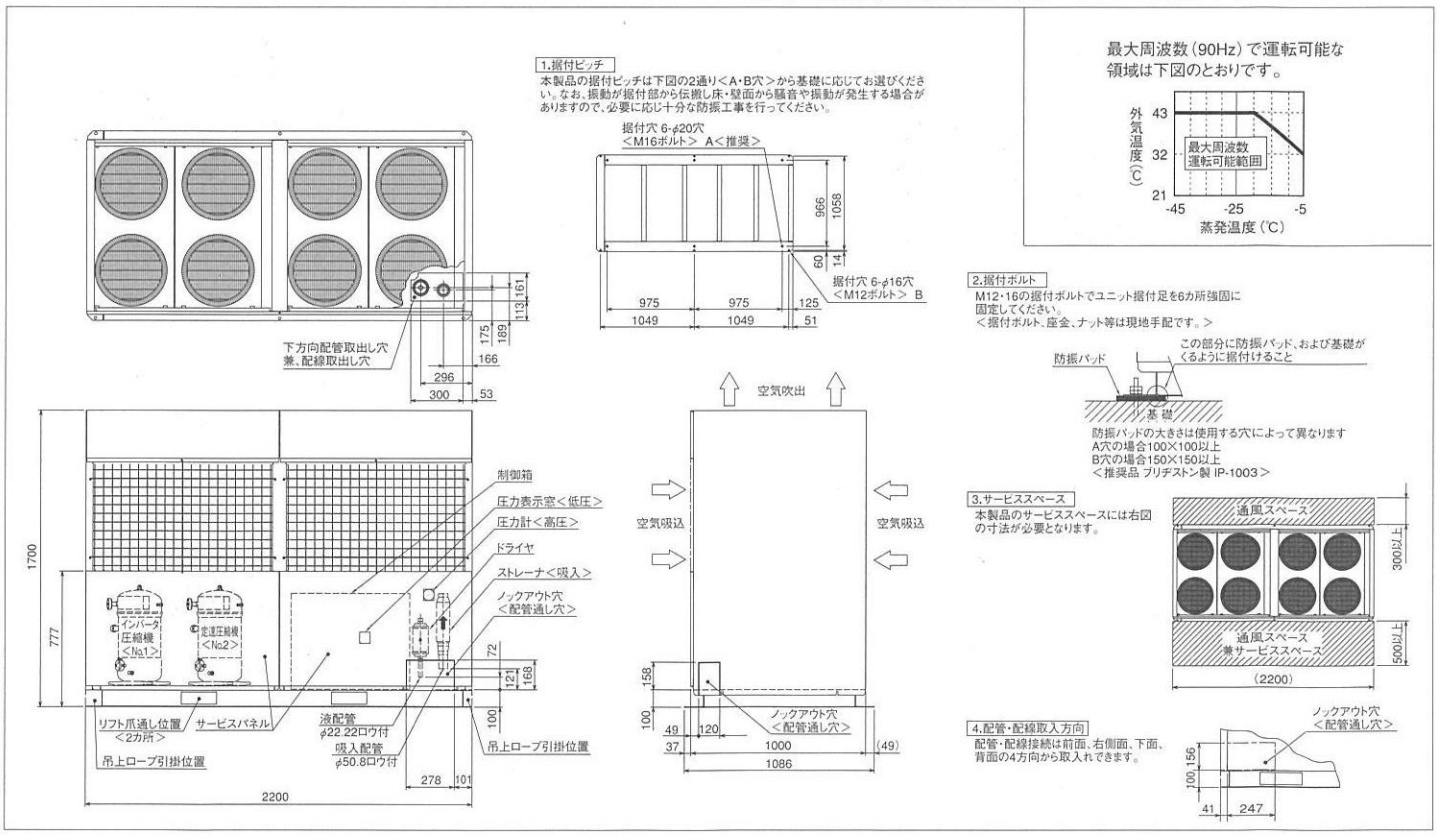


三相　200V　50／60Hz

項目			形名	ECAV-EP185A (-BS・-BSG)	
電気特性	消費電力<注1>		kW	20.6／22.5（90Hz＋定格運転時:22.9／25.1）	
	運転電流<注1>		A	62.3／67.5（90Hz＋定格運転時:69.8／74.8）	
	力率 <注1>		%	95／96（90Hz＋定格運転時:95／97）	
	始動電流		A	297／274	
圧縮機	形名			UDK165FA-RH<No.1>	UDJ165TA-RH<No.2>
	定格出力		kW	11.0	7.45
	押しのけ量		m^3/h	53.6	28.7／33.7
	クランクケースヒータ		W	72	72
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32	
	充てん量	初期 圧縮機	L	3.5	3.5
		その他	L	9<アキュムレータ内>	
	正規充てん量<注2>		L	<3.5×2>＋9	
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式	
	送風機	電動機出力	W	100×8	
		ファン径	mm	φ400×8	
	風量		m^3/min	460／490	
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ	
受液器	内容量		L	74	
	可溶栓			有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>	
高圧カット防止機能				有	
保護装置	高低圧圧力開閉器			有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>	
	過電流保護			有<53A設定>	有<50A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>	
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			―	有<OFF:130℃、ON:108℃>
	ヒューズ	操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1	
		凝縮器送風機用		250V 15A×3	
	逆相防止器			有	
	油温検出保護			有	
内蔵品	圧力計			有<高圧>	
	サクションアキュムレータ			有<25L>	
	油分離器			有	
	ドライヤ			有	
	サイトグラス			有<付属>	
付属部品				予備ヒューズ<15A、6A、5A、3A、2A、1A、>、チェックジョイント	
外装色				マンセル 5Y 8／1	
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,700×2,200×1,000<1,086>	
製品質量<荷造質量>			kg	685<690>	
配管寸法<注3>	吸入配管		mm	φ50.8S	
	液配管		mm	φ22.22S	
	ホットガス配管		mm	ホットガス取出は、できません	
騒音<注4>			dB(A)	55／56	

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
インバータ圧縮機運転周波数：75Hz，定速圧縮機：運転
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃，
インバータ圧縮機運転周波数：75Hz，定速圧縮機：運転
ファンコントロール設定：目標凝縮温度=外気温度＋12℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 設置条件により－15～＋40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



ECAV-EP260A

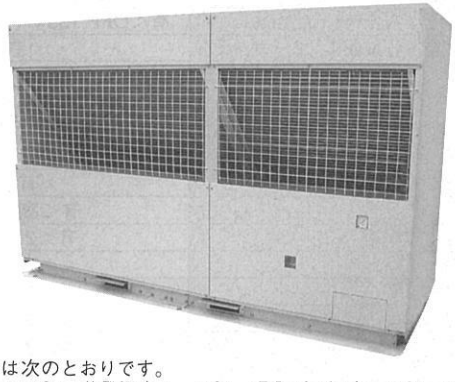
据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃ <注5>

空冷式 | スクロール | インバータ | 26.0kW 呼称出力 | 13.6/14.8 法定冷凍トン

－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲 | R404A 冷媒 | 0-11～100%／0-10～100%（インバータ始動＋順次始動）容量制御

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11～12	P76	P105	P110～113	P114～122

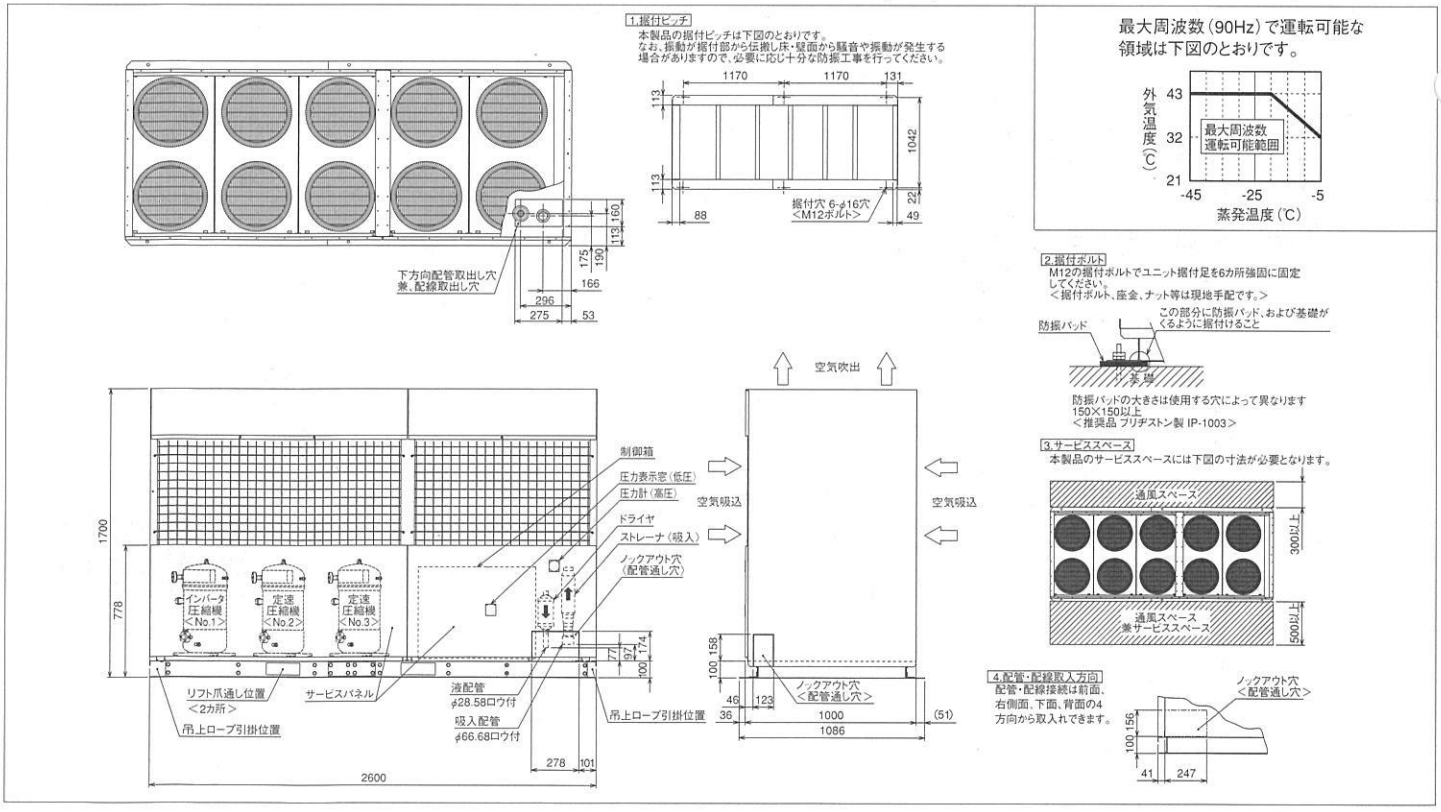


三相　200V　50／60Hz

項目			形名	ECAV-EP260A (-BS・-BSG)		
電気特性	消費電力<注1>		kW	28.9／32.2（90Hz＋定格運転時:31.9／35.0）		
	運転電流<注1>		A	91.1／99.5（90Hz＋定格運転時:102.3／111.7）		
	力率 <注1>		%	92／94（90Hz＋定格運転時:90／91）		
	始動電流		A	329／312		
圧縮機	形名			UDK165FA-RH <No.1>	UDJ165TA-RH <No.2>	UDJ165TA-RH <No.3>
	定格出力		kW	11.0	7.45	7.45
	押しのけ量		m³/h	53.6	28.7／33.7	28.7／33.7
	クランクケースヒータ		W	72	72	72
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32		
	初期充てん量	圧縮機	L	3.5	3.5	3.5
		その他	L	12<アキュムレータ内>		
	正規充てん量<注2>		L	<3.5×3>＋12		
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式		
	送風機	電動機出力	W	100×10		
		ファン径	mm	φ400×10		
	風量		m³/min	575／613		
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ		
受液器	内容量		L	98		
	可溶栓			有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>		
高圧カット防止機能				有		
保護装置	高低圧圧力開閉器			有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>		
	過電流保護			有<53A設定>	有<50A設定>	有<50A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>		
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			―	有<OFF:130℃、ON:108℃>	
	ヒューズ	操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1		
		凝縮器送風機用		250V 15A×3		
	逆相防止器			有		
	油温検出保護			有		
内蔵品	圧力計			有<高圧>		
	サクションアキュムレータ			有<36L>		
	油分離器			有		
	ドライヤ			有		
	サイトグラス			有<付属>		
付属部品				予備ヒューズ<15A、6A、5A、3A、2A、1A、>、チェックジョイント		
外装色				マンセル 5Y 8／1		
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,700×2,600×1,000		
製品質量<荷造質量>			kg	870<875>		
配管寸法<注3>	吸入配管		mm	φ66.68S		
	液配管		mm	φ28.58S		
	ホットガス配管		mm	ホットガス取出は、できません		
騒音<注4>			dB(A)	56.5／57.5		

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
インバータ圧縮機運転周波数：75Hz，定速圧縮機：運転
2. 正規充てん量は圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃，インバータ圧縮機運転周波数：75Hz
定速圧縮機：運転，ファンコントロール設定：目標凝縮温度=外気温度＋12℃
測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 設置条件により－15～＋40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ERAV-EP45HA

据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃ <注4>

空冷式 | スクロール | インバータ | 4.5kW 呼称出力 | 2.4 法定冷凍トン

－20～＋10℃ 吸入圧力飽和温度範囲 | R404A 冷媒

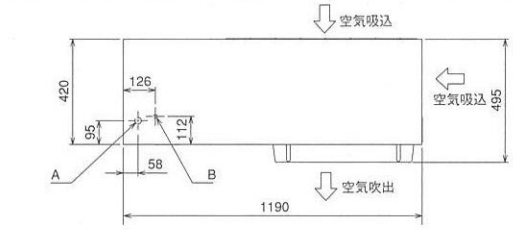
（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11～12	P77	P105	P110～113	P114～122

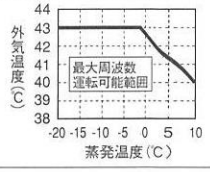
三相　200V　50／60Hz

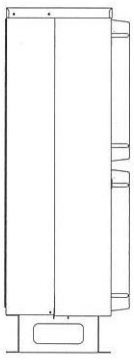
項目			形名	ERAV-EP45HA (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>		kW	6.9
	運転電流<注1>		A	21.5
	力率 <注1>		%	92
	始動電流		A	15.0／15.0
圧縮機	形名			HDB92FA
	定格出力		kW	4.5
	押しのけ量		m³/h	19.7
	クランクケースヒータ		W	45
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量	圧縮機	L	3.0
		その他	L	－
	正規充てん量		L	3.0
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式
	送風機	電動機出力	W	110＋110
		ファン径	mm	φ490×2
	風量		m³/min	118／129
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ
受液器	内容量		L	13.2
	可溶栓			有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
高圧カット防止機能				有
保護装置	高低圧圧力開閉器			有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	過電流保護			有<41A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			－
	ヒューズ	操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 6A<－>
	逆相防止器			有<基板組込>
	油温検出保護			有
内蔵品	圧力計			有<高圧>
	サクションアキュムレータ			有<9L>
	油分離器			有
	ドライヤ			有
	サイトグラス			有<付属>
付属部品				チェックジョイント、接続配管<液>
外装色				マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,375×1,190×420
製品質量<荷造質量>			kg	196<200>
配管寸法<注2・5>	吸入配管		mm	φ25.4S
	液配管		mm	φ15.88S
	ホットガス配管		mm	－
騒音<注3>			dB(A)	52

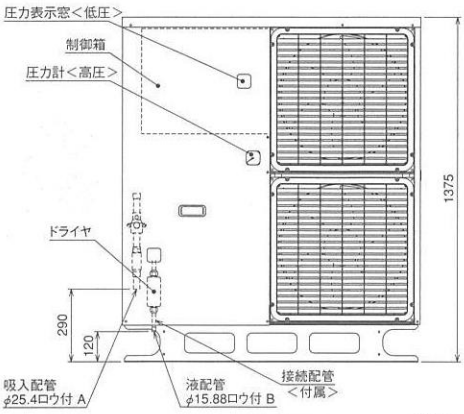
注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：5℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
運転周波数：60Hz
2. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
3. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：0℃、運転周波数：60Hz
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
4. 設置条件により－15～＋40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
5. 配管長は50m以下となります。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

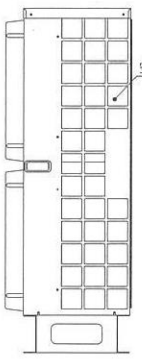


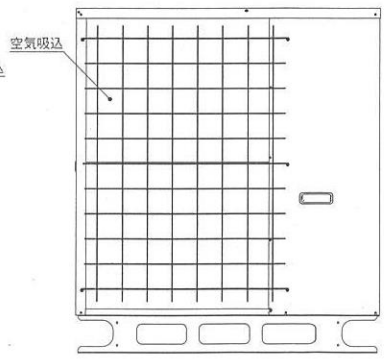
最大周波数（60Hz）で運転可能な領域は下図のとおりです。

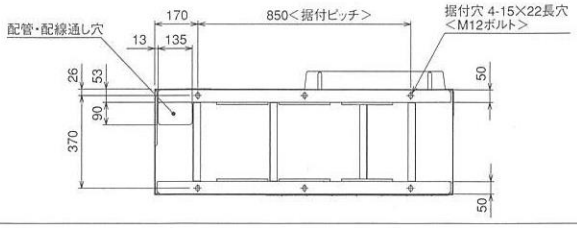




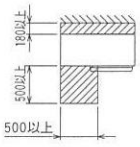




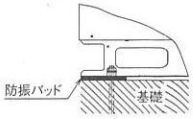




1.サービススペース
サービススペースには下図の寸法が必要になります。



2.据付ボルト
M12の据付ボルトでユニットの据付足を4カ所強固に固定してください。
（据付ボルト、座金、ナットは現地手配です。）



ERAV-EP97HA

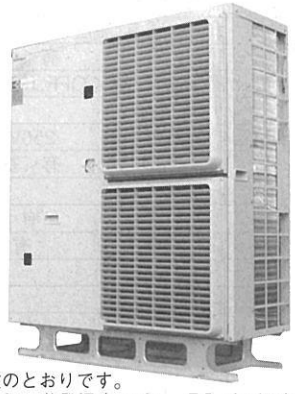
据付方法　屋外設置
周囲温度−15〜+43℃ <注5>

空冷式 | スクロール | インバータ | 9.7kW 呼称出力 | 5.1 法定冷凍トン

−45〜+5℃ 吸入圧力飽和温度範囲 | R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

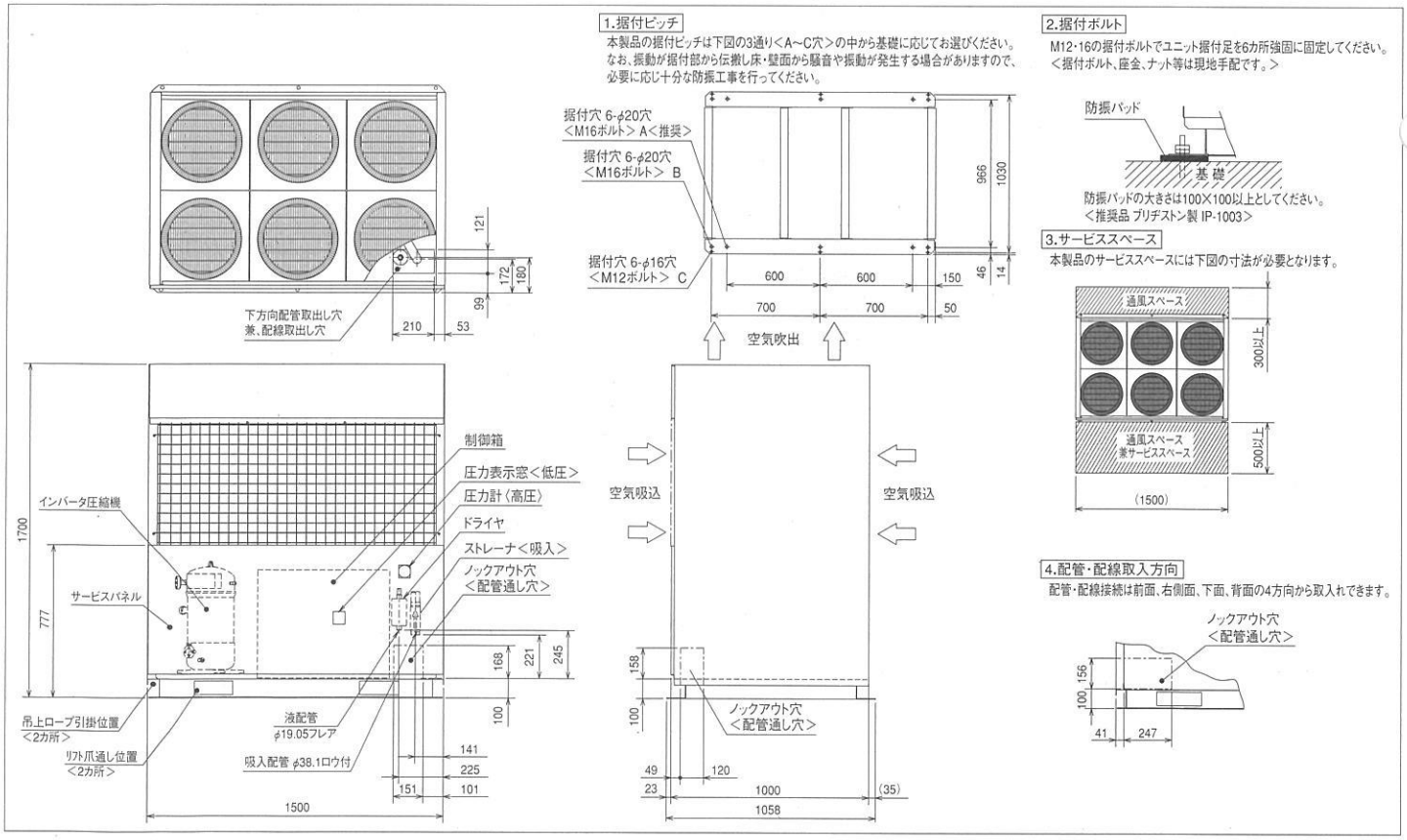
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11〜12	P78	P105	P110〜113	P114〜122



三相　200V　50／60Hz

項目			形名	ERAV-EP97HA (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>		kW	14.6
	運転電流<注1>		A	44.7
	力率<注1>		%	94
	始動電流		A	25.0／25.0
圧縮機	形名			UDK165FA-RH
	定格出力		kW	9.7
	押しのけ量		m³/h	41.7
	クランクケースヒータ		W	72
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	充てん量 初期	圧縮機	L	3.5
	充てん量	その他	L	6 <アキュムレータ内>
	正規充てん量		L	3.5+6
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式
	送風機	電動機出力	W	100×6
	送風機	ファン径	mm	φ400×6
	風量		m³/min	400／400
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ
受液器	内容量		L	48
	可溶栓			有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>
高圧カット防止機能				有
保護装置	高低圧圧力開閉器			有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	過電流保護			有<53A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			—
	ヒューズ	操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1
	ヒューズ	凝縮器送風機用		250V 15A×3
	逆相防止器			有
	油温検出保護			有
内蔵品	圧力計			有<高圧>
	サクションアキュムレータ			有<18L>
	油分離器			有
	ドライヤ			有
	サイトグラス			有<付属>
付属部品				予備ヒューズ<15A,6A,5A,3A,2A,1A>、チェックジョイント
外装色				マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,700×1,500×1,000<1,058>
製品質量<荷造質量>			kg	425<430>
配管寸法<注3>	吸入配管		mm	φ38.1S
	液配管		mm	φ19.05F
	ホットガス配管		mm	—
騒音<注4>			dB(A)	54.5

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：5℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
運転周波数：70Hz
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：0℃，運転周波数：70Hz
ファンコントロール設定：目標凝縮温度＝外気温度＋12℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 設置条件により−15〜+40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ERA-EP22A

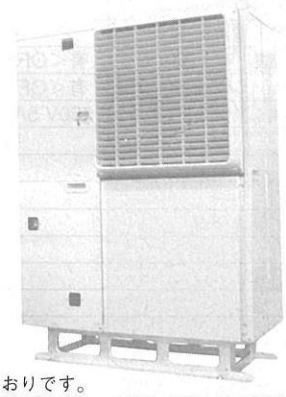
据付方法	屋外設置 周囲温度−15〜+43℃ <注5>

空冷式	スクロール	2.2kW 呼称出力	1.2/1.5 法定冷凍トン	−45〜−5℃ 吸入圧力 飽和温度範囲

R404A
冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ/オプション
P11〜12	P79〜80	P106	P110〜113	P114〜122

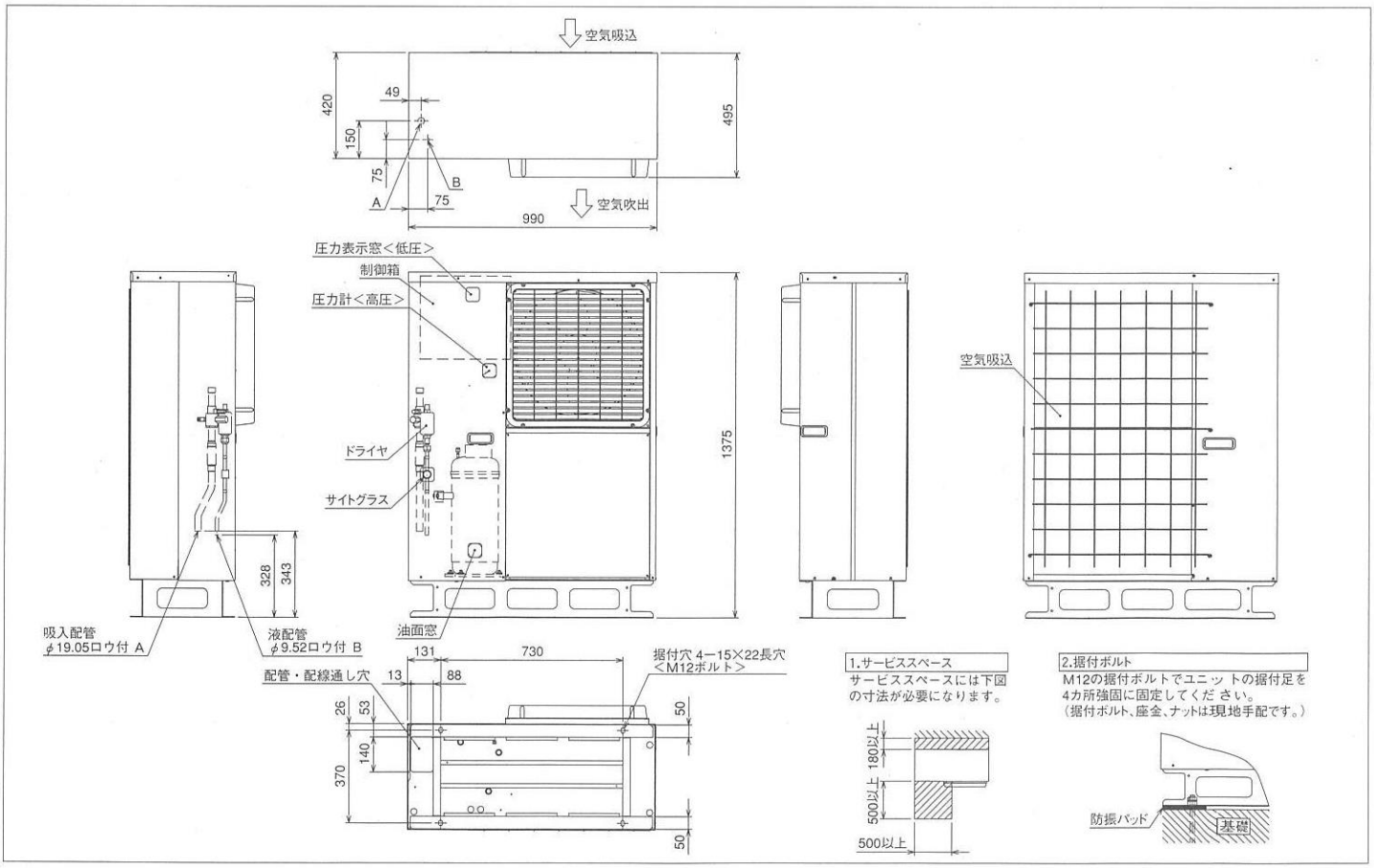


三相 200V 50/60Hz

項目		形名	ERA-EP22A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>	kW	3.1/3.9
	運転電流<注1>	A	10.4/12.1
	力率 <注1>	%	87/93
	始動電流	A	76/67
圧縮機	形名		ZDJ055TA
	定格出力	kW	2.2
	押しのけ量	m³/h	9.9/11.6
	クランクケースヒータ	W	62
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期充てん量 圧縮機	L	2.3
	初期充てん量 その他	L	−
	正規充てん量<注2>	L	1.3
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機 電動機出力	W	110
	送風機 ファン径	mm	φ490×1
	風量	m³/min	60/66
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
受液器	内容量	L	6.5
	可溶栓		有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有<21A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		有<OFF:130℃、ON:108℃>
	ヒューズ 操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A×2，6A<250V 15A>
	逆相防止器		有<基板組込>
	油温検出保護		−
内蔵品	圧力計		有<高圧>
	サクションアキュムレータ		有<4L>
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有
付属部品			チェックジョイント,予備ヒューズ<5A・6A・15A>
外装色			マンセル 5Y 8/1
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,375×990×420
製品質量<荷造質量>		kg	143<146>
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ19.05S
	液配管	mm	φ9.52S
	ホットガス配管	mm	−
騒音<注4>		dB(A)	46/47

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：−10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：−40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 設置条件により−15〜+40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



ERA-EP30A

据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃ <注5>

空冷式 | スクロール | 3.0kW 呼称出力 | 1.6/1.9 法定冷凍トン | −45～−5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

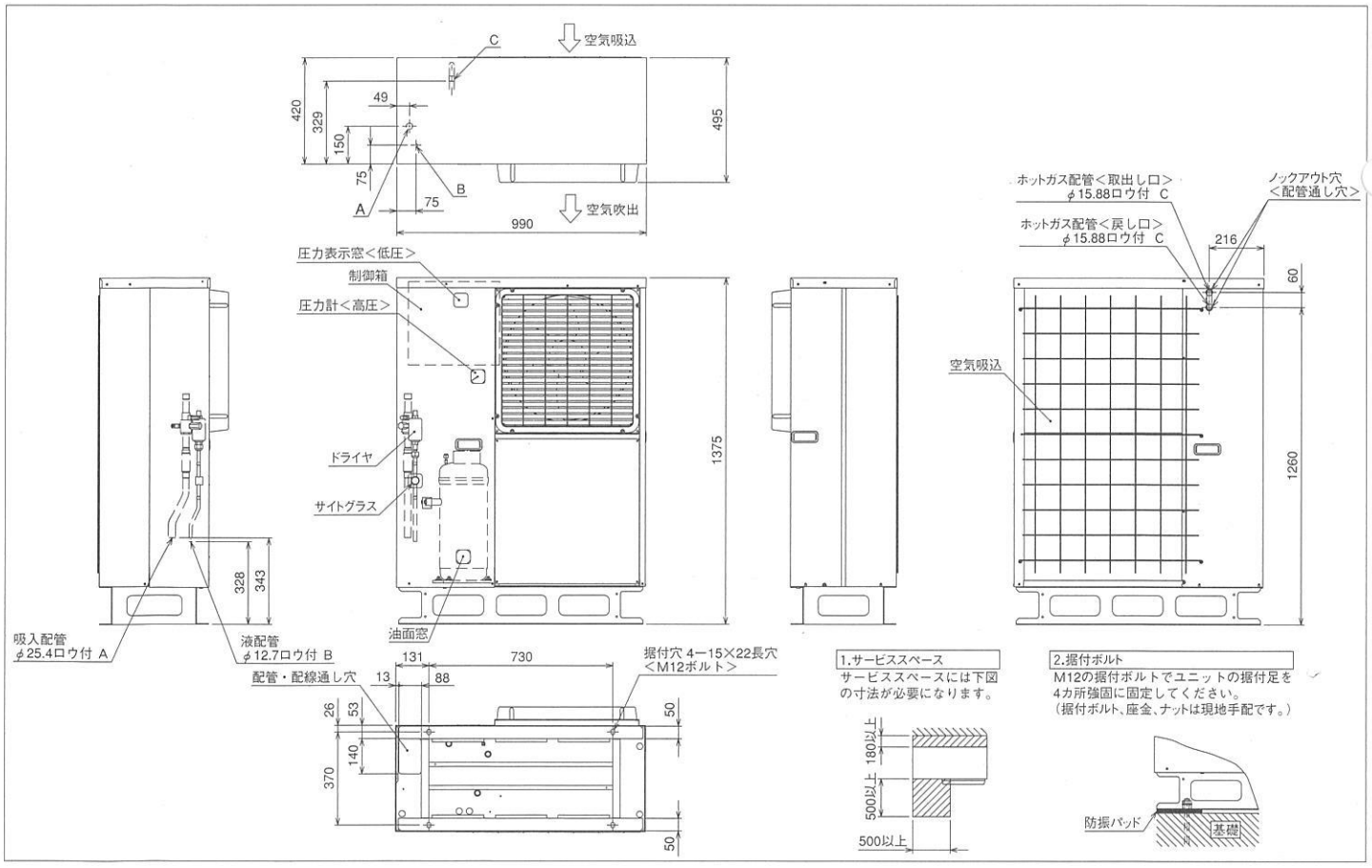
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11～12	P79～80	P106	P110～113	P114～122

三相　200V　50／60Hz

項目			形名	ERA-EP30A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>		kW	4.1／5.0
	運転電流<注1>		A	13.1／15.6
	力率 <注1>		%	90／93
	始動電流		A	86／75
圧縮機	形名			ZDJ075TA
	定格出力		kW	3.0
	押しのけ量		m³/h	13.2／15.4
	クランクケースヒータ		W	62
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期充てん量	圧縮機	L	2.3
		その他	L	−
	正規充てん量<注2>		L	1.3
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式
	送風機	電動機出力	W	110
		ファン径	mm	φ490×1
	風量		m³/min	60／66
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ
受液器	内容量		L	13.2
	可溶栓			有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
保護装置	高低圧圧力開閉器			有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	電磁開閉器・熱動過電流継電器			有<27A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			有<OFF:130℃、ON:108℃>
	ヒューズ	操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A×2，6A<250V 15A>
	逆相防止器			有<基板組込>
	油温検出保護			−
内蔵品	圧力計			有<高圧>
	サクションアキュムレータ			有<9L>
	油分離器			有
	ドライヤ			有
	サイトグラス			有
付属部品				チェックジョイント,予備ヒューズ<5A・6A・15A>
外装色				マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,375×990×420
製品質量<荷造質量>			kg	152<155>
配管寸法<注3>	吸入配管		mm	φ25.4S
	液配管		mm	φ12.7S
	ホットガス配管		mm	φ15.88S
騒音<注4>			dB(A)	47／48

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 設置条件により−15～＋40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ERA-EP37A

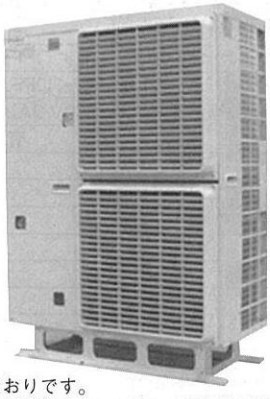
据付方法　屋外設置
周囲温度−15〜＋43℃ <注5>

空冷式 | スクロール | 3.7kW 呼称出力 | 2.0/2.3 法定冷凍トン | −45〜−5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11〜12	P79〜80	P106	P110〜113	P114〜122

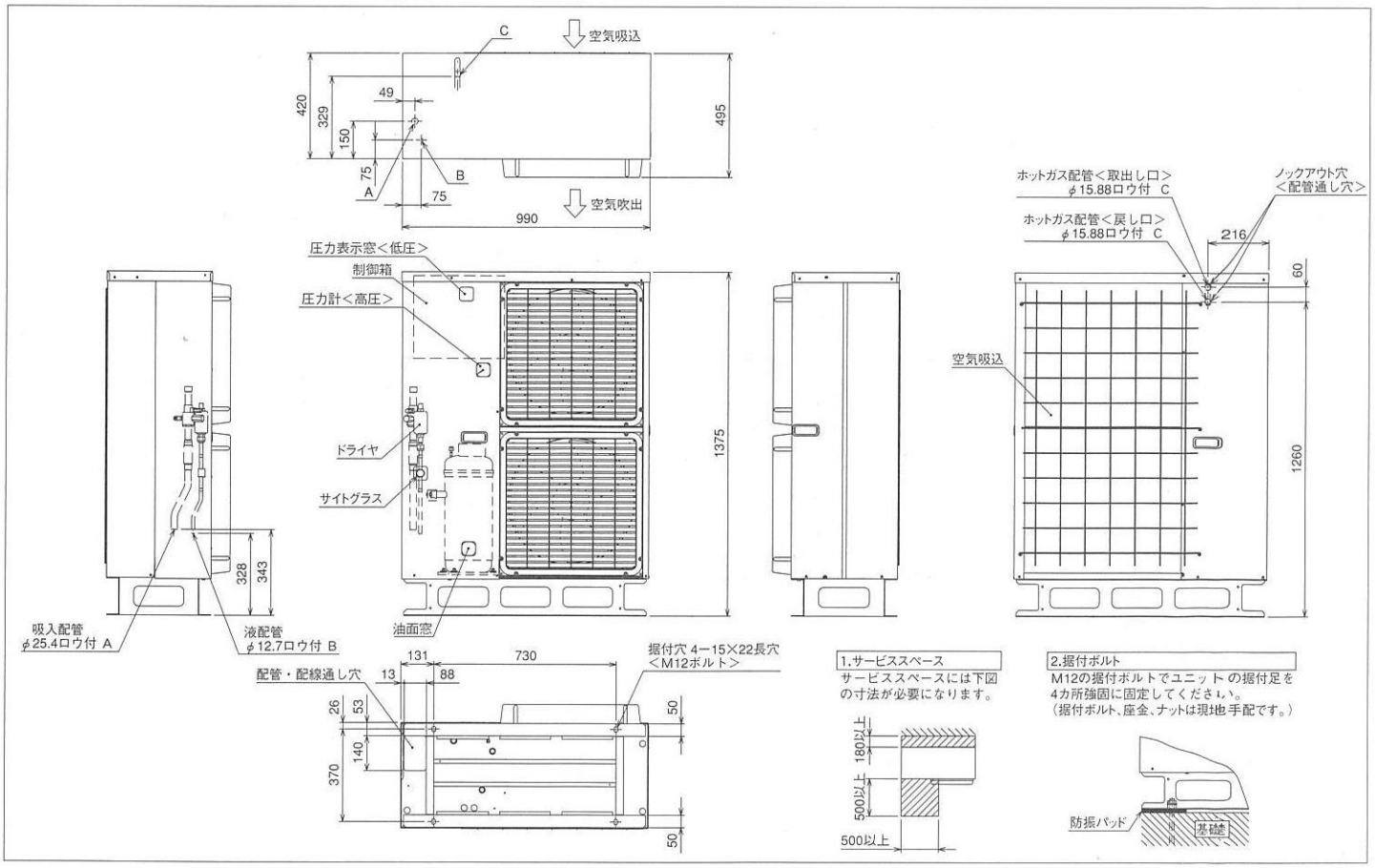


三相 200V 50／60Hz

項目			形名	ERA-EP37A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>		kW	5.0／6.0
	運転電流<注1>		A	15.9／18.3
	力率 <注1>		%	90／94
	始動電流		A	109／94
圧縮機	形名			ZDJ092TA
	定格出力		kW	3.7
	押しのけ量		m³/h	16.1／18.9
	クランクケースヒータ		W	62
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期充てん量	圧縮機	L	2.8
		その他	L	−
	正規充てん量<注2>		L	1.9
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式
	送風機	電動機出力	W	88＋88
		ファン径	mm	φ490×2
	風量		m³/min	96／103
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ
受液器	内容量		L	13.2
	可溶栓			有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
保護装置	高低圧圧力開閉器			有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	電磁開閉器・熱動過電流継電器			有<27A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			有<OFF:130℃、ON:108℃>
	ヒューズ	操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A×2，6A<250V 15A>
	逆相防止器			有<基板組込>
	油温検出保護			有
内蔵品	圧力計			有<高圧>
	サクションアキュムレータ			有<9L>
	油分離器			有
	ドライヤ			有
	サイトグラス			有
付属部品				チェックジョイント,予備ヒューズ<5A・6A・15A>
外装色				マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,375×990×420
製品質量<荷造質量>			kg	158<161>
配管寸法<注3>	吸入配管		mm	φ25.4S
	液配管		mm	φ12.7S
	ホットガス配管		mm	φ15.88S
騒音<注4>			dB(A)	47.5／48.5

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 設置条件により−15〜＋40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



R404A 仕様・外形

ERA-EP45A

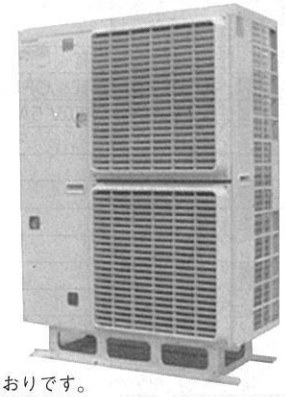
据付方法　屋外設置
周囲温度−15〜＋43℃ <注5>

空冷式　スクロール　4.5kW 呼称出力　2.5/3.0 法定冷凍トン　−45〜−5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11〜12	P79〜80	P106	P110〜113	P114〜122

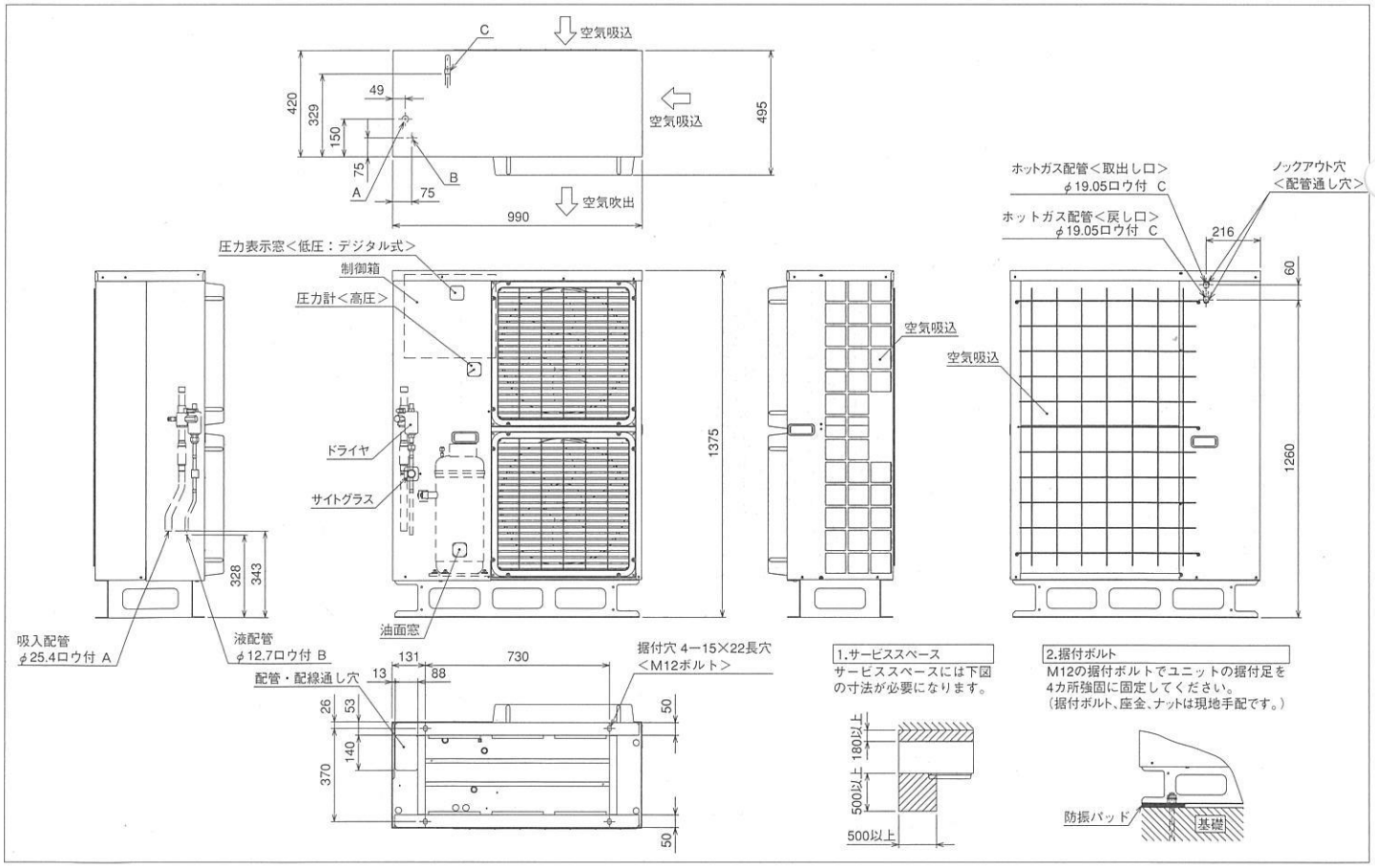


三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ERA-EP45A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>	kW	6.2／7.5
	運転電流<注1>	A	20.4／23.2
	力率 <注1>	%	88／93
	始動電流	A	122／107
圧縮機	形名		ZDJ117TA
	定格出力	kW	4.5
	押しのけ量	m³/h	20.4／23.9
	クランクケースヒータ	W	62
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期充てん量 圧縮機	L	2.8
	初期充てん量 その他	L	−
	正規充てん量<注2>	L	1.9
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機 電動機出力	W	88＋88
	送風機 ファン径	mm	φ490×2
	風量	m³/min	110／115
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
受液器	内容量	L	13.2
	可溶栓		有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有<38A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		有<OFF:130℃、ON:108℃>
	ヒューズ 操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A×2，6A<250V 15A>
	逆相防止器		有<基板組込>
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有<高圧>
	サクションアキュムレータ		有<9L>
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有
付属部品			チェックジョイント,予備ヒューズ<5A・6A・15A>
外装色			マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,375×990×420
製品質量<荷造質量>		kg	160<163>
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ25.4S
	液配管	mm	φ12.7S
	ホットガス配管	mm	φ19.05S
騒音<注4>		dB(A)	48／49

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：−40℃
　測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 設置条件により−15〜＋40℃になる場合があります。
　工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ERA-EP55A

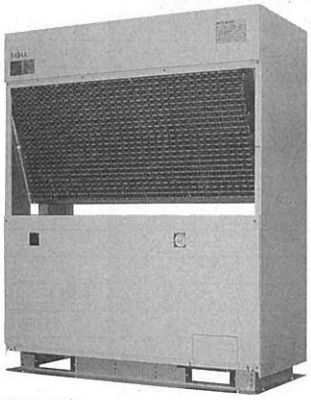
据付方法　屋外設置
周囲温度−15〜＋43℃

空冷式　スクロール　5.5kW 呼称出力　3.0/3.5 法定冷凍トン　−45〜−5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11〜12	P81〜82	P106	P110〜113	P114〜122

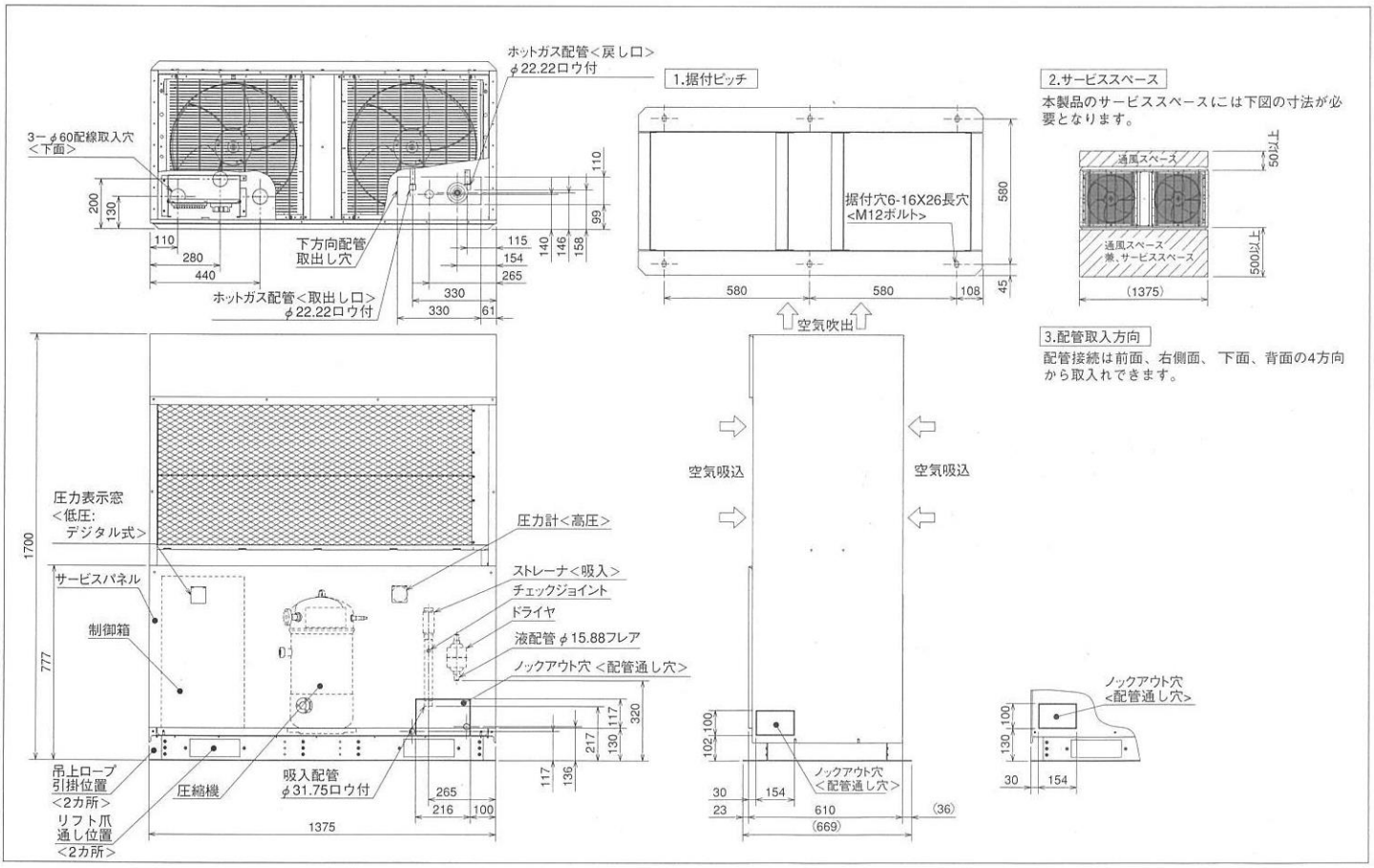


三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ERA-EP55A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	6.7／8.15
	運転電流＜注1＞	A	21.9／24.9
	力率＜注1＞	%	88.3／94.5
	始動電流	A	240／217
圧縮機	形名		UDJ137TA-H
	定格出力	kW	5.5
	押しのけ量	m³/h	23.9／28.0
	クランクケースヒータ	W	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量　圧縮機	L	4.9
	初期充てん量　その他	L	−
	正規充てん量＜注2＞	L	3.9
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機　電動機出力	W	110×2
	送風機　ファン径	mm	φ490×2
	風量	m³/min	100／120
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
受液器	内容量	L	26
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜38A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A×2，6A＜250V 15A＞
	逆相防止器		有＜基板組込＞
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜7L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A・6A・15A＞
外装色			マンセル 5Y 8／1
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,700×1,375×610
製品質量＜荷造質量＞		kg	278＜283＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ31.75S
	液配管	mm	φ15.88F
	ホットガス配管	mm	φ22.22S
騒音＜注4＞		dB(A)	51.5／52.5

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：−10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：−40℃，設定：低騒音モード
　測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



ERA-EP75A

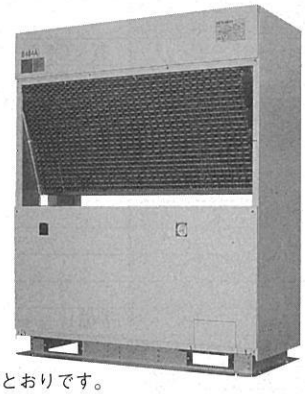
据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式　スクロール　7.5kW 呼称出力　3.6/4.2 法定冷凍トン　－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11～12	P81～82	P106	P110～113	P114～122

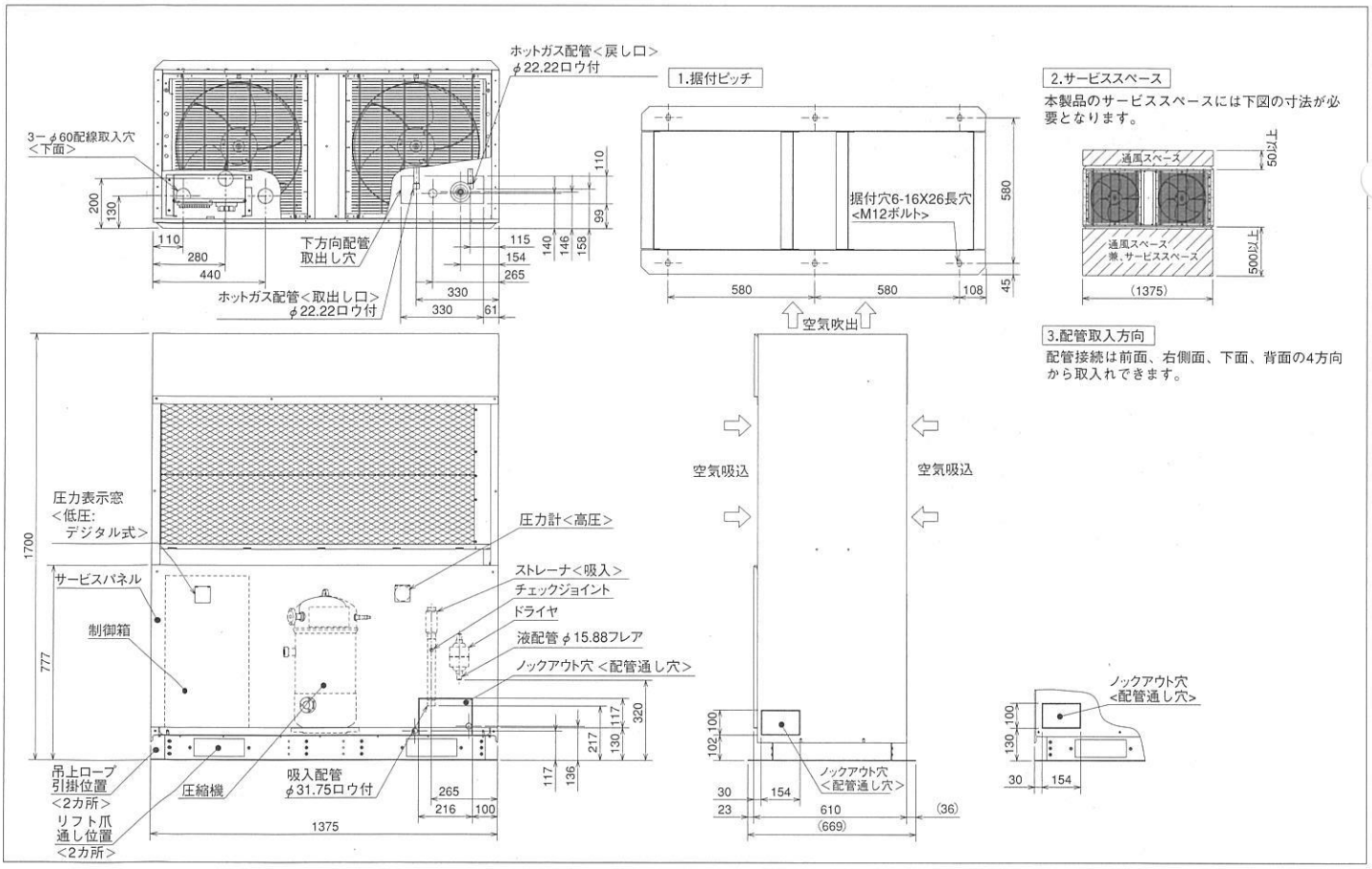


注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃，設定：低騒音モード
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ERA-EP75A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	7.8／9.5
	運転電流＜注1＞	A	24.5／29.1
	力率＜注1＞	%	91.9／94.2
	始動電流	A	240／217
圧縮機	形名		UDJ165TA-H
	定格出力	kW	7.45
	押しのけ量	m³/h	28.7／33.7
	クランクケースヒータ	W	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量　圧縮機	L	4.9
	初期充てん量　その他	L	－
	正規充てん量＜注2＞	L	3.9
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機　電動機出力	W	200×2
	送風機　ファン径	mm	φ490×2
	風量	m³/min	110／132
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
受液器	内容量	L	26
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜50A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A×2，6A＜250V 15A＞
	逆相防止器		有＜基板組込＞
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜7L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A・6A・15A＞
外装色			マンセル　5Y 8／1
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,700×1,375×610
製品質量＜荷造質量＞		kg	287＜292＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ31.75S
	液配管	mm	φ15.88F
	ホットガス配管	mm	φ22.22S
騒音＜注4＞		dB(A)	52.5／53.5

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。



MITSUBISHI

ECA-EP150A

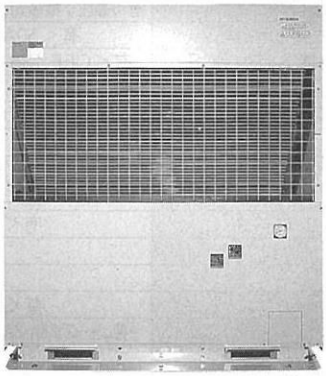
据付方法　屋　外　設　置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式　スクロール　15kW 呼称出力　7.2/8.4 法定冷凍トン　－45～－20℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒　0-50-100％（順次始動）容量制御

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11～12	P83～84	P106	P110～113	P114～122

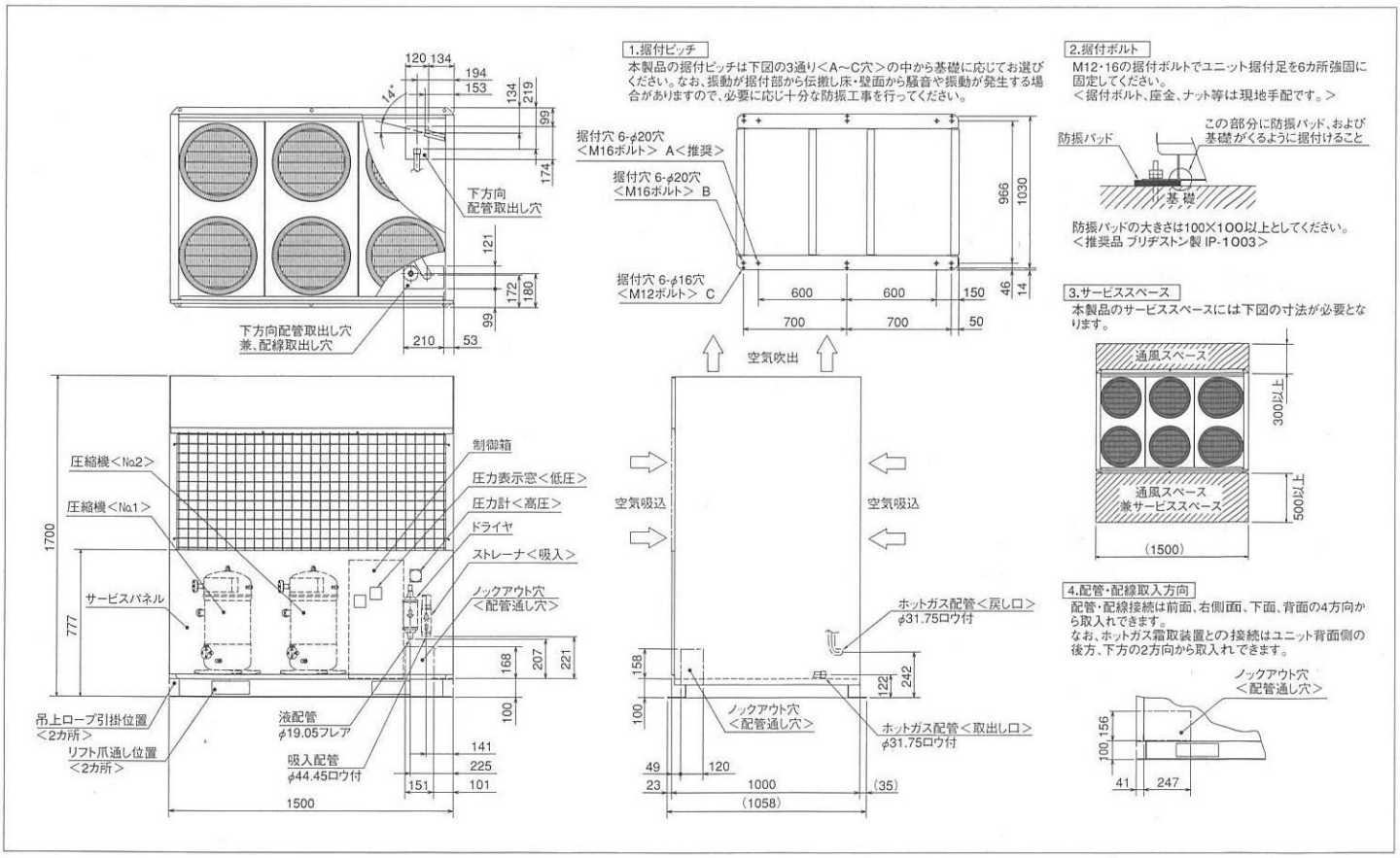


三相　200V　50／60Hz

項目			形名	ECA-EP150A (-BS・-BSG)	
電気特性	消費電力＜注1＞		kW	11.8／13.9	
	運転電流＜注1＞		A	41.0／44.4	
	力　率　＜注1＞		%	83.1／90.4	
	始動電流		A	272／255	
圧縮機	形　名			UDJ165TA-RH＜No.1＞	UDJ165TA-RH＜No.2＞
	定格出力		kW	7.45	7.45
	押しのけ量		m³/h	28.7／33.7	28.7／33.7
	クランクケースヒータ		W	72	72
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32	
	初期充てん量	圧縮機	L	3.5	3.5
		その他	L	6＜アキュムレータ内＞	
	正規充てん量＜注2＞		L	＜3.5×2＞＋6	
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式	
	送風機	電動機出力	W	100×5	
		ファン径	mm	φ400×5	
	風　量		m³/min	333／333	
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ	
受液器	内容量		L	48	
	可溶栓			有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞	
高圧カット防止機能				―	
保護装置	高低圧圧力開閉器			有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞	
	電磁開閉機・熱動過電流継電器			有＜50A設定＞×2	
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞			有＜OFF:135℃、ON:115℃＞	
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞			有＜OFF:130℃、ON:108℃＞	
	ヒューズ	操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A×1、250V 6A×1＜250V 15A×2＞	
	逆相防止器			有	
	油温検出保護			有	
内蔵品	圧力計			有＜高圧＞	
	サクションアキュムレータ			有＜18L＞	
	油分離器			有	
	ドライヤ			有	
	サイトグラス			有＜付属＞	
付属部品				予備ヒューズ＜5A,6A,15A＞、チェックジョイント	
外装色				マンセル　5Y 8／1	
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞			mm	1,700×1,500×1,000＜1,058＞	
製品質量＜荷造質量＞			kg	515＜520＞	
配管寸法＜注3＞	吸入配管		mm	φ44.45S	
	液配管		mm	φ19.05F	
	ホットガス配管		mm	φ31.75S	
騒　音＜注4＞			dB(A)	54／55	

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃，設定：低騒音モード
　測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



ECA-EP225A

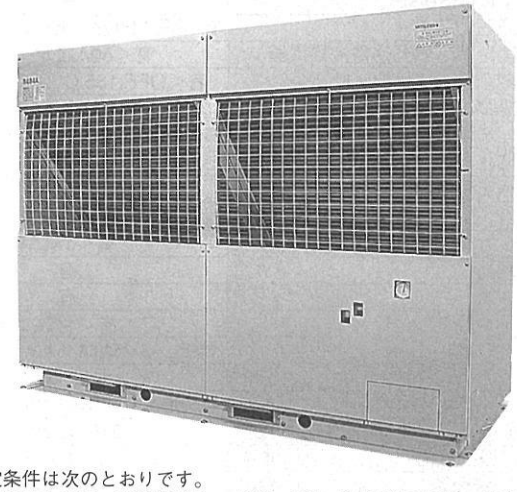
据付方法　屋　外　設　置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式 | スクロール | 22.5kW 呼称出力 | 10.8/12.6 法定冷凍トン | －45～－20℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒 | 0-33-67-100％（順次始動）容量制御

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表 P11～12 | 電気回路 P85～86 | 電気特性 P106 | 据付関係資料 P110～113 | お客様へ／オプション P114～122

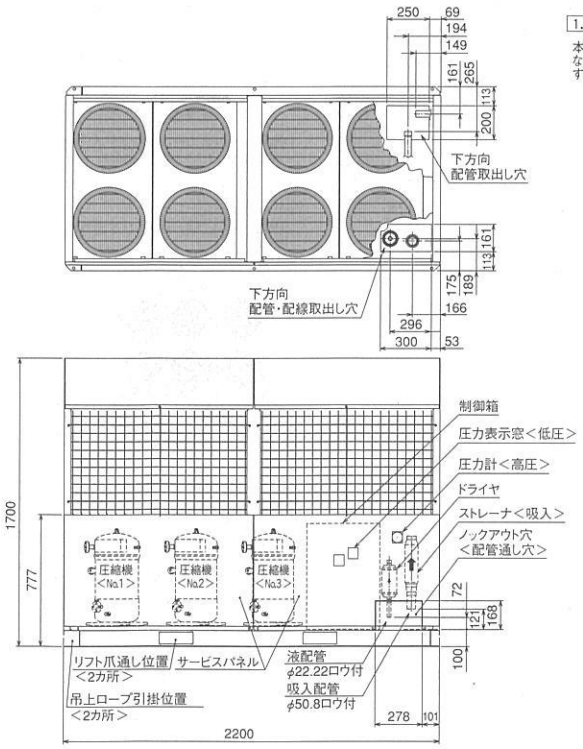


三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ECA-EP225A (-BS・-BSG)		
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	18.9／22.3		
	運転電流＜注1＞	A	66.2／70.5		
	力率＜注1＞	%	82.4／91.3		
	始動電流	A	304／291		
圧縮機	形名		UDJ165TA-RH ＜No.1＞	UDJ165TA-RH ＜No.2＞	UDJ165TA-RH ＜No.3＞
	定格出力	kW	7.45	7.45	7.45
	押しのけ量	m^3/h	28.7／33.7	28.7／33.7	28.7／33.7
	クランクケースヒータ	W	72	72	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32		
	初期充てん量 圧縮機	L	3.5	3.5	3.5
	初期充てん量 その他	L	7＜アキュムレータ内＞		
	正規充てん量＜注2＞	L	＜3.5×3＋7＞		
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式		
	送風機 電動機出力	W	100×6		
	送風機 ファン径	mm	φ400×6		
	風量	m^3/min	400／400		
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ		
受液器	内容量	L	74		
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞		
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞		
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜50A設定＞×3		
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞		
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞		
	ヒューズ 操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A×1、250V 6A×1＜250V 15A×2＞		
	逆相防止器		有		
	油温検出保護		有		
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞		
	サクションアキュムレータ		有＜25L＞		
	油分離器		有		
	ドライヤ		有		
	サイトグラス		有＜付属＞		
付属部品			予備ヒューズ＜5A・6A・15A＞、チェックジョイント		
外装色			マンセル 5Y 8／1		
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,700×2,200×1,000＜1,086＞		
製品質量＜荷造質量＞		kg	770＜775＞		
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ50.8S		
	液配管	mm	φ22.22S		
	ホットガス配管	mm	φ38.1S		
騒音＜注4＞		dB(A)	55／56		

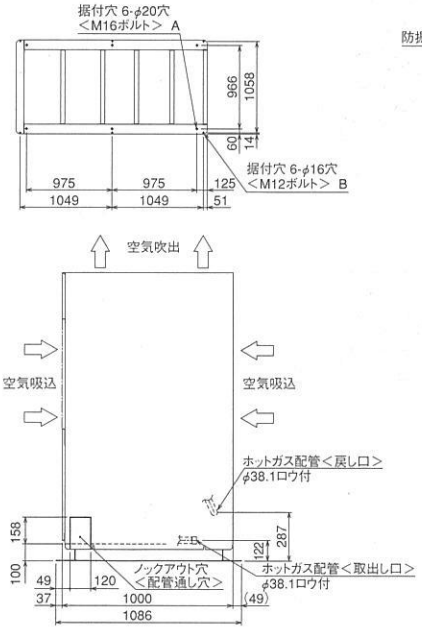
＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃、蒸発温度：－40℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃、蒸発温度：－40℃、設定：低騒音モード
　測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



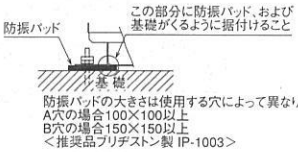
1.据付ピッチ

本製品の据付ピッチは下図の2通り＜A・B穴＞から基礎に応じてお選びください。なお、振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。



2.据付ボルト

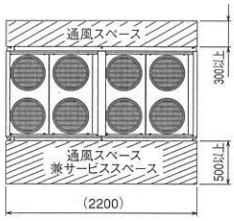
M12・16の据付ボルトでユニット据付足を6カ所強固に固定してください。
＜据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。＞



防振パッドの大きさは使用する穴によって異なります
A穴の場合100×100以上
B穴の場合150×150以上
＜推奨品ブリヂストン製 IP-1003＞

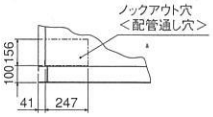
3.サービススペース

本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。



4.配管・配線取入方向

配管・配線接続は前面、右側面、下面、背面の4方向から取入れできます。
なお、ホットガス電取装置との接続はユニット背面側の後方、下方の2方向から取入れできます。



MITSUBISHI

ERA-P110A

据付方法　屋外設置
周囲温度−15〜＋43℃

空冷式　半密閉　10.8kW 呼称出力　6.7/8.0 法定冷凍トン　−45〜−5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11〜12	P87〜88	P107	P110〜113	P114〜122

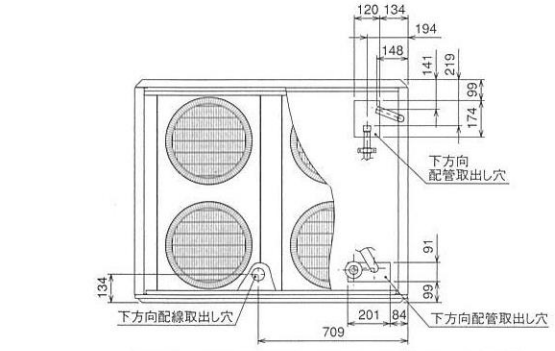
三相　200V　50／60Hz

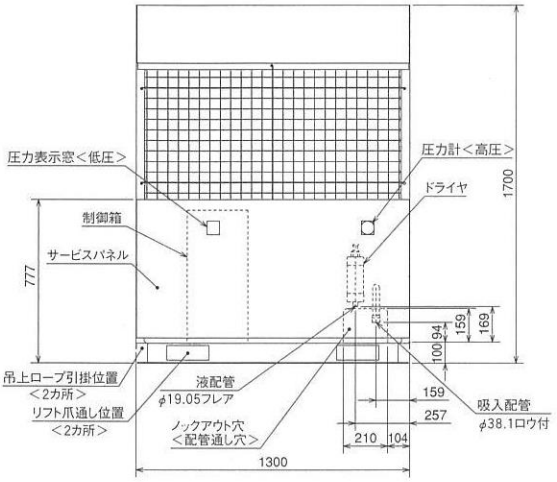
項目		形名	ERA-P110A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	14.0／17.4
	運転電流＜注1＞	A	51.4／59.3
	力率＜注1＞	%	78.6／84.7
	始動電流	A	299／276
圧縮機	形名		FBD-4LST
	定格出力	kW	10.8
	押しのけ量	m³/h	54.6／65.9
	クランクケースヒータ	W	180
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量　圧縮機	L	8.0
	初期充てん量　その他	L	−
	正規充てん量＜注2＞	L	6.5
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機　電動機出力	W	100×4
	送風機　ファン径	mm	φ400×4
	風量	m³/min	257／257
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
受液器	内容量	L	40
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜75A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A×2、6A＜250V 15A＞
	逆相防止器		−
	油温検出保護		−
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		−
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A・6A・15A＞
外装色			マンセル 5Y 8／1
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,700×1,300×1,000
製品質量＜荷造質量＞		kg	472＜477＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ38.1S
	液配管	mm	φ19.05F
	ホットガス配管	mm	φ31.75S
騒音＜注4＞		dB(A)	59／61

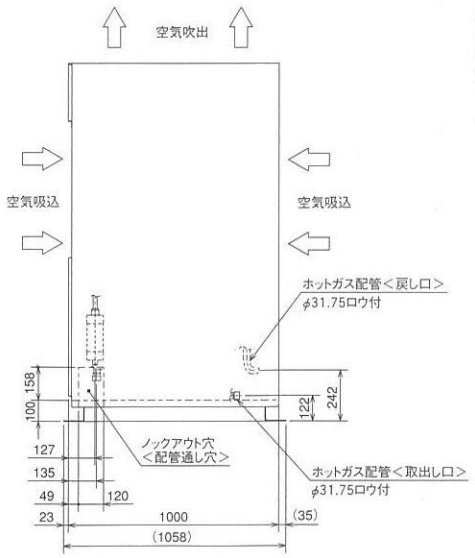
＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃、蒸発温度：−10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃、蒸発温度：−15℃
　測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

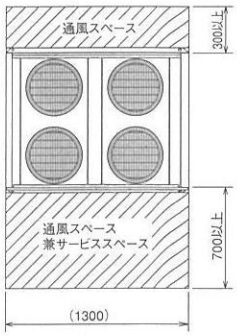
※据付図については、32ページを参照ください。



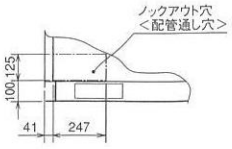




サービススペース
本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。



配管・配線取入方向
配管・配線接続は前面、右側面、下面、背面の4方向から取入れできます。
なお、ホットガス霜取装置との接続はユニット背面側の後方、下方の2方向から取入れできます。



ERA-P150A

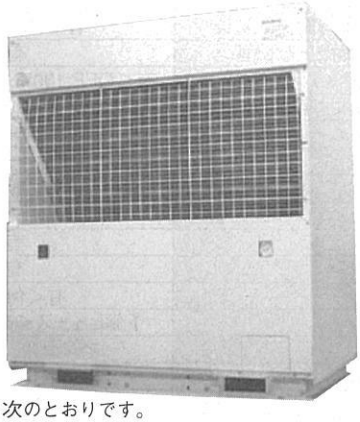
据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式　半密閉　15.0kW 呼称出力　8.6/10.4 法定冷凍トン　－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表 P11～12 | 電気回路 P87～88 | 電気特性 P107 | 据付関係資料 P110～113 | お客様へ／オプション P114～122



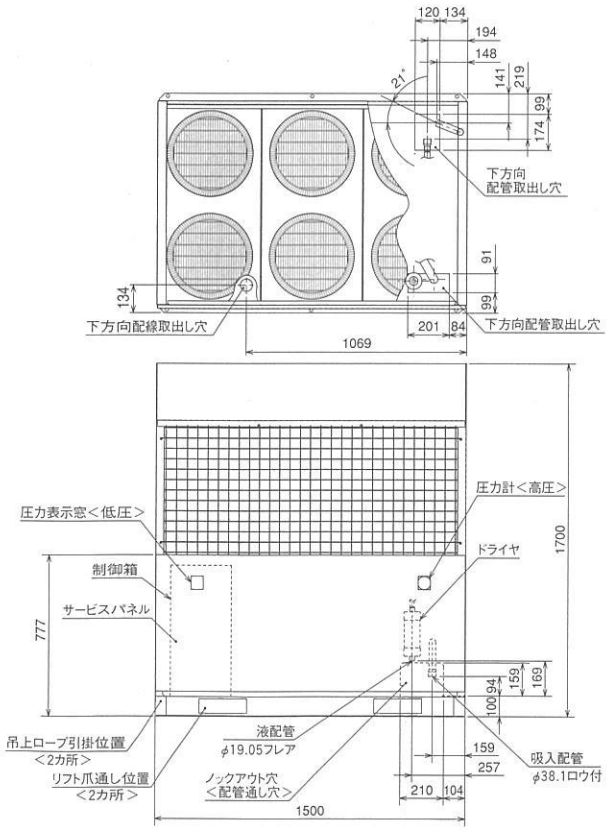
三相　200V　50／60Hz

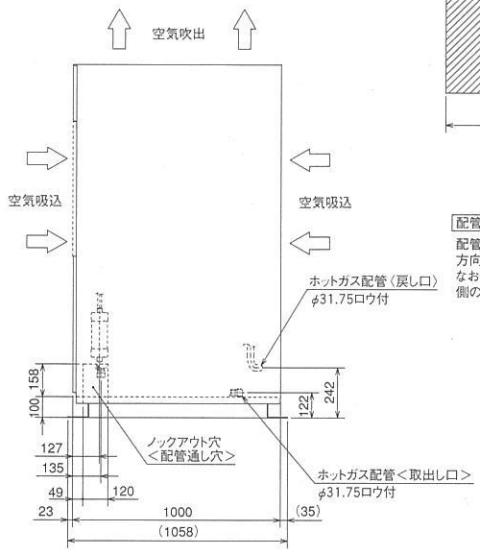
項目		形名	ERA-P150A (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	19.9／24.7
	運転電流＜注1＞	A	71.4／77.3
	力率＜注1＞	%	80.5／92.2
	始動電流	A	432／382
圧縮機	形名		FBD-4EST
	定格出力	kW	15.0
	押しのけ量	m³/h	70.4／85.0
	クランクケースヒータ	W	180
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量 圧縮機	L	8.0
	初期充てん量 その他	L	―
	正規充てん量＜注2＞	L	6.5
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機 電動機出力	W	100×6
	送風機 ファン径	mm	φ400×6
	風量	m³/min	386／386
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
受液器	内容量	L	48
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜93A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ 操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A×2、6A＜250V 15A＞
	逆相防止器		―
	油温検出保護		―
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		―
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A・6A・15A＞
外装色			マンセル 5Y 8／1
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,700×1,500×1,000
製品質量＜荷造質量＞		kg	522＜527＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ38.1S
	液配管	mm	φ19.05F
	ホットガス配管	mm	φ31.75S
騒音＜注4＞		dB(A)	61／63

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－15℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

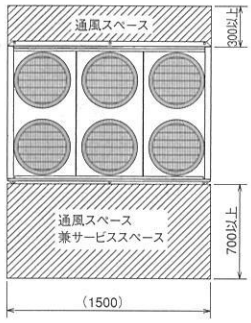
＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

※据付図については、32ページを参照ください。

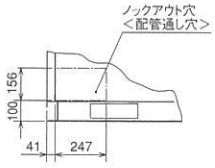




サービススペース
本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。

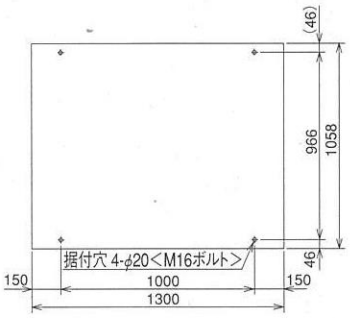


配管・配線取入方向
配管・配線接続は前面、右側面、下面、背面の4方向から取入れできます。
なお、ホットガス霜取装置との接続はユニット背面側の後方、下方の2方向から取入れできます。



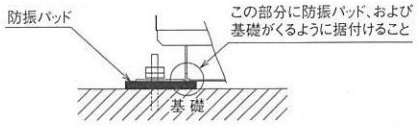
MITSUBISHI

■ERA-P110A

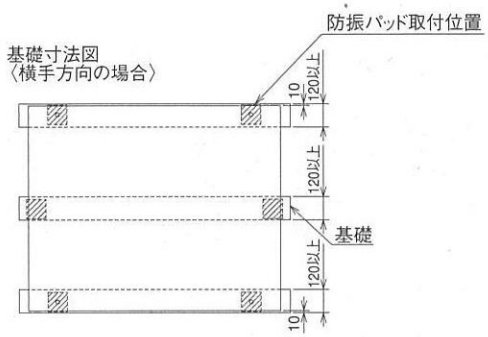


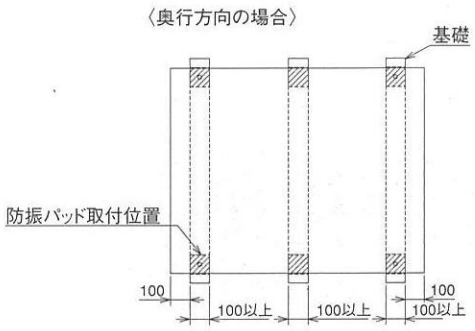
据付ピッチ
振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。

据付ボルト
M16の据付ボルトでユニット据付足を4カ所強固に固定してください。
〈据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。〉



防振パッドの大きさは100X100以上
<推奨品 ブリヂストン製 IP−1003>

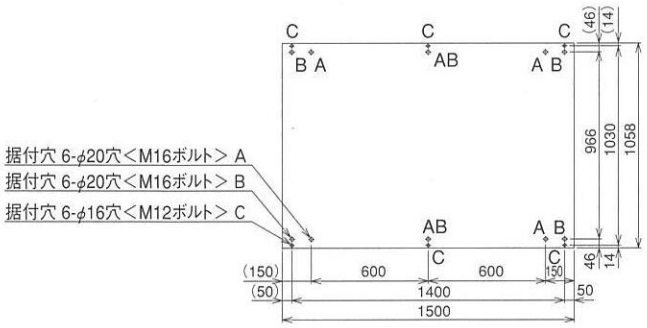




■ERA-P150A

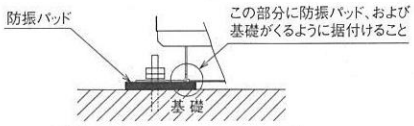
据付穴	穴径	使用例
A	φ20	横手方向に基礎がある場合で埋込式アンカーボルトに対応〈推奨〉
B	φ20	奥行方向に基礎がある場合で埋込式アンカーボルトに対応
C	φ16	従来ユニットのリニューアル等で、既設アンカーボルトを使用される場合、または後打式アンカーボルトを使用される場合に対応

据付穴詳細図

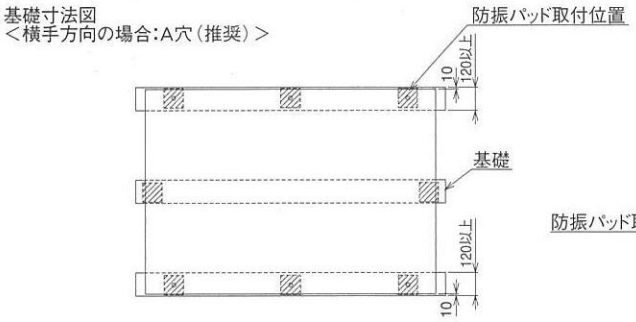


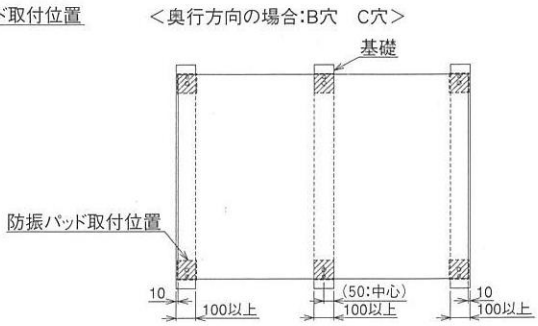
据付ピッチ
本製品の据付ピッチは本図の3通り〈A・B・C穴〉から基礎に応じてお選びください。
なお、振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。

据付ボルト
M12・16の据付ボルトでユニット据付足を4カ所強固に固定してください。
〈据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。〉



防振パッドの大きさは100X100以上
<推奨品 ブリヂストン製 IP−1003>





ECA-P185A

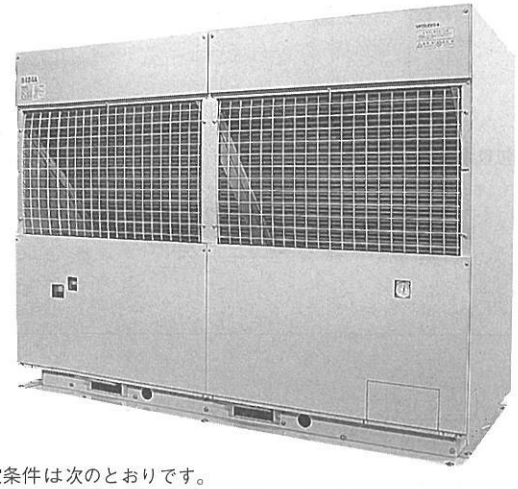
据付方法 屋外設置
周囲温度−15〜+43℃

空冷式 | 半密閉 | **18.5kW** 呼称出力 | **11.5/13.8** 法定冷凍トン | **−20〜−5℃** 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒 | **0-42-58-100%** (順次始動) 容量制御

(耐塩害・耐重塩害仕様もあります。)

能力表 P11〜12 | 電気回路 P91〜92 | 電気特性 P107 | 据付関係資料 P110〜113 | お客様へ/オプション P114〜122

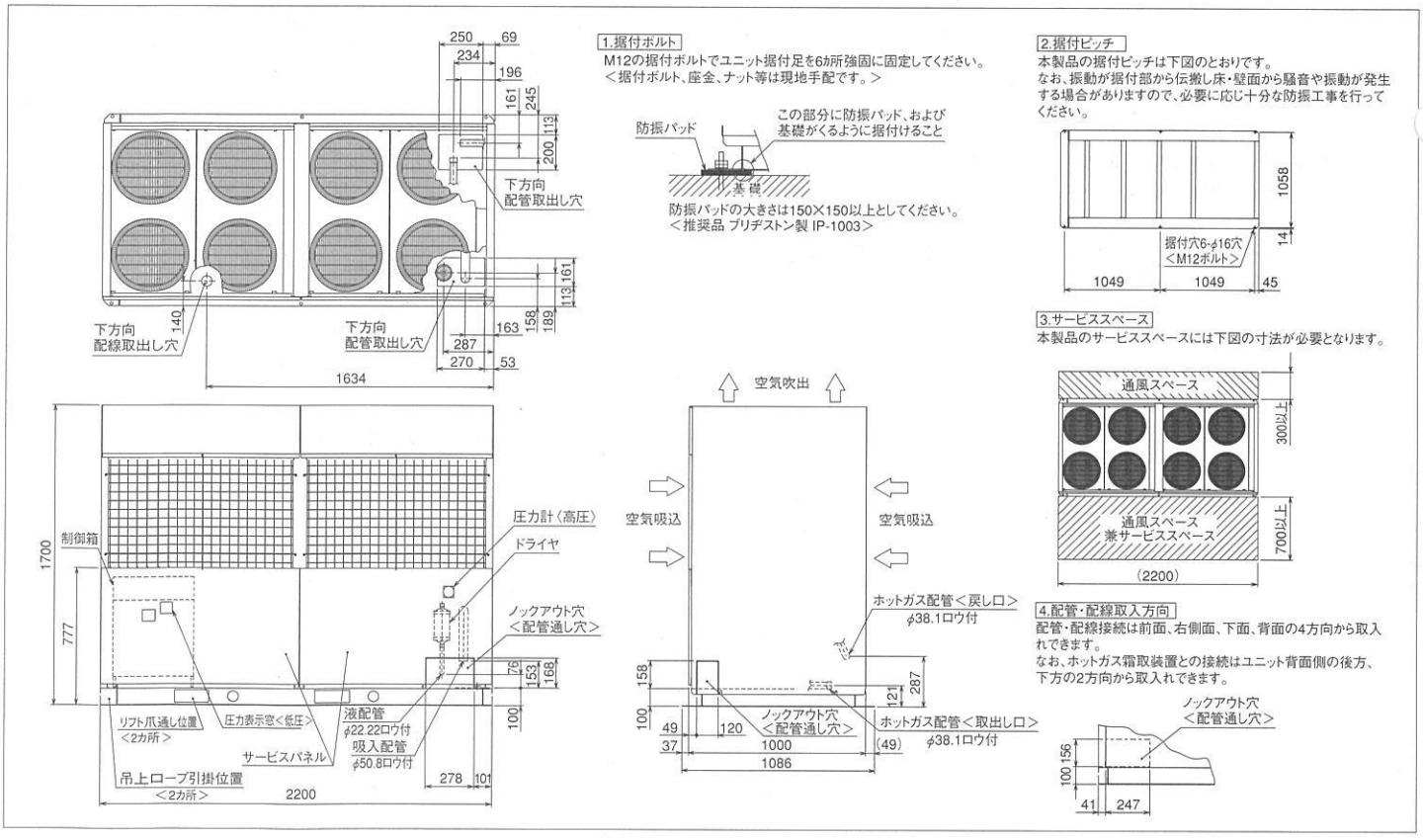


三相 200V 50/60Hz

項目		形名	ECA-P185A (-BS・-BSG)	
電気特性	消費電力<注1>	kW	22.5/28.4	
	運転電流<注1>	A	84.1/96.2	
	力率 <注1>	%	77.2/85.2	
	始動電流	A	299/276	
圧縮機	形名		FBD-4LST <No.1>	FBD-3MST <No.2>
	定格出力	kW	10.8	7.45
	押しのけ量	m³/h	54.6/65.9	39.4/47.5
	クランクケースヒータ	W	180	180
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32	
	初期充てん量 圧縮機	L	6.5	5.1
	初期充てん量 その他	L	4.0<アキュムレータ>	
	正規充てん量<注2>	L	6.5	4.8
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式	
	送風機 電動機出力	W	100×8	
	送風機 ファン径	mm	φ400×8	
	風量	m³/min	460/490	
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ	
受液器	内容量	L	74	
	可溶栓		有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有<75A設定>	有<50A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>	
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		有<OFF:130℃、ON:108℃>	
	ヒューズ 操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A×3	<250V 15A×4>
	ヒューズ マイコン基板		250V 6A×1	
	逆相防止器		−	
	油温検出保護		−	
内蔵品	圧力計		有<高圧>	
	サクションアキュムレータ		有<25L>	
	油分離器		−	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有<付属>	
	容量制御機器		マイコン基板、圧力センサ	
付属部品			予備ヒューズ<5A・6A・15A>、応急運転用コネクタ	
外装色			マンセル 5Y 8/1	
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,700×2,200×1,000	
製品質量<荷造質量>		kg	845<850>	
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ50.8S	
	液配管	mm	φ22.22S	
	ホットガス配管	mm	φ38.1S	
騒音<注4>		dB(A)	64/65	

注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：−10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
2. 正規油量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄 記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：−10℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。



MITSUBISHI

ECA-P225A

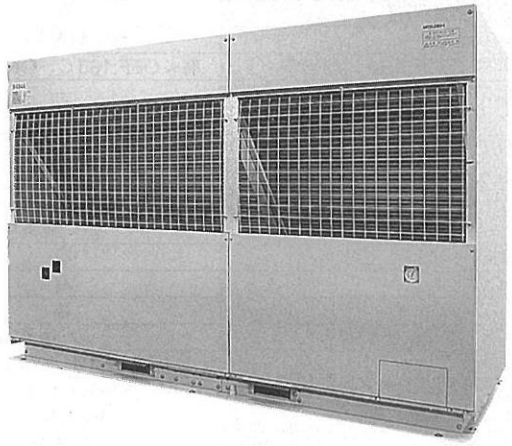
据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式 | 半密閉 | 22.5kW 呼称出力 | 13.4/16.2 法定冷凍トン | －20～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒 | 0-36-64-100％（順次始動）容量制御

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11～12	P91～92	P107	P110～113	P114～122

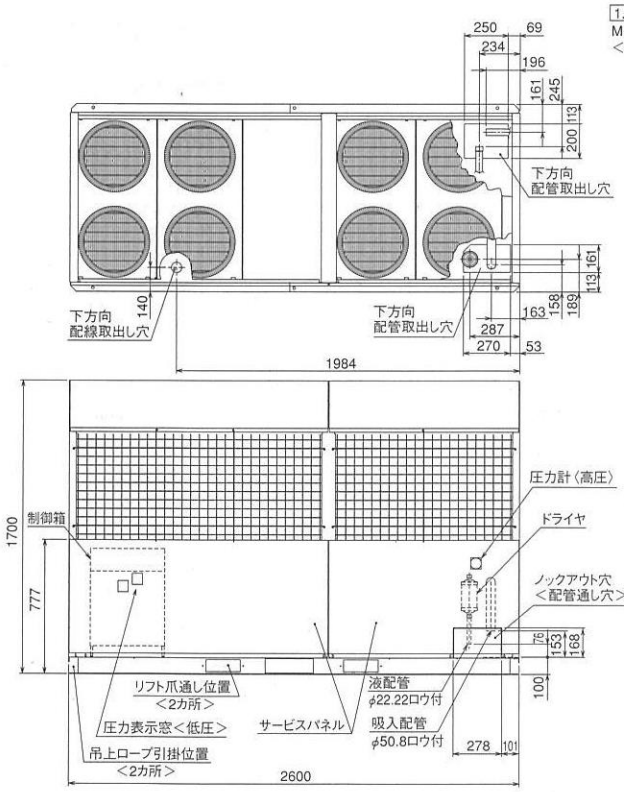


三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ECA-P225A (-BS・-BSG)	
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	27.4／34.3	
	運転電流＜注1＞	A	98.9／113.1	
	力率＜注1＞	%	80.0／87.5	
	始動電流	A	432／382	
圧縮機	形名		FBD-4EST ＜No.1＞	FBD-3MST ＜No.2＞
	定格出力	kW	15.0	7.45
	押しのけ量	m³/h	70.4／85.0	39.4／47.5
	クランクケースヒータ	W	180	180
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32	
	初期充てん量　圧縮機	L	6.5	5.1
	初期充てん量　その他	L	4.0＜アキュムレータ＞	
	正規充てん量＜注2＞	L	6.5	4.8
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式	
	送風機　電動機出力	W	100×8	
	送風機　ファン径	mm	φ400×8	
	風量	m³/min	460／490	
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ	
受液器	内容量	L	74	
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜93A設定＞	有＜50A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞	
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞	
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A×3	＜250V 15A×4＞
	ヒューズ　マイコン基板		250V 6A×1	
	逆相防止器		—	
	油温検出保護		—	
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞	
	サクションアキュムレータ		有＜25L＞	
	油分離器		—	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有＜付属＞	
	容量制御機器		マイコン基板、圧力センサ	
付属部品			予備ヒューズ＜5A・6A・15A＞、応急運転用コネクタ	
外装色			マンセル　5Y 8／1	
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,700×2,600×1,000	
製品質量＜荷造質量＞		kg	915＜920＞	
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ50.8S	
	液配管	mm	φ22.22S	
	ホットガス配管	mm	φ38.1S	
騒音＜注4＞		dB(A)	64／66	

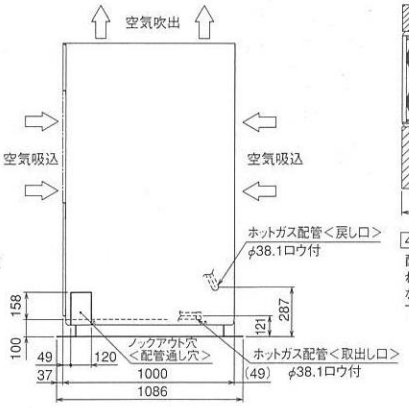
＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

注1. 測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃、蒸発温度：－10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃、蒸発温度：－10℃
　測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

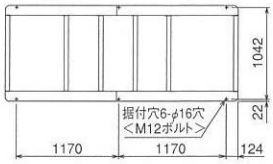


1.据付ボルト
M12の据付ボルトでユニット据付足を6カ所強固に固定してください。
＜据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。＞

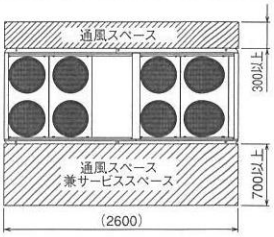
防振パッドの大きさは150×150以上としてください。
＜推奨品 ブリヂストン製 IP-1003＞



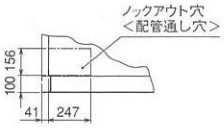
2.据付ピッチ
本製品の据付ピッチは下図のとおりです。
なお、振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。



3.サービススペース
本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。



4.配管・配線取入方向
配管・配線接続は前面、右側面、下面、背面の4方向から取入れできます。
なお、ホットガス霜取装置との接続はユニット背面側の後方、下方の2方向から取入れできます。



ERAV-EP45A-CV

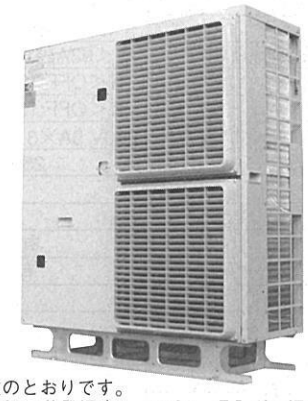
据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃ <注4>

空冷式 | スクロール | インバータ | 4.5kW 呼称出力 | 3.2 法定冷凍トン

－20～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲 | R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P11～12	P89	P105	P110～113	P114～122

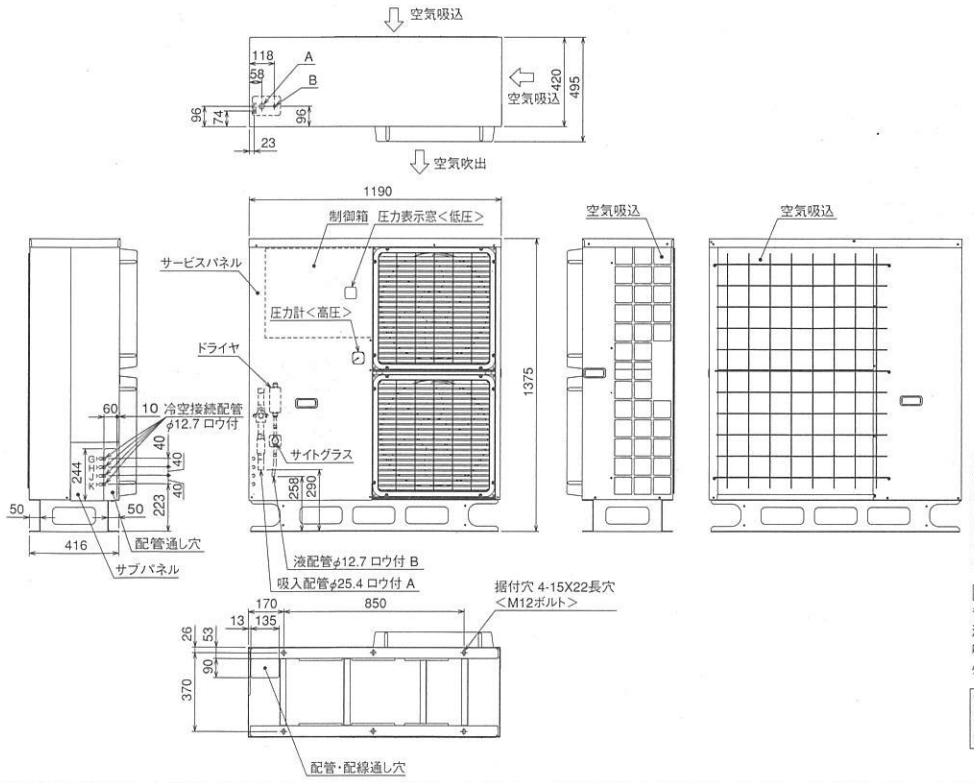


三相　200V　50／60Hz

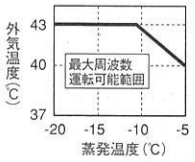
項目			形名	ERAV-EP45A-CV (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>		kW	5.9
	運転電流<注1>		A	18.6
	力率<注1>		%	91
	始動電流		A	15.0／15.0
圧縮機	形名			HDB92FA
	定格出力		kW	4.5
	押しのけ量		m³/h	26.3
	クランクケースヒータ		W	45
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量	圧縮機	L	3.0
		その他	L	－
	正規充てん量		L	3.0
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式
	送風機	電動機出力	W	88＋88
		ファン径	mm	φ490×2
	風量		m³/min	110.0／115.0
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ
受液器	内容量		L	13.0
	可溶栓			有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
高圧カット防止機能				有
保護装置	高低圧圧力開閉器			有
	過電流保護			有<41A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			－
	ヒューズ	操作回路用<凝縮機送風機用>		250A×6 <－>
	逆相防止器			有<基板組込>
	油温検出保護			有
内蔵品	圧力計			有<高圧>
	サクションアキュムレータ			有<9L>
	油分離器			有
	ドライヤ			有
	サイトグラス			有
付属部品				チェックジョイント
外装色				マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,375×1,190×420
製品質量<荷造質量>			kg	197<201>
配管寸法<注2>	吸入配管		mm	φ25.4S
	液配管		mm	φ12.7S
	空調・冷蔵間	－	－	φ12.7S×4ヶ所
		配管長	mm	φ12.5以下　<注6>
騒音<注3>			dB(A)	48（42）

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

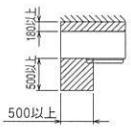
注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
運転周波数：63Hz, 冷凍機単独運転時
2. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
3. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－10，運転周波数：52Hz
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
（　）内は夜間などの周囲温度が25℃以下となった場合の値を示します。
4. 設置条件により－15～＋40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
5. ユニットクーラとの組合わせでご使用になる場合には、当社製クーラとの組合わせでご使用をお願いします。
6. 液配管長さ＋空調・冷蔵間接続配管長さ×4本≦50mとなるようにしてください。
7. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



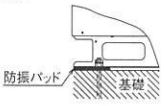
最大周波数（100Hz）で運転可能な領域は下図のとおりです。



1.サービススペース
サービススペースには下図の寸法が必要になります。



2.据付ボルト
M12の据付ボルトでユニットの据付足を4カ所強固に固定してください。
（据付ボルト、座金、ナットは現地手配です。）



3.空調室外ユニット・冷蔵室外ユニット間配管接続
空調室外ユニット・冷蔵室外ユニット間の配管は、G・H・J・Kに接続してください。
空調室外ユニット、冷蔵室外ユニットは10mm以上はなして設置してください。
また、冷蔵室外ユニット液配管+空調室外ユニット・冷蔵室外ユニット間配管4本の長さ合計が50m以下となるように設置してください。

4.液配管断熱
省エネ運転時冷蔵室外ユニットの液配管にサブクールがつき外気温度より液温が低くなる場合がありますので、
吸入配管に加え液配管、空調機室外ユニット・冷蔵室外ユニット間配管は必ず断熱を施してください。

空調室外ユニットと複合運転（省エネ運転）を行う場合の据付方法詳細は据付工事説明書（システム編）を参照ください。

MITSUBISHI

ERAV-EP55A-CV

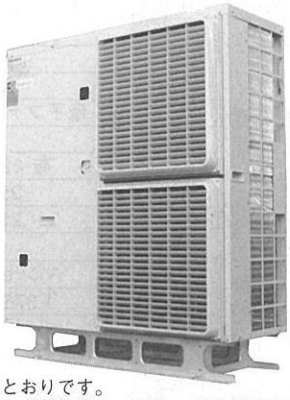
据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃ <注4>

空冷式　スクロール　インバータ　5.5kW 呼称出力　4.0 法定冷凍トン

－20～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲　R404A 冷媒

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ/オプション
P11～12	P89	P105	P110～113	P114～122

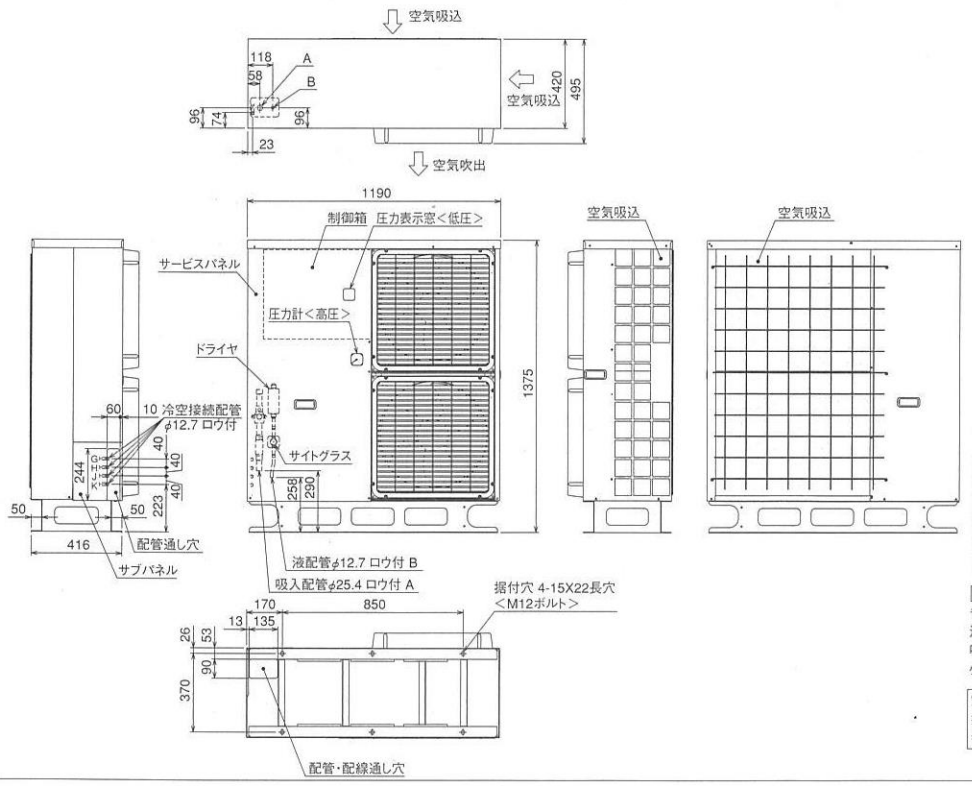


三相　200V　50／60Hz

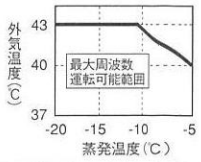
項目			形名	ERAV-EP55A-CV (-BS・-BSG)
電気特性	消費電力<注1>		kW	7.9
	運転電流<注1>		A	24.6
	力率 <注1>		%	93
	始動電流		A	15.0／15.0
圧縮機	形名			HDB92FA
	定格出力		kW	5.5
	押しのけ量		m³/h	32.8
	クランクケースヒータ		W	45
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量	圧縮機	L	3.0
		その他	L	―
	正規充てん量		L	3.0
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式
	送風機	電動機出力	W	110＋110
		ファン径	mm	φ490×2
	風量		m³/min	118.0／129.0
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ
受液器	内容量		L	13.0
	可溶栓			有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
高圧カット防止機能				有
保護装置	高低圧圧力開閉器			有
	過電流保護			有<41A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>			有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>			―
	ヒューズ	操作回路用<凝縮機送風機用>		250A×6 <－>
	逆相防止器			有<基板組込>
	油温検出保護			有
内蔵品	圧力計			有<高圧>
	サクションアキュムレータ			有<9L>
	油分離器			有
	ドライヤ			有
	サイトグラス			有
付属部品				チェックジョイント
外装色				マンセル 5Y 8／1
外形寸法<高さ×幅×奥行>			mm	1,375×1,190×420
製品質量<荷造質量>			kg	197<201>
配管寸法<注2>	吸入配管		mm	φ25.4S
	液配管		mm	φ12.7S
	空調・冷蔵間	―	―	φ12.7S×4ヶ所
		配管長	mm	φ12.5以下　<注6>
騒音<注3>			dB(A)	51（45）

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

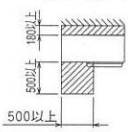
注1. 測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
運転周波数：80Hz, 冷凍機単独運転時
2. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
3. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－10、運転周波数：60Hz
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
（　）内は夜間などの周囲温度が25℃以下となった場合の値を示します。
4. 設置条件により－15～＋40℃になる場合があります。
工事説明書、ハンドブック等をご確認ください。
5. ユニットクーラとの組合わせでご使用になる場合には、当社製クーラとの組合わせでご使用をお願いします。
6. 液配管長さ＋空調・冷蔵間接続配管長さ×4本≦50mとなるようにしてください。
7. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



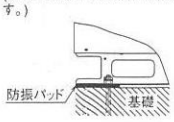
最大周波数（100Hz）で運転可能な領域は下図のとおりです。



1.サービススペース
サービススペースには下図の寸法が必要になります。



2.据付ボルト
M12の据付ボルトでユニットの据付足を4カ所強固に固定してください。
（据付ボルト、座金、ナットは現地手配です。）



3.空調室外ユニット・冷蔵室外ユニット間配管接続
空調室外ユニット・冷蔵室外ユニット間の配管は、G・H・J・Kに接続してください。
空調室外ユニット、冷蔵室外ユニットは10mm以上はなして設置してください。
また、冷蔵室外ユニット液配管＋空調室外ユニット・冷蔵室外ユニット間配管4本の長さ合計が50m以下となるように設置してください。

4.液配管断熱
省エネ運転時冷蔵室外ユニットの液配管にサブクールがつき外気温度より液温が低くなる場合がありますので、
吸入配管に加え液配管、空調機室外ユニット・冷蔵室外ユニット間配管は必ず断熱を施してください。

空調室外ユニットと複合運転（省エネ運転）を行う場合の据付方法詳細は据付工事説明書（システム編）を参照ください。

EPUZ-WRP140HA

据付方法

屋　外　設　置
周囲温度
(冷房時)乾球温度−5〜＋43℃
(暖房時)乾球温度−20〜＋21℃
湿球温度−20〜＋15℃

2.48 法定冷凍トン

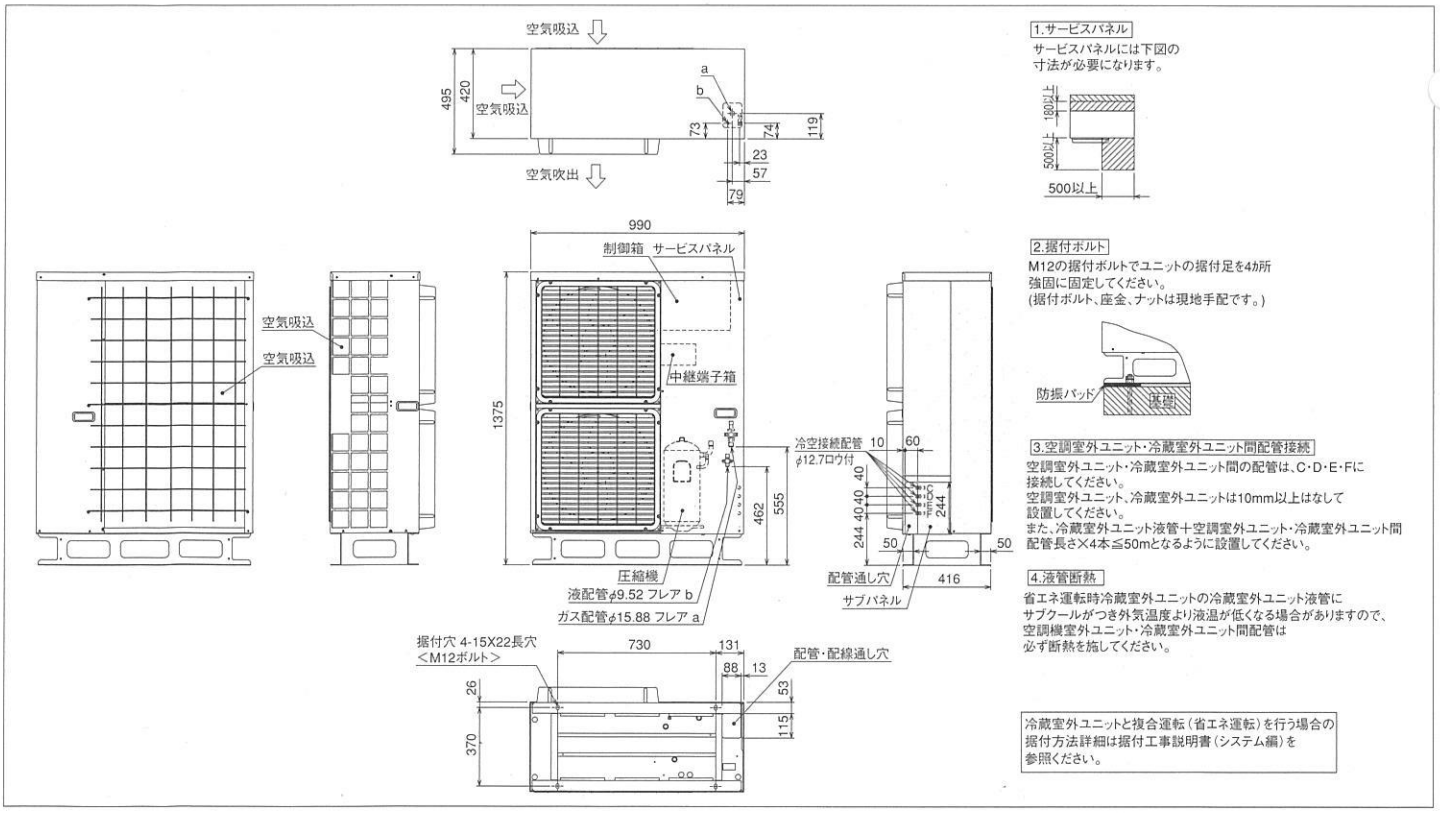
R410A 冷　媒

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	P90	—	—	—

三相　200V　50／60Hz

項目			形名 EPUZ-WRP140HA
冷房標準性能	冷房能力	kW	12.5（5.5〜14.0）
	COP		3.87
	定格消費出力	kW	3.23
	運転電流	A	10.0
	力　率		93
暖房標準性能	暖房能力		14.0（5.0〜18.2）
	COP	kW	4.62
	定格消費出力		3.03
	運転電流	kW	9.4
	力　率	A	93
低温暖房＜注1＞	低温能力	kW	16.0
	低温消費電力	kW	6.49
COP平均			4.25
最大電流		A	24.0
圧縮機	形　名		ANB33FCKMT
	定格出力	kW	2.4
	おしのけ量	m^3/h	14.2
	クランクケースヒータ	W	無
冷凍機油			ダイヤモンドフリーズ MEL56
室外交換器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ
	送風機 電動機出力	W	70＋70
	送風機 ファン径	mm	φ490×2
	風　量	m^3/min	102／102
	凝縮（蒸発）圧力調整装置		電子ファンコントローラ
保護装置	高低圧圧力開閉器		有
	圧縮機過電流保護		有＜27.5A設定＞
	ヒューズ 操作回路用		250V 6.3A
	ヒューズ 室内機接続回路用		250V 6.3A
設計圧力		MPa	3.6
外装色			マンセル 5Y 8／1
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,375×990×420
質量	荷造質量	kg	141
	製品質量	kg	138
配管寸法＜注2＞	ガス配管	mm	φ15.88F
	液配管	mm	φ9.52F
	配管長	m	30m以下 冷媒プレチャージ済み 追加チャージ時75m以下
	空調・冷蔵間接続配管	mm	φ12.7S×4カ所
騒　音＜注3＞		dB(A)	48／50（冷房）／（暖房）
組合せ室内機形名			MPLZ-RP140AA2
外形寸法（本体）			298×840×840
外形寸法（化粧パネル）			30×950×950
外装色			6.4Y8.9／0.4（ピュアホワイト）
送風機＜形式×出力＞			ターボファン×0.11kW

注1. 測定条件は次のとおりです。
　冷房標準：室内側　乾球温度27℃、湿球温度19℃、室外側　乾球温度35℃
　暖房標準：室内側　乾球温度20℃　室外側　乾球温度7℃　湿球温度6℃
　低温暖房：室内側　乾球温度20℃　室外側　乾球温度2℃　湿球温度1℃
　いずれも4方向天井カセット形（MPLZ-RP140AA2）との組合せ、空調機単独運転時
2. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
3. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　無響音室、Aスケール、JIS B 8616に準じます。
4. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



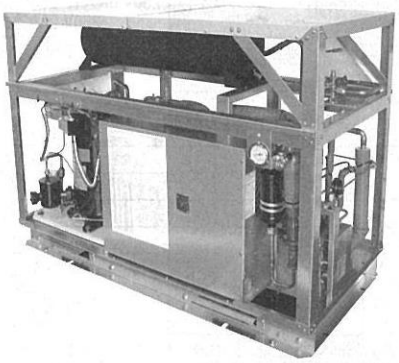
ERV-EP110A

据付方法　屋内設置
周囲温度－5～＋40℃

空冷式 | スクロール | インバータ | 11.0kW 呼称出力 | 6.6 法定冷凍トン

－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲 | R404A 冷媒 | 0-23～100％（インバータ始動）容量制御

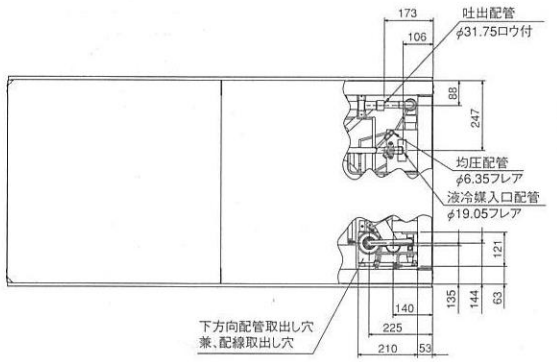
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P93	P108	P110～113	P114～122



三相　200V　50／60Hz

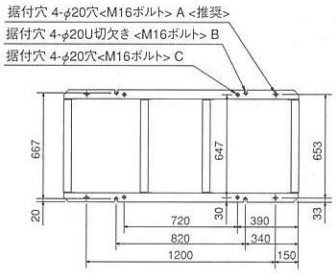
項目			形名	ERV-EP110A
電気特性	消費電力＜注1＞		kW	13.0（90Hz運転時:16.3）
	運転電流＜注1＞		A	40.3（90Hz運転時:50.0）
	力率＜注1＞		%	93（90Hz運転時:94）
	始動電流		A	25.0／25.0
圧縮機	形名			UDK165FA-RH
	定格出力		kW	11.0
	押しのけ量		m³/h	53.6
	クランクケースヒータ		W	72
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量	圧縮機	L	3.5
		その他	L	6＜アキュムレータ内＞
	正規充てん量＜注2＞		L	3.5＋6
受液器	内容量		L	48
	可溶栓			有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞
高圧カット防止機能				有
保護装置	高低圧圧力開閉器			有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	過電流保護			有＜53A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞			有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞			―
	ヒューズ	操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1
		凝縮器送風機用		250V 15A×3
	逆相防止器			有
	油温検出保護			有
内蔵品	圧力計			有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ			有＜18L＞
	油分離器			有
	ドライヤ			有
	サイトグラス			有＜付属＞
付属部品				予備ヒューズ＜15A、6A、5A、3A、2A、1A、＞、チェックジョイント
外装色				鋼板仕上
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞			mm	1,061×1,500×718
製品質量＜荷造質量＞			kg	295＜298＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管		mm	φ38.1S
	吐出配管		mm	φ31.75S
	液冷媒配管＜入口／出口＞		mm	φ19.05F／φ19.05F
騒音＜注4＞			dB(A)	65.0＜オプションパネル付:51.5＞
推奨リモートコンデンサ形名				**RM-P150A**

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサとの組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
運転周波数：75Hz
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサと組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃，運転周波数：60Hz
測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

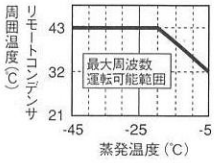


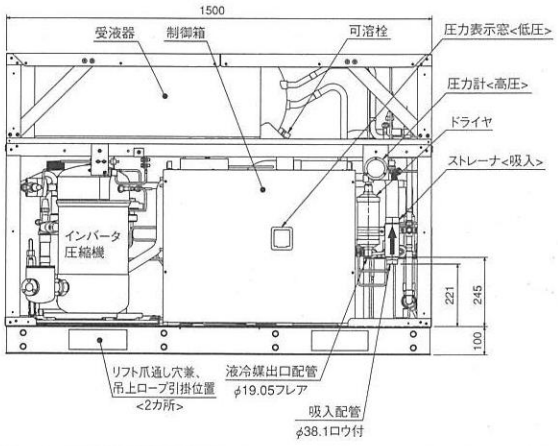
1.据付ピッチ

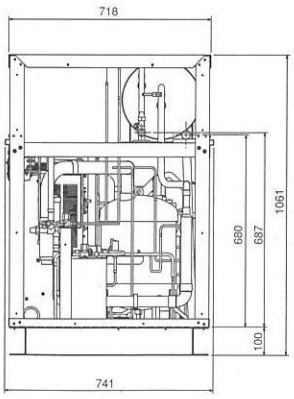
本製品の据付ピッチは下図の3通り<A～C穴>の中から基礎に応じてお選びください。
なお、振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。



最大周波数（90Hz）で運転可能な領域は下図のとおりです。

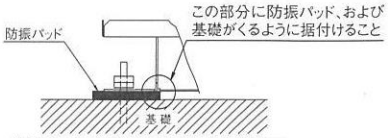






2.据付ボルト

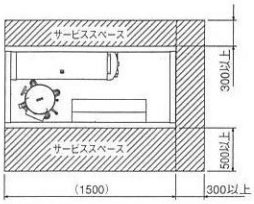
M16の据付ボルトでユニット据付足を4カ所強固に固定してください。<据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。>



防振パッドの大きさは100×100以上としてください。
<推奨品ブリヂストン製 IP-1003>

3.サービススペース

本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。



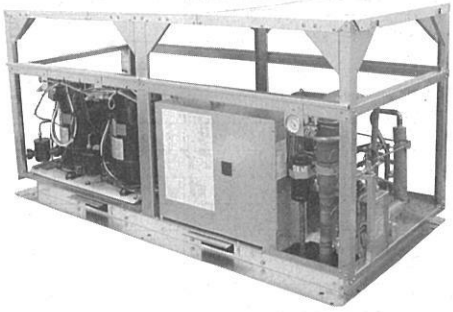
ECV-EP185A

据付方法　屋内設置
周囲温度－5～＋40℃

空冷式 | スクロール | インバータ | 18.5kW 呼称出力 | 10.1/10.7 法定冷凍トン

－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲 | R404A 冷媒 | 0-15～100%／0-14～100%（インバータ始動＋順次始動）容量制御

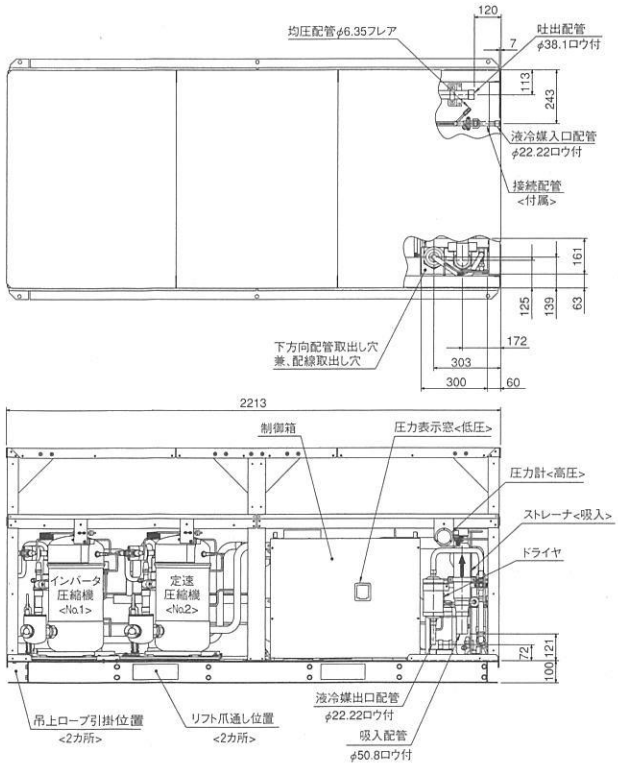
能力表 P13～14 | 電気回路 P94 | 電気特性 P108 | 据付関係資料 P110～113 | お客様へ／オプション P114～122



三相　200V　50／60Hz

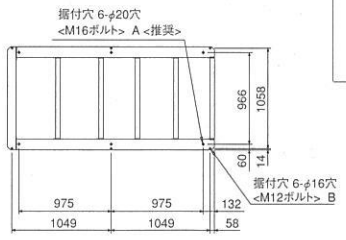
項目			形名	ECV-EP185A	
電気特性	消費電力＜注1＞		kW	20.6／22.5（90Hz＋定格運転時:22.9／25.1）	
	運転電流＜注1＞		A	62.3／67.5（90Hz＋定格運転時:69.8／74.8）	
	力率＜注1＞		%	95／96（90Hz＋定格運転時:95／97）	
	始動電流		A	297／274	
圧縮機	形名			UDK165FA-RH＜No.1＞	UDJ165TA-RH＜No.2＞
	定格出力		kW	11.0	7.45
	押しのけ量		m³/h	53.6	28.7／33.7
	クランクケースヒータ		W	72	72
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ MEL32	
	初期充てん量	圧縮機	L	3.5	3.5
		その他	L	9＜アキュムレータ内＞	
	正規充てん量＜注2＞		L	＜3.5×2＞＋9	
受液器	内容量		L	74	
	可溶栓			有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞	
高圧カット防止機能				有	
保護装置	高低圧圧力開閉器			有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞	
	過電流保護			有＜53A設定＞	有＜50A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞			有＜OFF:135℃、ON:115℃＞	
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞			－	有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ	操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1	
		凝縮器送風機用		250V 15A×3	
	逆相防止器			有	
	油温検出保護			有	
内蔵品	圧力計			有＜高圧＞	
	サクションアキュムレータ			有＜25L＞	
	油分離器			有	
	ドライヤ			有	
	サイトグラス			有＜付属＞	
付属部品				予備ヒューズ＜15A、6A、5A、3A、2A、1A、＞、チェックジョイント、接続配管＜液冷媒入口＞	
外装色				鋼板仕上	
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞			mm	1,061×2,213×985＜1,086＞	
製品質量＜荷造質量＞			kg	500＜505＞	
配管寸法＜注3＞	吸入配管		mm	φ50.8S	
	吐出配管		mm	φ38.1S	
	液冷媒配管＜入口／出口＞		mm	φ22.22S／φ22.22S	
騒音＜注4＞			dB(A)	65.5／65.5＜オプションパネル付:53.5／53.5＞	
推奨リモートコンデンサ形名＜台数＞				**RM-P110A<2>**	

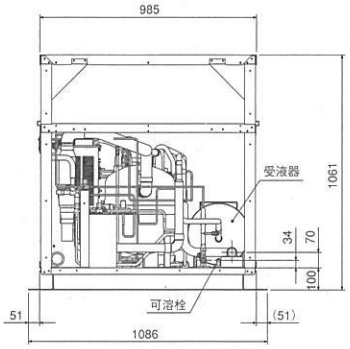
注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサとの組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
運転周波数：75Hz
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサと組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－40℃、インバータ圧縮機運転周波数：60Hz、圧縮機運転：運転
測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



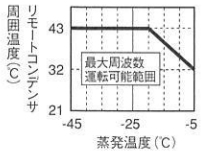
1.据付ピッチ

本製品の据付ピッチは下図の2通り＜A・B穴＞の中から基礎に応じてお選びください。
なお、振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。



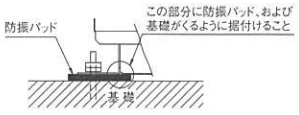


最大周波数（90Hz）で運転可能な領域は下図のとおりです。



2.据付ボルト

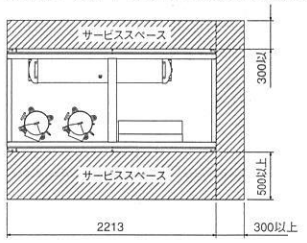
M12・16の据付ボルトでユニット据付足を6カ所強固に固定してください。
＜据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。＞



防振パッドの大きさは使用する穴によって異なります。
A穴の場合100×100以上
B穴の場合150×150以上
＜推奨品ブリヂストン製 IP-1003＞

3.サービススペース

本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。



MITSUBISHI

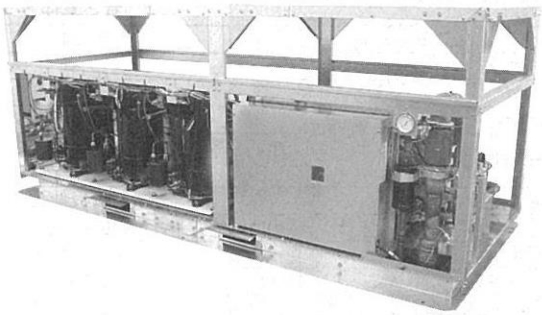
ECV-EP260A

据付方法	屋内設置 周囲温度－5～＋40℃

空冷式	スクロール	インバータ	26.0kW 呼称出力	13.6/14.8 法定冷凍トン

－45～－5℃ 吸入圧力 飽和温度範囲	R404A 冷媒	0-11～100%／0-10～100% （インバータ始動＋順次始動） 容量制御

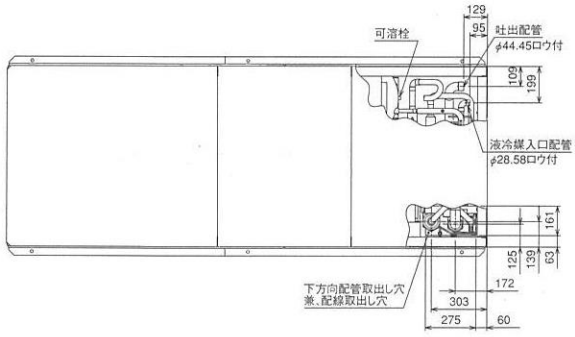
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P95	P108	P110～113	P114～122



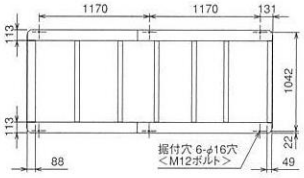
三相 200V 50／60Hz

項目		形名	ECV-EP260A		
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	28.9／32.2（90Hz＋定格運転時:31.9／35.0）		
	運転電流＜注1＞	A	91.1／99.5（90Hz＋定格運転時:102.3／111.7）		
	力率 ＜注1＞	%	92／94（90Hz＋定格運転時:90／91）		
	始動電流	A	329／312		
圧縮機	形名		UDK165FA-RH ＜No.1＞	UDJ165TA-RH ＜No.2＞	UDJ165TA-RH ＜No.3＞
	定格出力	kW	11.0	7.45	7.45
	押しのけ量	m³/h	53.6	28.7／33.7	28.7／33.7
	クランクケースヒータ	W	72	72	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32		
	初期充てん量 圧縮機	L	3.5	3.5	3.5
	初期充てん量 その他	L	12＜アキュムレータ内＞		
	正規充てん量＜注2＞	L	＜3.5×3＞＋12		
受液器	内容量	L	98		
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞		
高圧カット防止機能			有		
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞		
	過電流保護		有＜53A設定＞	有＜50A設定＞	有＜50A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞		
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		－	有＜OFF:130℃、ON:108℃＞	
	ヒューズ 操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1		
	ヒューズ 凝縮器送風機用		250V 15A×2, 220V30A＜ブレーカ仕様＞		
	逆相防止器		有		
	油温検出保護		有		
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞		
	サクションアキュムレータ		有＜36L＞		
	油分離器		有		
	ドライヤ		有		
	サイトグラス		有＜付属＞		
付属部品			予備ヒューズ＜15A、6A、5A、3A、2A、1A、＞、チェックジョイント		
外装色			鋼板仕上		
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,061×2,613×985＜1,086＞		
製品質量＜荷造質量＞		kg	680＜685＞		
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ66.68S		
	吐出配管	mm	φ44.45S		
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ28.58S／φ28.58S		
騒音＜注4＞		dB(A)	66.5／67.5＜オプションパネル付:54.5／55.5＞		
推奨リモートコンデンサ＜台数＞			**RM-P150A<2>**		

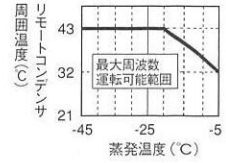
注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサと組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K、インバータ圧縮機運転周波数：75Hz、定速圧縮機：運転
2. 正規充てん量は圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサと組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－40℃、インバータ圧縮機運転周波数：60Hz、定速圧縮機：運転、測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



1.据付ピッチ
本製品の据付ピッチは下図の通りです。
なお、振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。

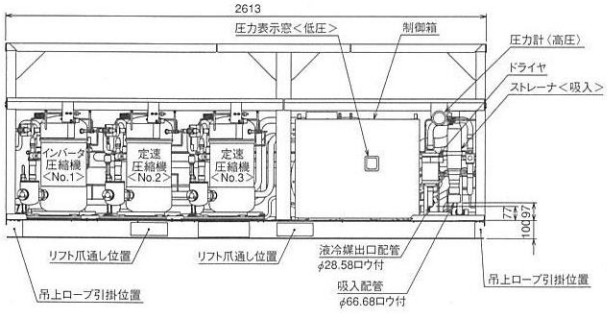


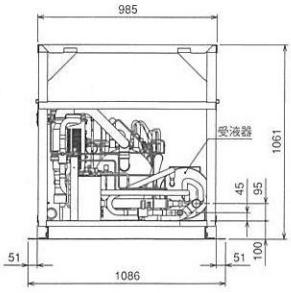
最大周波数（90Hz）で運転が可能な領域は下図のとおりです。



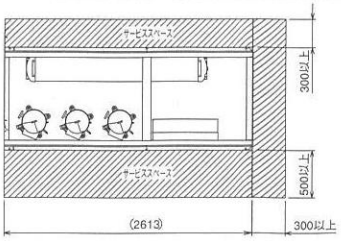
2.据付ボルト
M12の据付ボルトでユニット据付足を6カ所強固に固定してください。
＜据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。＞

防振パッドの大きさは使用する穴によって異なります
150×150以上
＜推奨品 ブリヂストン製 IP-1003＞





3.サービススペース
本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。

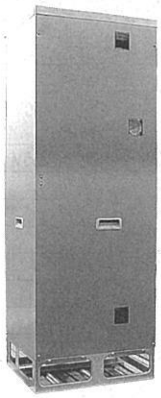


ER-EP22A

据付方法　屋内設置
周囲温度－5～＋40℃
（オプションパネル取付けにより屋外設置可）

空冷式　スクロール　2.2kW 呼称出力　1.2/1.5 法定冷凍トン　－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

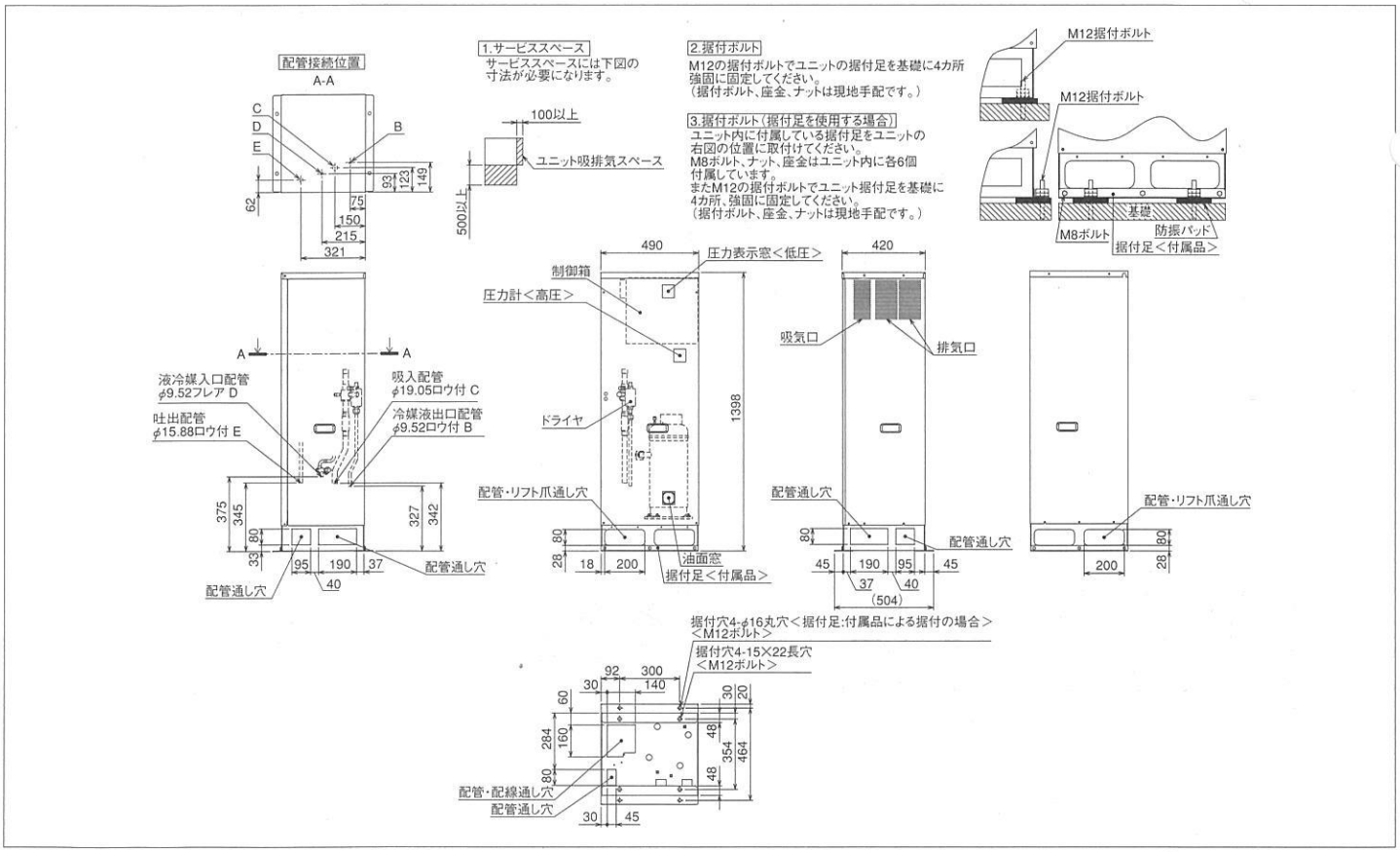


能力表 P13～14
電気回路 P96～97
電気特性 P108
据付関係資料 P110～113
お客様へ／オプション P114～122

三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ER-EP22A
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	3.1／3.9
	運転電流＜注1＞	A	10.4／12.1
	力率＜注1＞	%	87／93
	始動電流	A	76／67
圧縮機	形名		ZDJ055TA
	定格出力	kW	2.2
	押しのけ量	m³/h	9.9／11.6
	クランクケースヒータ	W	62
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量　圧縮機	L	2.3
	初期充てん量　その他	L	－
	正規充てん量＜注2＞	L	1.3
受液器	内容量	L	6.5
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜21A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A,6A,15A＜250V 5A＞
	逆相防止器		有＜基板組込＞
	油温検出保護		－
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜4L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A,6A,15A＞、チェックジョイント、据付足＜取付ボルト一式＞
外装色			鋼板仕上
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,398×490×420
製品質量＜荷造質量＞		kg	113＜115＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ19.05S
	吐出配管	mm	φ15.88S
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ9.52F／φ9.52S
騒音＜注4＞		dB(A)	50／52＜オプションパネル付：45／46＞
推奨リモートコンデンサ			RM-P30A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，
サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
なお、吸・排気口のあるユニット右側面の騒音値は表示値より、若干、大きくなります。
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



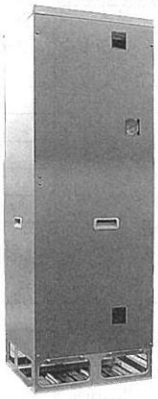
MITSUBISHI

ER-EP30A

据付方法　屋内設置
周囲温度－5～＋40℃
（オプションパネル取付けにより屋外設置可）

空冷式　スクロール　3.0kW 呼称出力　1.6/1.9 法定冷凍トン　RM-P30A －45～－20℃　RM-P37A －20～－5℃　吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

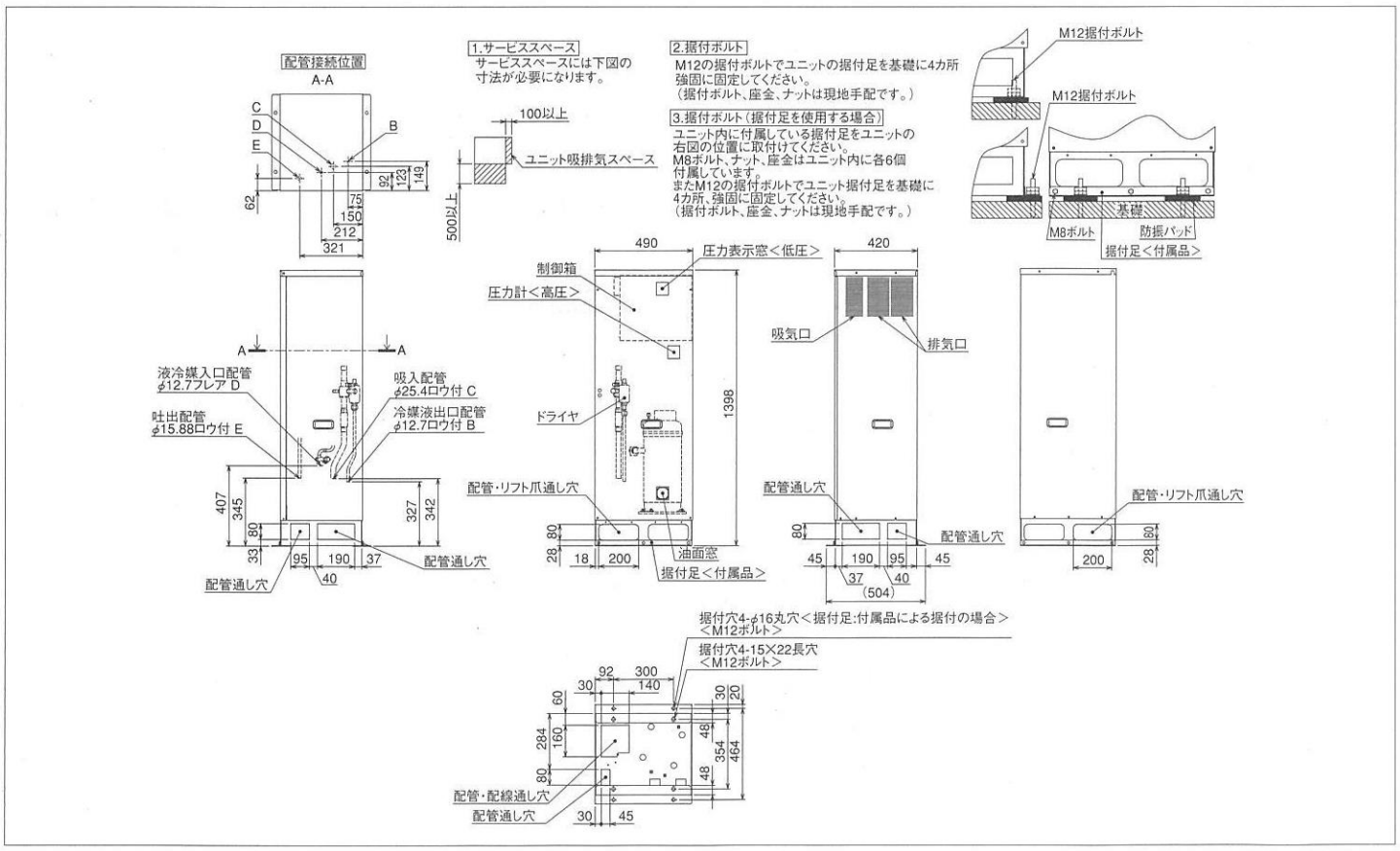


能力表 P13～14
電気回路 P96～97
電気特性 P108
据付関係資料 P110～113
お客様へ／オプション P114～122

三相　200 V　50／60Hz

項目		形名	ER-EP30A	
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	3.0／3.5	4.1／5.0
	運転電流＜注1＞	A	10.2／10.9	13.1／15.6
	力率＜注1＞	%	85／93	90／93
	始動電流	A	86／75	
圧縮機	形名		ZDJ075TA	
	定格出力	kW	3.0	
	押しのけ量	m³/h	13.2／15.4	
	クランクケースヒータ	W	62	
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32	
	初期充てん量　圧縮機	L	2.3	
	初期充てん量　その他	L	－	
	正規充てん量＜注2＞	L	1.3	
受液器	内容量	L	13.2	
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜27A設定＞	
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞	
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞	
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A,6A,15A＜250V 5A＞	
	逆相防止器		有＜基板組込＞	
	油温検出保護		－	
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞	
	サクションアキュムレータ		有＜9L＞	
	油分離器		有	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有＜付属＞	
付属部品			予備ヒューズ＜5A,6A,15A＞、チェックジョイント、据付足＜取付ボルト一式＞	
外装色			鋼板仕上	
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,398×490×420	
製品質量＜荷造質量＞		kg	119＜121＞	
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ25.4S	
	吐出配管	mm	φ15.88S	
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ12.7F／φ12.7S	
騒音＜注4＞		dB(A)	50／52＜オプションパネル付：46／47＞	
推奨リモートコンデンサ			RM-P30A	RM-P37A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃又は－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
なお、吸・排気口のあるユニット右側面の騒音値は表示値より、若干、大きくなります。
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

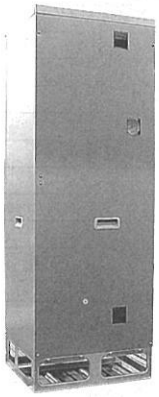


ER-EP37A

据付方法　屋内設置
周囲温度－5～＋40℃
（オプションパネル取付けによる屋外設置可）

空冷式　スクロール　3.7kW 呼称出力　2.0/2.3 法定冷凍トン　RM-P37A<1> －45～－20℃　RM-P45A<1> －20～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

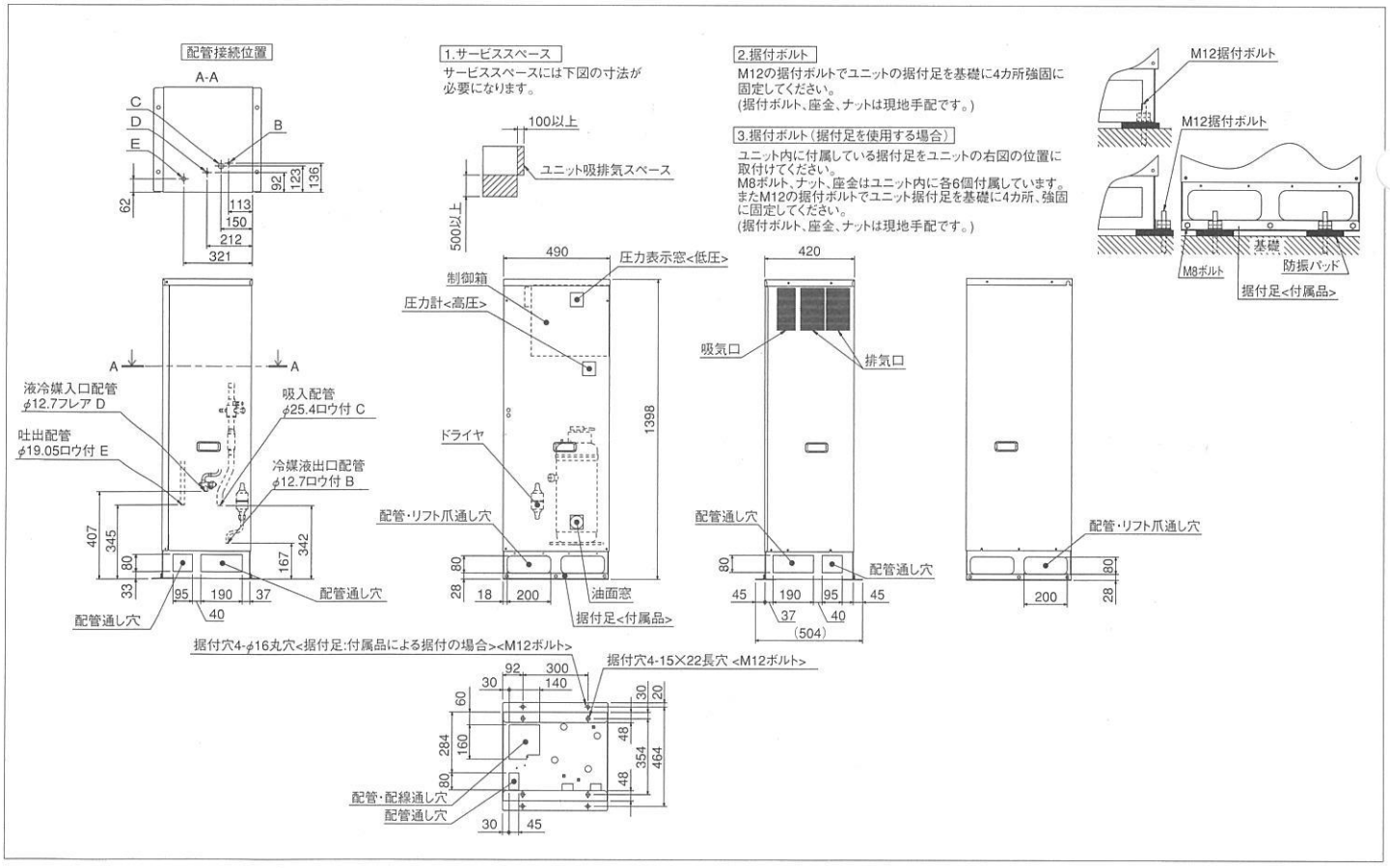


能力表 P13～14
電気回路 P96～97
電気特性 P108
据付関係資料 P110～113
お客様へ／オプション P114～122

三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ER-EP37A	
電気特性	消費電力<注1>	kW	3.6／4.1	5.0／6.0
	運転電流<注1>	A	12.0／12.9	15.9／18.3
	力率<注1>	%	87／92	90／94
	始動電流	A	109／94	
圧縮機	形名		ZDJ092TA	
	定格出力	kW	3.7	
	押しのけ量	m³/h	16.1／18.9	
	クランクケースヒータ	W	62	
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32	
	初期充てん量 圧縮機	L	2.8	
	初期充てん量 その他	L	－	
	正規充てん量<注2>	L	1.9	
受液器	内容量	L	13.2	
	可溶栓		有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有<27A設定>	
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>	
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		有<OFF:130℃、ON:108℃>	
	ヒューズ 操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A,6A,15A<250V 5A>	
	逆相防止器		有<基板組込>	
	油温検出保護		有	
内蔵品	圧力計		有<高圧>	
	サクションアキュムレータ		有<9L>	
	油分離器		有	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有<付属>	
付属部品			予備ヒューズ<5A,6A,15A>、チェックジョイント、据付足<取付ボルト一式>	
外装色			鋼板仕上	
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,398×490×420	
製品質量<荷造質量>		kg	125<127>	
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ25.4S	
	吐出配管	mm	φ19.05S	
	液冷媒配管<入口／出口>	mm	φ12.7F／φ12.7S	
騒音<注4>		dB(A)	52／54（オプションパネル付：47／48）	
推奨リモートコンデンサ形名			RM-P37A	RM-P45A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃又は－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
なお、吸・排気口のあるユニット右側面の騒音値は表示値より、若干、大きくなります。
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ER-EP45A

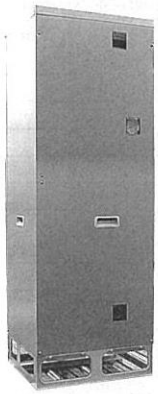
据付方法	屋内設置 周囲温度－5～＋40℃ (オプションパネル取付けによる屋外設置可)

空冷式 | スクロール | 4.5kW 呼称出力 | 2.5/3.0 法定冷凍トン | RM-P45A<1> －45～－20℃ RM-P55A<1> －20～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

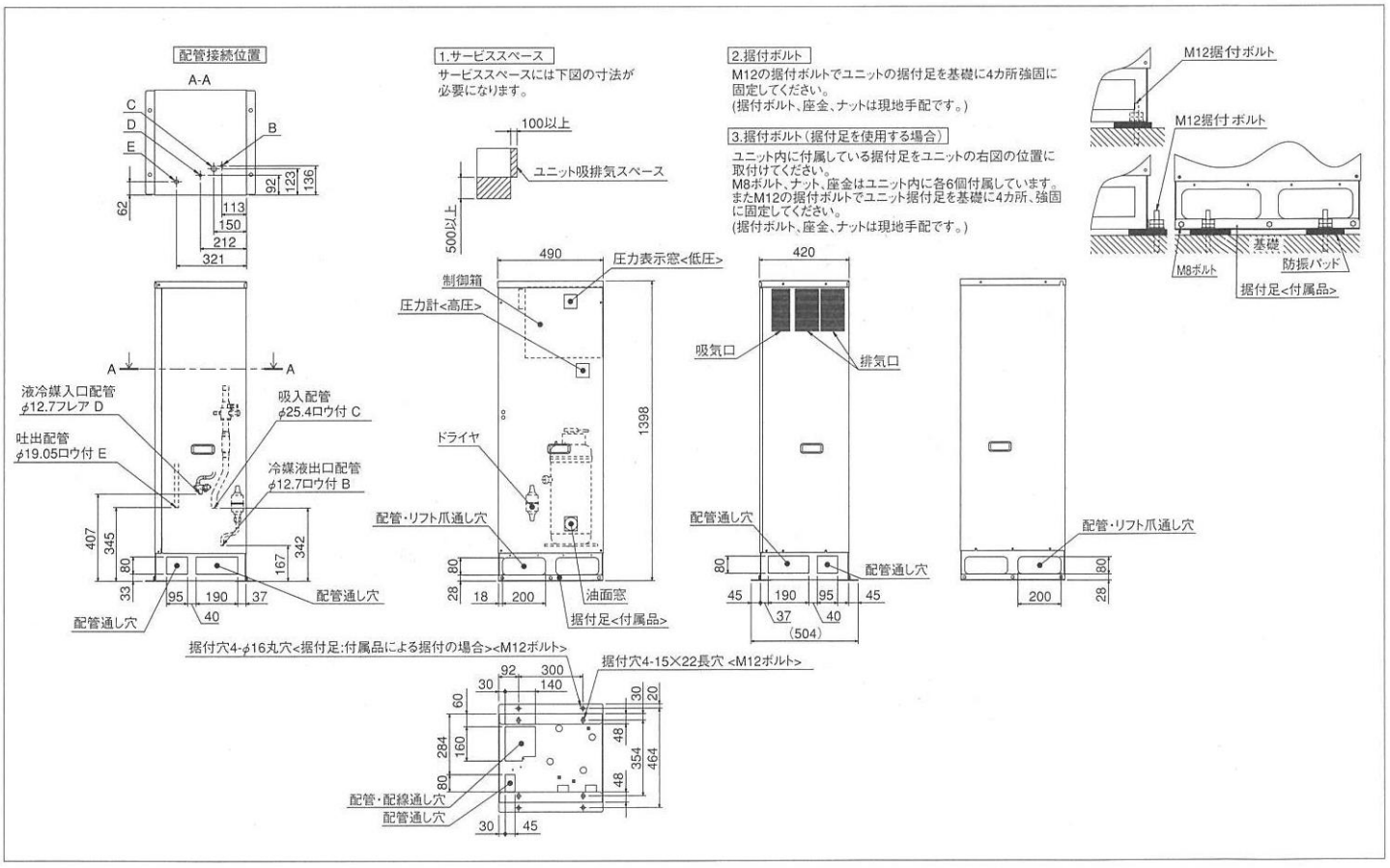
三相 200V 50／60Hz

項目		形名	ER-EP45A	
電気特性	消費電力<注1>	kW	4.4／5.0	6.2／7.5
	運転電流<注1>	A	15.0／15.7	20.4／23.2
	力率 <注1>	%	85／92	88／93
	始動電流	A	122／107	
圧縮機	形名		ZDJ117TA	
	定格出力	kW	4.5	
	押しのけ量	m³/h	20.4／23.9	
	クランクケースヒータ	W	62	
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32	
	初期充てん量 圧縮機	L	2.8	
	初期充てん量 その他	L	－	
	正規充てん量<注2>	L	1.9	
受液器	内容量	L	13.2	
	可溶栓		有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有<38A設定>	
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>	
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		有<OFF:130℃、ON:108℃>	
	ヒューズ 操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A,6A,15A<250V 5A>	
	逆相防止器		有<基板組込>	
	油温検出保護		有	
内蔵品	圧力計		有<高圧>	
	サクションアキュムレータ		有<9L>	
	油分離器		有	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有<付属>	
付属部品			予備ヒューズ<5A,6A,15A>、チェックジョイント、据付足<取付ボルト一式>	
外装色			鋼板仕上	
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,398×490×420	
製品質量<荷造質量>		kg	125<127>	
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ25.4S	
	吐出配管	mm	φ19.05S	
	液冷媒配管<入口／出口>	mm	φ12.7F／φ12.7S	
騒音<注4>		dB(A)	52／54<オプションパネル付：48／49>	
推奨リモートコンデンサ形名			RM-P45A	RM-P55A



能力表 P13～14
電気回路 P96～97
電気特性 P108
据付関係資料 P110～113
お客様へ／オプション P114～122

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－40℃又は－10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
なお、吸・排気口のあるユニット右側面の騒音値は表示値より、若干、大きくなります。
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



ER-EP55A

据付方法　屋内設置
周囲温度−5〜+40℃

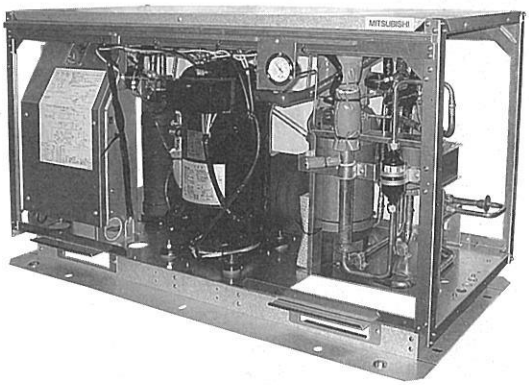
空冷式　スクロール　5.5kW 呼称出力　3.0/3.5 法定冷凍トン　RM-P55A −45〜−20℃　RM-P75A −20〜−5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

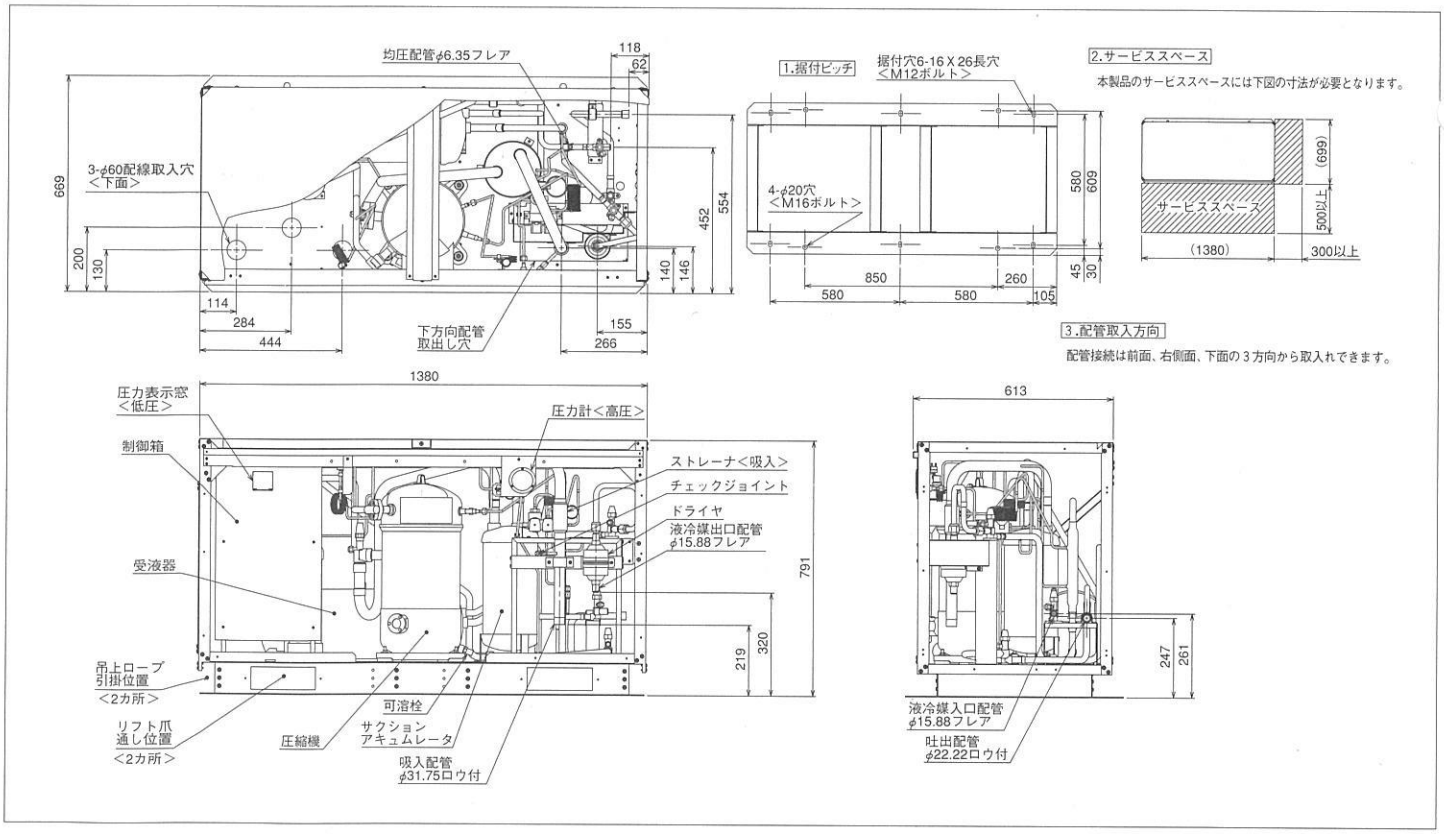
能力表 P13〜14　電気回路 P98〜99　電気特性 P108　据付関係資料 P110〜113　お客様へ/オプション P114〜122

三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ER-EP55A	
電気特性	消費電力<注1>	kW	5.10／5.81	6.70／8.15
	運転電流<注1>	A	17.8／18.2	21.9／24.9
	力率 <注1>	%	83／92	88／94
	始動電流	A	240／217	
圧縮機	形名		UDJ137TA-H	
	定格出力	kW	5.5	
	押しのけ量	m³/h	23.9／28.0	
	クランクケースヒータ	W	72	
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32	
	初期充てん量 圧縮機	L	4.9	
	初期充てん量 その他	L	−	
	正規充てん量<注2>	L	3.9	
受液器	内容量	L	26	
	可溶栓		有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有<38A設定>	
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>	
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		有<OFF:130℃、ON:108℃>	
	ヒューズ 操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A,6A,15A<250V 10A>	
	逆相防止器		有<基板組込>	
	油温検出保護		有	
内蔵品	圧力計		有<高圧>	
	サクションアキュムレータ		有<7L>	
	油分離器		有	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有<付属>	
付属部品			予備ヒューズ<5A,6A,10A,15A>	
外装色			鋼板仕上	
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	791×1,380×613	
製品質量<荷造質量>		kg	192<194>	
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ31.75S	
	吐出配管	mm	φ22.22S	
	液冷媒配管<入口／出口>	mm	φ15.88F／φ15.88F	
騒音<注4>		dB(A)	60／62<オプションパネル付：53／54>	
リモートコンデンサ形名			RM-P55A	RM-P75A



注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−40℃又は−10℃，吸入ガス温度：18℃，
サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃，蒸発温度：−40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

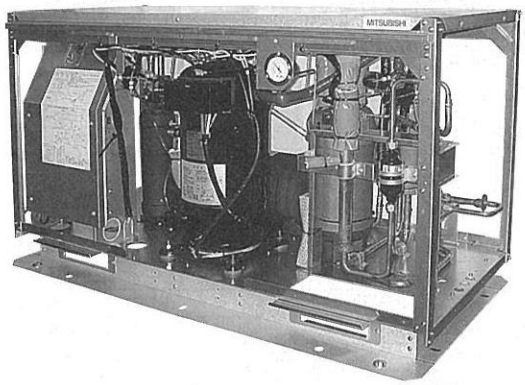
ER-EP75A

据付方法　屋内設置
周囲温度－5～＋40℃

空冷式　スクロール　7.5kW 呼称出力　3.6/4.2 法定冷凍トン　RM-P75A －45～－20℃　RM-P110A －20～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

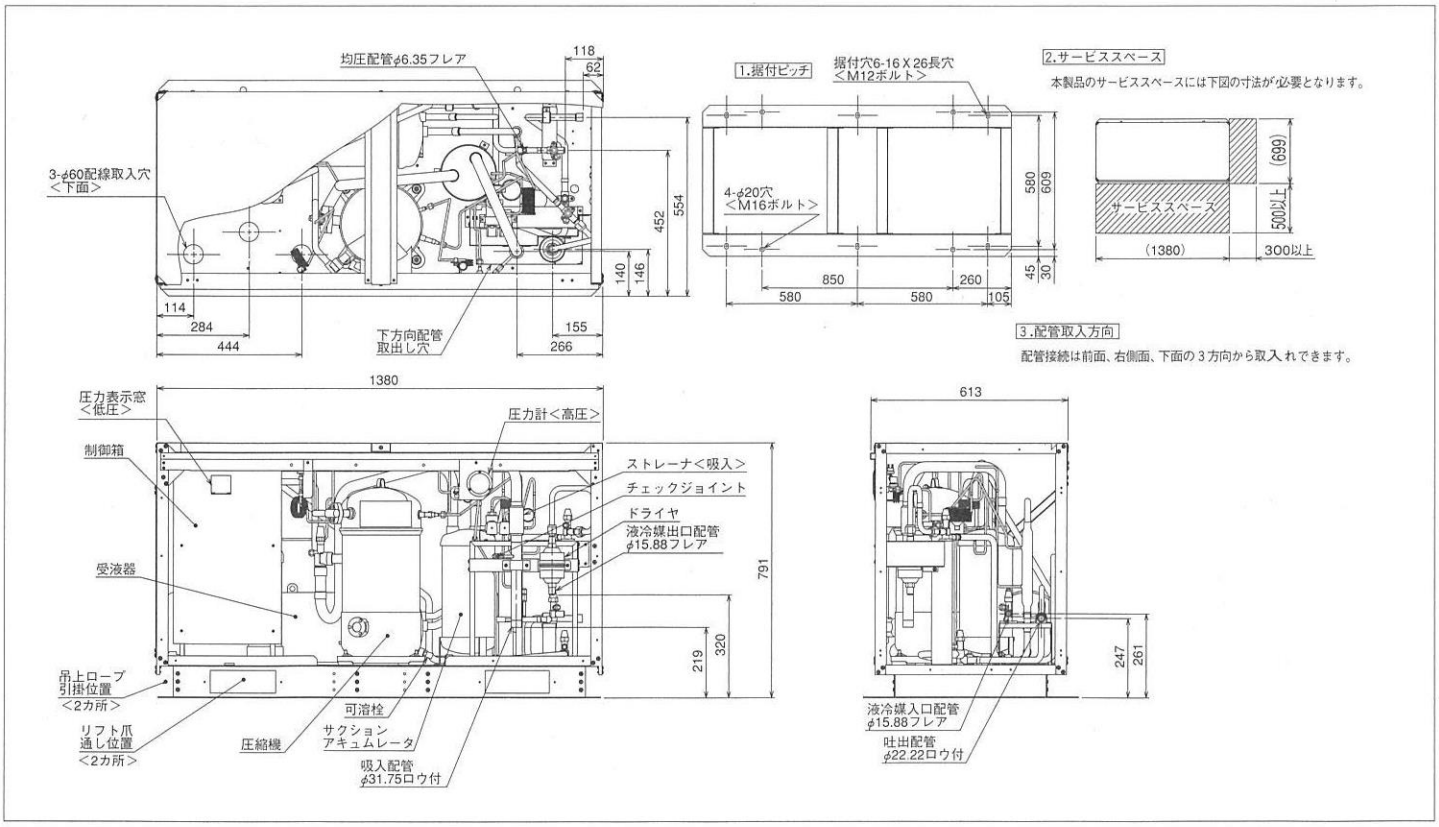
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P98～99	P108	P110～113	P114～122



三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ER-EP75A	
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	5.50／6.4	7.8／9.5
	運転電流＜注1＞	A	18.0／19.8	24.5／29.1
	力率＜注1＞	%	88／93	92／94
	始動電流	A	240／217	
圧縮機	形名		UDJ165TA-H	
	定格出力	kW	7.45	
	押しのけ量	m³/h	28.7／33.7	
	クランクケースヒータ	W	72	
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32	
	初期充てん量　圧縮機	L	4.9	
	初期充てん量　その他	L	－	
	正規充てん量＜注2＞	L	3.9	
受液器	内容量	L	26	
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜50A設定＞	
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞	
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞	
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A,6A,15A＜250V 10A＞	
	逆相防止器		有＜基板組込＞	
	油温検出保護		有	
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞	
	サクションアキュムレータ		有＜7L＞	
	油分離器		有	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有＜付属＞	
付属部品			予備ヒューズ＜5A,6A,10A,15A＞	
外装色			鋼板仕上	
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	791×1,380×613	
製品質量＜荷造質量＞		kg	192＜194＞	
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ31.75S	
	吐出配管	mm	φ22.22S	
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ15.88F／φ15.88F	
騒音＜注4＞		dB(A)	61／63＜オプションパネル付：54／56＞	
リモートコンデンサ形名			RM-P75A	RM-P110A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－40℃又は－10℃、吸込ガス温度：18℃、
サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：32℃、蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



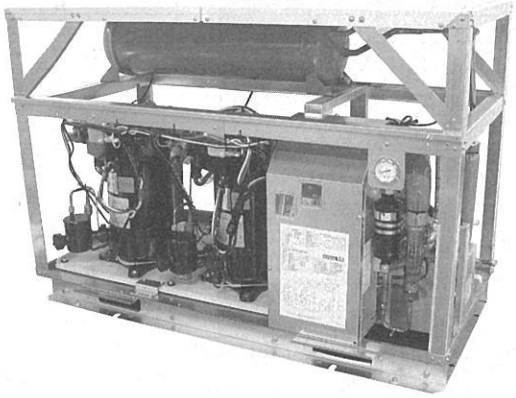
EC-EP150A

据付方法　屋内設置
周囲温度－5～＋40℃

空冷式 | スクロール | 15.0kW 呼称出力 | 7.2/8.4 法定冷凍トン | －45～－20℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒 | 0-50-100％（順次始動）容量制御

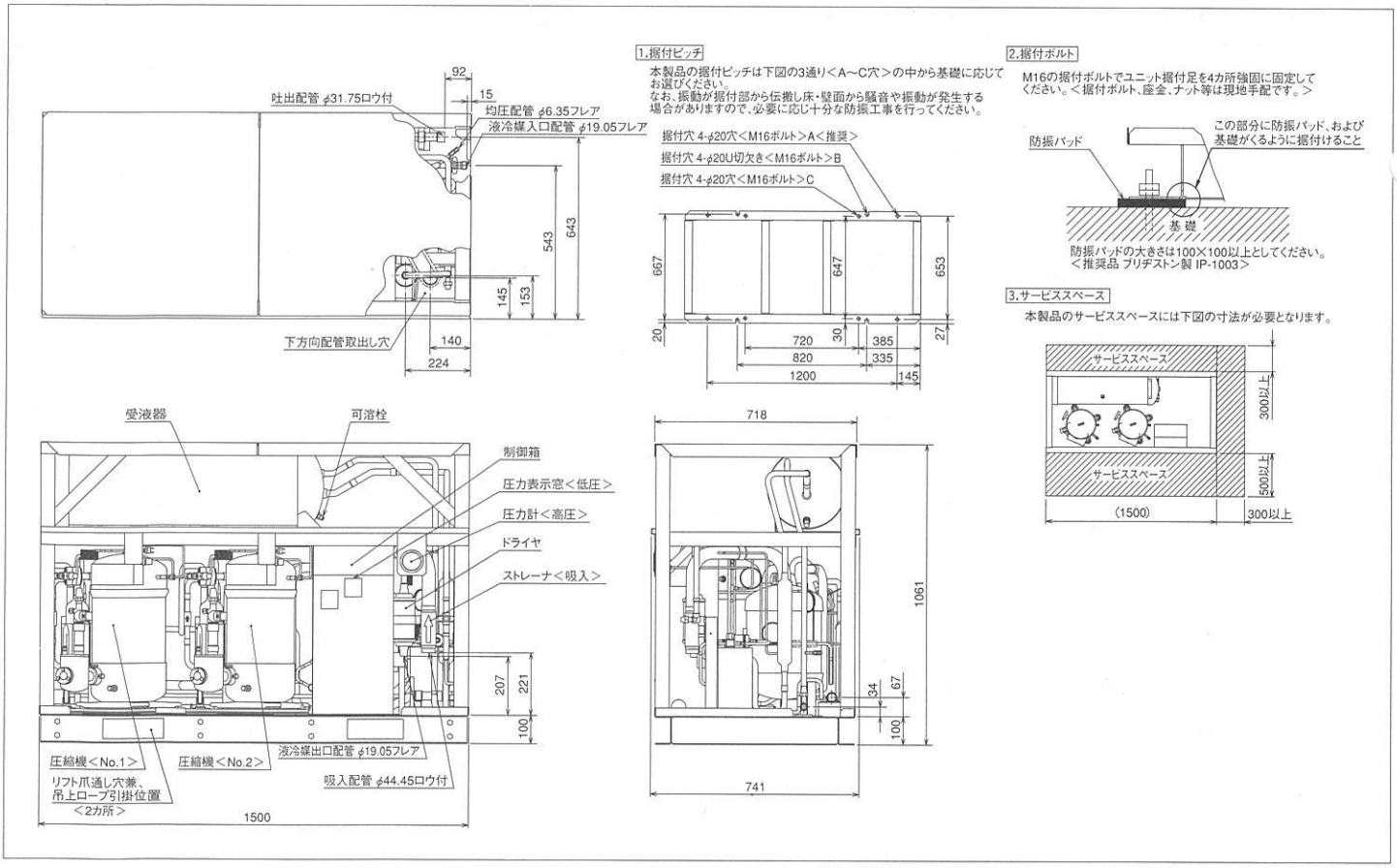
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P100～101	P108	P110～113	P114～122



三相　200V　50／60Hz

項目		形名	EC-EP150A	
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	11.8／13.9	
	運転電流＜注1＞	A	41.0／44.4	
	力率＜注1＞	%	83.1／90.4	
	始動電流	A	272／255	
圧縮機	形名		UDJ165TA-RH＜No.1＞	UDJ165TA-RH＜No.2＞
	定格出力	kW	7.45	7.45
	押しのけ量	m³/h	28.7／33.7	28.7／33.7
	クランクケースヒータ	W	72	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32	
	初期充てん量 圧縮機	L	3.5	3.5
	初期充てん量 その他	L	6＜アキュムレータ内＞	
	正規充てん量＜注2＞	L	＜3.5×2＞＋6	
受液器	内容量	L	48	
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃＞	
高圧カット防止機能			－	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜50A設定＞×2	
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞	
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞	
	ヒューズ 操作回路用		250V 5A×1、250V 6A×1	
	ヒューズ 凝縮器送風機用		250V 15A×2	
	逆相防止器		有	
	油温検出保護		有	
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞	
	サクションアキュムレータ		有＜18L＞	
	油分離器		有	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有＜付属＞	
付属部品			予備ヒューズ＜5A、6A、15A＞、チェックジョイント	
外装色			鋼板仕上	
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,061×1,500×718	
製品質量＜荷造質量＞		kg	351＜354＞	
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ44.45S	
	吐出配管	mm	φ31.75S	
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ19.05F／φ19.05F	
騒音＜注4＞		dB(A)	63.5／65.5＜オプションパネル付:54.0／55.0＞	
推奨リモートコンデンサ形名			RM-P150A	

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃
　測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

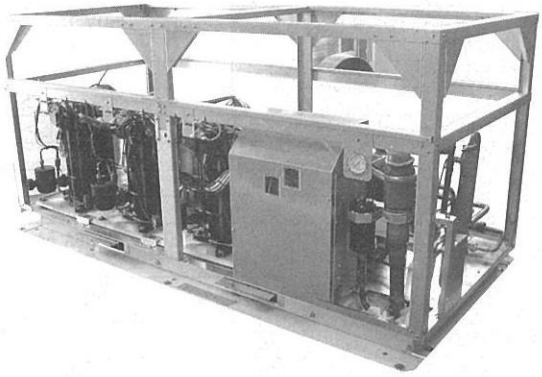
EC-EP225A

据付方法　屋内設置
周囲温度－5～＋40℃

空冷式 | スクロール | 22.5kW 呼称出力 | 10.8/12.6 法定冷凍トン | －45～－20℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒 | 0-33-67-100％（順次始動）容量制御

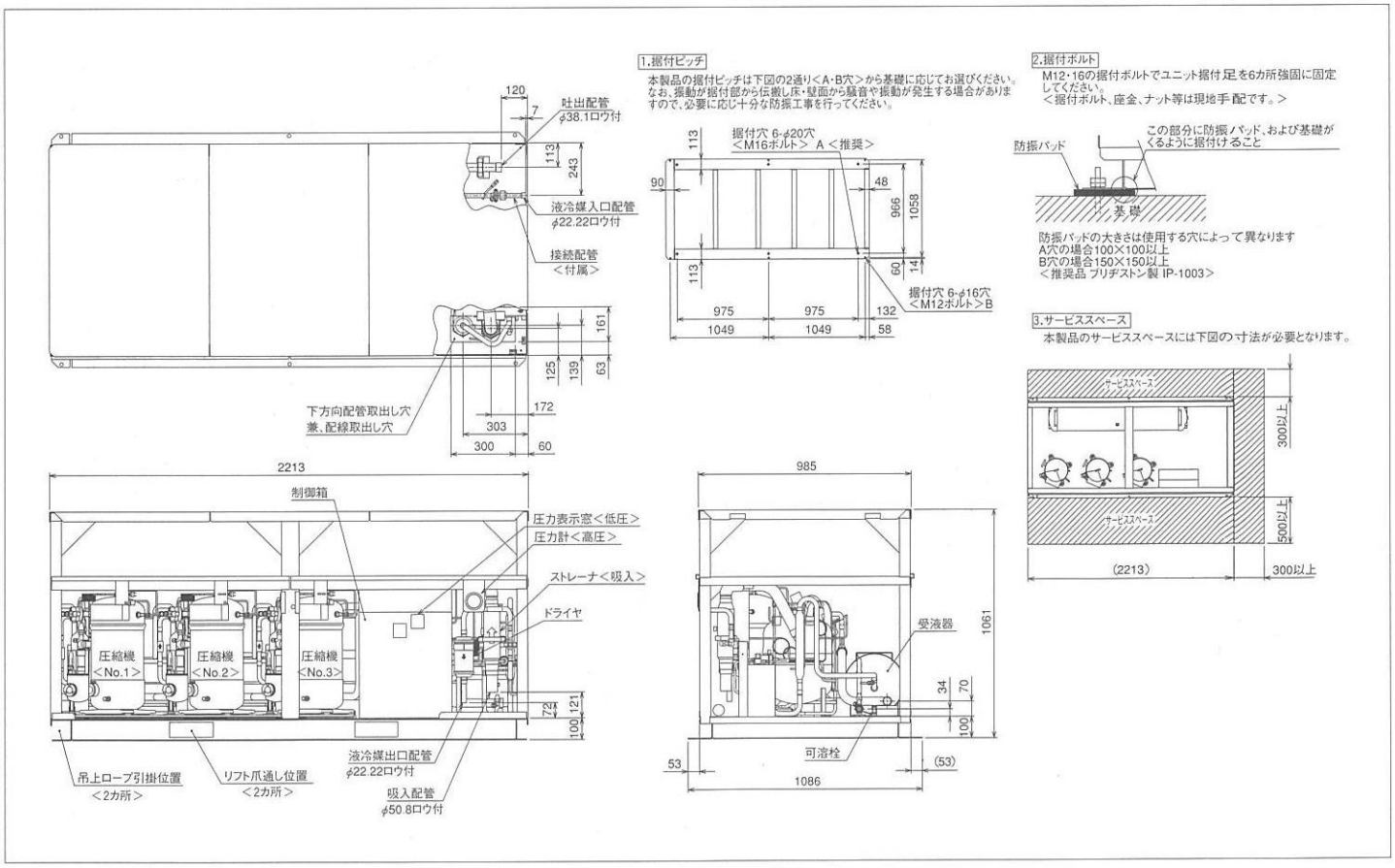
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P102～103	P108	P110～113	P114～122



三相　200V　50／60Hz

項目			形名	EC-EP225A		
電気特性	消費電力＜注1＞		kW	18.9／22.3		
	運転電流＜注1＞		A	66.2／70.5		
	力率＜注1＞		%	82.4／91.3		
	始動電流		A	304／291		
圧縮機	形名			UDJ165TA-RH ＜No.1＞	UDJ165TA-RH ＜No.2＞	UDJ165TA-RH ＜No.3＞
	定格出力		kW	7.45	7.45	7.45
	押しのけ量		m³/h	28.7／33.7	28.7／33.7	28.7／33.7
	クランクケースヒータ		W	72	72	72
冷凍機油	種類			ダイヤモンドフリーズ MEL32		
	充てん量	初期 圧縮機	L	3.5	3.5	3.5
		その他	L	7＜アキュムレータ内＞		
	正規充てん量＜注2＞		L	＜3.5×3＞＋7		
受液器	内容量		L	74		
	可溶栓			有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞		
高圧カット防止機能				－		
保護装置	高低圧圧力開閉器			有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞		
	電磁開閉器・熱動過電流継電器			有＜50A設定＞×3		
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞			有＜OFF:135℃、ON:115℃＞		
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞			有＜OFF:130℃、ON:108℃＞		
	ヒューズ	操作回路用		250V 5A×1、250V 6A×1、		
		凝縮器送風機用		250V 15A×2		
	逆相防止器			有		
	油温検出保護			有		
内蔵品	圧力計			有＜高圧＞		
	サクションアキュムレータ			有＜25L＞		
	油分離器			有		
	ドライヤ			有		
	サイトグラス			有＜付属＞		
付属部品				予備ヒューズ＜5A、6A、15A＞、チェックジョイント		
外装色				鋼板仕上		
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞			mm	1,061×2,213×985＜1,086＞		
製品質量＜荷造質量＞			kg	580＜585＞		
配管寸法＜注3＞	吸入配管		mm	φ50.8S		
	吐出配管		mm	φ38.1S		
	液冷媒配管＜入口／出口＞		mm	φ22.22S／φ22.22S		
騒音＜注4＞			dB(A)	65.5／67.5＜オプションパネル付:55.0／56.0＞		
推奨リモートコンデンサ＜台数＞				RM-P110A<2>		

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
　周囲温度：32℃，蒸発温度：－40℃
　測定場所：無響音室相当でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



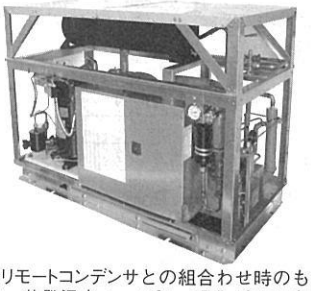
ERV-EP110A+RMW-P150A

据付方法　屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式　スクロール　インバータ　11.0kW 呼称出力　6.6 法定冷凍トン

－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲　R404A 冷媒　0-23～100％（インバータ始動）容量制御

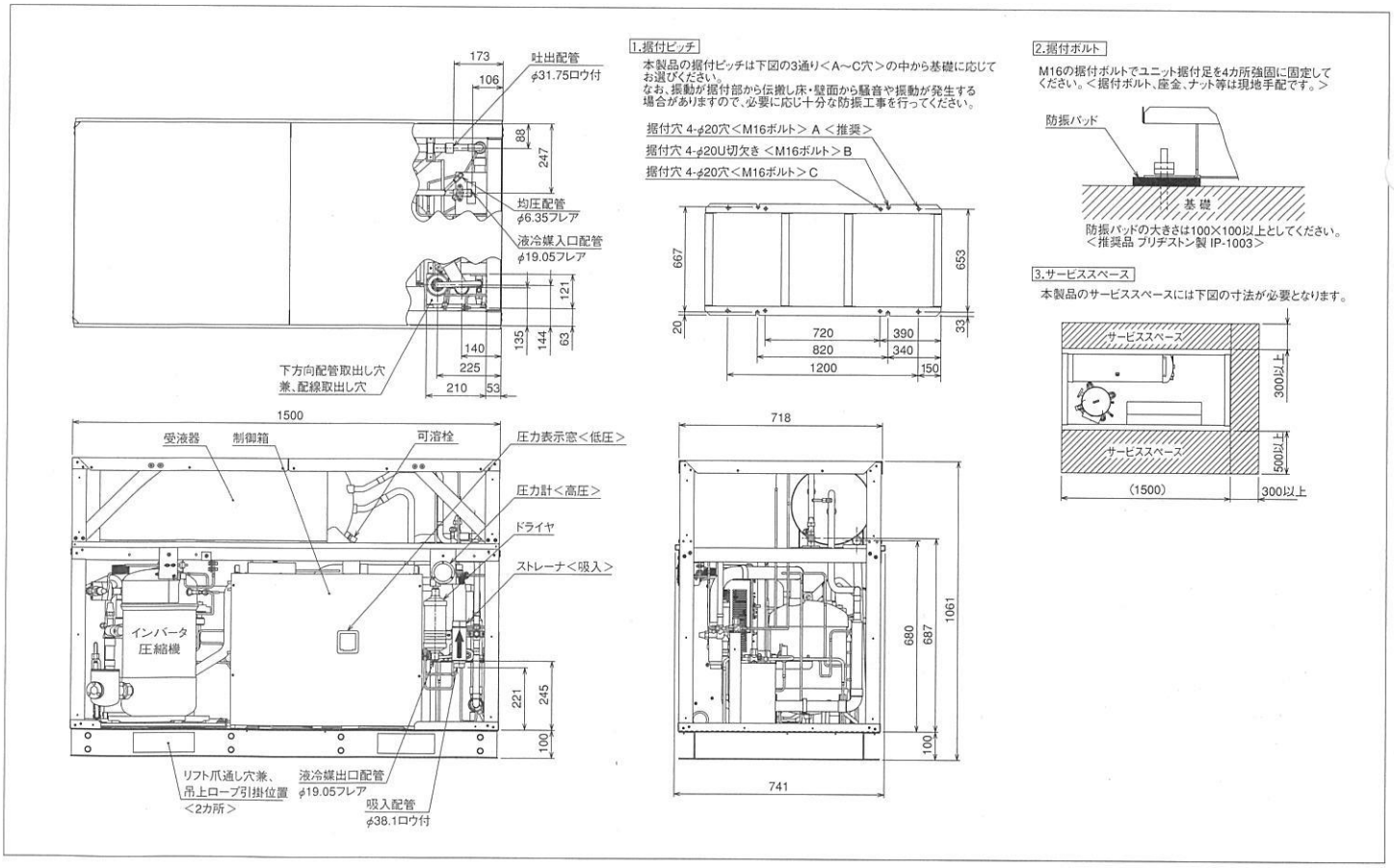
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P93	P109	P110～113	P114～122



三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ERV-EP110A
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	10.4（90Hz運転時:13.2）
	運転電流＜注1＞	A	32.1（90Hz運転時:40.6）
	力率＜注1＞	%	93（90Hz運転時:94）
	始動電流	A	25.0／25.0
圧縮機	形名		UDK165FA-RH
	定格出力	kW	11.0
	押しのけ量	m³/h	53.6
	クランクケースヒータ	W	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量　圧縮機	L	3.5
	初期充てん量　その他	L	6＜アキュムレータ内＞
	正規充てん量＜注2＞	L	3.5＋6
受液器	内容量	L	48
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞
高圧カット防止機能			有
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	過電流保護		有＜53A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		－
	ヒューズ　操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1
	ヒューズ　凝縮器送風機用		250V 15A×3
	逆相防止器		有
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜18L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜15A、6A、5A、3A、2A、1A、＞、チェックジョイント
外装色			鋼板仕上
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,061×1,500×718
製品質量＜荷造質量＞		kg	295＜300＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ38.1S
	吐出配管	mm	φ31.75S
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ19.05F／φ19.05F
騒音＜注4＞		dB(A)	65.0＜オプションパネル付:51.5＞
推奨リモートコンデンサ			RMW-P150A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサとの組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K，運転周波数：75Hz
2. 正規充てん量は圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサと組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－40℃，運転周波数：60Hz
測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

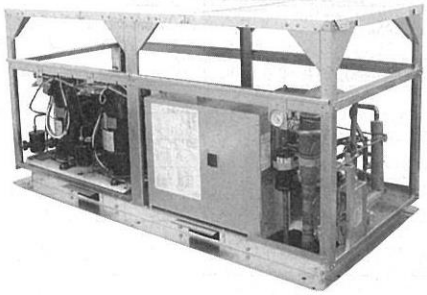
ECV-EP185A+RMW-P225A

据付方法	屋内設置 周囲温度＋5～＋40℃ （ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式	スクロール	インバータ	18.5kW 呼称出力	10.1/10.7 法定冷凍トン

－45～－5℃ 吸入圧力 飽和温度範囲	R404A 冷媒	0-15～100%／0-14～100% （インバータ始動＋順次始動） 容量制御

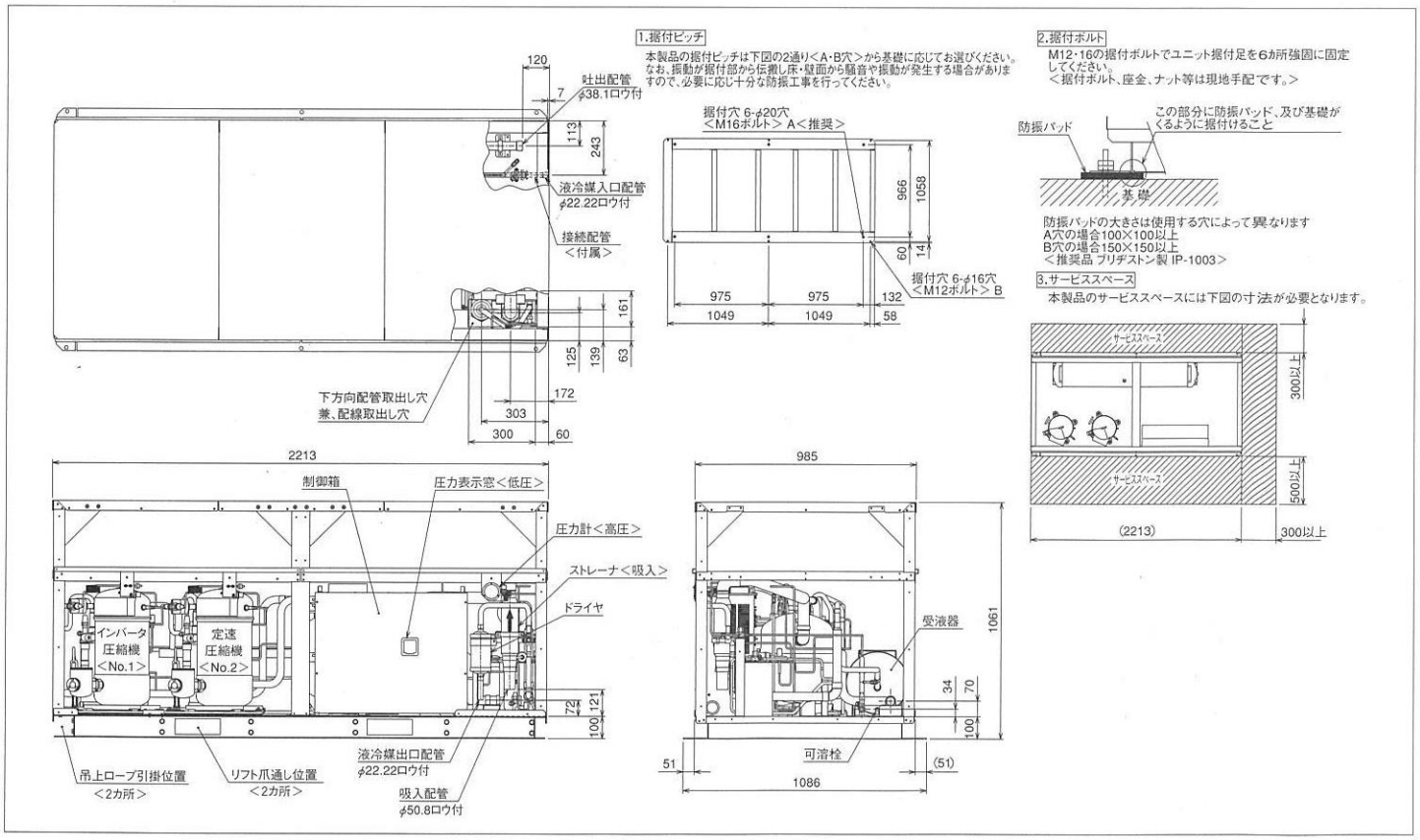
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P94	P109	P110～113	P114～122



三相 200V 50／60Hz

項目		形名	ECV-EP185A	
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	17.3／18.9（90Hz＋定格運転時:18.9／20.8）	
	運転電流＜注1＞	A	52.4／56.9（90Hz＋定格運転時:57.6／62.1）	
	力率＜注1＞	%	95／96（90Hz＋定格運転時:95／97）	
	始動電流	A	297／274	
圧縮機	形名		UDK165FA-RH＜No.1＞	UDJ165TA-RH＜No.2＞
	定格出力	kW	11.0	7.45
	押しのけ量	m³/h	53.6	28.7／33.7
	クランクケースヒータ	W	72	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32	
	初期充てん量 圧縮機	L	3.5	3.5
	初期充てん量 その他	L	9＜アキュムレータ内＞	
	正規充てん量＜注2＞	L	＜3.5×2＞＋9	
受液器	内容量	L	74	
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞	
高圧カット防止機能			有	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞	
	過電流保護		有＜53A設定＞	有＜50A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞	
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		－	有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ 操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1	
	ヒューズ 凝縮器送風機用		250V 15A×3	
	逆相防止器		有	
	油温検出保護		有	
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞	
	サクションアキュムレータ		有＜25L＞	
	油分離器		有	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有＜付属＞	
付属部品			予備ヒューズ＜15A、6A、5A、3A、2A、1A、＞、チェックジョイント、接続配管＜液冷媒入口＞	
外装色			鋼板仕上	
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,061×2,213×985＜1,086＞	
製品質量＜荷造質量＞		kg	500＜505＞	
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ50.8S	
	吐出配管	mm	φ38.1S	
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ22.22S／φ22.22S	
騒音＜注4＞		dB(A)	65.5／65.5＜オプションパネル付:53.5／53.5＞	
推奨リモートコンデンサ			**RMW-P225A**	

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサとの組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K，インバータ圧縮機運転周波数：75Hz，定速圧縮機：運転
2. 正規充てん量は圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサと組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－40℃，運転周波数：60Hz，定速圧縮機：運転
測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



ECV-EP260A+RMW-P150A×2

据付方法 屋内設置 周囲温度−5〜+40℃

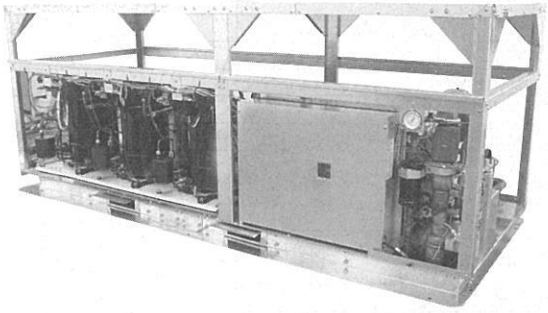
水冷式	スクロール	インバータ	26.0kW 呼称出力	13.6/14.8 法定冷凍トン

−45〜−5℃ 吸入圧力 飽和温度範囲	R404A 冷媒	0-11〜100%/0-10〜100% (インバータ始動+順次始動) 容量制御

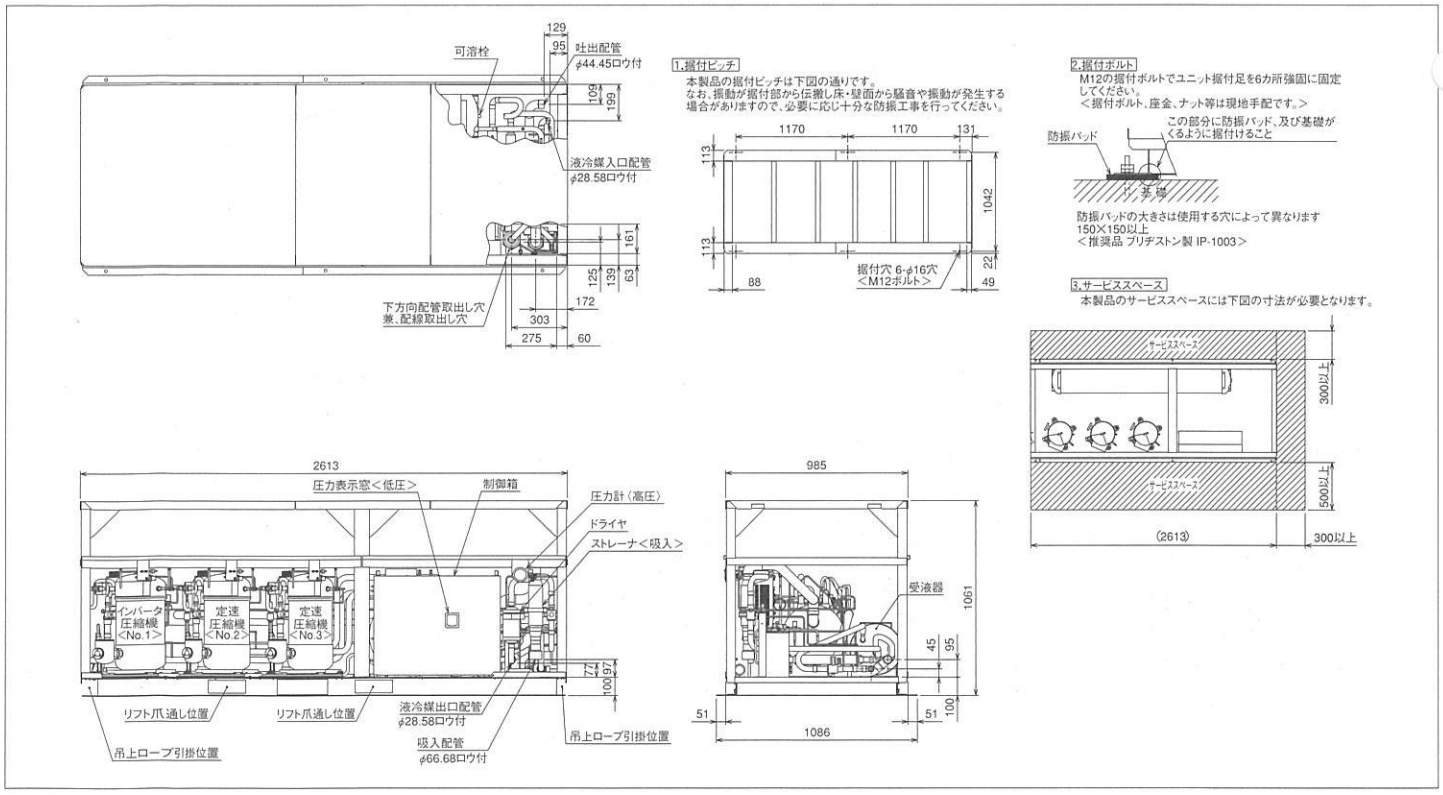
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ/オプション
P13〜14	P95	P109	P110〜113	P114〜122

三相 200V 50/60Hz

項目		形名	ECV-EP260A		
電気特性	消費電力<注1>	kW	23.9/26.3(90Hz+定格運転時:26.3/28.6)		
	運転電流<注1>	A	73.5/81.0(90Hz+定格運転時:84.5/91.1)		
	力率 <注1>	%	94/94(90Hz+定格運転時:90/91)		
	始動電流	A	329/312		
圧縮機	形名		UDK165FA-RH <No.1>	UDJ165TA-RH <No.2>	UDJ165TA-RH <No.3>
	定格出力	kW	11.0	7.45	7.45
	押しのけ量	m³/h	53.6	28.7/33.7	28.7/33.7
	クランクケースヒータ	W	72	72	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32		
	初期充てん量 圧縮機	L	3.5	3.5	3.5
	初期充てん量 その他	L	12<アキュムレータ内>		
	正規充てん量<注2>	L	<3.5×3>+12		
受液器	内容量	L	98		
	可溶栓		有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>		
高圧カット防止機能			有		
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧:機械式、低圧:デジタル式>		
	過電流保護		有<53A設定>	有<50A設定>	有<50A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>		
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		−	有<OFF:130℃、ON:108℃>	
	ヒューズ 操作回路用		250V 6A×1、250V 5A×1、250V 3A×1、250V 2A×2、250V 1A×1		
	ヒューズ 凝縮器送風機用		250V 15A×2, 220V 30A<ブレーカ仕様>		
	逆相防止器		有		
	油温検出保護		有		
内蔵品	圧力計		有<高圧>		
	サクションアキュムレータ		有<36L>		
	油分離器		有		
	ドライヤ		有		
	サイトグラス		有<付属>		
付属部品			予備ヒューズ<15A、6A、5A、3A、2A、1A、>、チェックジョイント		
外装色			鋼板仕上		
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,061×2,613×985<1,086>		
製品質量<荷造質量>		kg	680<685>		
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ66.68S		
	吐出配管	mm	φ44.45S		
	液冷媒配管<入口/出口>	mm	φ28.58S/φ28.58S		
騒音<注4>		dB(A)	66.5/67.5<オプションパネル付:54.5/55.5>		
推奨リモートコンデンサ<台数>			**RMW-P150A<2>**		



注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサと組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃、蒸発温度：−10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
インバータ圧縮機運転周波数：75Hz、定速圧縮機：運転
2. 正規充てん量は圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサと組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃、蒸発温度：−40℃、インバータ圧縮機運転周波数：60Hz、定速圧縮機：運転
測定場所：無響音室でユニット正面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ER-EP22A+RMW-P30A

据付方法

屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
（オプションパネル取付による屋外設置可）
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式 | スクロール | 2.2kW 呼称出力 | 1.2/1.5 法定冷凍トン | －45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

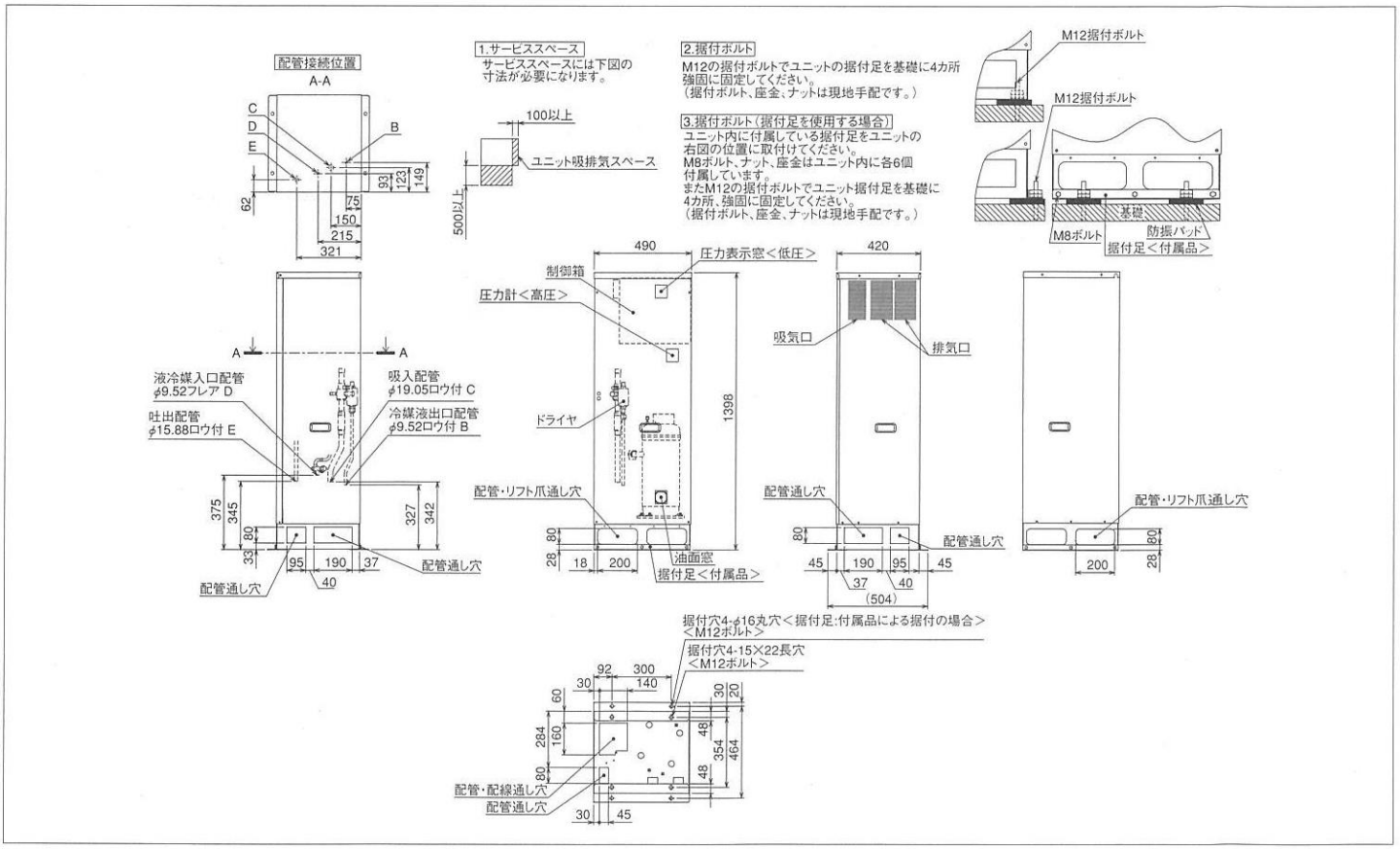
R404A 冷媒

能力表 P13～14
電気回路 P96～97
電気特性 P109
据付関係資料 P110～113
お客様へ／オプション P114～122

三相 200V 50／60Hz

項目			形名 ER-EP30A
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	2.5／3.1
	運転電流＜注1＞	A	8.5／9.7
	力率 ＜注1＞	%	85／92
	始動電流	A	76／67
圧縮機	形名		ZDJ055TA
	定格出力	kW	2.2
	押しのけ量	m³/h	9.9／11.6
	クランクケースヒータ	W	62
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期充てん量 圧縮機	L	2.3
	初期充てん量 その他	L	―
	正規充てん量＜注2＞	L	1.3
受液器	内容量	L	6.5
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜21A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ 操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A,6A,15A＜－＞
	逆相防止器		有＜基板組込＞
	油温検出保護		―
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜4L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A,6A,15A＞、チェックジョイント、据付足＜取付ボルト一式＞
外装色			鋼板仕上
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,398×490×420
製品質量＜荷造質量＞		kg	113＜115＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ19.05S
	吐出配管	mm	φ15.88S
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ9.52F／φ9.52S
騒音＜注4＞		dB(A)	50／52＜オプションパネル付：45／46＞
推奨リモートコンデンサ			RMW-P30A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：35℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，
サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：35℃，蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
なお、吸・排気口のあるユニット右側面の騒音値は表示値より、若干、大きくなります。
5. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
冷却水入口温度：32℃，冷却水出口温度：37℃，蒸発温度：－10℃，
吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
冷却水量：25L/min（50Hz）30L/min（60Hz）
冷却水汚れ係数：0.086m²K/kW
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



ER-EP30A+RMW-P30A

据付方法
屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
（オプションパネル取付による屋外設置可）
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式 | スクロール | 3.0kW 呼称出力 | 1.6/1.9 法定冷凍トン | －45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

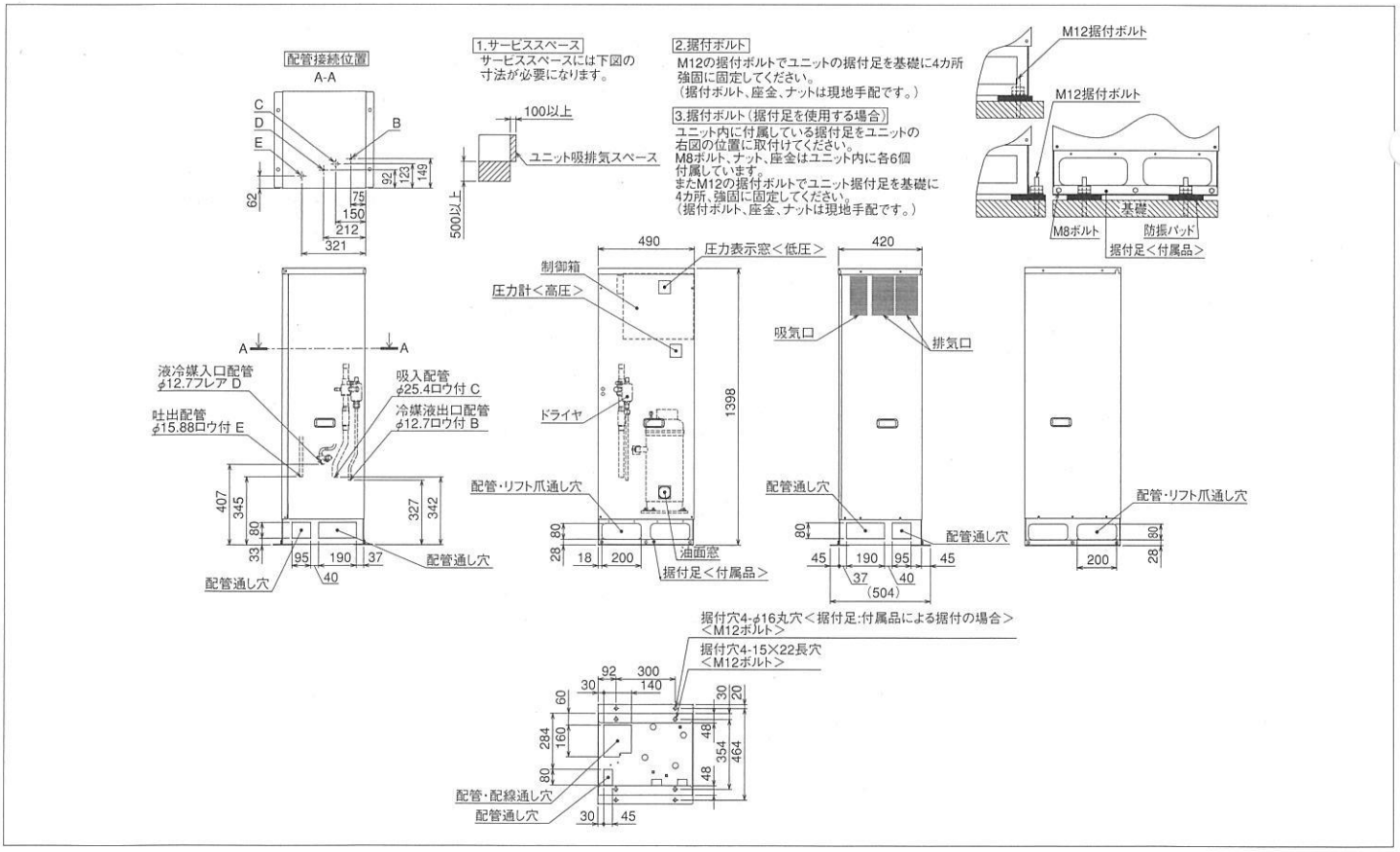
R404A 冷媒

能力表 P13～14
電気回路 P96～97
電気特性 P109
据付関係資料 P110～113
お客様へ／オプション P114～122

三相 200V 50／60Hz

項目		形名	ER-EP30A
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	3.2／3.9
	運転電流＜注1＞	A	10.9／12.2
	力率 ＜注1＞	%	85／92
	始動電流	A	86／75
圧縮機	形名		ZDJ075TA
	定格出力	kW	3.0
	押しのけ量	m³/h	13.2／15.4
	クランクケースヒータ	W	62
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期充てん量 圧縮機	L	2.3
	初期充てん量 その他	L	―
	正規充てん量＜注2＞	L	1.3
受液器	内容量	L	13.2
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜27A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ 操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A,6A,15A＜－＞
	逆相防止器		有＜基板組込＞
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜9L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A,6A,15A＞、チェックジョイント、据付足＜取付ボルト一式＞
外装色			鋼板仕上
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,398×490×420
製品質量＜荷造質量＞		kg	119＜121＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ25.4S
	吐出配管	mm	φ15.88S
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ12.7F／φ12.7S
騒音＜注4＞		dB(A)	50／52＜オプションパネル付：46／47＞
推奨リモートコンデンサ			RMW-P30A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：35℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，
サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
周囲温度：35℃，蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
なお、吸・排気口のあるユニット右側面の騒音値は表示値より、若干、大きくなります。
5. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
冷却水入口温度：32℃，冷却水出口温度：37℃，蒸発温度：－10℃，
吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
冷却水量：34L/min（50Hz） 40L/min（60Hz）
冷却水汚れ係数：0.086m²K/kW
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ER-EP37A+RMW-P45A

据付方法

屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
（オプションパネル取付による屋外設置可）
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式 | スクロール | 3.7kW 呼称出力 | 2.0/2.3 法定冷凍トン | －45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

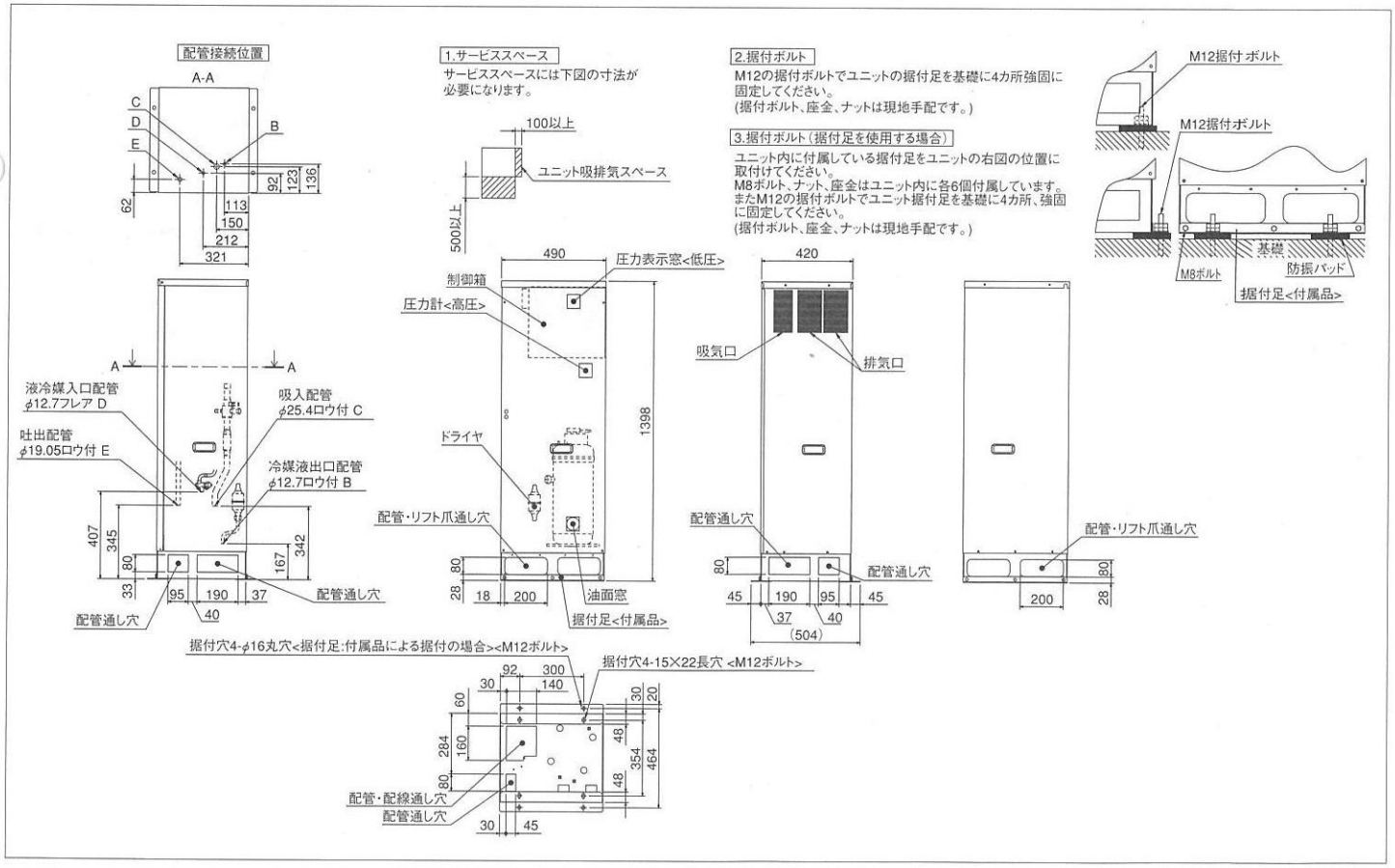
R404A 冷媒

能力表 P13～14
電気回路 P96～97
電気特性 P109
据付関係資料 P110～113
お客様へ／オプション P114～122

三相 200V 50／60Hz

項目		形名	ER-EP37A
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	3.8／4.6
	運転電流＜注1＞	A	12.6／14.4
	力率 ＜注1＞	%	87／92
	始動電流	A	109／94
圧縮機	形名		ZDJ092TA
	定格出力	kW	3.7
	押しのけ量	m³/h	16.1／18.9
	クランクケースヒータ	W	62
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期 圧縮機	L	2.8
	充てん量 その他	L	－
	正規充てん量＜注2＞	L	1.9
受液器	内容量	L	13.2
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜27A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ 操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A,6A,15A
	逆相防止器		有＜基板組込＞
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜9L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A,6A,15A＞、チェックジョイント、据付足＜取付ボルト一式＞
外装色			鋼板仕上
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,398×490×420
製品質量＜荷造質量＞		kg	125＜127＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ25.4S
	吐出配管	mm	φ19.05S
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ12.7F／φ12.7S
騒音＜注4＞		dB(A)	52／54＜オプションパネル付：47／48＞
推奨リモートコンデンサ形名			RMW-P45A

1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
   凝縮温度：35℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，
   サブクール：5K、
2. 正規充てん量は、圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
   凝縮温度：35℃，蒸発温度：－40℃
   測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
   なお、吸・排気口のあるユニット右側面の騒音値は表示値より、若干、大きくなります。
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

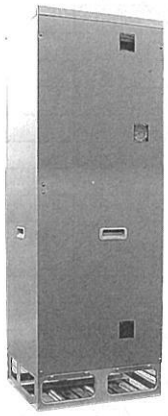


ER-EP45A+RMW-P45A

据付方法
屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
(オプションパネル取付による屋外設置可)
(ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃)

水冷式 | スクロール | 4.5kW 呼称出力 | 2.5/3.0 法定冷凍トン | －45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

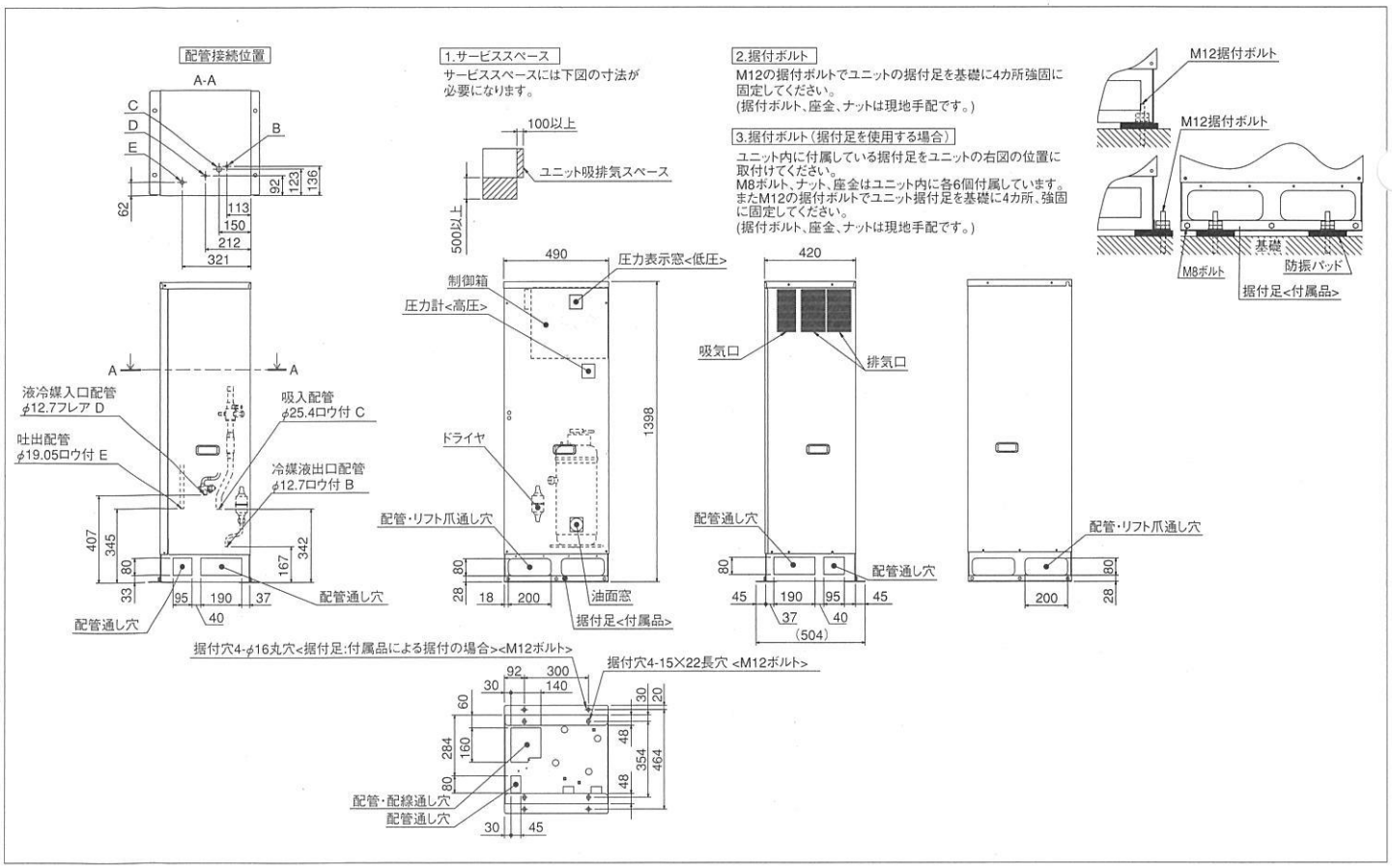


能力表 P13～14
電気回路 P96～97
電気特性 P109
据付関係資料 P110～113
お客様へ/オプション P114～122

三相 200V 50／60Hz

項目		形名	ER-EP45A
電気特性	消費電力<注1>	kW	5.1／6.1
	運転電流<注1>	A	16.8／18.8
	力率 <注1>	%	88／94
	始動電流	A	122／107
圧縮機	形名		ZDJ117TA
	定格出力	kW	4.5
	押しのけ量	m³/h	20.4／23.9
	クランクケースヒータ	W	62
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32
	初期充てん量 圧縮機	L	2.8
	初期充てん量 その他	L	―
	正規充てん量<注2>	L	1.9
受液器	内容量	L	13.2
	可溶栓		有<口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下>
保護装置	高低圧圧力開閉器		有<高圧：機械式、低圧：デジタル式>
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有<38A設定>
	温度開閉器<圧縮機・吐出管>		有<OFF:135℃、ON:115℃>
	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		有<OFF:130℃、ON:108℃>
	ヒューズ 操作回路用<凝縮器送風機用>		250V 5A,6A,15A
	逆相防止器		有<基板組込>
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有<高圧>
	サクションアキュムレータ		有<9L>
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有<付属>
付属部品			予備ヒューズ<5A,6A,15A>、チェックジョイント、据付足<取付ボルト一式>
外装色			鋼板仕上
外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,398×490×420
製品質量<荷造質量>		kg	125<127>
配管寸法<注3>	吸入配管	mm	φ25.4S
	吐出配管	mm	φ19.05S
	液冷媒配管<入口/出口>	mm	φ12.7F／φ12.7S
騒音<注4>		dB(A)	52／54<オプションパネル付：48／49>
推奨リモートコンデンサ形名			RMW-P45A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃、蒸発温度：－10℃、吸入ガス温度：18℃、
サブクール：5K、
2. 正規充てん量は、圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃、蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
なお、吸・排気口のあるユニット右側面の騒音値は表示値より、若干、大きくなります。
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

ER-EP55A+RMW-P75A

据付方法　屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

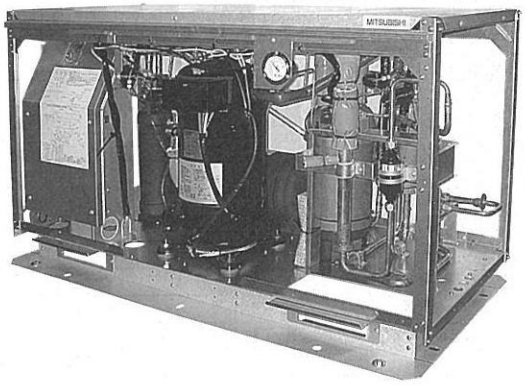
水冷式　スクロール　5.5kW 呼称出力　3.0/3.5 法定冷凍トン　－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

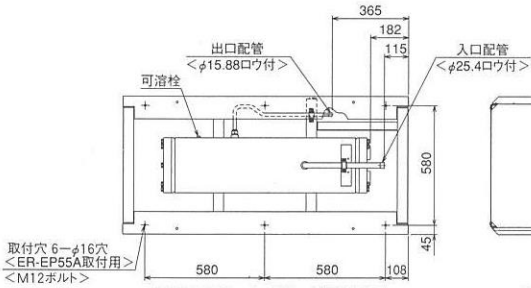
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ/オプション
P13～14	P98～99	P109	P110～113	P114～122

三相　200V　50／60Hz

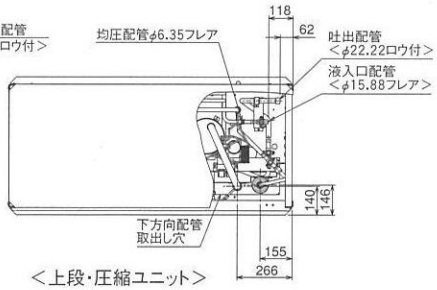
項目		形名	ER-EP55A
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	5.91／7.1
	運転電流＜注1＞	A	20.1／23.3
	力率＜注1＞	%	85／88
	始動電流	A	240／217
圧縮機	形名		UDJ137TA-H
	定格出力	kW	5.5
	押しのけ量	m³/h	23.9／28.0
	クランクケースヒータ	W	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量　圧縮機	L	4.9
	初期充てん量　その他	L	－
	正規充てん量＜注2＞	L	3.9
受液器	内容量	L	26
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜38A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A,6A,15A＜250V 10A＞
	逆相防止器		有＜基板組込＞
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜7L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A,6A,10A,15A＞
外装色			鋼板仕上
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	791×1,380×613
製品質量＜荷造質量＞		kg	192＜194＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ31.75S
	吐出配管	mm	φ22.22S
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ15.88F／φ15.88F
騒音＜注4＞		dB(A)	60／62＜オプションパネル付：53／54＞
推奨リモートコンデンサ			RMW-P75A



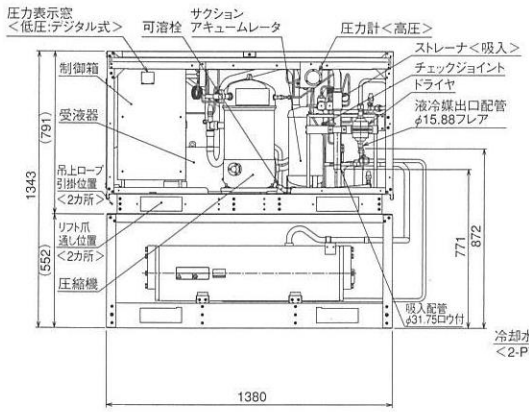
注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－10℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

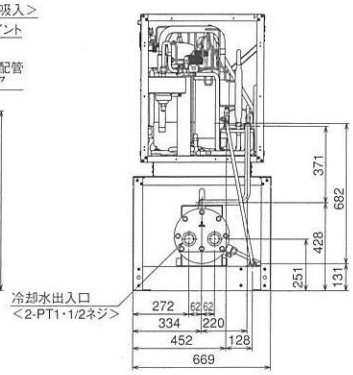


＜下段・リモート水冷式凝縮器＞

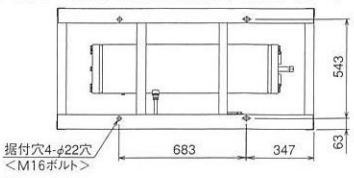


＜上段・圧縮ユニット＞

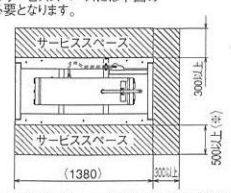




1.据付ピッチ
本製品の据付ピッチは下図のとおりです。
なお、振動が据付部から伝搬し、床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。

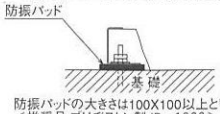


2.サービススペース
本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。



＜※＞上段に圧縮ユニットを段積みする場合は500mm以上とすることをお勧めします。

3.据付ボルト
M16のボルトでユニット据付足を4カ所強固に固定してください。
＜据付ボルト・座金・ナット等は現地手配です。＞



防振パッドの大きさは100X100以上としてください。
＜推奨品 ブリヂストン製 IP－1003＞

4.その他
圧縮ユニットと水冷凝縮器を本図の如く上下組合わせて設置するためのボルト、ナット、座金等、また圧縮ユニットと水冷凝縮器を接続する配管は現地手配となります。

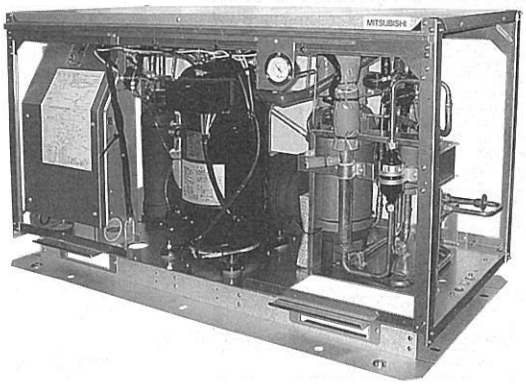
ER-EP75A+RMW-P75A

据付方法　屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式　スクロール　7.5kW 呼称出力　3.6/4.2 法定冷凍トン　－45～－5℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒

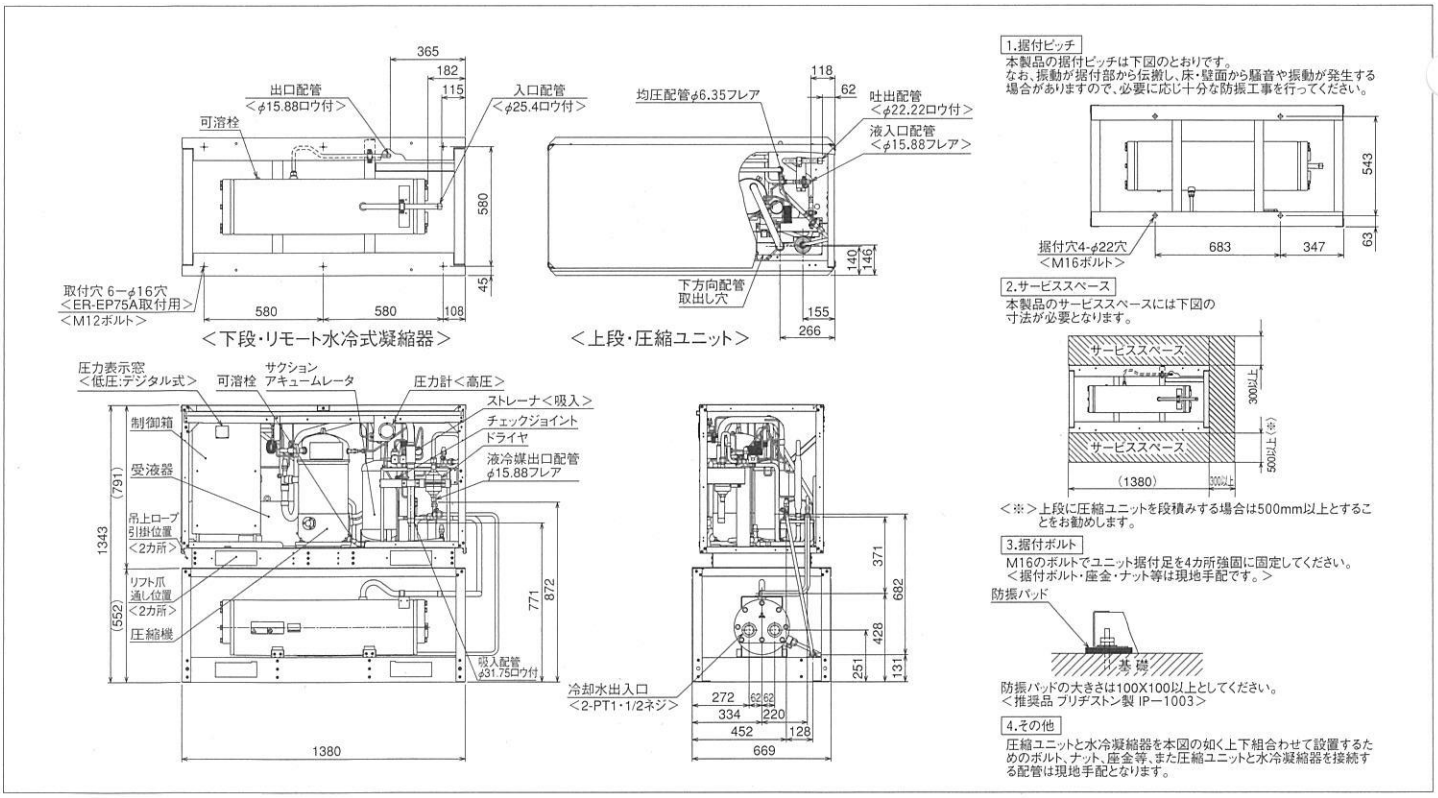
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P98～99	P109	P110～113	P114～122



三相　200V　50／60Hz

項目		形名	ER-EP75A
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	6.95／8.38
	運転電流＜注1＞	A	21.5／25.7
	力率＜注1＞	%	94／94
	始動電流	A	240／217
圧縮機	形名		UDJ165TA-H
	定格出力	kW	7.45
	押しのけ量	m³/h	28.7／33.7
	クランクケースヒータ	W	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ　MEL32
	初期充てん量　圧縮機	L	4.9
	初期充てん量　その他	L	－
	正規充てん量＜注2＞	L	3.9
受液器	内容量	L	26
	可溶栓		有＜口径φ5.0mm、溶融温度71℃以下＞
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜50A設定＞
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞
	ヒューズ　操作回路用＜凝縮器送風機用＞		250V 5A,6A,15A＜250V 10A＞
	逆相防止器		有＜基板組込＞
	油温検出保護		有
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞
	サクションアキュムレータ		有＜7L＞
	油分離器		有
	ドライヤ		有
	サイトグラス		有＜付属＞
付属部品			予備ヒューズ＜5A,6A,10A,15A＞
外装色			鋼板仕上
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	791×1,380×613
製品質量＜荷造質量＞		kg	192＜194＞
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ31.75S
	吐出配管	mm	φ22.22S
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ15.88F／φ15.88F
騒音＜注4＞		dB(A)	61／63＜オプションパネル付：54／56＞
推奨リモートコンデンサ			RMW-P75A

注1. 測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃、蒸発温度：－10℃、吸入ガス温度：18℃、サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機の油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は推奨リモートコンデンサ組合わせ時のもので、次のとおりです。
凝縮温度：35℃、蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



EC-EP150A+RMW-P150A

据付方法　屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式　スクロール　15.0kW 呼称出力　7.2/8.4 法定冷凍トン　－45～－20℃ 吸入圧力飽和温度範囲

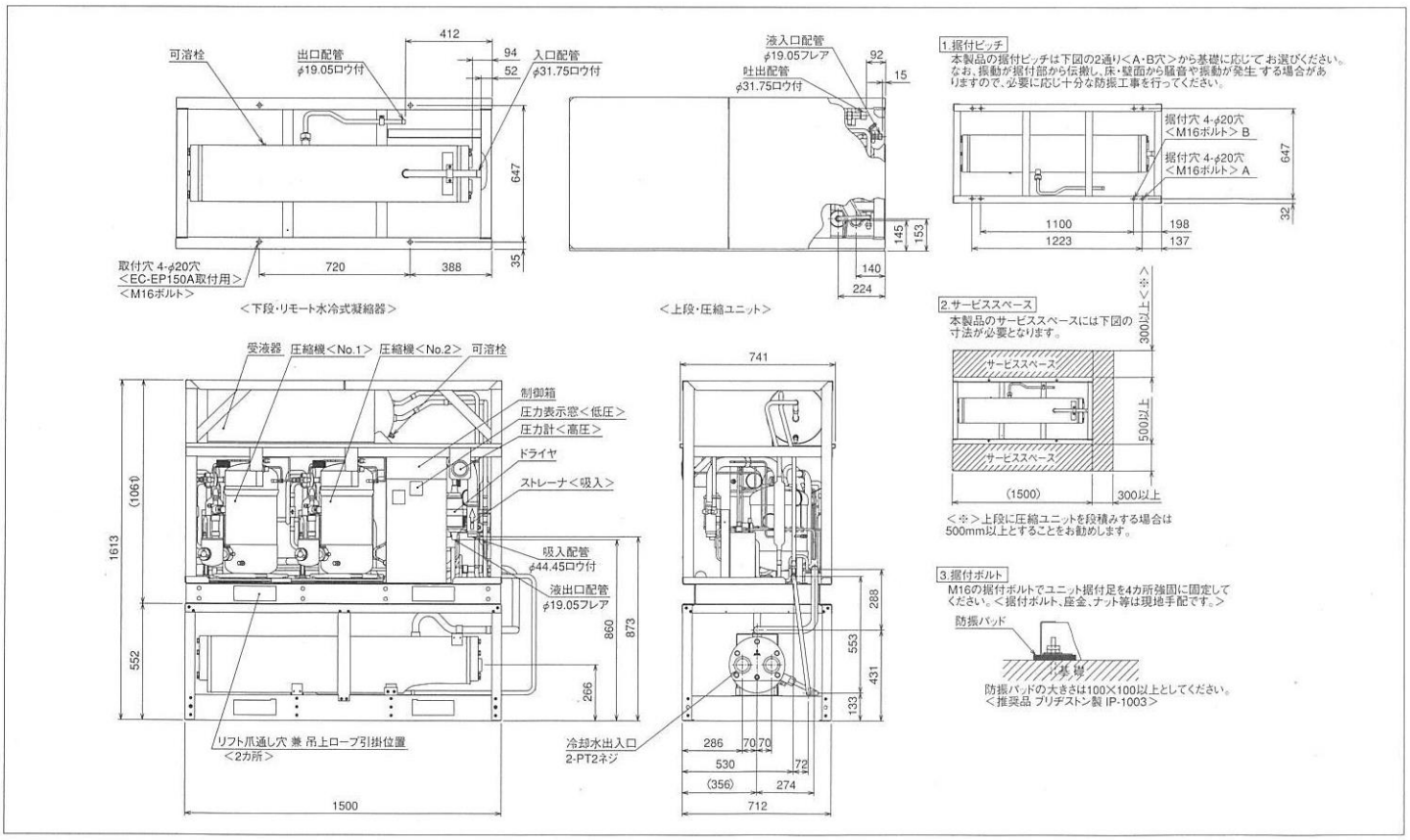
R404A 冷媒　0-50-100％（順次始動）容量制御

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P100～101	P109	P110～113	P114～122

三相　200V　50／60Hz

項目		形名	EC-EP150A	
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	10.3／12.3	
	運転電流＜注1＞	A	36.0／39.0	
	力率＜注1＞	%	82.4／91.2	
	始動電流	A	272／255	
圧縮機	形名		UDJ165TA-RH＜No.1＞	UDJ165TA-RH＜No.2＞
	定格出力	kW	7.45	7.45
	押しのけ量	m³/h	28.7／33.7	28.7／33.7
	クランクケースヒータ	W	72	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32	
	初期充てん量 圧縮機	L	3.5	3.5
	初期充てん量 その他	L	6＜アキュムレータ内＞	
	正規充てん量＜注2＞	L	＜3.5×2＞＋6	
受液器	内容量	L	48	
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃＞	
高圧カット防止機能			－	
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞	
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜50A設定＞×2	
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞	
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞	
	ヒューズ 操作回路用		250V 5A×1、250V 6A×1	
	ヒューズ 凝縮器送風機用		250V 15A×2	
	逆相防止器		有	
	油温検出保護		有	
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞	
	サクションアキュムレータ		有＜18L＞	
	油分離器		有	
	ドライヤ		有	
	サイトグラス		有＜付属＞	
付属部品			予備ヒューズ＜5A、6A、15A＞、チェックジョイント	
外装色			鋼板仕上	
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,061×1,500×718	
製品質量＜荷造質量＞		kg	351＜354＞	
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ44.45S	
	吐出配管	mm	φ31.75S	
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ19.05F／φ19.05F	
騒音＜注4＞		dB(A)	63.5／65.5＜オプションパネル付:54.0／55.0＞	
推奨リモートコンデンサ			RMW-P150A	

注1. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－40℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 測定条件は次のとおりです。
冷却水入口温度：32℃，冷却水出口温度：37℃，蒸発温度－40℃，
吸込ガス温度：18℃，サブクール：5K
冷却水量：79L/min（50Hz），92L/min（60Hz），
冷却水汚れ係数：0.086m²K/kW
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



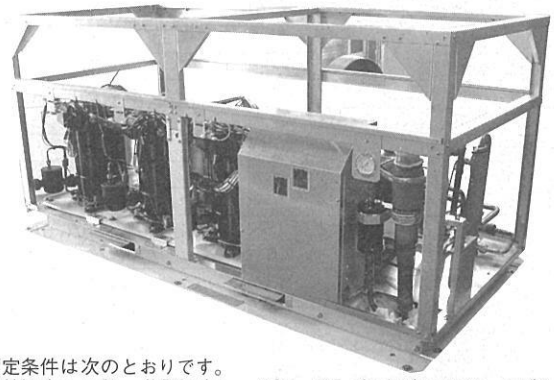
EC-EP225A+RMW-P225A

据付方法　屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式　スクロール　22.5kW 呼称出力　10.8/12.6 法定冷凍トン　－45～－20℃ 吸入圧力飽和温度範囲

R404A 冷媒　0-33-67-100%（順次始動）容量制御

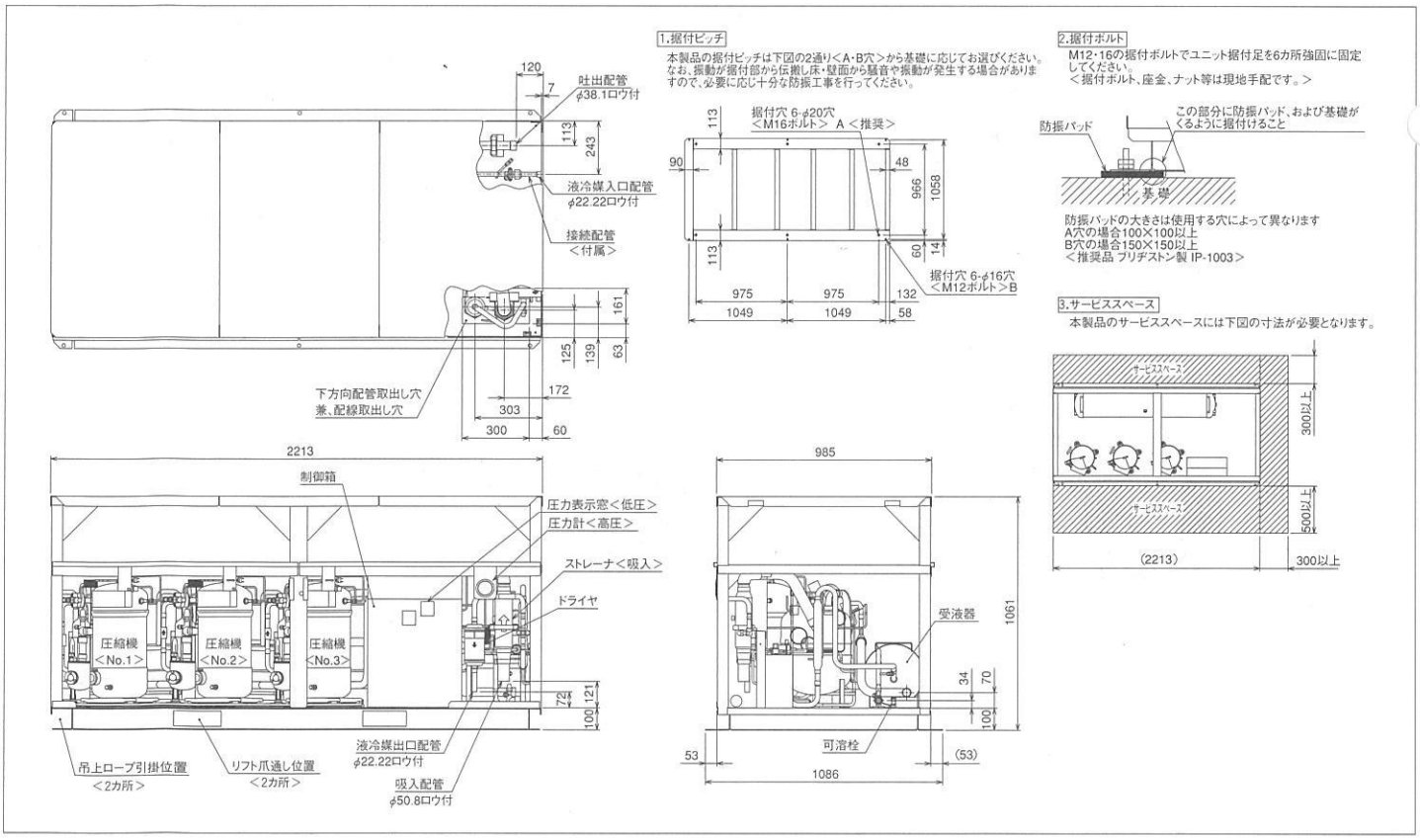
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
P13～14	P102～103	P109	P110～113	P114～122



三相　200V　50／60Hz

項目		形名	EC-EP225A		
電気特性	消費電力＜注1＞	kW	16.1／18.9		
	運転電流＜注1＞	A	56.6／59.0		
	力率＜注1＞	%	82.4／92.5		
	始動電流	A	304／291		
圧縮機	形名		UDJ165TA-RH ＜No.1＞	UDJ165TA-RH ＜No.2＞	UDJ165TA-RH ＜No.3＞
	定格出力	kW	7.45	7.45	7.45
	押しのけ量	m³/h	28.7／33.7	28.7／33.7	28.7／33.7
	クランクケースヒータ	W	72	72	72
冷凍機油	種類		ダイヤモンドフリーズ MEL32		
	初期充てん量 圧縮機	L	3.5	3.5	3.5
	初期充てん量 その他	L	7＜アキュムレータ内＞		
	正規充てん量＜注2＞	L	＜3.5×3＞＋7		
受液器	内容量	L	74		
	可溶栓		有＜口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下＞		
高圧カット防止機能			－		
保護装置	高低圧圧力開閉器		有＜高圧：機械式、低圧：デジタル式＞		
	電磁開閉器・熱動過電流継電器		有＜50A設定＞×3		
	温度開閉器＜圧縮機・吐出管＞		有＜OFF:135℃、ON:115℃＞		
	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞		有＜OFF:130℃、ON:108℃＞		
	ヒューズ 操作回路用		250V 5A×1、250V 6A×1、		
	ヒューズ 凝縮器送風機用		250V 15A×2		
	逆相防止器		有		
	油温検出保護		有		
内蔵品	圧力計		有＜高圧＞		
	サクションアキュムレータ		有＜25L＞		
	油分離器		有		
	ドライヤ		有		
	サイトグラス		有＜付属＞		
付属部品			予備ヒューズ＜5A、6A、15A＞、チェックジョイント		
外装色			鋼板仕上		
外形寸法＜高さ×幅×奥行＞		mm	1,061×2,213×985＜1,086＞		
製品質量＜荷造質量＞		kg	580＜585＞		
配管寸法＜注3＞	吸入配管	mm	φ50.8S		
	吐出配管	mm	φ38.1S		
	液冷媒配管＜入口／出口＞	mm	φ22.22S／φ22.22S		
騒音＜注4＞		dB(A)	65.5／67.5＜オプションパネル付:55.0／56.0＞		
推奨リモートコンデンサ			RMW-P225A		

注1. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－40℃，吸入ガス温度：18℃，サブクール：5K
2. 正規充てん量は、圧縮機油面窓中心での油量を示します。
3. 配管寸法欄　記号F：フレア接続、記号S：ロウ付接続
4. 騒音値の測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：35℃，蒸発温度：－40℃
測定場所：無響音室相当でユニット前面より距離1m、高さ1m
5. 測定条件は次のとおりです。
冷却水入口温度：32℃，冷却水出口温度：37℃，蒸発温度－40℃，
吸込ガス温度：18℃，サブクール：5K
冷却水量：61 L/min（50Hz），89 L/min（60Hz），
冷却水汚れ係数：0.086 m²K/kW
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



MITSUBISHI

RM-P30A

据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式

R404A
R22
冷媒<注4>

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

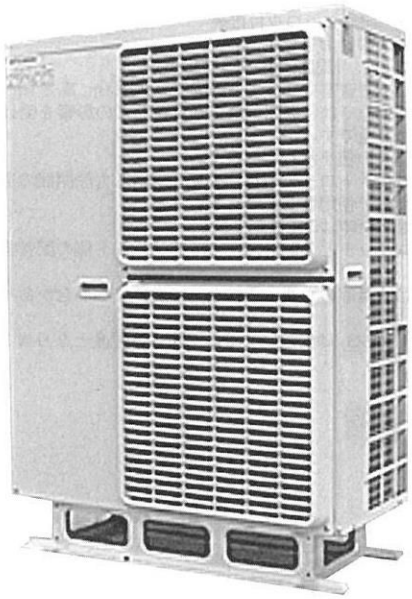
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
―	P104	―	P110～113	P114～122

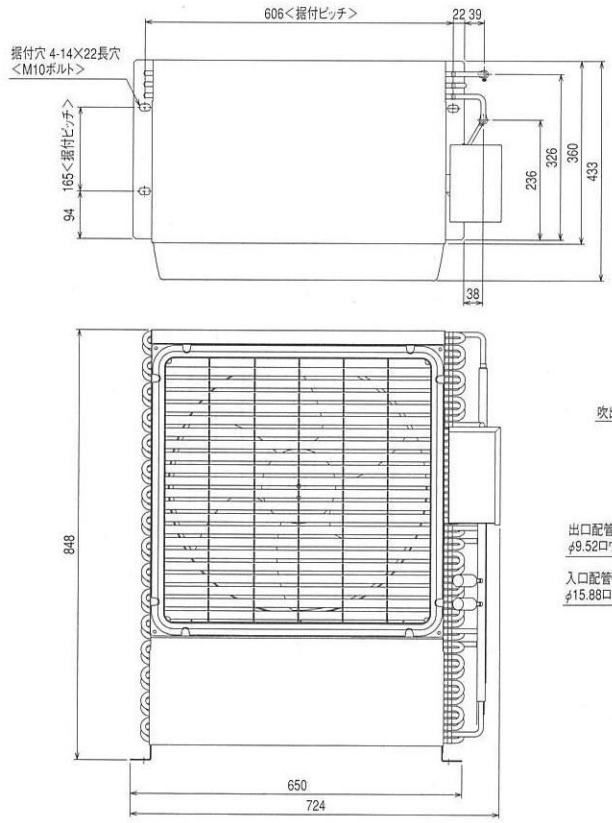
単相　200V 50／60Hz，220V 60Hz

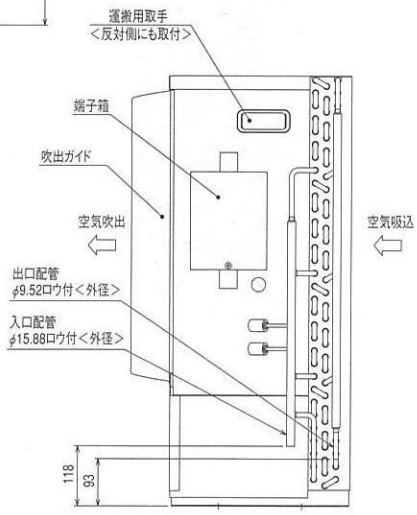
項目			形名	RM-P30A (-BS・-BSG)
運転電流<注3>			A	1.27／1.30
凝縮器	熱交換器形式			プレートフィンチューブ式
	送風機	電動機出力	W	110
		ファン径		φ490
	風量		m³/min	49／53
	凝縮圧力調整装置			電子ファンコントローラ
外装色				マンセル 5Y8／1
外形寸法	高さ		mm	848
	幅		mm	724
	奥行き		mm	360
質量	荷造質量		kg	36
	製品質量		kg	34
荷造寸法<高さ×幅×奥行>			mm	460×750×870
騒音<注2>			dB(A)	42／43
配管寸法<注1・5>	入口配管		mm	φ15.88S
	出口配管		mm	φ9.52S
適合圧縮機出力			kW	3.0

注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：45℃，（周囲温度：32℃相当）
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m，高さ1m
実際の据付状態では、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
3. ファン全速時の値を示しています。
4. 電子ファンコントローラのバックアップ用圧力開閉機の選択によりR22、R404A両冷媒で使用可能となっています。
なお、工場出荷時はR22設定です。
5. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

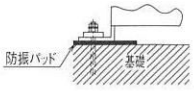
＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。



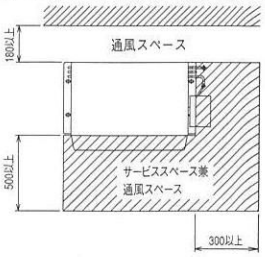




1.据付ボルト
M10の据付ボルトでユニットの据付足を4カ所強固に固定してください。（据付ボルト、座金、ナットは現地手配です。）
なお、据付ピッチは598～614mm×165mmとなっています。



2.サービススペース
サービススペースには下図の寸法が必要になります。



3.設置工事時の注意
ユニットは一般の人が容易に触れない場所への設置あるいは容易に触れないような処置をしてください。
⚠ フィン面での切傷・パイプ接触による火傷のおそれがあります。

4.その他
当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。

RM-P37A

据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式

R404A
R22
冷媒<注4>

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

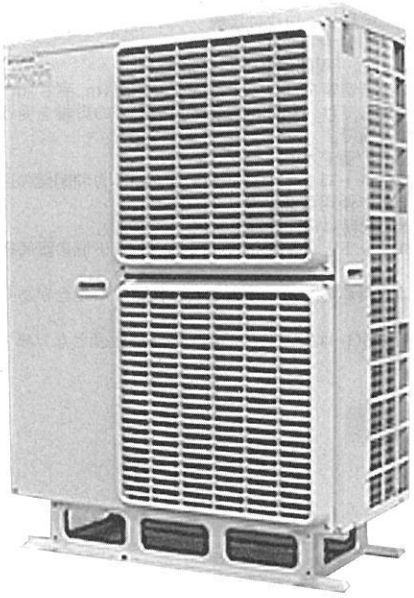
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	P104	—	P110～113	P114～122

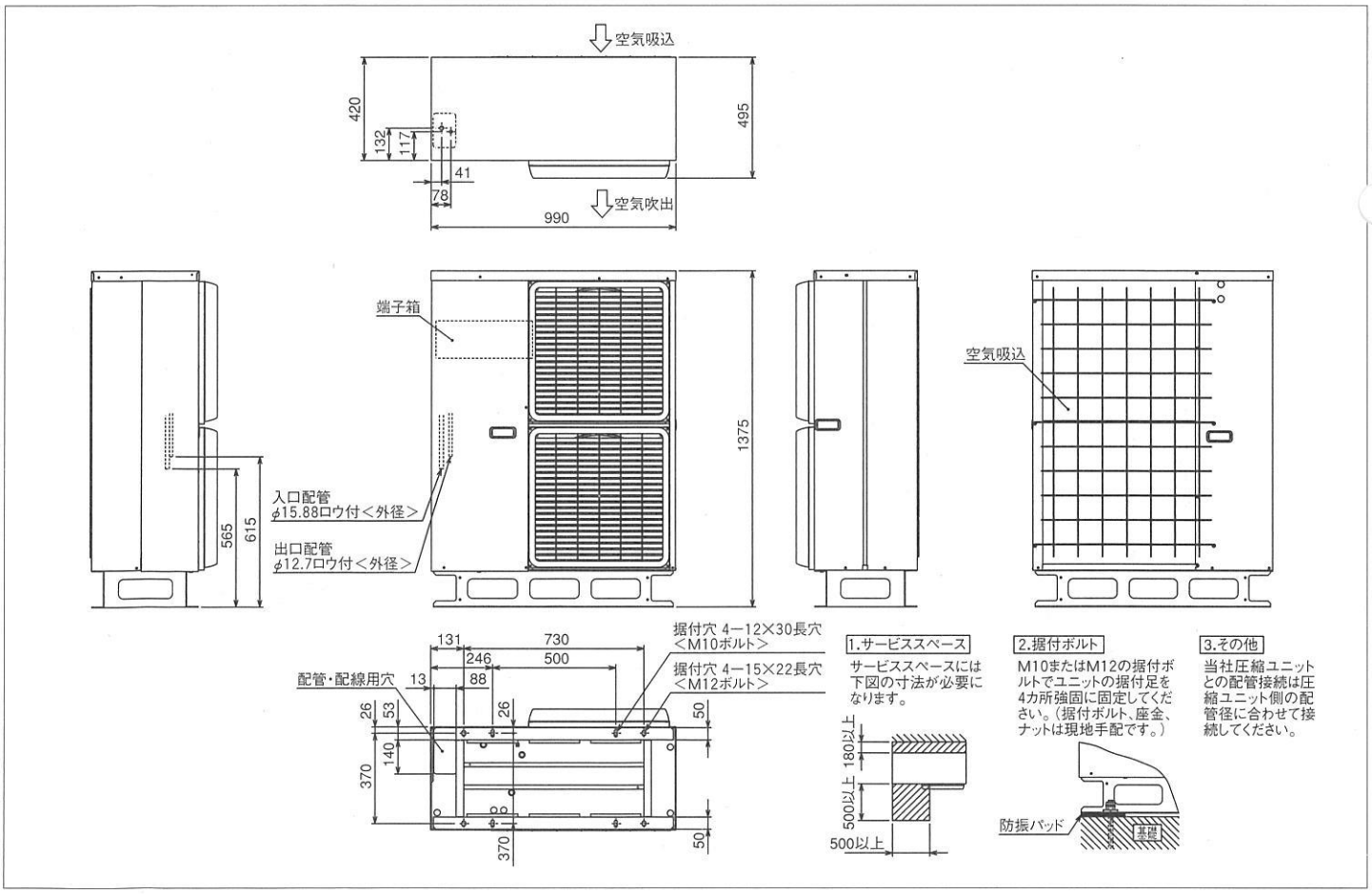
単相　200V 50／60Hz，220V 60Hz

項目		形名	RM-P37A (-BS・-BSG)
運転電流<注3>		A	2.0／2.2
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
凝縮器	送風機 電動機出力	W	88×2
凝縮器	送風機 ファン径		φ490×2
凝縮器	風量	m³/min	96／103
凝縮器	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
外装色			マンセル 5Y8／1
外形寸法	高さ	mm	1,375
外形寸法	幅	mm	990
外形寸法	奥行き	mm	420
質量	荷造質量	kg	76
質量	製品質量	kg	73
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,400×1,010×540
騒音<注2>		dB(A)	41／41
配管寸法<注1・5>	入口配管	mm	φ15.88S
配管寸法<注1・5>	出口配管	mm	φ12.7S
適合圧縮機出力		kW	3.7

注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：45℃，（周囲温度：32℃相当）
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m，高さ1m
実際の据付状態では、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
3. ファン全速時の値を示しています。
4. 電子ファンコントローラのバックアップ用圧力開閉機の選択によりR22、R404A両冷媒で使用可能となっています。
なお、工場出荷時はR22設定です。
5. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。





MITSUBISHI

RM-P45A

据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式

R404A
R22
冷媒<注4>

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

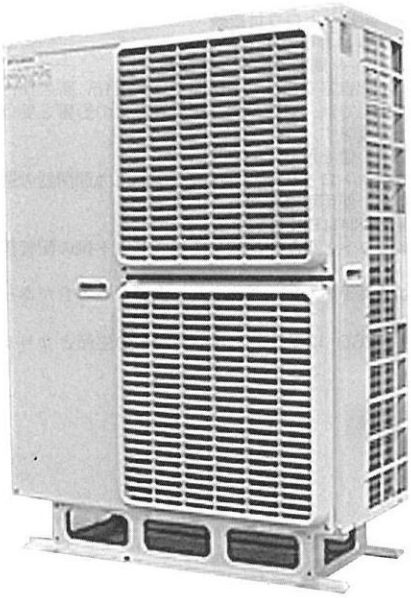
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	P104	—	P110～113	P114～122

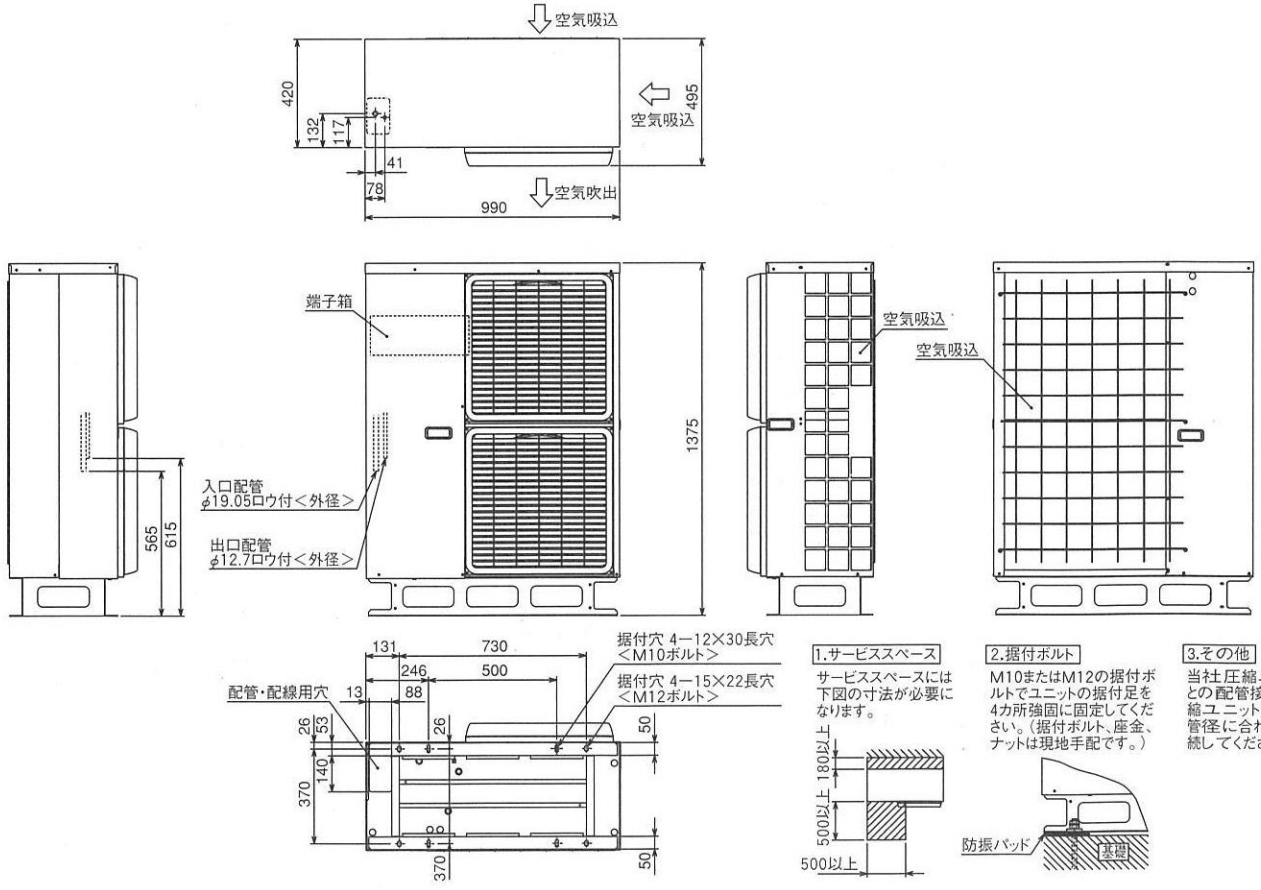
単相　200V 50／60Hz，220V 60Hz

項目		形名	RM-P45A (-BS・-BSG)
運転電流<注3>		A	2.0／2.2
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機 電動機出力	W	88×2
	送風機 ファン径		φ490×2
	風量	m³/min	110／115
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
外装色			マンセル5Y8／1
外形寸法	高さ	mm	1,375
	幅	mm	990
	奥行き	mm	420
質量	荷造質量	kg	81
	製品質量	kg	78
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,400×1,010×540
騒音<注2>		dB(A)	44／44
配管寸法<注1・5>	入口配管	mm	φ19.05S
	出口配管	mm	φ12.7S
適合圧縮機出力		kW	4.5

注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：45℃，（周囲温度：32℃相当）
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m，高さ1m
実際の据付状態では、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
3. ファン全速時の値を示しています。
4. 電子ファンコントローラのバックアップ用圧力開閉機の選択によりR22、R404A両冷媒で使用可能となっています。
なお、工場出荷時はR22設定です。
5. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。





RM-P55A

据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式

R404A
R22
冷媒<注4>

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

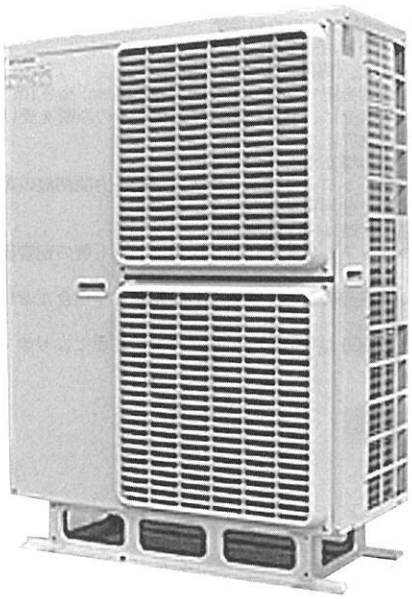
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
―	P104	―	P110～113	P114～122

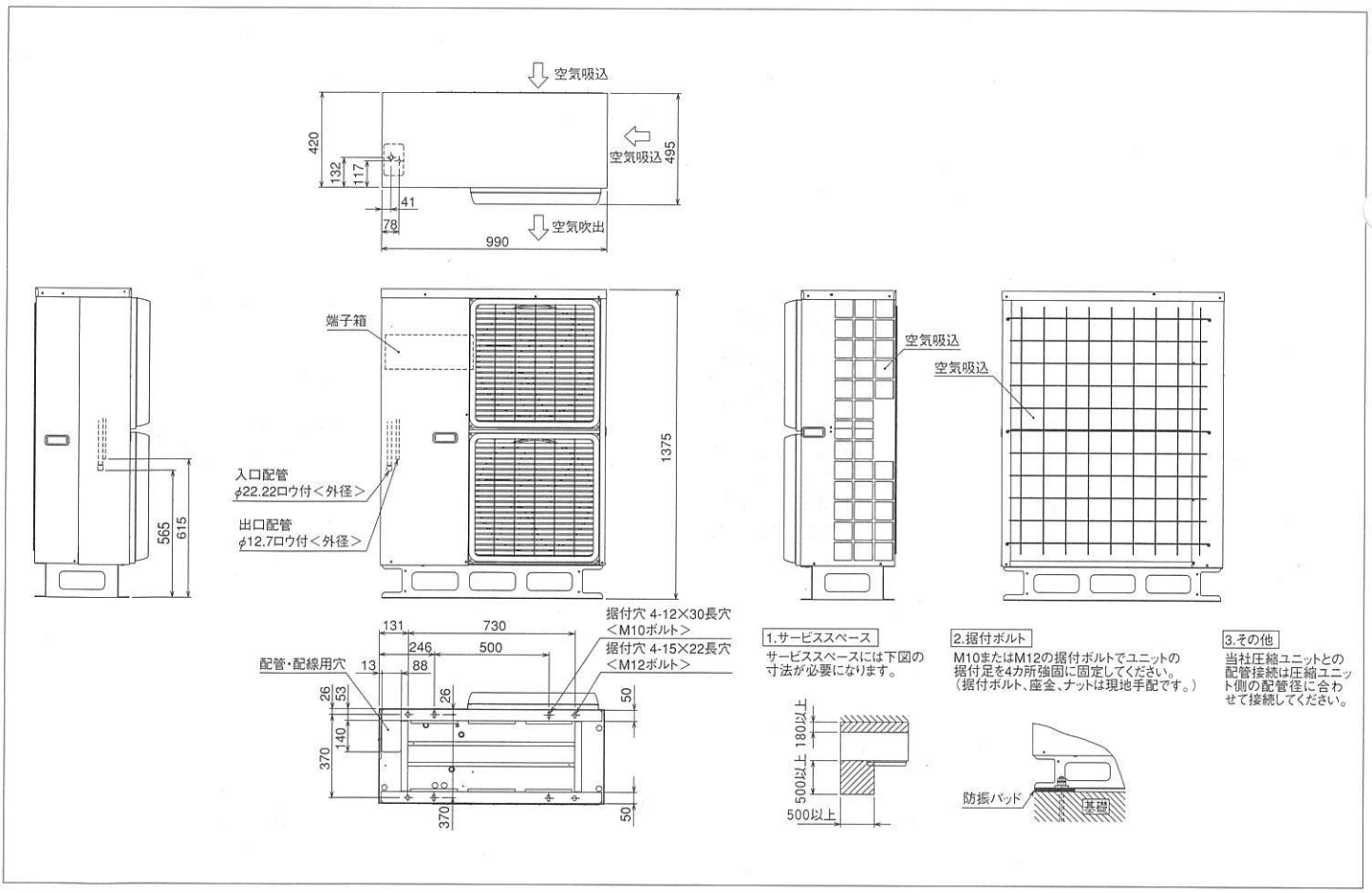
単相　200V 50Hz，200V／220V 60Hz

項目		形名	RM-P55A (-BS・-BSG)
運転電流<注3>		A	2.4／2.5
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
凝縮器	送風機 電動機出力	W	110×2
凝縮器	送風機 ファン径		φ490×2
凝縮器	風量	m³/min	118／129
凝縮器	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
外装色			マンセル5Y8／1
外形寸法	高さ	mm	1,375
外形寸法	幅	mm	990
外形寸法	奥行き	mm	420
質量	荷造質量	kg	84
質量	製品質量	kg	81
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,400×1,010×520
騒音<注2>		dB(A)	47／48
配管寸法<注1・5>	入口配管	mm	φ22.22S
配管寸法<注1・5>	出口配管	mm	φ12.7S
適合圧縮機出力		kW	5.5

注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：45℃，（周囲温度：32℃相当）
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m, 高さ1m
実際の据付状態では、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
3. ファン全速時の値を示しています。
4. 電子ファンコントローラのバックアップ用圧力開閉器の選択によりR22, R404A両冷媒で使用可能となっています。
なお、工場出荷時はR22設定です。
5. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。





MITSUBISHI

RM-P75A

据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式

R404A
R22
冷媒<注4>

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

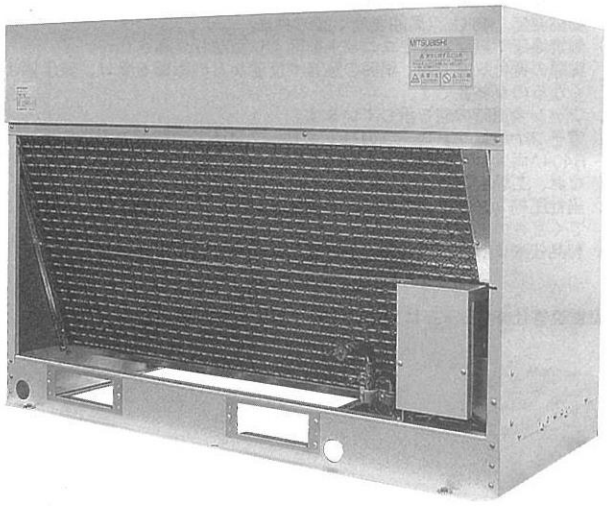
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	P104	—	P110～113	P114～122

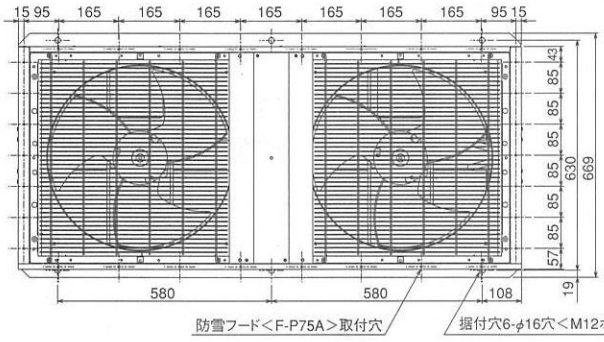
単相　200V 50Hz，200V／60Hz

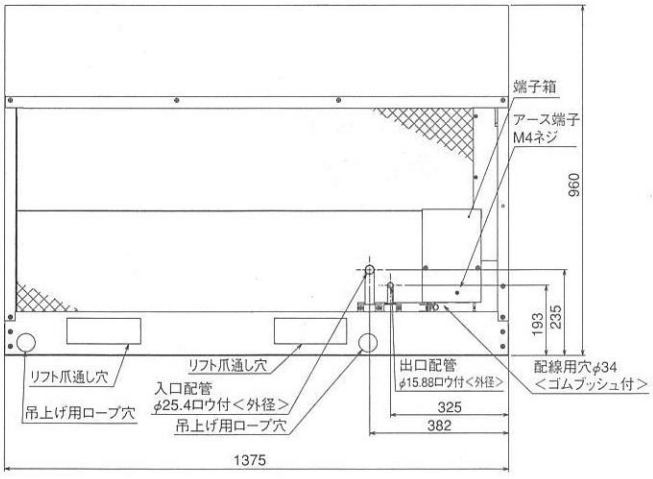
項目		形名	RM-P75A (-BS・-BSG)
運転電流<注3>		A	2.4／2.8
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
凝縮器	送風機 電動機出力	W	200×2
凝縮器	送風機 ファン径		φ490×2
凝縮器	風量	m³/min	122／132
凝縮器	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
外装色			マンセル5Y8／1
外形寸法	高さ	mm	960
外形寸法	幅	mm	1.375
外形寸法	奥行き	mm	610
質量	荷造質量	kg	88
質量	製品質量	kg	84
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	990×1,450×710
騒音<注2>		dB(A)	51／51
配管寸法<注1・5>	入口配管	mm	φ25.4S
配管寸法<注1・5>	出口配管	mm	φ15.88S
適合圧縮機出力		kW	7.5

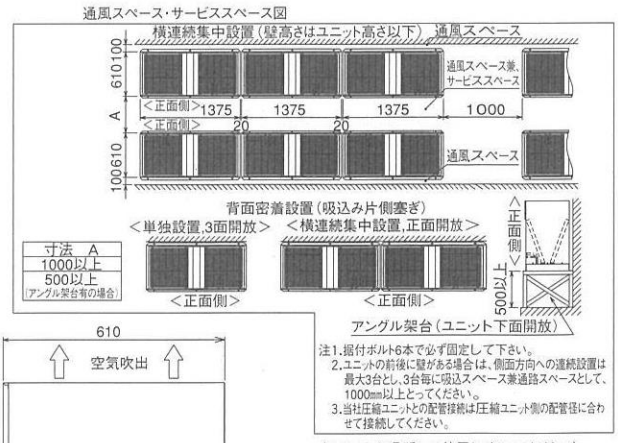
注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：45℃，（周囲温度：32℃相当）
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m, 高さ1m
実際の据付状態では、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
3. ファン全速時の値を示しています。
4. 電子ファンコントローラのバックアップ用圧力開閉器の選択によりR22, R404A両冷媒で使用可能となっています。
なお、工場出荷時はR22設定です。
5. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。

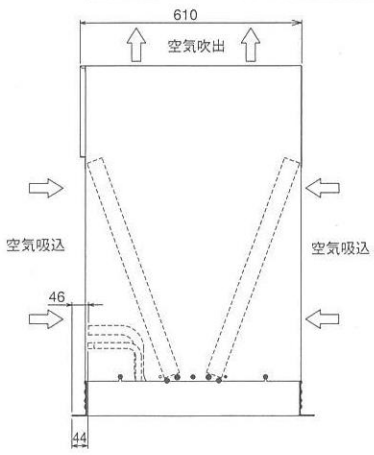








注1.据付ボルト6本で必ず固定して下さい。
2.ユニットの前後に壁がある場合は、側面方向への連続設置は最大3台とし、3台毎に吸込スペース兼通路スペースとして、1000mm以上とってください。
3.当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。



（このような場所では使用しないでください）
- ●腐食性ガスの濃度が高い化学・薬品工場や粉じんが多い所
- ●海浜地区等塩分の多い所…耐塩害仕様（BS）または，耐重塩害仕様（BSG）を使用してください
- ●温泉地帯
- ●硫化ガス，揮発性ガス，可燃性ガス，可燃性粉じんなどが充満している所
- ●高周波加工機（高周波ウエルダー等）の近く
- ●その他，特殊な環境では使用しないでください

RM-P110A

据付方法　屋外設置
周囲温度－15～＋43℃

空冷式

R404A
R22
冷媒<注4>

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

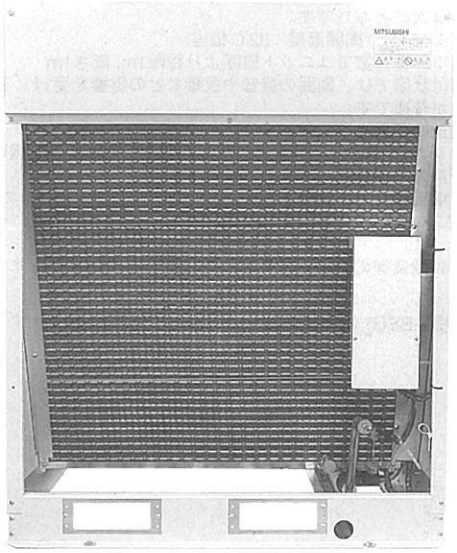
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
―	P104	―	P110～113	P114～122

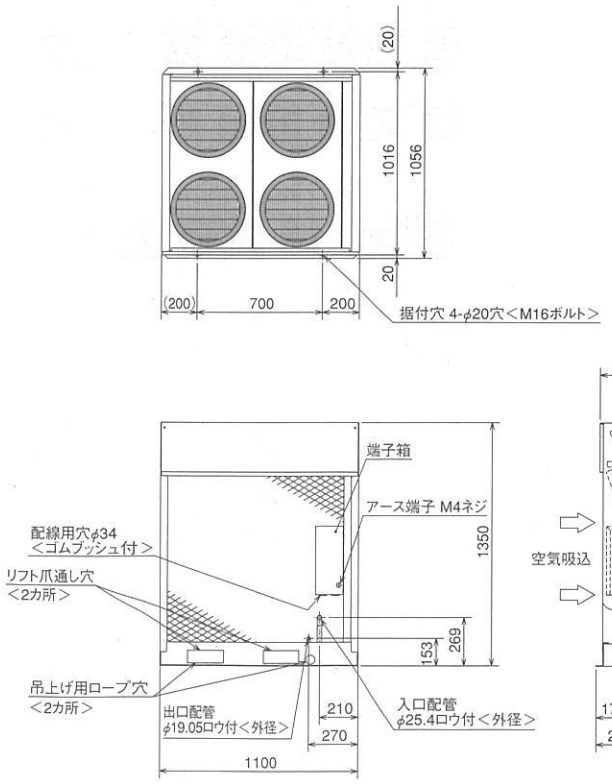
単相　200V 50Hz，200V／220V 60Hz

項目			形名 RM-P110A (-BS・-BSG)
運転電流<注3>		A	4.8／5.3
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
	送風機 電動機出力	W	100×4
	送風機 ファン径		φ400
	風量	m³/min	240／254
	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
外装色			マンセル5Y8／1
外形寸法	高さ	mm	1,350
	幅	mm	1,100
	奥行き	mm	1,000
質量	荷造質量	kg	142
	製品質量	kg	137
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,380×1,130×1,090
騒音<注2>		dB(A)	52／54
配管寸法<注1・5>	入口配管	mm	φ25.4S
	出口配管	mm	φ19.05S
適合圧縮機出力		kW	11.0

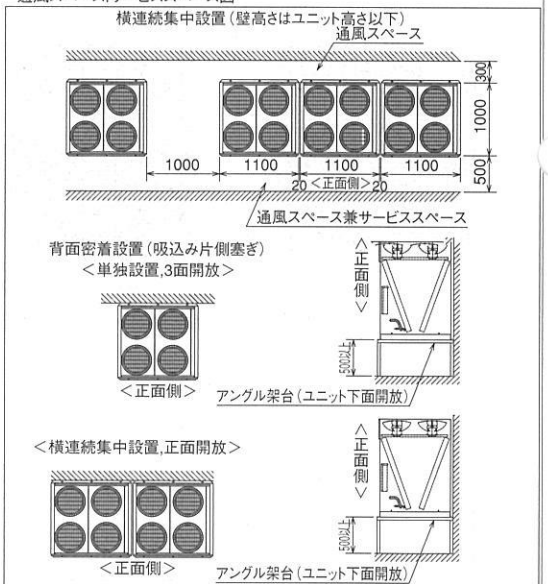
注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：45℃，（周囲温度：32℃相当）
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m，高さ1m
実際の据付状態では、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
3. ファン全速時の値を示しています。
4. 電子ファンコントローラのバックアップ用圧力開閉器の選択によりR22，R404A両冷媒で使用可能となっています。
なお、工場出荷時はR22設定です。
5. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。





通風スペース，サービススペース図



注1．据付ボルト4本で必ず固定して下さい。
2．ユニットの前後に壁がある場合は、側面方向への連続設置は最大4台とし、4台毎に吸込スペース兼通路スペースとして、1000mm以上とってください。
3．当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。

（このような場所では使用しないでください）

- ●腐食性ガスの濃度が高い化学・薬品工場や粉じんが多い所
- ●海浜地区等塩分の多い所…耐塩害仕様（BS）または、耐重塩害仕様（BSG）を使用してください
- ●温泉地帯
- ●硫化ガス，揮発性ガス，可燃性ガス，可燃性粉じんなどが充満している所
- ●高周波加工機（高周波ウエルダー等）の近く
- ●その他、特殊な環境では使用しないでください

RM-P150A

据付方法　屋外設置
周囲温度−15〜＋43℃

空冷式

R404A
R22
冷媒<注4>

（耐塩害・耐重塩害仕様もあります。）

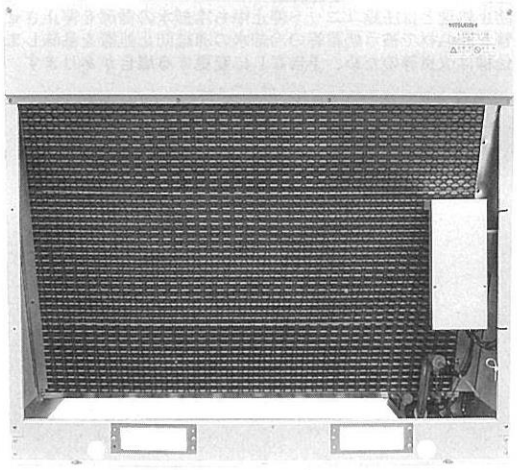
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	P104	—	P110〜113	P114〜122

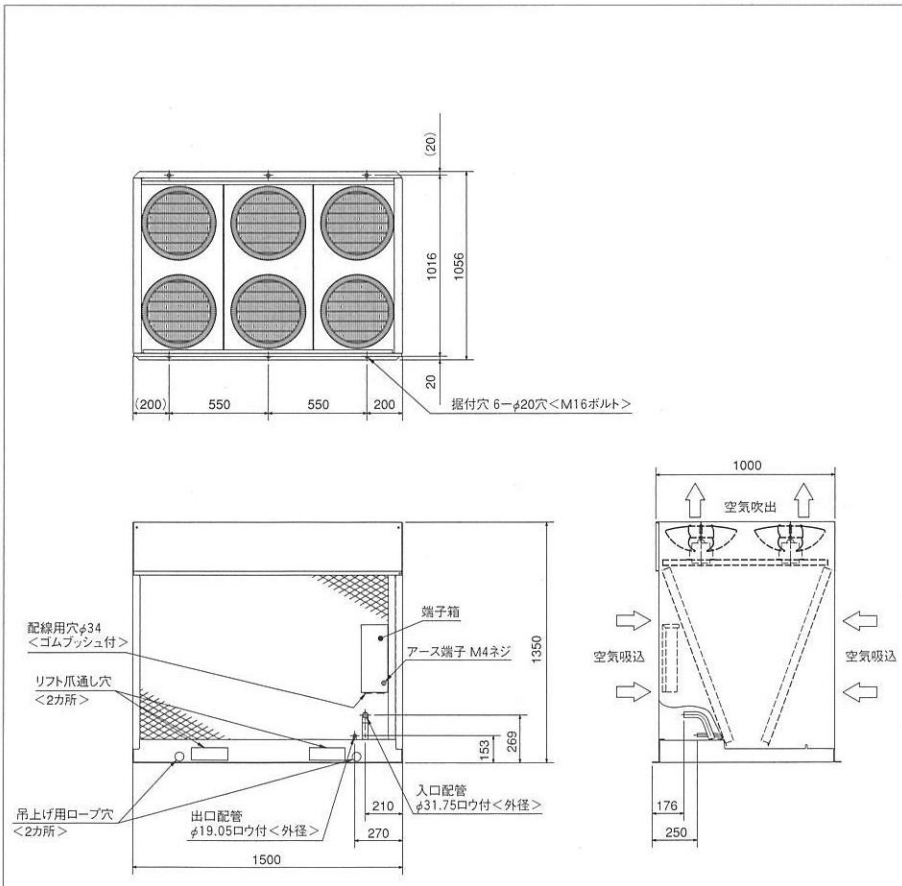
単相　200V 50、200V／220V 60Hz

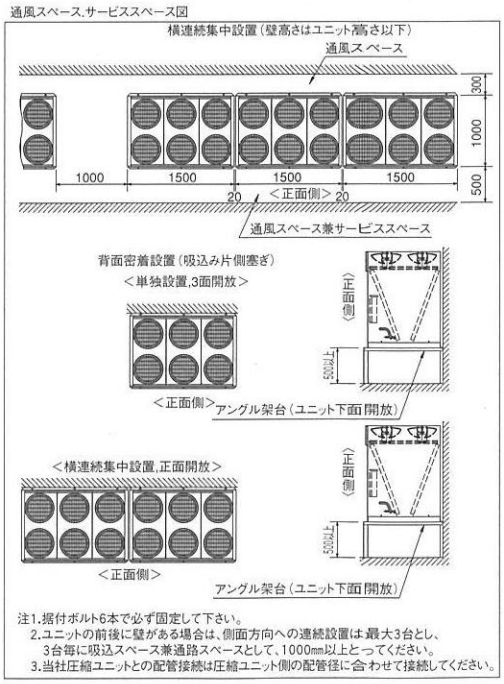
項目		形名	RM-P150A (-BS・-BSG)
運転電流<注3>		A	7.2／7.9
凝縮器	熱交換器形式		プレートフィンチューブ式
凝縮器	送風機 電動機出力	W	100×6
凝縮器	送風機 ファン径		φ400
凝縮器	風量	m³/min	360／380
凝縮器	凝縮圧力調整装置		電子ファンコントローラ
外装色			マンセル5Y8/1
外形寸法	高さ	mm	1,350
外形寸法	幅	mm	1,500
外形寸法	奥行き	mm	1,000
質量	荷造質量	kg	175
質量	製品質量	kg	170
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	1,380×1,530×1,090
騒音<注2>		dB(A)	54／56
配管寸法<注1・5>	入口配管	mm	φ31.75S
配管寸法<注1・5>	出口配管	mm	φ19.05S
適合圧縮機出力		kW	15.0

注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 測定条件は次のとおりです。
凝縮温度：45℃,（周囲温度：32℃相当）
測定場所：無響音室でユニット前面より距離1m, 高さ1m
実際の据付状態では、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
3. ファン全速時の値を示しています。
4. 電子ファンコントローラのバックアップ用圧力開閉器の選択によりR22, R404A両冷媒で使用可能となっています。
なお、工場出荷時はR22設定です。
5. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。
6. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

＊耐重塩害仕様 (-BSG) は受注いただいてからの生産となります。







（このような場所では使用しないでください）

- ●腐食性ガスの濃度が高い化学・薬品工場や粉じんが多い所
- ●海浜地区等塩分の多い所…耐塩害仕様（BS）または、耐重塩害仕様（BSG）を使用してください
- ●温泉地帯
- ●硫化ガス,揮発性ガス,可燃性ガス,可燃性粉じんなどが充満している所
- ●高周波加工機（高周波ウエルダー等）の近く
- ●その他、特殊な環境では使用しないでください

RMW-P30A

据付方法　屋内（外）設置
周囲温度＋5～＋40℃ <注2>
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式

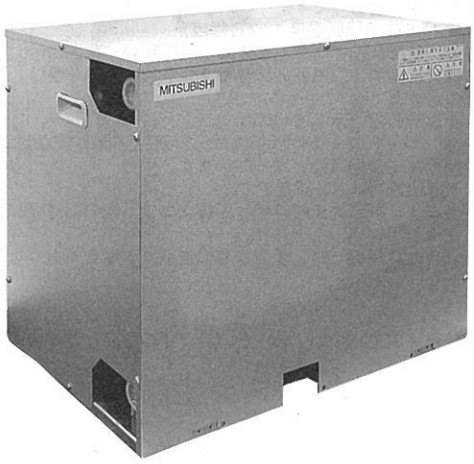
2.2～3.0kW
適合圧縮機出力

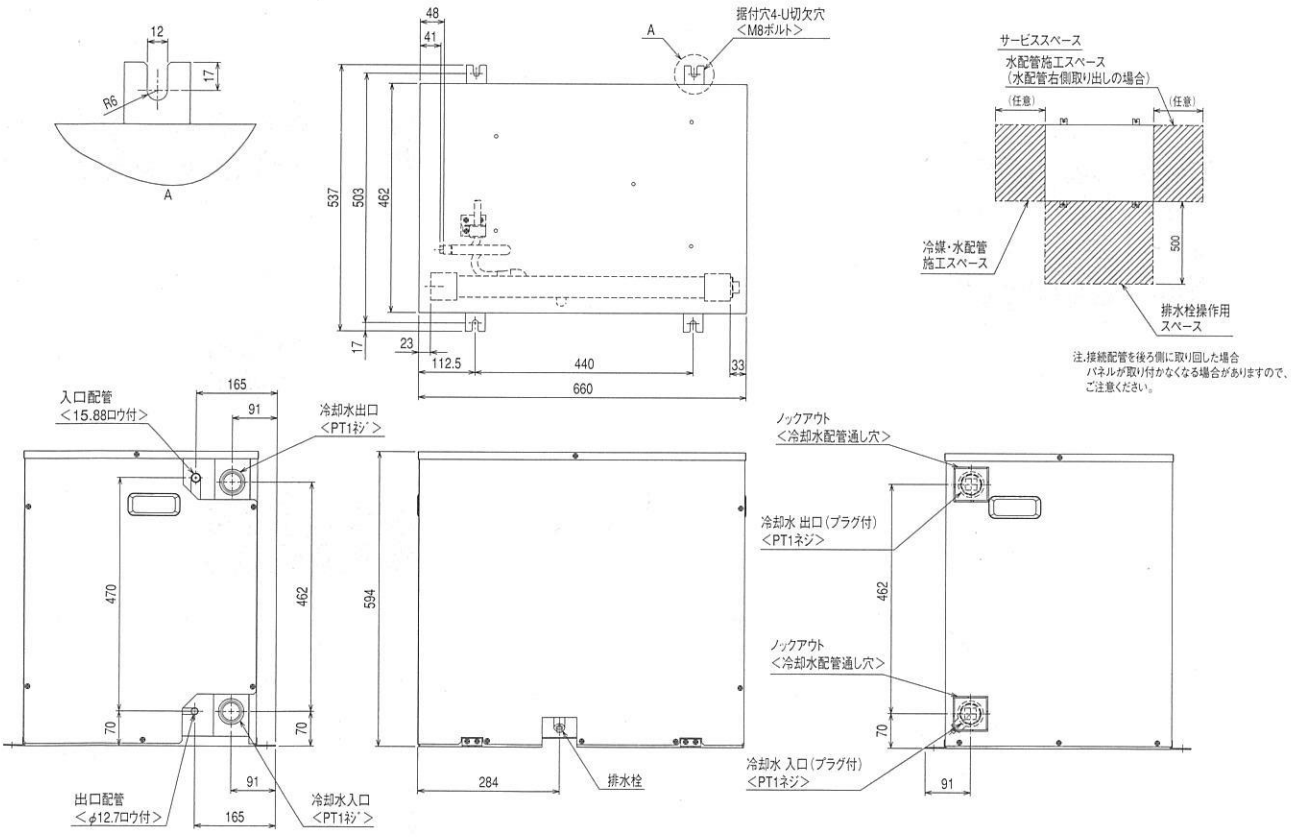
R404A
冷媒<注3>

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	—	—	P110～113	P114～122

項目			形名	RMW-P30A
凝縮器	熱交換器形式			二重管湿式
	容量	冷媒側容量	L	2.2
		ポンプダウン	L	—
	凝縮圧力調整装置			—
最大冷却水量			L/min	54.6
最大使用水圧			MPa	常時0.7以下<限界1.0>
外装色				鋼板仕上
胴外径×胴長×胴板厚×管板厚			mm	—
外形寸法	高さ		mm	594
	幅		mm	660
	奥行き		mm	537
質量	荷造質量		kg	48
	製品質量		kg	47
荷造寸法<高さ×幅×奥行>			mm	610×680×480
騒音			dB(A)	—
配管寸法<注1>	入口配管		mm	φ15.88S
	出口配管		mm	φ12.7S
	冷却水<入口／出口>		PT	PT1／PT1

注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 凍結防止処理とは圧縮ユニット停止中も冷却水の循環を停止させない処置、水配管を断熱材で被う処置等の冷却水の凍結防止処置を意味します。
3. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。





MITSUBISHI

RMW-P45A

据付方法　屋内（外）設置
周囲温度＋5～＋40℃ <注2>
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式

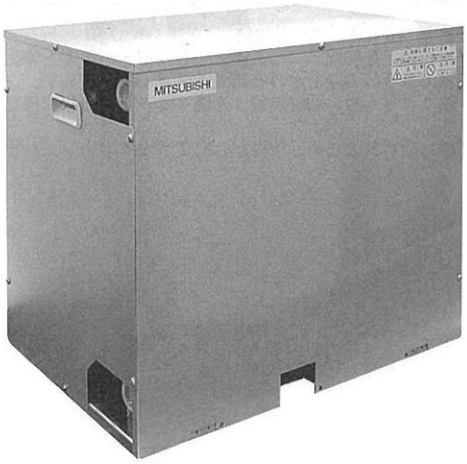
3.7～4.5kW
適合圧縮機出力

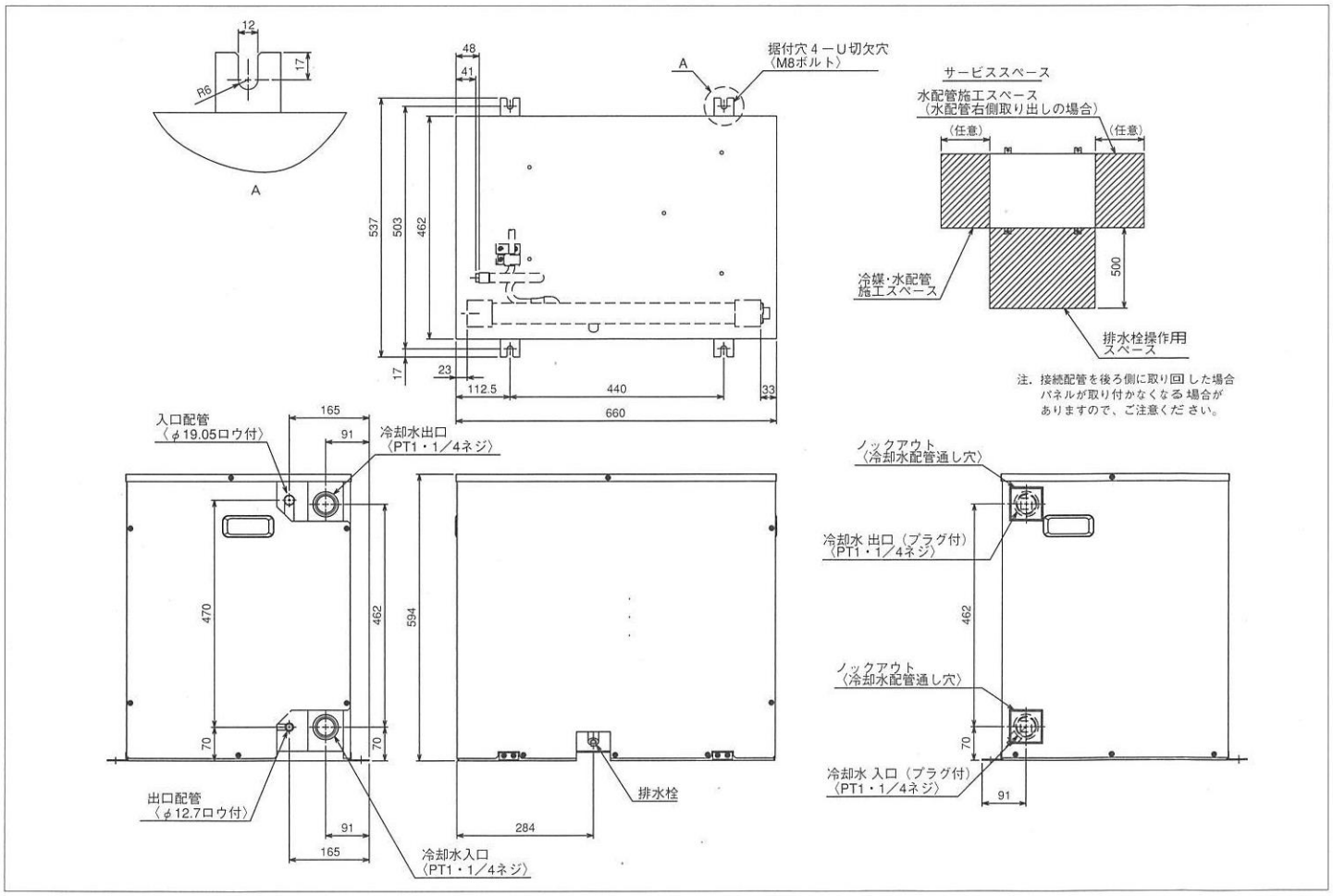
R404A
R22
冷媒

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	—	—	P110～113	P114～122

項目			形名	RMW-P45A
凝縮器	熱交換器形式			二重管湿式
	容量	冷媒側容量	L	2.9
		ポンプダウン	L	—
	凝縮圧力調整装置			—
	可溶栓			—
最大冷却水量			L/min	72.8
最大使用水圧			MPa	常時0.7以下＜限界1.0＞
外装色				鋼板仕上
胴外径×胴長×胴板厚×管板厚			mm	—
外形寸法	高さ		mm	594
	幅		mm	660
	奥行き		mm	537
質量	荷造質量		kg	54
	製品質量		kg	53
荷造寸法＜高さ×幅×奥行＞			mm	610×680×480
騒音			dB(A)	—
配管寸法＜注1＞	入口配管		mm	φ19.05S
	出口配管		mm	φ12.7S
	冷却水＜入口／出口＞		PT	1-1/4／1-1/4

注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 凍結防止処理とは圧縮ユニット停止中も冷却水の循環を停止させない、水配管を断熱材で被う等の冷却水の凍結防止処置を意味します。
3. R22・R404A可能です。
4. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。





RMW-P75A

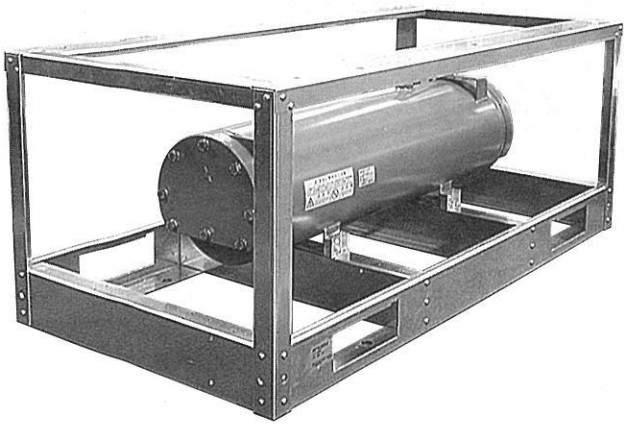
据付方法　屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃ <注2>
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式

5.5～7.5kW
適合圧縮機出力

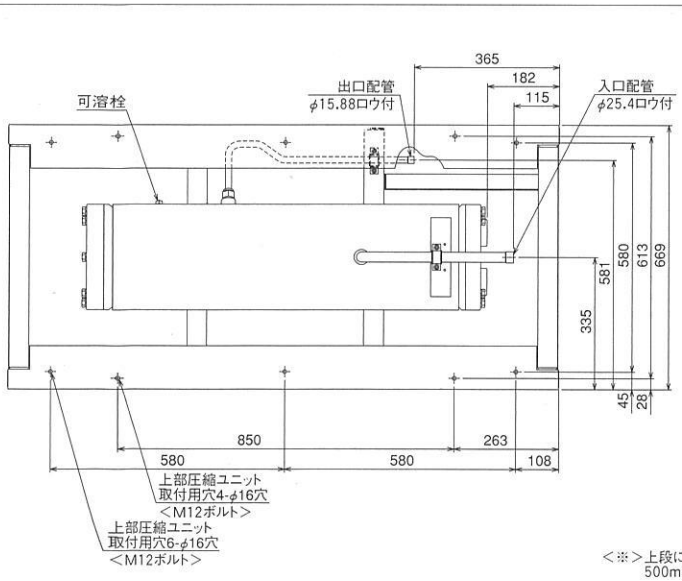
R404A
冷媒

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	—	—	P110～113	P114～122

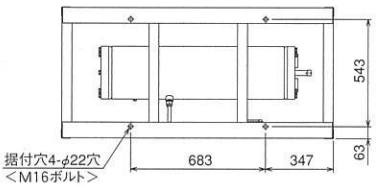


項目			形名 RMW-P75A
凝縮器	熱交換器形式		横形シェルアンドチューブ
	容量 冷媒側容量	L	36.9
	容量 ポンプダウン	L	25.8
	凝縮圧力調整装置		—
	可溶栓		有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>
最大冷却水量		L/min	156
最大使用水圧		MPa	0.64
外装色			マンセルN5<主要部>
胴外径×胴長×胴板厚×管板厚		mm	267.4×905×6.4×21
外形寸法	高さ	mm	552
	幅	mm	1,380
	奥行き	mm	669
質量	荷造質量	kg	122
	製品質量	kg	121
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	560×1,390×680
騒音		dB(A)	—
配管寸法<注1・3>	入口配管	mm	φ25.4S
	出口配管	mm	φ15.88S
	冷却水<入口／出口>	PT	1-1/2／1-1/2

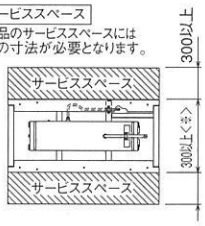
注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 凍結防止処理とは圧縮ユニット停止中も冷却水の循環を停止させない、水配管断熱材で被う等の冷却水の凍結防止処置を意味します。
3. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合わせて接続してください。
4. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。



1.据付ピッチ
本製品の据付ピッチは下図のとおりです。
なお、振動が据付部から伝搬し、床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。

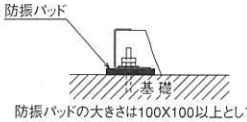


2.サービススペース
本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。



<※>上段に圧縮ユニットを段積みする場合は500mm以上とすることをお勧めします。

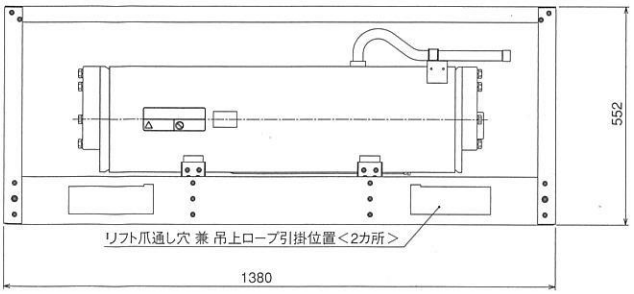
3.据付ボルト
M16のボルトでユニット据付足を4カ所強固に固定してください。
<据付ボルト・座金・ナット等は現地手配です。>

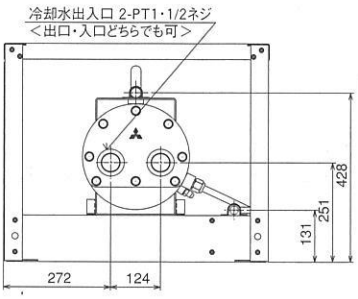


防振パッドの大きさは100X100以上としてください。
<推奨品 ブリヂストン製 IP－1003>

4.吊上時の注意
吊上時は吊上ロープ引掛穴をご使用願います。フレームでの吊上はフレームが変形する場合がありますので行わないでください。

5.冷却水接続方向変更
吸水フタを左右交換する事により冷却水の接続方向の左右変更する事が可能です。変更時には必ずパッキンを購入の上、現パッキンと取替えてください。また、水漏れに注意してください。





RMW-P150A

据付方法　屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃ <注2>
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式

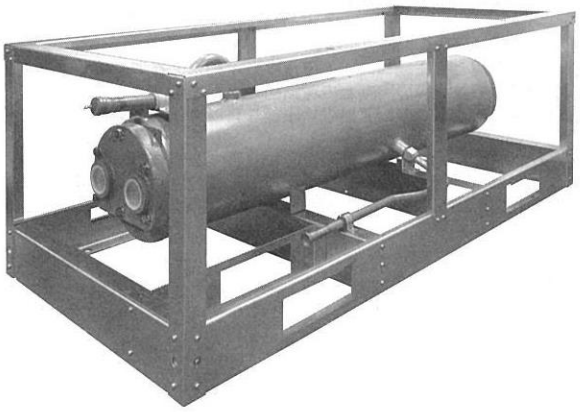
11.0～15.0kW
適合圧縮機出力

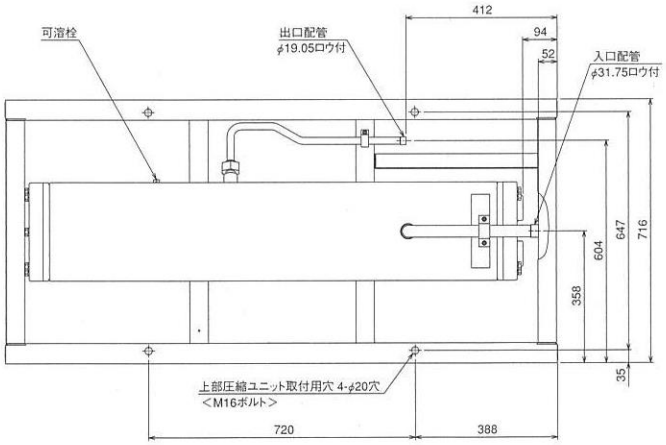
R404A
冷媒

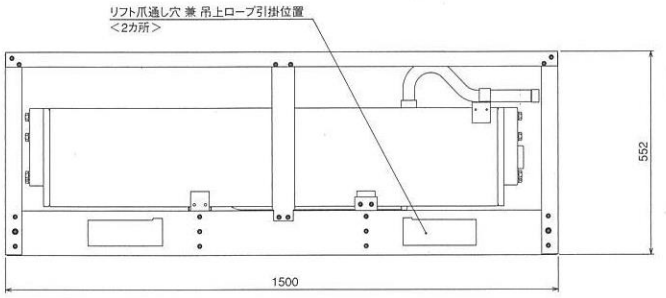
能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	—	—	P110～113	P114～122

項目 ＼ 形名			RMW-P150A
凝縮器	熱交換器形式		横形シェルアンドチューブ式
凝縮器	容量 冷媒側容量	L	47.1
凝縮器	容量 ポンプダウン	L	33.0
凝縮器	凝縮圧力調整装置		—
凝縮器	可溶栓		有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>
最大冷却水量		L/min	445
最大使用水圧		MPa	常時0.7以下<限界1.0>
外装色			マンセル N5<主要部>
胴外径×胴長×胴板厚×管板厚		mm	267.4×1,245×6.4×21
外形寸法	高さ	mm	552
外形寸法	幅	mm	1,500
外形寸法	奥行き	mm	716
質量	荷造質量	kg	152
質量	製品質量	kg	151
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	560×1,505×730
騒音		dB(A)	—
配管寸法<注1・3>	入口配管	mm	φ31.75S
配管寸法<注1・3>	出口配管	mm	φ19.05S
配管寸法<注1・3>	冷却水<入口／出口>	PT	2／2

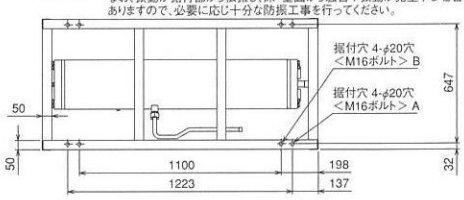
注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 凍結防止処理とは圧縮ユニット停止中も冷却水の循環を停止させない、水配管を断熱材で被う等の冷却水の凍結防止処置を意味します。
3. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合せて接続してください。
4. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。
5. 本製品の水冷凝縮器は、冷却水配管取出し口の左右変更が可能です。
（変更する場合は、サービス部品より、蓋に取付るパッキンを購入の上、現パッキンと取替えてください。）



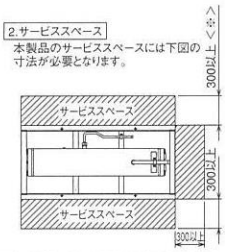




1.据付ピッチ　本製品の据付ピッチは下図の2通り<A・B穴>から基礎に応じてお選びください。なお、振動が据付部から伝搬し、床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。



2.サービススペース
本製品のサービススペースには下図の寸法が必要となります。



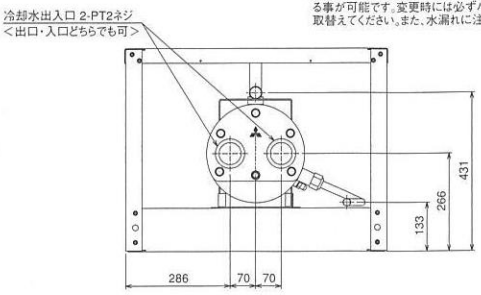
<※>上段に圧縮ユニットを段積みする場合は500mm以上とすることをお勧めします。

3.据付ボルト
M16のボルトでユニット据付足を4カ所強固に固定してください。
<据付ボルト・座金・ナット等は現地手配です。>

防振パッドの大きさは100×100以上としてください。
<推奨品 ブリヂストン製 IP-1003>

4.吊上時の注意
吊上時は吊上ロープ引掛穴をご使用願います。フレームでの吊上はフレームが変形する場合がありますので行わないでください。

5.冷却水接続方向変更
吸水フタを左右交換する事により冷却水の接続方向の左右変更する事が可能です。変更時には必ずパッキンを購入の上、現パッキンと取替えてください。また、水漏れに注意してください。



RMW-P225A

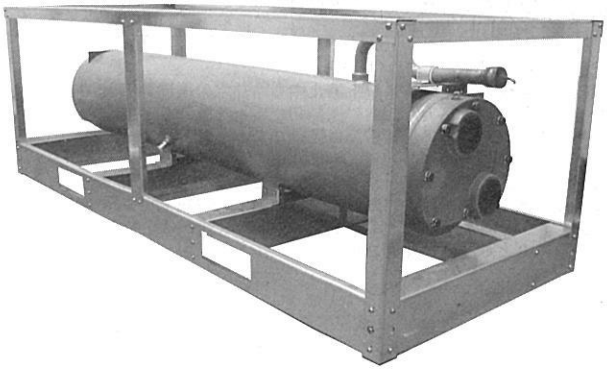
据付方法　屋内設置
周囲温度＋5～＋40℃ <注2>
（ただし、凍結防止処理の場合－5～＋40℃）

水冷式

18.5～22.5kW
適合圧縮機出力

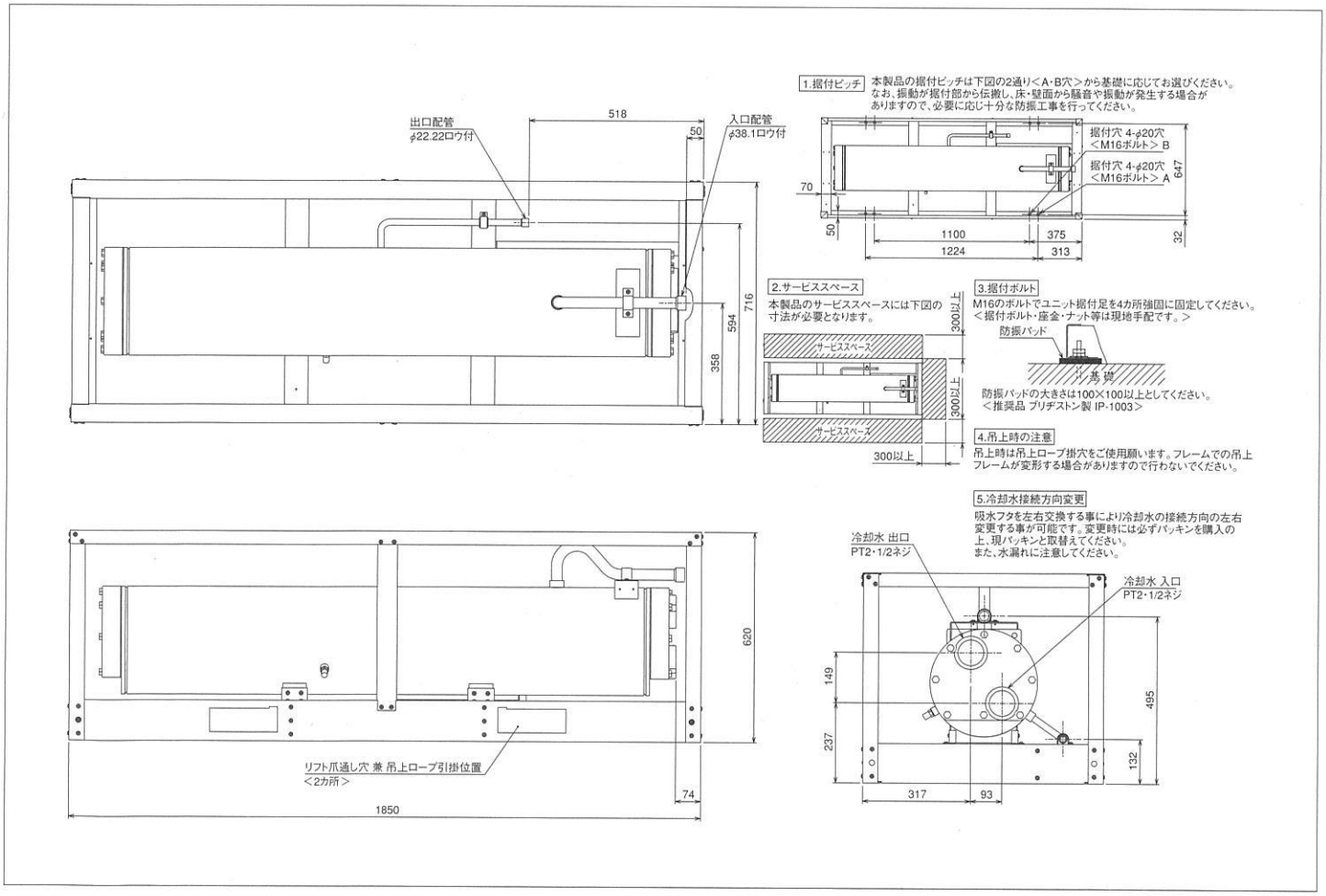
R404A
冷媒

能力表	電気回路	電気特性	据付関係資料	お客様へ／オプション
—	—	—	P110～113	P114～122



項目			形名 RMW-P225A
凝縮器	熱交換器形式		横形シェルアンドチューブ式
	容量 冷媒側容量	L	87.3
	容量 ポンプダウン	L	61.1
	凝縮圧力調整装置		—
	可溶栓		有<口径φ7.2mm、溶融温度71℃以下>
最大冷却水量		L/min	291
最大使用水圧		MPa	常時0.7以下<限界1.0>
外装色			マンセル N5<主要部>
胴外径×胴長×胴板厚×管板厚		mm	318.5×1,545×6.4×27
外形寸法	高さ	mm	620
	幅	mm	1,850
	奥行き	mm	716
質量	荷造質量	kg	242
	製品質量	kg	240
荷造寸法<高さ×幅×奥行>		mm	627×1,850×730
騒音<注2>		dB(A)	—
配管寸法<注1・3>	出口配管	mm	φ38.1S
	入口配管	mm	φ22.22S
	冷却水<入口／出口>	PT	2-1/2／2-1/2

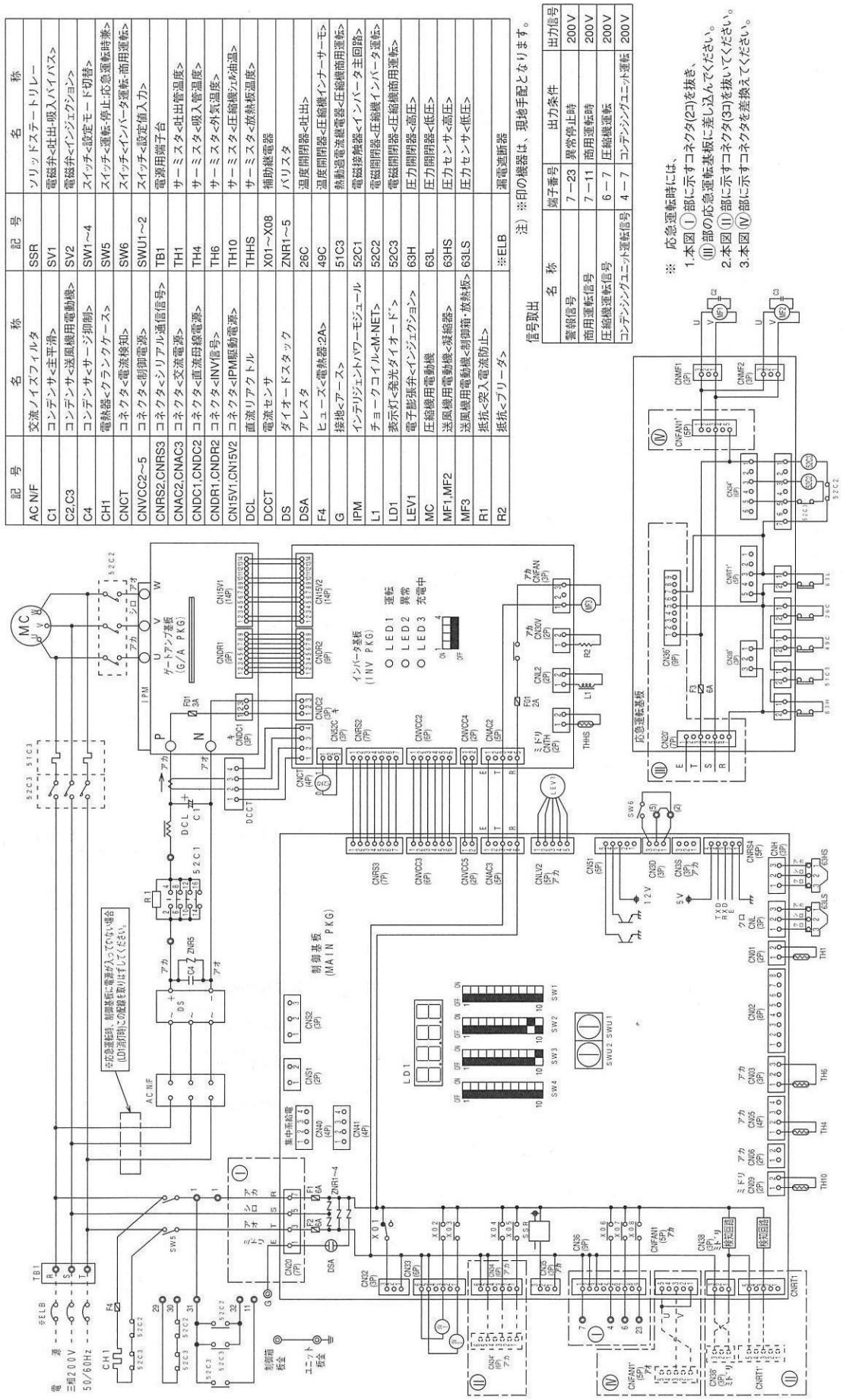
注1. 配管寸法欄　記号S：ロウ付接続
2. 凍結防止処理とは圧縮ユニット停止中も冷却水の循環を停止させない、水配管を断熱材で被う等の冷却水の凍結防止処置を意味します。
3. 当社圧縮ユニットとの配管接続は圧縮ユニット側の配管径に合せて接続してください。
4. 製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。
5. 本製品の水冷凝縮器は、冷却水配管取出し口の左右変更が可能です。
（変更する場合は、サービス部品より、蓋に取付るパッキンを購入の上、現パッキンと取替えてください。）



MITSUBISHI

■ERAV形

ERAV-EP45A形



記号	名称	記号	名称
AC N/F	交流ノイズフィルタ	SSR	ソリッドステートリレー
C1	コンデンサ<主平滑>	SV1	電磁弁<吐出-吸入バイパス>
C2,C3	コンデンサ<送風機用電動機>	SV2	電磁弁<インジェクション>
C4	コンデンサ<サージ抑制>	SW1~4	スイッチ<設定モード切替>
CH1	電熱器<クランクケース>	SW5	スイッチ<運転-停止-応急運転時兼>
CNCT	コネクタ<電流検知>	SW6	スイッチ<インバータ運転-商用運転>
CNVCC2~5	コネクタ<制御電源>	SWU1~2	スイッチ<設定値入力>
CNRS2,CNRS3	コネクタ<シリアル通信信号>	TB1	電源用端子台
CNAC2,CNAC3	コネクタ<交流電源>	TH1	サーミスタ<吐出管温度>
CNDC1,CNDC2	コネクタ<直流母線電源>	TH4	サーミスタ<吸入管温度>
CNDR1,CNDR2	コネクタ<INV信号>	TH6	サーミスタ<外気温度>
CN15V1,CN15V2	コネクタ<IPM駆動電源>	TH10	サーミスタ<圧縮機シェル油温>
DCL	直流リアクトル	THHS	サーミスタ<放熱板温度>
DCCT	電流センサ	X01~X08	補助継電器
DS	ダイオードスタック	ZNR1~5	バリスタ
DSA	アレスタ	26C	温度開閉器<吐出>
F4	ヒューズ<電熱器:2A>	49C	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>
G	接地<アース>	51C3	熱動過電流継電器<圧縮機商用運転>
IPM	インテリジェントパワーモジュール	52C1	電磁接触器<インバータ主回路>
L1	チョークコイル<M-NET>	52C2	電磁開閉器<圧縮機インバータ運転>
LD1	表示灯<発光ダイオード>	52C3	電磁開閉器<圧縮機商用運転>
LEV1	電子膨張弁<インジェクション>	63H	圧力開閉器<高圧>
MC	圧縮機用電動機	63L	圧力開閉器<低圧>
MF1,MF2	送風機用電動機<凝縮器>	63HS	圧力センサ<高圧>
MF3	送風機用電動機<制御箱・放熱板>	63LS	圧力センサ<低圧>
R1	抵抗<突入電流防止>		
R2	抵抗<ブリーダ>	※ELB	漏電遮断器

注) ※印の機器は、現地手配となります。

信号取出

名称	端子番号	出力条件	出力信号
警報信号	7－23	異常停止時	200V
商用運転信号	7－11	商用運転時	200V
圧縮機運転信号	6－7	圧縮機運転	200V
コンデンシングユニット運転信号	4－7	コンデンシングユニット運転	200V

※ 応急運転時には、
1.本図 Ⓘ 部に示すコネクタ(2C)を抜き、
Ⓘ 部の応急運転基板に差し込んでください。
2.本図 Ⓘ 部に示すコネクタ(3C)を抜いてください。
3.本図 Ⓘ 部に示すコネクタを差換えてください。

■ERAV-EP形

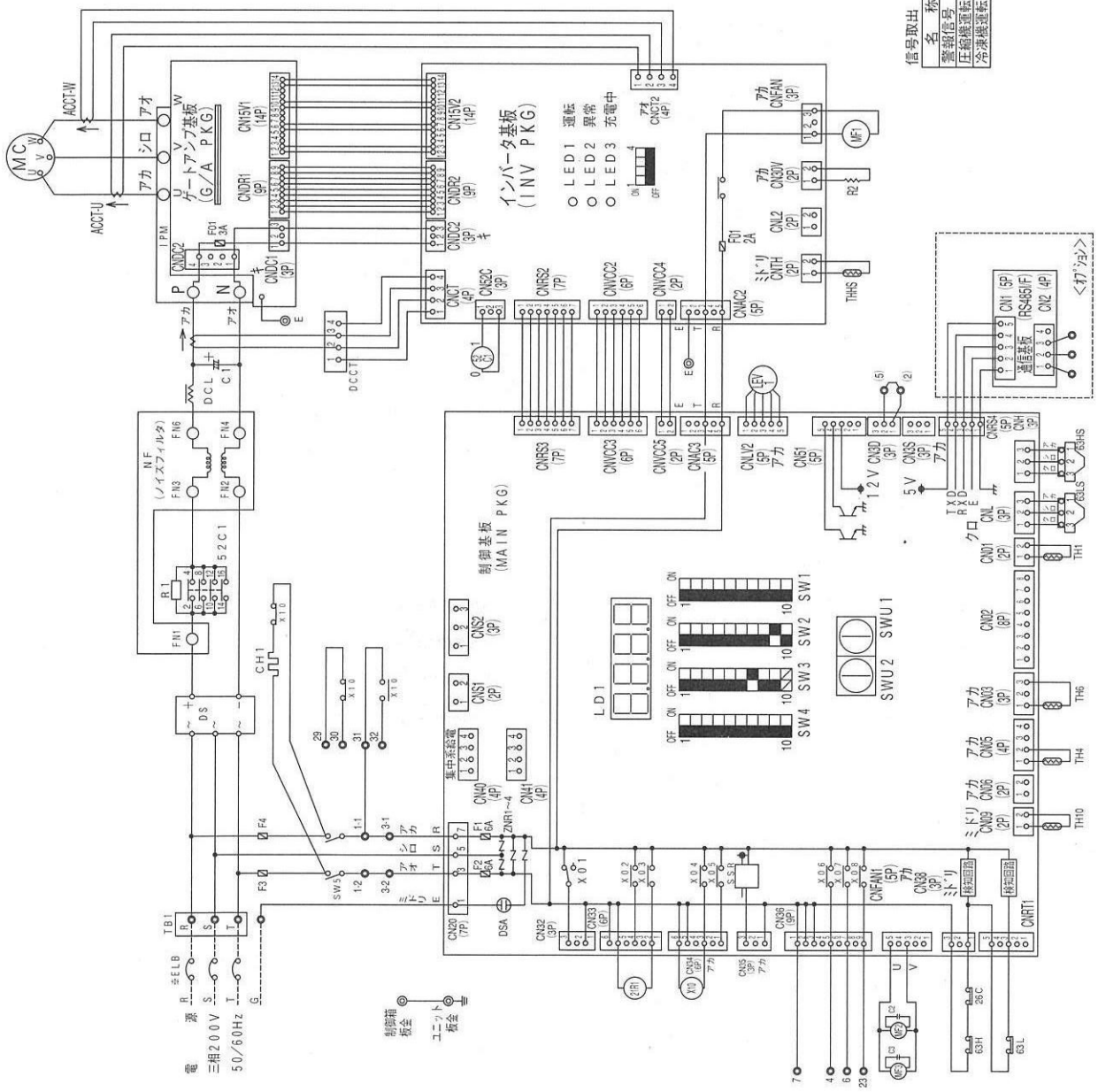
ERAV-EP55A形

記号	名称
ACCT−U,ACCT−W	電流センサ<交流電流>
C1	コンデンサ<主平滑>
C2,C3	コンデンサ<送風機用電動機>
CH1	電熱器<クランクケース>
CNCT,CNCT2	コネクタ<電流検知>
CNVCC2～5	コネクタ<制御電源>
CNRS2,CNRS3	コネクタ<シリアル通信信号>
CNAC2,CNAC3	コネクタ<交流電源>
CNDC1,CNDC2	コネクタ<直流母線電源>
CNDR1,CNDR2	コネクタ<INV信号>
CN15V1,CN15V2	コネクタ<IPM駆動電源>
DCL	直流リアクトル
DCCT	電流センサ<直流電流>
DS	ダイオードスタック
DSA	アレスタ
F3	ヒューズ<電熱器6A>
F4	ヒューズ<電熱器6A>
G	接地<アース>
IPM	インテリジェントパワーモジュール
LEV1	電子式膨張弁<インジェクション>
LD1	表示灯<発光ダイオード>
MC	圧縮機用電動機
MF1	送風機用電動機<制御箱・放熱板>
MF2,MF3	送風機用電動機<凝縮器>
N/F	直流ノイズフィルタ
R1	抵抗<突入電流防止>
R2	抵抗<ブリーダ>
SSR	ソリッドステトリレー
SW1～4	スイッチ<設定モード切替>
SW5	スイッチ<運転・停止>
SWU1～2	スイッチ<設定値入力>
TB1	電源用端子台
TH1	サーミスタ<吐出管温度>
TH4	サーミスタ<吸入管温度>
TH6	サーミスタ<外気温度>
TH10	サーミスタ<圧縮機ジェル油温>
THHS	サーミスタ<放熱板温度>
X01～X08	補助継電器
X10	補助継電器
ZNR1～4	バリスタ
21R1	電磁弁<インジェクション>
26C	温度開閉器<吐出>
52C1	電磁接触器<インバータ主回路>
63H	圧力開閉器<高圧>
63L	圧力開閉器<低圧>
63HS	圧力センサ<高圧>
63LS	圧力センサ<低圧>
※:ELB	漏電遮断器

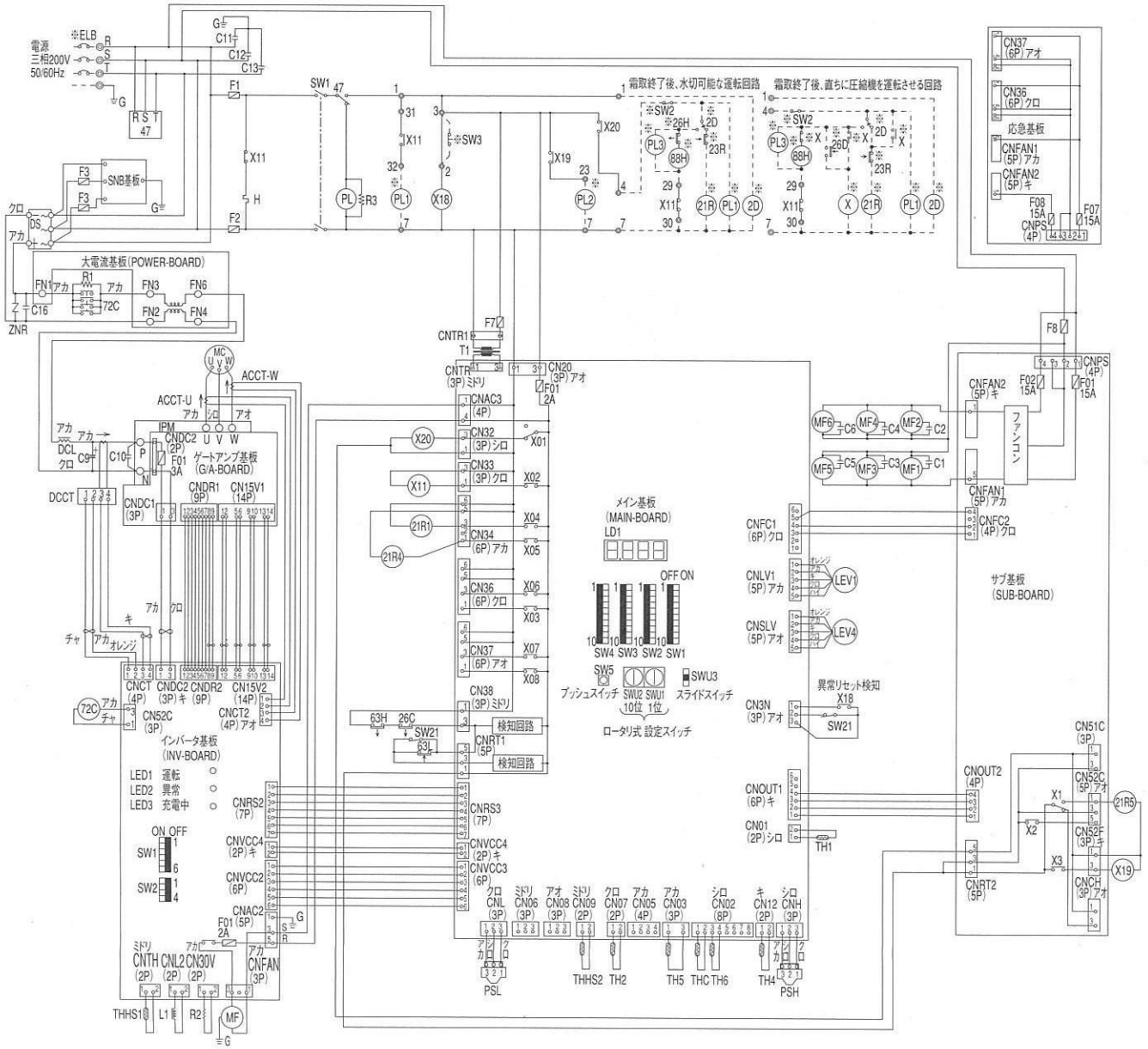
注1.※印の機器は、現地手配となります。

信号取出

名称	端子番号	出力条件	出力信号
警報信号	7−23	異常停止時	200V
圧縮機運転信号	6−7	圧縮機運転	200V
冷凍機運転信号	4−7	冷凍機運転	200V



■ERAV-EP形
ERAV-EP110A形



記号	名称	記号	名称
ACCT-U/W	電流センサ<交流電流>	R1	抵抗<突入電流防止>
C1～C6	コンデンサ<送風機用電動機>	R2	抵抗<ブリーダ>
C9	コンデンサ<主平滑>	R3	抵抗<表示灯>
C10	コンデンサ<IPM>	SW1	スイッチ<運転一停止>
C11～C12	コンデンサ	SW21	スイッチ<通常一応急>
C16	コンデンサ	T1	トランス<メイン基板>
CNTR1	コネクタ<トランス>	THC	サーミスタ<凝縮温度>
DCL	直流リアクトル	TH1	サーミスタ<吐出管温度>
DCCT	電流センサ<直流電流>	TH2	サーミスタ<圧縮機シェル油温>
DS	ダイオードスタック	TH4	サーミスタ<サブクール入口管温度>
F1	ヒューズ<制御回路:6A>	TH5	サーミスタ<サブクール出口管温度>
F2	ヒューズ<制御回路:5A>	TH6	サーミスタ<外気温度>
F3	ヒューズ<SNB基板:8A>	THHS1	サーミスタ<インバータ放熱板温度>
F7	ヒューズ<メイン基板:1A>	THHS2	サーミスタ<ファンコン放熱板温度>
F8	ヒューズ<送風機:15A>	X01～X08	補助継電器<メイン基板内>
G	接地<アース>	X1～X3	補助継電器<サブ基板内>
H	電熱器<クランクケース>	X11·X18～X20	補助継電器
IPM	インテリジェントパワーモジュール	ZNR	バリスタ
L1	チョークコイル<M-NET>	21R1	電磁弁<インジェクション>
LEV1	電子膨張弁<インジェクション>	21R4	電磁弁<サブクールコイル>
LEV4	電子膨張弁<サブクール>	21R5	電磁弁<バイパス>
MC	圧縮機用電動機	26C	温度開閉器<吐出>
MF	送風機用電動機<制御箱内>	47	逆相防止器
MF1～MF6	送風機用電動機	63H	圧力開閉器<高圧>
PL	表示灯<逆相:アカ>	63L	圧力開閉器<低圧>
PSH	圧力センサ<高圧>	72C	電磁接触器<インバータ主回路>
PSL	圧力センサ<低圧>		

※ELB	漏電遮断器	※X	補助継電器
※PL1	表示灯<運転・ミドリ>	※2D	タイムスイッチ<霜取>
※PL2	表示灯<異常・アカ>	※21R	電磁弁<液>
※PL3	表示灯<霜取・オレンジ>	※23R	温度調節器<庫内>
※SW2	スイッチ<運転・停止:ポンプダウン>	※26D	温度開閉器<霜取終了>
		※26H	温度開閉器<過熱防止>
※SW3	スイッチ<異常リセット>	※88H	電磁接触器<電熱器>

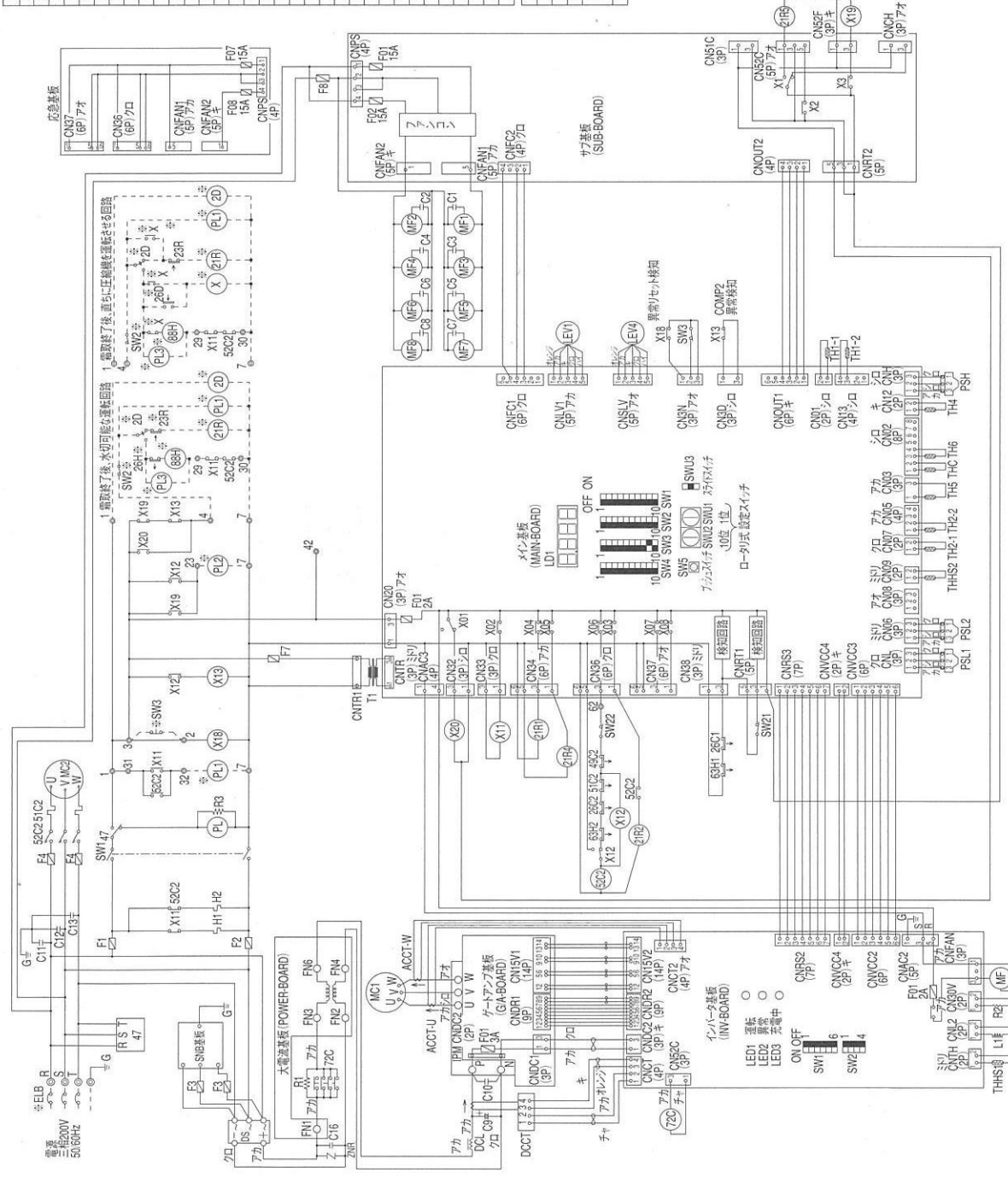
注1.※印の機器は、現地手配となります。
2.----線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
<モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ>
5.SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6.X11のb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。
複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7.PL1は端子32—7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。

■ECAV-EP形

ECAV-EP185A形

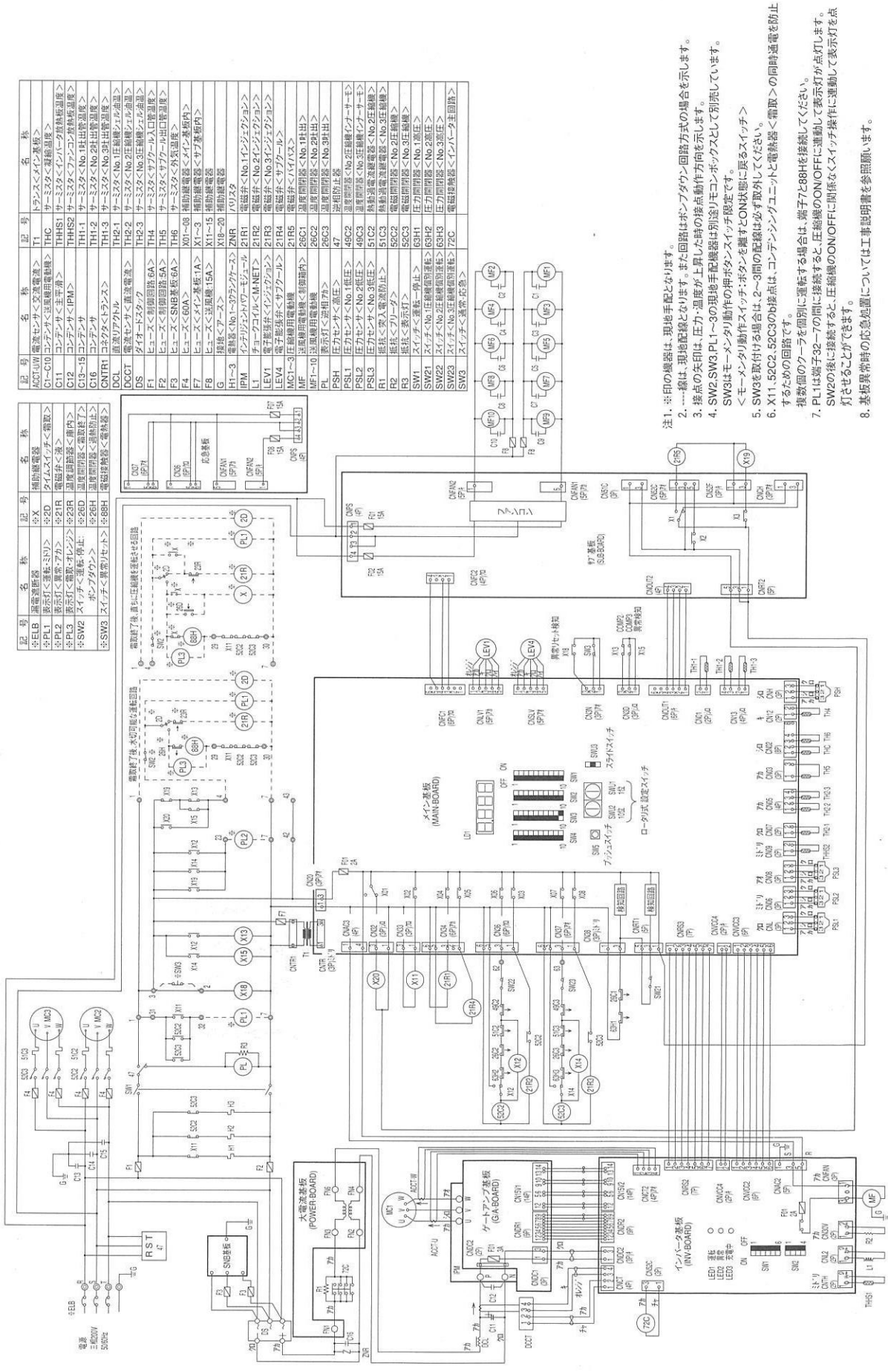
記号	名称	記号	名称
ACCT-UW	電流センサ<交流電流>	SW21	スイッチ<No.1圧縮機個別運転>
C1~C8	コンデンサ<送風機用電動機>	SW22	スイッチ<No.2圧縮機個別運転>
C9	コンデンサ<主平滑>	SW3	スイッチ<通常・応急>
C10	コンデンサ<IPM>	T1	トランス<メイン基板>
C11~C13	コンデンサ	THC	サーミスタ<凝縮温度>
C16	コンデンサ	TH1-1	サーミスタ<No.1吐出管温度>
CNTR1	コネクタ<トランス>	TH1-2	サーミスタ<No.2吐出管温度>
DCL	直流リアクトル	TH2-1	サーミスタ<No.1圧縮機シェル温度>
DCCT	電流センサ<直流電流>	TH2-2	サーミスタ<No.2圧縮機シェル温度>
DS	ダイオードスタック	TH4	サーミスタ<サブクール入口管温度>
F1	ヒューズ<制御回路:6A>	TH5	サーミスタ<サブクール出口温度>
F2	ヒューズ<制御回路:5A>	TH6	サーミスタ<外気温度>
F3	ヒューズ<SNB基板:8A>	THHS1	サーミスタ<インバータ放熱温度>
F4	ヒューズ<60A>	THHS2	サーミスタ<ファンコン放熱温度>
F7	ヒューズ<メイン基板:1A>	X01~X08	補助継電器<メイン基板内>
F8	ヒューズ<送風機:15A>	X1~X3	補助継電器<サブ基板内>
G	接地<アース>	X11~X13	補助継電器
H1,H2	電熱器<No.1:クランクケース>	X18~X20	補助継電器
IPM	インテリジェントパワーモジュール	ZNR	バリスタ
L1	チョークコイル<M-NET>	21R1	電磁弁<No.1インジェクション>
LEV1	電子膨張弁<インジェクション>	21R2	電磁弁<No.2インジェクション>
LEV4	電子膨張弁<サブクール>	21R4	電磁弁<サブクールコイル>
MC1,MC2	圧縮機用電動機	21R5	電磁弁<バイパス>
MF	送風機用電動機<制御端内>	26C1	温度開閉器<No.1吐出>
MF1~MF6	送風機用電動機	26C2	温度開閉器<No.2吐出>
PL	表示灯<逆相:アカ>	47	逆相防止器
PSH	圧力センサ<高圧>	49C2	温度開閉器<No.2圧縮機ケーサーモ>
PSL1	圧力センサ<No.1低圧>	51C2	熱動過電流継電器<No.2圧縮機>
PSL2	圧力センサ<No.2低圧>	52C2	電磁開閉器<No.2圧縮機>
R1	抵抗<突入電流防止>	63H1	圧力開閉器<No.1高圧>
R2	抵抗<ブリーダ>	63H2	圧力開閉器<No.2高圧>
R3	抵抗<表示灯>	72C	電磁接触器<インバータ主回路>
SW1	スイッチ<運転一停止>		
※ELB	漏電遮断器	※X	補助継電器
※PL1	表示灯<運転:ミドリ>	※2D	タイムスイッチ<霜取>
※PL2	表示灯<異常:アカ>	※21R	電磁弁<液>
※PL3	表示灯<霜取:オレンジ>	※23R	温度調節器<庫内>
※SW2	スイッチ<運転・停止:ポンプダウン>	※26D	温度開閉器<霜取終了>
		※26H	温度開閉器<過熱防止>
※SW3	スイッチ<異常リセット>	※88H	電磁接触器<電熱器>

注1.※印の機器は、現地手配となります。
2.----線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.SW2,SW3,PL1~3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
<モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ>
5.SW3を取付ける場合は、2~3間の配線は必ず取外してください。
6.X11,52C2Db接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。
複数個のユーラを個別に運転する場合は、端子7とB8Hを接続してください。
7.PL1は端子32~7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。



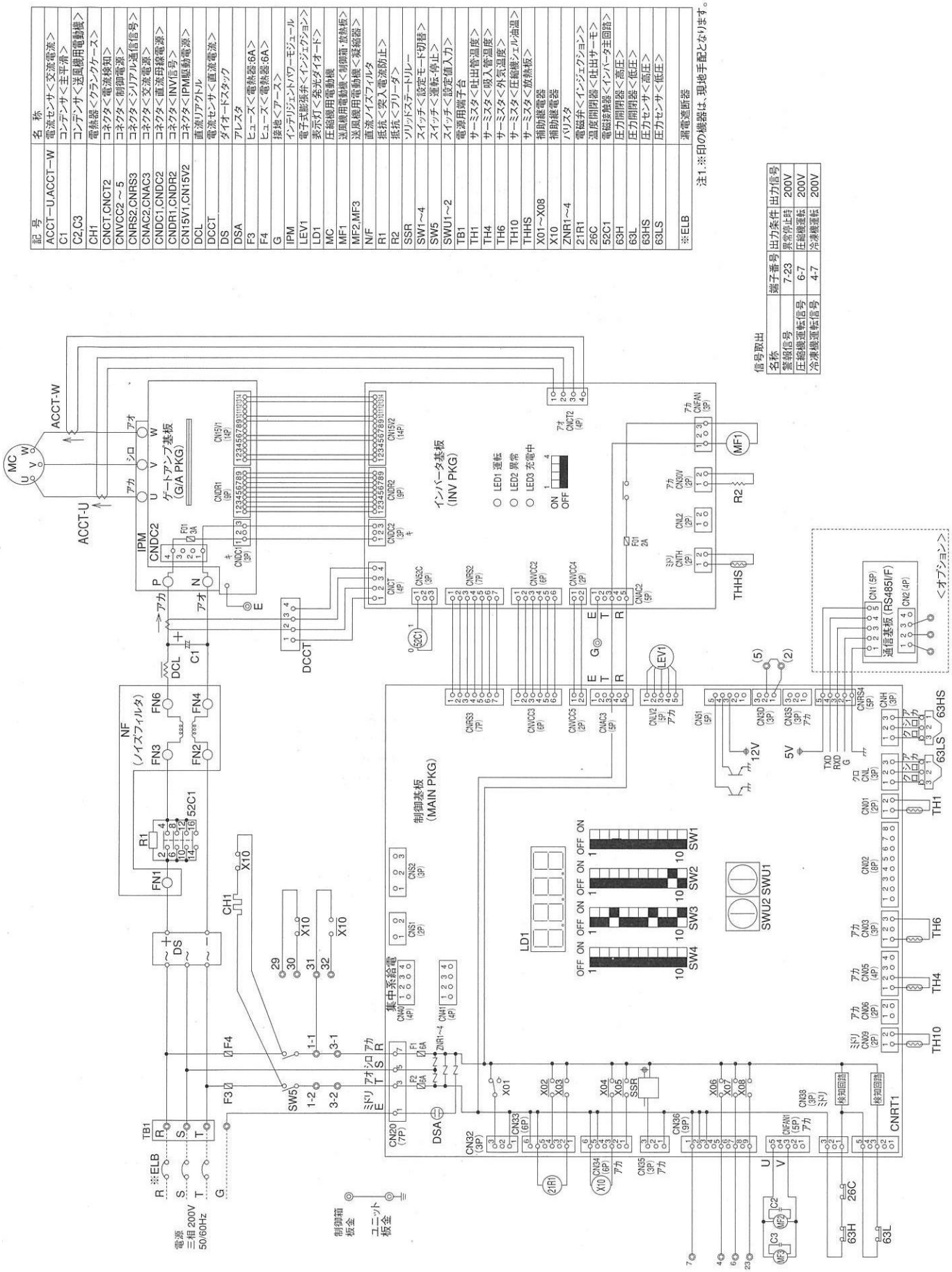
■ECAV-EP形

ECAV-EP260A形



■ERAV-EP形

ERAV-EP45HA形



記号	名称
ACCT−U,ACCT−W	電流センサ<交流電流>
C1	コンデンサ<主平滑>
C2,C3	コンデンサ<送風機用電動機>
CH1	電熱器<クランクケース>
CNCT,CNCT2	コネクタ<電流検知>
CNVCC2～5	コネクタ<制御電源>
CNRS2,CNRS3	コネクタ<シリアル通信信号>
CNAC2,CNAC3	コネクタ<交流電源>
CNDC1,CNDC2	コネクタ<直流母線電源>
CNDR1,CNDR2	コネクタ<INV信号>
CN15V1,CN15V2	コネクタ<IPM駆動電源>
DCL	直流リアクトル
DCCT	電流センサ<直流電流>
DS	ダイオードスタック
DSA	アレスタ
F3	ヒューズ<電熱器:6A>
F4	ヒューズ<電熱器:6A>
G	接地<アース>
IPM	インテリジェントパワーモジュール
LEV1	電子式膨張弁<インジェクション>
LD1	表示灯<発光ダイオード>
MC	圧縮機用電動機
MF1	送風機用電動機<制御箱・放熱板>
MF2,MF3	送風機用電動機<凝縮器>
N/F	直流ノイズフィルタ
R1	抵抗<突入電流防止>
R2	抵抗<ブリーダ>
SSR	ソリッドステートリレー
SW1～4	スイッチ<設定モード切替>
SW5	スイッチ<運転・停止>
SWU1～2	スイッチ<設定値入力>
TB1	電源用端子台
TH1	サーミスタ<吐出管温度>
TH4	サーミスタ<吸入管温度>
TH6	サーミスタ<外気温度>
TH10	サーミスタ<圧縮機ジェル油温>
THHS	サーミスタ<放熱板>
X01～X08	補助継電器
X10	補助継電器
ZNR1～4	バリスタ
21R1	電磁弁<インジェクション>
26C	温度開閉器<吐出サーモ>
52C1	電磁接触器<インバータ主回路>
63H	圧力開閉器<高圧>
63L	圧力開閉器<低圧>
63HS	圧力センサ<高圧>
63LS	圧力センサ<低圧>
※ELB	漏電遮断器

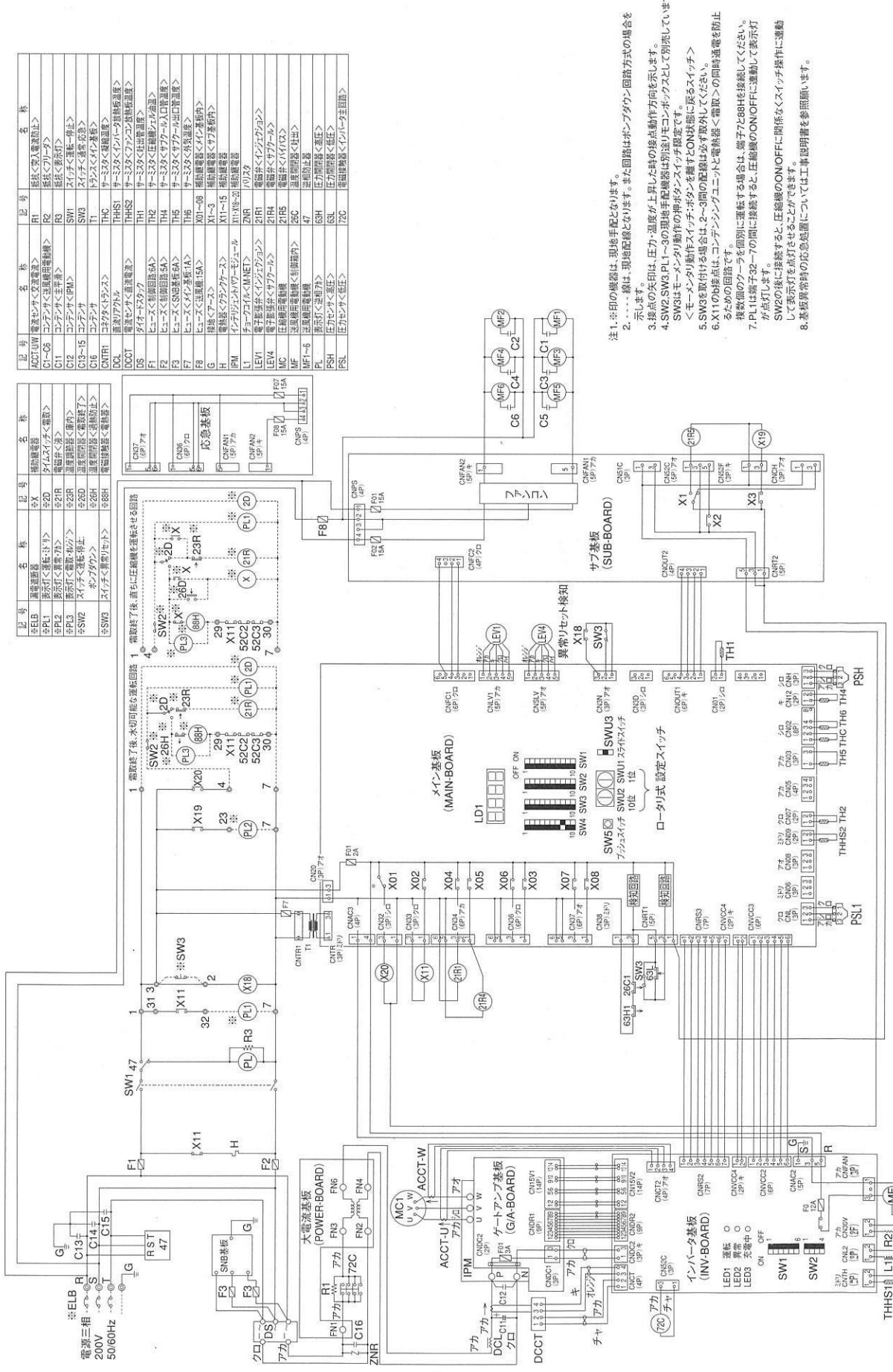
注1.※印の機器は、現地手配となります。

信号取出

名称	端子番号	出力条件	出力信号
警報信号	7-23	異常停止時	200V
圧縮機運転信号	6-7	圧縮機運転	200V
冷凍機運転信号	4-7	冷凍機運転	200V

■ERAV-EP形

ERAV-EP97HA形

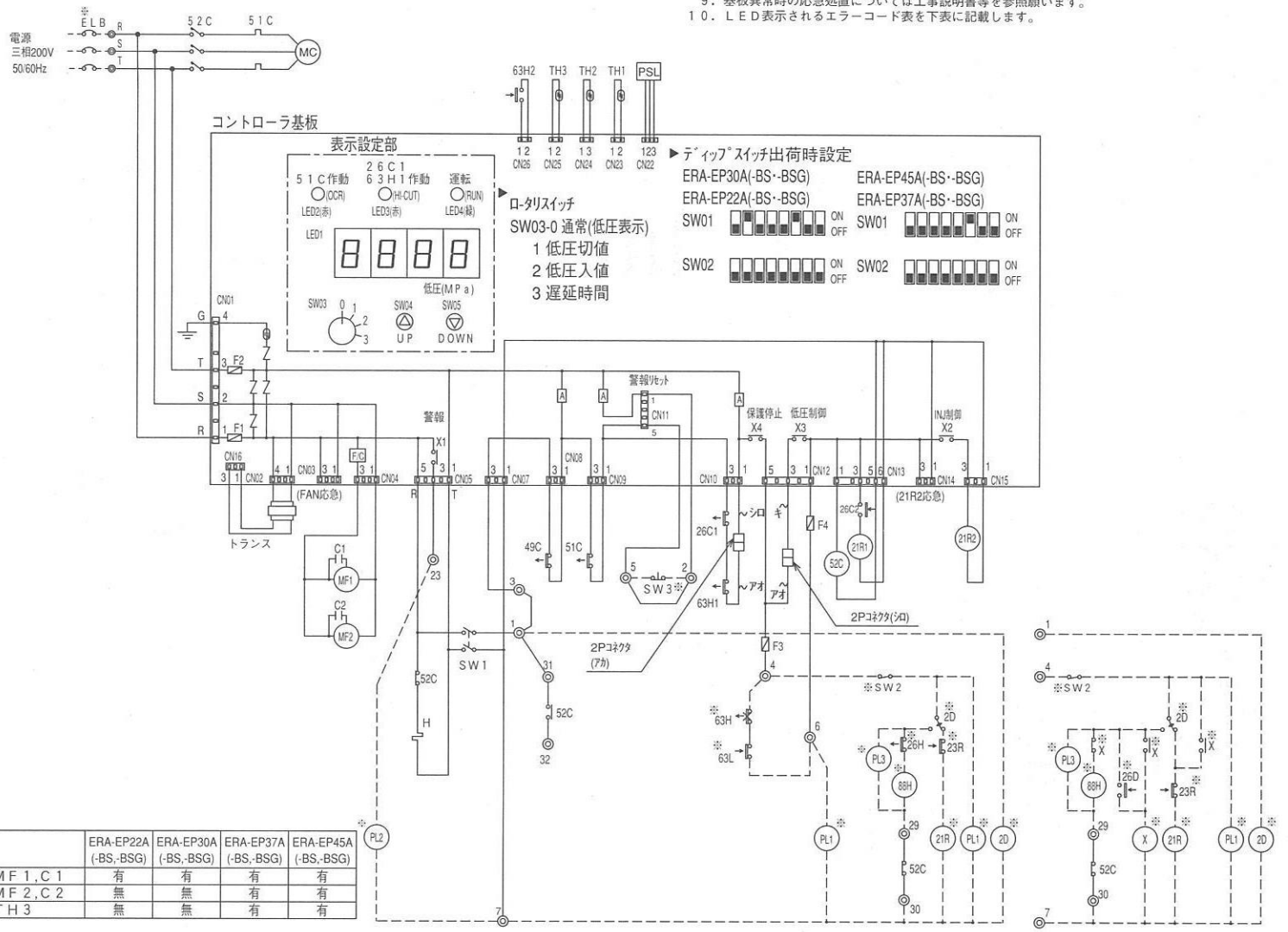


電気回路

■ERA-EP形

ERA-EP22A・EP30A・EP37A・EP45A形

注）1．※印の機器は、現地手配となります。
2．－－－－ 線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3．接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4．ＳＷ２，ＳＷ３，ＰＬ１～３の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
ＳＷ３はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
（モーメンタリ動作スイッチ：ボタンを離すとＯＮ状態に戻るスイッチ）
5．ＳＷ３を取付ける場合は、２～５間の配線は必ず取り外してください。
6．５２Ｃのｂ接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子７と８８Ｈを接続してください。
7．ＰＬ１は端子７－６の間に接続すると、圧縮機のＯＮ／ＯＦＦに連動して表示灯が点灯します。
ＳＷ２の後に接続すると、圧縮機のＯＮ／ＯＦＦに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯をさせることができます。
8．警報回路は、２３番ライン(圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ<低圧>異常)です。
9．基板異常時の応急処置については工事説明書等を参照願います。
10．ＬＥＤ表示されるエラーコード表を下表に記載します。



霜取終了後、水切可能な運転回路　霜取終了後、直ちに圧縮機を運転させる回路

	ERA-EP22A (-BS,-BSG)	ERA-EP30A (-BS,-BSG)	ERA-EP37A (-BS,-BSG)	ERA-EP45A (-BS,-BSG)
ＭＦ１,Ｃ１	有	有	有	有
ＭＦ２,Ｃ２	無	無	有	有
ＴＨ３	無	無	有	有

記号	名称
C1、C2	ｺﾝﾃﾞﾝｻ<送風機用電動機>:EP30、EP22はC1のみ
F1	ﾋｭｰｽﾞ<送風機:15A>
F2	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:6A>
F3	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:5A>
F4	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:5A>
G	接地<アース>
H	電熱器<クランクケース>
MC	圧縮機用電動機
MF1,2	送風機用電動機:EP30、EP22はMF1のみ
PSL	圧力センサ<低圧>
SW1	ｽｲｯﾁ<運転一停止>
TH1	ｻｰﾐｽﾀ<凝縮温度>
TH2	ｻｰﾐｽﾀ<吐出管温度>
TH3	ｻｰﾐｽﾀ<圧縮機ｼｪﾙ油温度>:EP45、EP37のみ
X1	補助継電器<警報出力>
X2	補助継電器<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝon/off>
X3	補助継電器<低圧制御>
X4	補助継電器<保護停止制御>
21R1	電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ流量切換>
21R2	電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝon/off>
26C1	温度開閉器<吐出>
26C2	温度開閉器<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ>
49C	温度開閉器<圧縮機ｲﾝﾅｰｻｰﾓ>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
52C	電磁開閉器<圧縮機>
63H1	圧力開閉器<高圧>
63H2	圧力開閉器<ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ>
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯<運転・ミドリ>
※PL2	表示灯<異常・アカ>
※PL3	表示灯<霜取・オレンジ>
※SW2	ｽｲｯﾁ<運転-停止:ﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞｳﾝ>
※SW3	ｽｲｯﾁ（異常リセット）
※X	補助継電器
※2D	ﾀｲﾑｽｲｯﾁ<霜取>
※21R	電磁弁<液>
※23R	温度調節器<庫内>
※26D	温度開閉器<霜取終了>
※26H	温度開閉器<過熱防止>
※63H	圧力開閉器<高圧:応急時の高圧制御>
※63L	圧力開閉器<低圧:応急時の低圧制御>
※88H	電磁接触器<電熱器>

エラーコード対応表

コード	エラー内容
E00	電源異常<電源同期信号異常>
E01	電源異常<逆相>
E02	差圧起動防止保護作動
E03	高圧力差保護作動
E05	吐出昇温防止保護作動
E06	圧力センサ<低圧>異常
E07	サーミスタ<吐出管温度>異常
E08	サーミスタ<凝縮温度>異常
E10	サーミスタ<圧縮機ｼｪﾙ温度>異常:EP45、EP37のみ
E11	液バック保護作動:EP45、EP37のみ
E12	高油温異常:EP45、EP37のみ
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動
※E15	瞬停保護

※E13、E14、E15は異常履歴表示のための識別記号で通常はﾃﾞｼﾞﾀﾙ表示しません。

■ERA-EP形

ERA-EP22A・EP30A・EP37A・EP45A形（コントローラ基板コネクタ非表示）

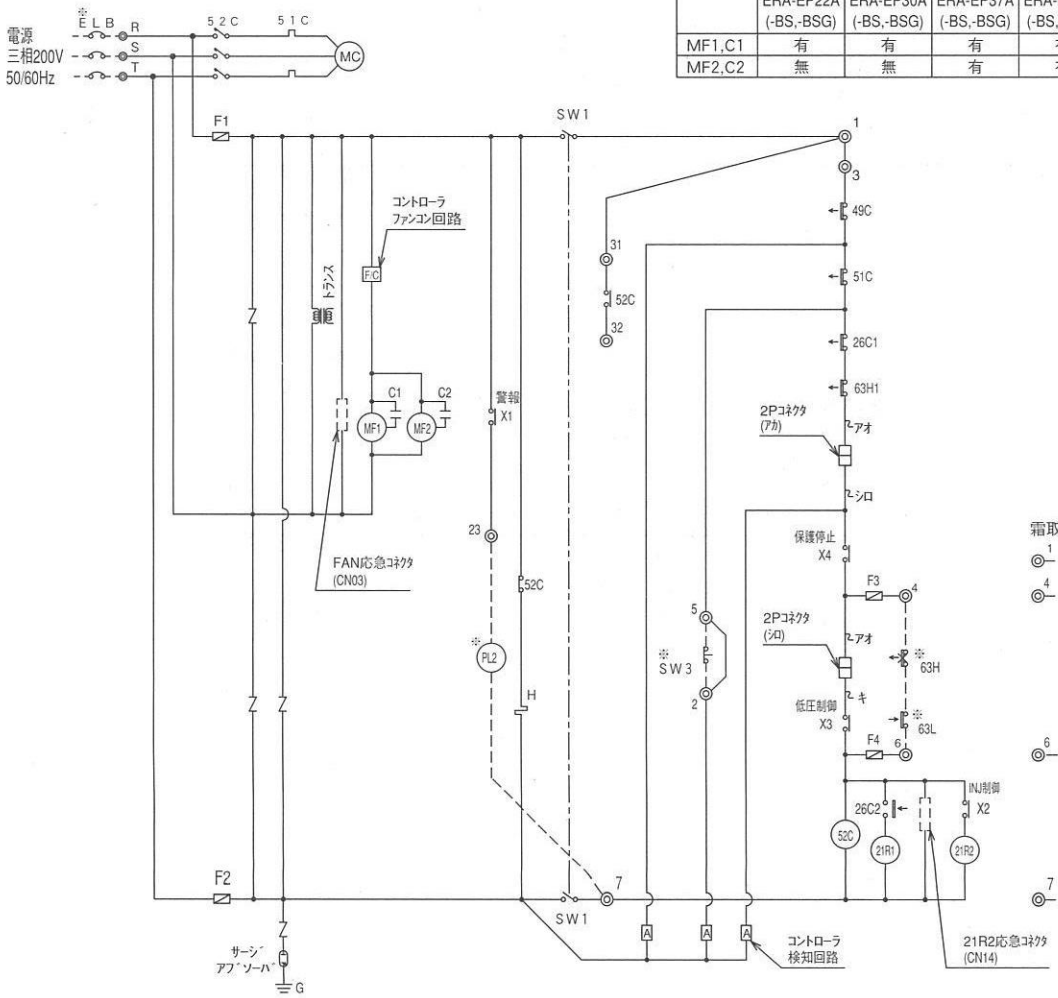
注）1．※印の機器は、現地手配となります。
2．－－－－ 線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3．接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4．ＳＷ２，ＳＷ３，ＰＬ１～３の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
ＳＷ３はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
（モーメンタリ動作スイッチ：ボタンを離すとＯＮ状態に戻るスイッチ）
5．ＳＷ３を取付ける場合は、２～５間の配線は必ず取り外してください。
6．５２Ｃのｂ接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子７と８８Ｈを接続してください。
7．ＰＬ１は端子７－６の間に接続すると、圧縮機のＯＮ／ＯＦＦに連動して表示灯が点灯します。
ＳＷ２の後に接続すると、圧縮機のＯＮ／ＯＦＦに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8．警報回路は、２３番ライン(圧力開閉器<高圧>作動、温度開閉器<吐出>作動、熱動過電流継電器作動、圧力センサ<低圧>異常)です。
9．基板異常時の応急処置については工事説明書等を参照願います。

	ERA-EP22A (-BS,-BSG)	ERA-EP30A (-BS,-BSG)	ERA-EP37A (-BS,-BSG)	ERA-EP45A (-BS,-BSG)
MF1,C1	有	有	有	有
MF2,C2	無	無	有	有

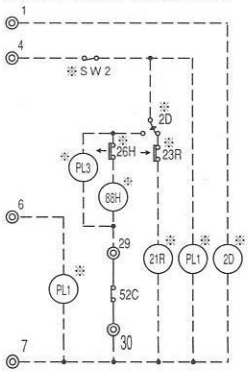
記号	名称	記号	名称
C1、C2	ｺﾝﾃﾞﾝｻ<送風機用電動機> :EP30、EP22はC1のみ	51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
		52C	電磁開閉器<圧縮機>
F1	ﾋｭｰｽﾞ<送風機:１５Ａ>	63H1	圧力開閉器<高圧>
F2	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:６Ａ>	※ELB	漏電遮断器
F3	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:５Ａ>	※PL1	表示灯<運転・ミドリ>
F4	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:５Ａ>	※PL2	表示灯<異常・アカ>
H	電熱器<クランクケース>	※PL3	表示灯<霜取・オレンジ>
G	接地<アース>	※SW2	ｽｲｯﾁ<運転ー停止:ﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞｳﾝ>
MC	圧縮機用電動機	※SW3	ｽｲｯﾁ（異常リセット）
MF1、2	送風機用電動機 :EP30、EP22はMF1のみ	※X	補助継電器
		※2D	ﾀｲﾑｽｲｯﾁ<霜取>
SW1	ｽｲｯﾁ<運転ー停止>	※21R	電磁弁<液>
X1	補助継電器<警報出力>	※23R	温度調節器<庫内>
X2	補助継電器<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝon/off>	※26D	温度開閉器<霜取終了>
X3	補助継電器<低圧制御>	※26H	温度開閉器<過熱防止>
X4	補助継電器<保護停止制御>	※63H	圧力開閉器<高圧:応急時の高圧制御>
21R1	電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ流量切換>	※63L	圧力開閉器<低圧:応急時の低圧制御>
21R2	電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝon/off>	※88H	電磁接触器<電熱器>
26C1	温度開閉器<吐出>		
26C2	温度開閉器<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ>		
49C	温度開閉器<圧縮機ｲﾝﾅｰｻｰﾓ>		

注）Ｘ１～４は、コントローラ基板の出力接点を示し、作動は次のとおりです。
詳細は工事説明書を参照願います。

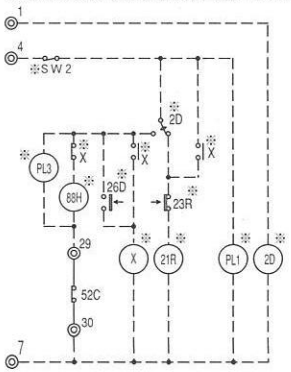
X1	圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継続器作動, 圧力センサ<低圧>異常によりＯＮ。 上記異常解除後、ﾘｾｯﾄ動作<SW1またはSW3をOFF→ON>によりＯＦＦ。
X2	電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝon/off>制御
X3	低圧が低圧入値以上でかつ遅延時間経過後にＯＮ。 低圧切値以下でＯＦＦ。また、圧力ｾﾝｻ<低圧>異常時はＯＦＦ。
X4	通常運転時はＯＮ。 圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動, 圧力ｾﾝｻ<低圧>異常,各種保護停止時にＯＦＦ。



霜取終了後、水切可能な運転回路



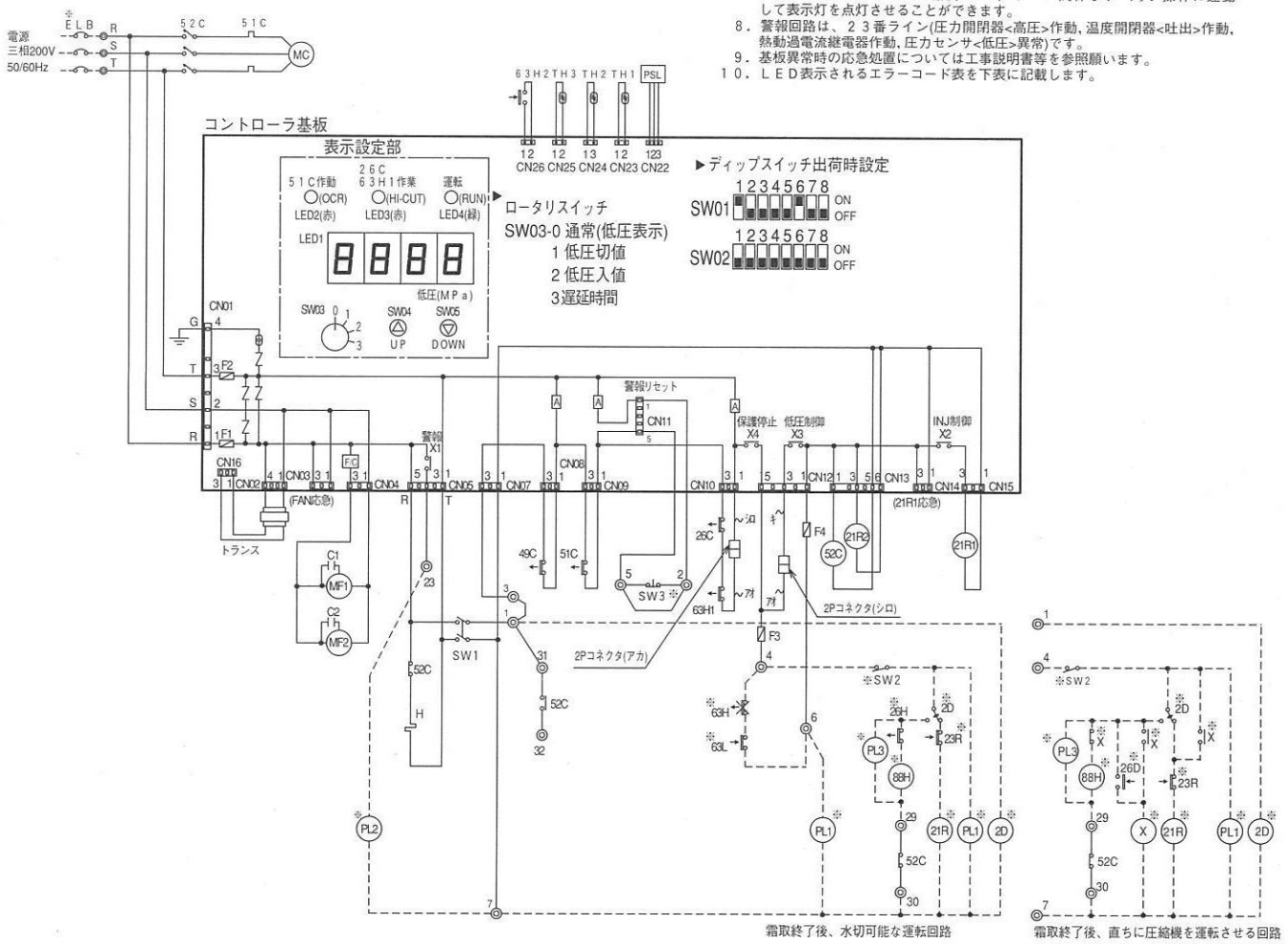
霜取終了後、直ちに圧縮機を運転させる回路



電気回路

■ERA-EP形
ERA-EP55A・EP75A形

注）1．※印の機器は、現地手配となります。
2．－－－－線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3．接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4．SW2，SW3，PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
（モーメンタリ動作スイッチ：ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ）
5．SW3を取付ける場合は、2～5間の配線は必ず取り外してください。
6．52Cのb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7．PL1は端子7－6の間に接続すると、圧縮機のON／OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON／OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8．警報回路は、23番ライン(圧力開閉器<高圧>作動、温度開閉器<吐出>作動、熱動過電流継電器作動、圧力センサ<低圧>異常)です。
9．基板異常時の応急処置については工事説明書等を参照願います。
10．LED表示されるエラーコード表を下表に記載します。



霜取終了後、水切可能な運転回路

霜取終了後、直ちに圧縮機を運転させる回路

記号	名称
C1、C2	コンデンサ<送風機用電動機>
F1	ヒューズ<送風機:15A>
F2	ヒューズ<制御回路:6A>
F3	ヒューズ<制御回路:5A>
F4	ヒューズ<制御回路:5A>
G	接地<アース>
H	電熱器<クランクケース>
MC	圧縮機用電動機
MF1、2	送風機用電動機
PSL	圧力センサ<低圧>
SW1	スイッチ<運転一停止>
TH1	サーミスタ<凝縮温度>
TH2	サーミスタ<吐出管温度>
TH3	サーミスタ<圧縮機シェル油温>
X1	補助継電器<警報出力>
X2	補助継電器<電磁弁21R1制御>
X3	補助継電器<低圧制御>
X4	補助継電器<保護停止制御>
21R1	電磁弁<インジェクション>
21R2	電磁弁<サブクールコイル>
26C	温度開閉器<吐出>
49C	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
52C	電磁開閉器<圧縮機>
63H1	圧力開閉器<高圧>
63H2	圧力開閉器<ファンコンバックアップ>
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯<運転：ミドリ>
※PL2	表示灯<異常：アカ>
※PL3	表示灯<霜取：オレンジ>
※SW2	スイッチ<運転一停止：ポンプダウン>
※SW3	スイッチ<異常リセット>
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ<霜取>
※21R	電磁弁<液>
※23R	温度調節器<庫内>
※26D	温度開閉器<霜取終了>
※26H	温度開閉器<過熱防止>
※63H	圧力開閉器<高圧：応急時の高圧制御>
※63L	圧力開閉器<低圧：応急時の低圧制御>
※88H	電磁接触器<電熱器>

エラーコード対応表

コード	エラー内容
E00	電源異常<電源同期信号異常>
E01	電源異常<逆相>
E02	差圧起動防止作動
E03	高圧力差保護作動
E05	吐出昇温防止保護作動
E06	圧力センサ<低圧>異常
E07	サーミスタ<吐出管温度>異常
E08	サーミスタ<凝縮温度>異常
E10	サーミスタ<圧縮機シェル油温>異常
E11	液バック保護作動
E12	高油温異常
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器<高圧>作動、温度開閉器<吐出>作動
※E15	瞬停保護

※E13、E14、E15は異常履歴表示のための識別記号で通常はデジタル表示しません。

■ERA-EP形

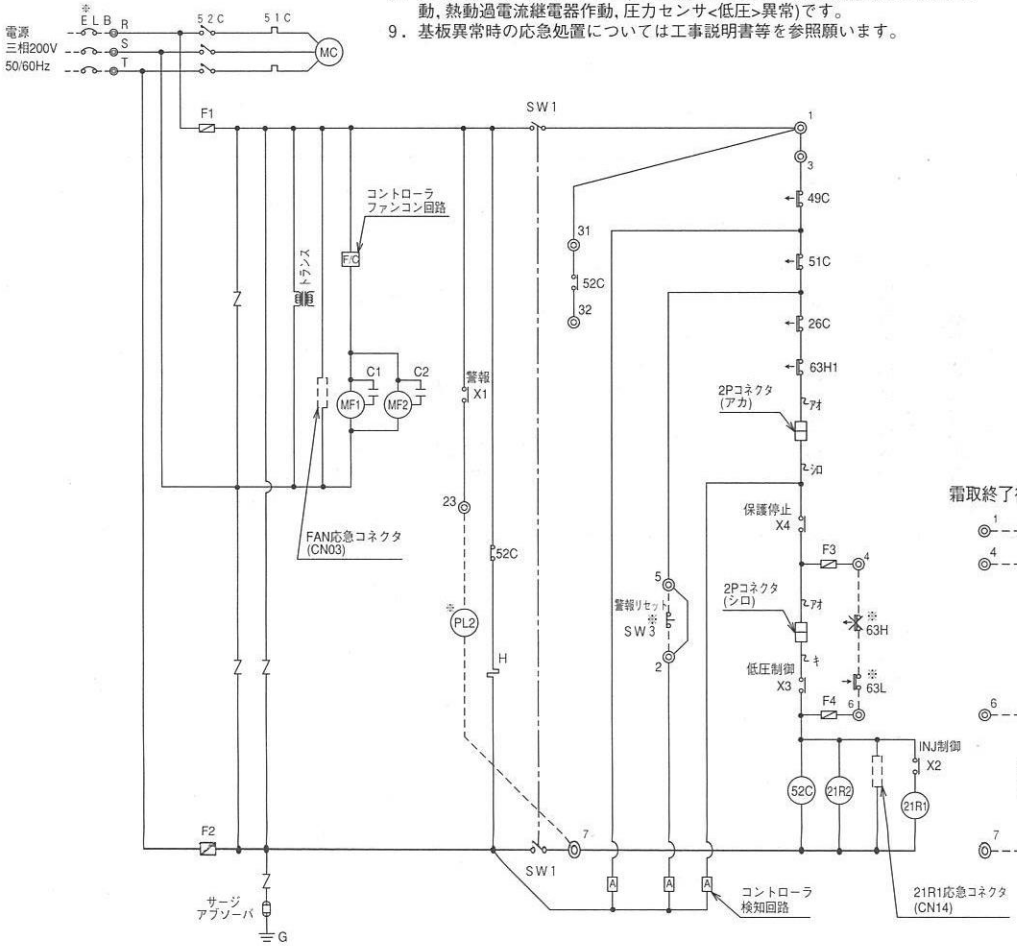
ERA-EP55A・EP75A形（コントローラ基板コネクタ非表示）

注）1．※印の機器は、現地手配となります。
2．----線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3．接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4．SW2，SW3，PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
（モーメンタリ動作スイッチ：ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ）
5．SW3を取付ける場合は、2～5間の配線は必ず取り外してください。
6．52Cのb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7．PL1は端子7－6の間に接続すると、圧縮機のON／OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON／OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8．警報回路は、23番ライン(圧力開閉器<高圧>作動，温度開閉器<吐出>作動，熱動過電流継電器作動，圧力センサ<低圧>異常)です。
9．基板異常時の応急処置については工事説明書等を参照願います。

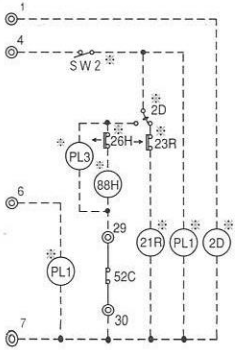
記号	名称	記号	名称
C1、C2	コンデンサ<送風機用電動機>	52C	電磁開閉器<圧縮機>
F1	ヒューズ<送風機:15A>	63H1	圧力開閉器<高圧>
F2	ヒューズ<制御回路:6A>	※ELB	漏電遮断器
F3	ヒューズ<制御回路:5A>	※PL1	表示灯<運転：ミドリ>
F4	ヒューズ<制御回路:5A>	※PL2	表示灯<異常：アカ>
G	接地<アース>	※PL3	表示灯<霜取：オレンジ>
H	電熱器<クランクケース>	※SW2	スイッチ<運転ー停止：ポンプダウン>
MC	圧縮機用電動機	※SW3	スイッチ<異常リセット>
MF1、2	送風機用電動機	※X	補助継電器
SW1	スイッチ<運転ー停止>	※2D	タイムスイッチ<霜取>
X1	補助継電器<警報出力>	※21R	電磁弁<液>
X2	補助継電器<電磁弁21R1制御>	※23R	温度調節器<庫内>
X3	補助継電器<低圧制御>	※26D	温度開閉器<霜取終了>
X4	補助継電器<保護停止制御>	※26H	温度開閉器<過熱防止>
21R1	電磁弁<インジェクション>	※63H	圧力開閉器<高圧：応急時の高圧制御>
21R2	電磁弁<サブクールコイル>	※63L	圧力開閉器<低圧：応急時の低圧制御>
26C	温度開閉器<吐出>	※88H	電磁接触器<電熱器>
49C	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>		

注）X1～4は、コントローラ基板の出力接点を示し、作動は次のとおりです。
詳細は工事説明書を参照願います。

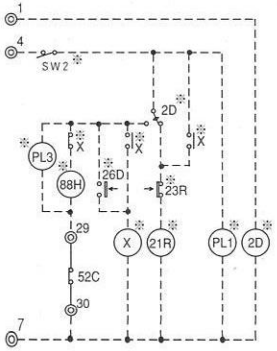
X1	圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継続器作動, 圧力センサ<低圧>異常によりON。 上記異常解除後、リセット動作<SW1またはSW3をOFF→ON>によりOFF。
X2	電磁弁<インジェクション>ON、OFF制御
X3	低圧が低圧入値以上でかつ遅延時間経過後にON。 低圧切値以下でOFF。また、圧力センサ<低圧>異常時はOFF。
X4	通常運転時はON。 圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動, 圧力センサ<低圧>異常、各種保護停止時にOFF。



霜取終了後、水切可能な運転回路

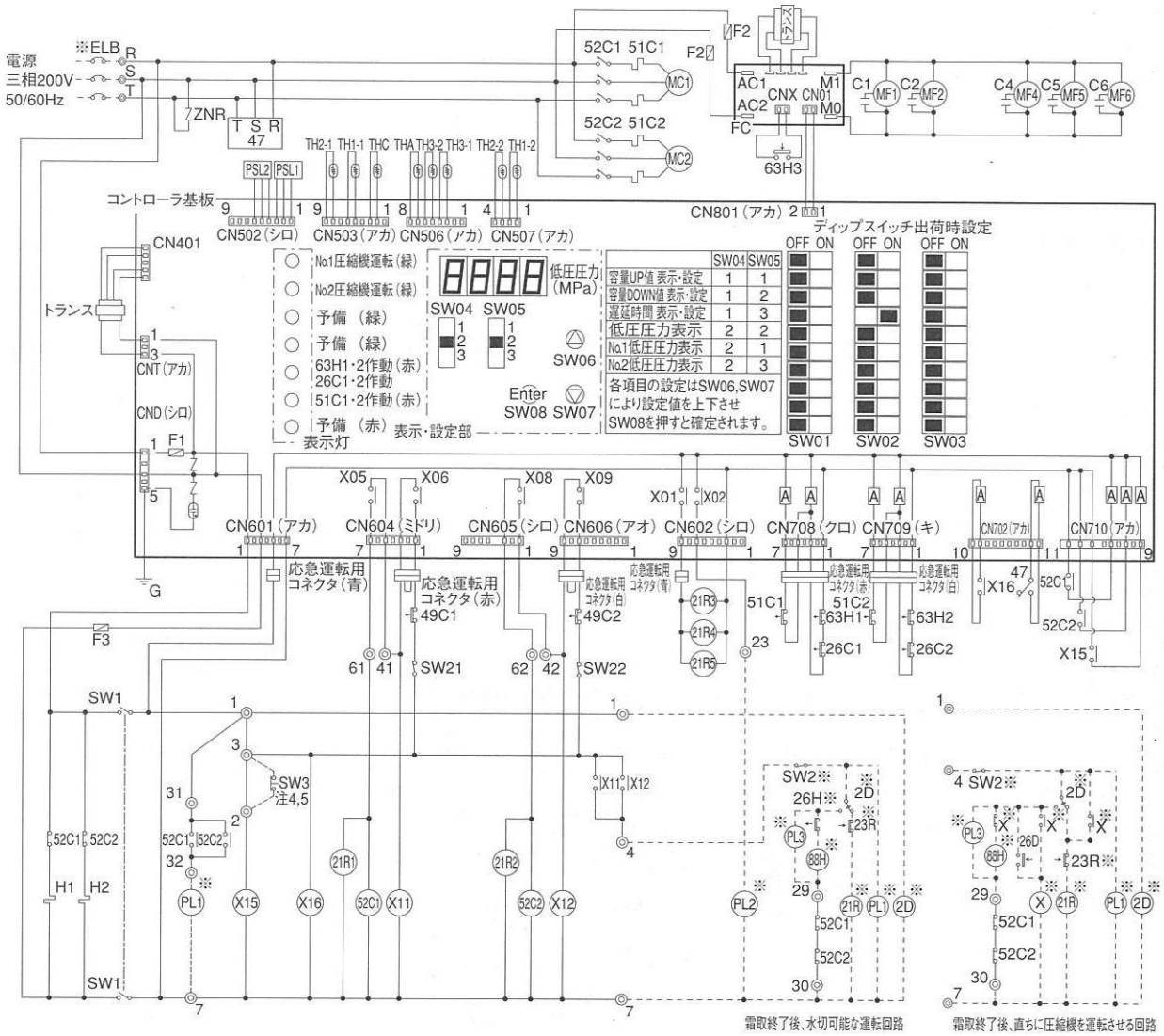


霜取終了後、直ちに圧縮機を運転させる回路



電気回路

■ECA-EP形
ECA-EP150A形



注）1. ※印の機器は、現地手配となります。
2. ----線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4. SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
＜モーメンタリ動作スイッチ：ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ＞
5. SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6. 52C1,52C2のb接点は、コンデンシングユニットと電熱器＜霜取＞の同時通電を防止するための回路です。
複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7. PL1は端子32-7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8. 警報回路は、23番ライン（圧力開閉器＜高圧＞作動,温度開閉器＜吐出＞作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ＜低圧＞異常,液バック保護作動,吐出昇温防止保護作動,返油管詰まり異常）です。
9. 基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
10. LED表示されるエラーコードを下表に記載します。

記号	名称
C1,2,4～6	コンデンサ〈送風機用電動機〉
F1	ヒューズ〈制御回路:6A〉
F2	ヒューズ〈送風機:15A〉
F3	ヒューズ〈制御回路:5A〉
FC	電子ファンコントローラ
G	接地＜アース＞
H1,2	電熱器〈クランクケース〉
MC1,2	圧縮機用電動機
MF1,2,4～6	送風機用電動機
SW1	スイッチ〈運転-停止〉
SW21	スイッチ〈No.1圧縮機個別運転〉
SW22	スイッチ〈No.2圧縮機個別運転〉
THA	サーミスタ〈機械室温度〉
THC	サーミスタ〈凝縮温度〉
TH1-1,1-2	サーミスタ〈吐出管温度〉
TH2-1,2-2	サーミスタ〈圧縮機シェル油温〉
TH3-1,3-2	サーミスタ〈返油管温度〉
PSL1,2	圧力センサ〈低圧〉
X01,X02,X05,X06,X08,X09	補助継電器〈基板内〉
X11,X12,X15,X16	補助継電器
21R1,2	電磁弁〈インジェクション〉
21R3,4	電磁弁〈油戻し〉
21R5	電磁弁〈サブクールコイル〉
26C1,2	温度開閉器〈吐出〉
47	逆相防止器
49C1,2	温度開閉器〈圧縮機インナーサーモ〉
51C1,2	熱動過電流継電器〈圧縮機〉
52C1,2	電磁開閉器〈圧縮機〉
63H1,2	圧力開閉器〈高圧〉
63H3	圧力開閉器〈ファンコンバックアップ〉

記号	名称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯〈運転・ミドリ〉
※PL2	表示灯〈異常・アカ〉
※PL3	表示灯〈霜取・オレンジ〉
※SW2	スイッチ〈運転-停止:ポンプダウン〉
※SW3	スイッチ〈異常リセット〉
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ〈霜取〉
※21R	電磁弁〈液〉
※23R	温度調節器〈庫内〉
※26D	温度開閉器〈霜取終了〉
※26H	温度開閉器〈過熱防止〉
※88H	電磁接触器〈電熱器〉

エラーコード対応表

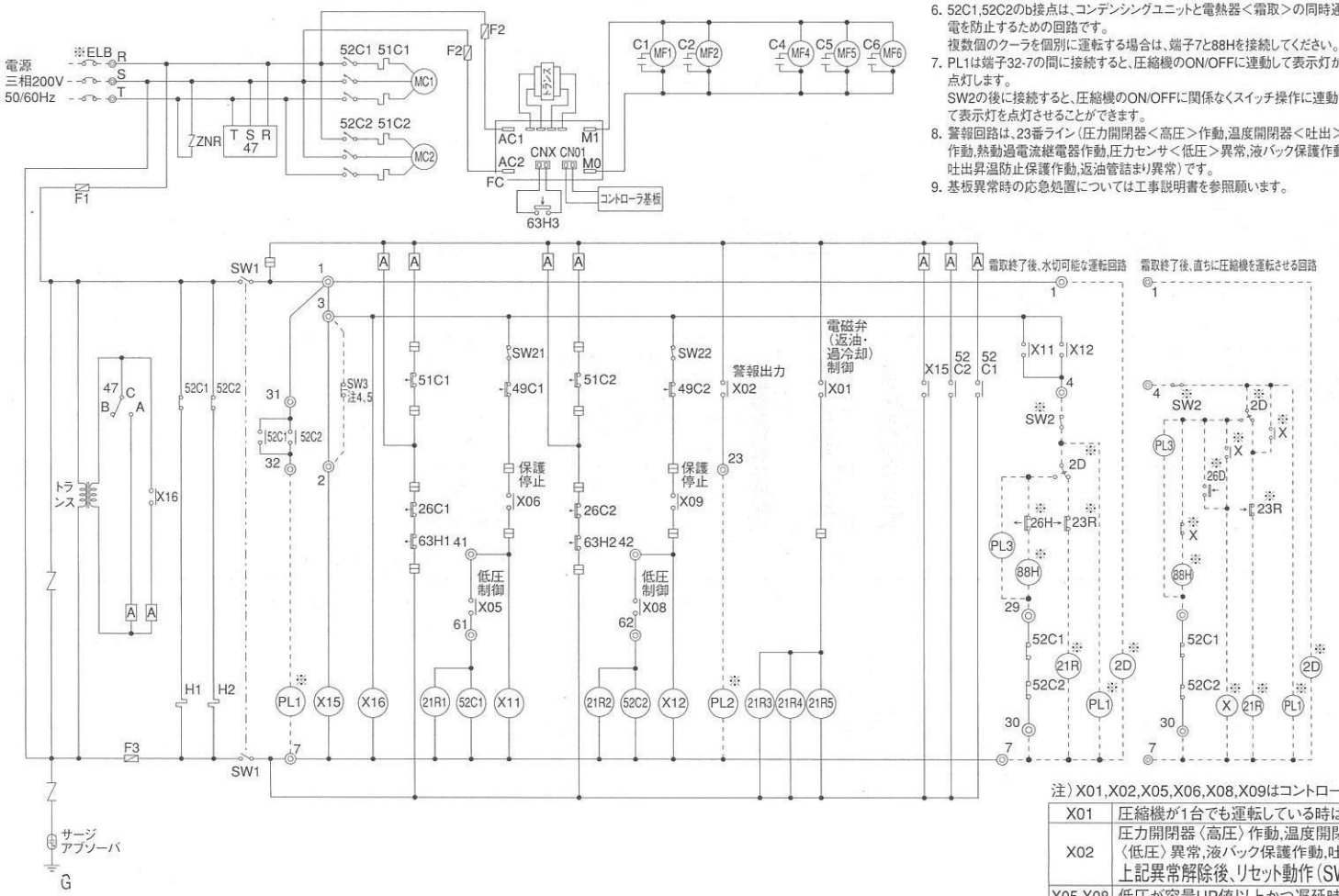
コード	エラー内容
E01	電源異常〈逆相〉
E02	差圧起動防止保護作動
※E05	吐出昇温防止保護作動
※E06	圧力センサ〈低圧〉異常
※E07	サーミスタ〈吐出管温度〉異常
E08	サーミスタ〈凝縮温度〉異常
※E10	サーミスタ〈圧縮機シェル油温〉異常
※E11	液バック保護作動
※E12	高油温保護作動
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器〈高圧〉作動 温度開閉器〈吐出〉作動
E15	瞬停保護
※E16	サーミスタ〈返油管温度〉異常
E17	サーミスタ〈機械室温度〉異常
※E18	返油管詰まり異常
E99	基板異常

表中の※マークには保護器等が作動した圧縮機番号が表示されます。
例えば、圧縮機〈No.1〉の圧力開閉器〈高圧〉が作動した場合には『1E14』と表示されます。

MITSUBISHI

■ECA-EP形

ECA-EP150A形（コントローラ基板コネクタ非表示）



注）1. ※印の機器は、現地手配となります。
2. ----線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4. SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
＜モーメンタリ動作スイッチ：ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ＞
5. SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6. 52C1,52C2のb接点は、コンデンシングユニットと電熱器＜霜取＞の同時通電を防止するための回路です。
複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7. PL1は端子32-7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8. 警報回路は、23番ライン（圧力開閉器＜高圧＞作動,温度開閉器＜吐出＞作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ＜低圧＞異常,液バック保護作動,吐出昇温防止保護作動,返油管詰まり異常）です。
9. 基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。

記号	名称
C1,2,4～6	コンデンサ〈送風機用電動機〉
F1	ヒューズ〈制御回路:6A〉
F2	ヒューズ〈送風機:15A〉
F3	ヒューズ〈制御回路:5A〉
FC	電子ファンコントローラ
G	接地＜アース＞
H1,2	電熱器〈クランクケース〉
MC1,2	圧縮機用電動機
MF1,2,4～6	送風機用電動機
SW1	スイッチ〈運転-停止〉
SW21	スイッチ〈№1圧縮機個別運転〉
SW22	スイッチ〈№2圧縮機個別運転〉
X01,X02,X05,X06,X08,X09	補助継電器〈基板内〉
X11,X12,X15,X16	補助継電器
21R1,2	電磁弁〈インジェクション〉
21R3,4	電磁弁〈油戻し〉
21R5	電磁弁〈サブクールコイル〉
26C1,2	温度開閉器〈吐出〉
47	逆相防止器
49C1,2	温度開閉器〈圧縮機インナーサーモ〉
51C1,2	熱動過電流継電器〈圧縮機〉
52C1,2	電磁開閉器〈圧縮機〉
63H1,2	圧力開閉器〈高圧〉
63H3	圧力開閉器〈ファンコンバックアップ〉

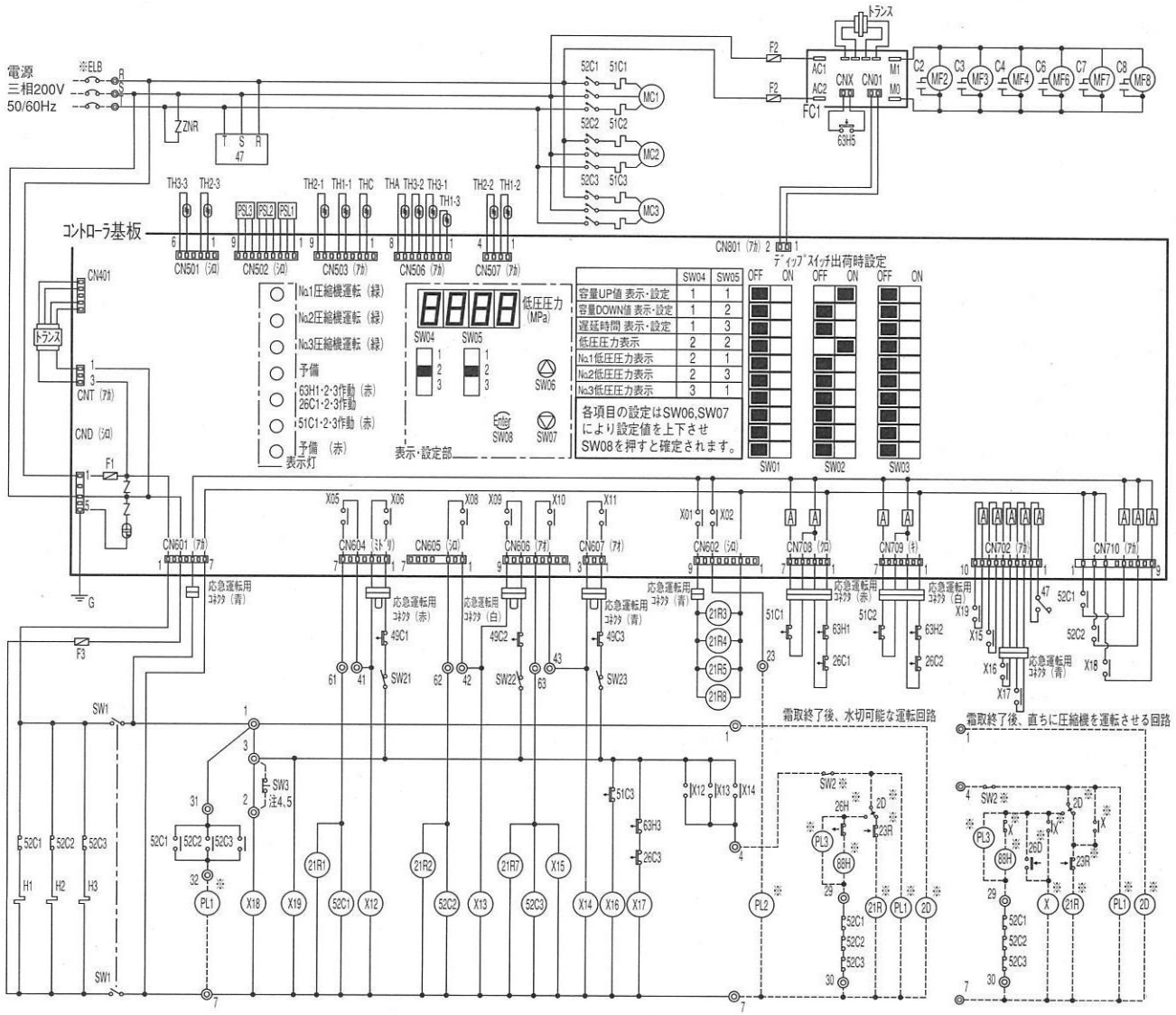
記号	名称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯〈運転・ミドリ〉
※PL2	表示灯〈異常・アカ〉
※PL3	表示灯〈霜取・オレンジ〉
※SW2	スイッチ〈運転-停止:ポンプダウン〉
※SW3	スイッチ〈異常リセット〉
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ〈霜取〉
※21R	電磁弁〈液〉
※23R	温度調節器〈庫内〉
※26D	温度開閉器〈霜取終了〉
※26H	温度開閉器〈過熱防止〉
※88H	電磁接触器〈電熱器〉

注）X01,X02,X05,X06,X08,X09はコントローラ基板の出力接点を示し作動は下表のとおりです。

X01	圧縮機が1台でも運転している時はON,圧縮機が全て停止時,（異常停止含む）はOFF
X02	圧力開閉器〈高圧〉作動,温度開閉器〈吐出〉作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ〈低圧〉異常,液バック保護作動,吐出昇温防止保護作動,返油管詰まり異常によりON 上記異常解除後、リセット動作（SW1またはSW3をOFF→ON）によりOFF
X05,X08	低圧が容量UP値以上かつ遅延時間経過後にON,容量DOWN値以下の場合はOFF
X06,X09	通常運転時はON,各種異常発生時にOFF

■ECA-EP形
ECA-EP225A形

R404A 標準回路



注1. ※印の機器は、現地手配となります。
2. ----線は、現地配線となります。また回路はﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞｳﾝ回路方式の場合を示します。
3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4. SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途ﾘﾓｺﾝﾎﾞｯｸｽとして別売しています。
SW3はﾓｰﾒﾝﾀﾘ動作の押ﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ限定です。
<ﾓｰﾒﾝﾀﾘ動作ｽｲｯﾁ:ﾎﾞﾀﾝを離すとON状態に戻るｽｲｯﾁ>
5. SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6. 52C1,52C2,52C3のb接点は、ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾕﾆｯﾄと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。
複数個のｸｰﾗを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7. PL1は端子32―7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくｽｲｯﾁ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8. 警報回路は、23番ﾗｲﾝ（圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力ｾﾝｻ<低圧>異常,液ﾊﾞｯｸ保護作動,返油管詰まり異常,吐出昇温防止保護作動）です。
9. 基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
10. LED表示されるｴﾗｰｺｰﾄﾞを下表に記載します。

記号	名称
C2～4,6～8	ｺﾝﾃﾞﾝｻ〈送風機用電動機〉
F1	ﾋｭｰｽﾞ〈制御回路:6A〉
F2	ﾋｭｰｽﾞ〈送風機:15A〉
F3	ﾋｭｰｽﾞ〈制御回路:5A〉
FC1	電子ﾌｧﾝｺﾝﾄﾛｰﾗ
G	接地〈ｱｰｽ〉
H1～3	電熱器〈ｸﾗﾝｸｹｰｽ〉
MC1～3	圧縮機用電動機
MF2～4,6～8	送風機用電動機
SW1	ｽｲｯﾁ〈運転-停止〉
SW21	ｽｲｯﾁ〈No.1圧縮機個別運転〉
SW22	ｽｲｯﾁ〈No.2圧縮機個別運転〉
SW23	ｽｲｯﾁ〈No.3圧縮機個別運転〉
THA	ｻｰﾐｽﾀ〈機械室温度〉
THC	ｻｰﾐｽﾀ〈凝縮温度〉
TH1-1,1-2,1-3	ｻｰﾐｽﾀ〈吐出管温度〉
TH2-1,2-2,2-3	ｻｰﾐｽﾀ〈圧縮機ｼｪﾙ油温〉
TH3-1,3-2,3-3	ｻｰﾐｽﾀ〈返油管温度〉
PSL1～3	圧力ｾﾝｻ〈低圧〉
X01,02,05,06,X08～11	補助継電器〈基板内〉
X12～X19	補助継電器
21R1,2,7	電磁弁〈ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ〉
21R3,4,8	電磁弁〈油戻し〉
21R5	電磁弁〈サブクールコイル〉
26C1～3	温度開閉器〈吐出〉
47	逆相防止器
49C1～3	温度開閉器〈圧縮機ｲﾝﾅｰｻｰﾓ〉
51C1～3	熱動過電流継電器〈圧縮機〉
52C1～3	電磁開閉器〈圧縮機〉
63H1～3	圧力開閉器〈高圧〉

記号	名称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯〈運転・ﾐﾄﾞﾘ〉
※PL2	表示灯〈異常・ｱｶ〉
※PL3	表示灯〈霜取・ｵﾚﾝｼﾞ〉
※SW2	ｽｲｯﾁ〈運転-停止:ﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞｳﾝ〉
※SW3	ｽｲｯﾁ〈異常ﾘｾｯﾄ〉
※X	補助継電器
※2D	ﾀｲﾑｽｲｯﾁ〈霜取〉
※21R	電磁弁〈液〉
※23R	温度調節器〈庫内〉
※26D	温度開閉器〈霜取終了〉
※26H	温度開閉器〈過熱防止〉
※88H	電磁接触器〈電熱器〉

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ対応表

ｺｰﾄﾞ	ｴﾗｰ内容
E01	電源異常〈逆相〉
E02	差圧起動防止保護作動
※E05	吐出昇温防止保護作動
※E06	圧力ｾﾝｻ〈低圧〉異常
※E07	ｻｰﾐｽﾀ〈吐出管温度〉異常
E08	ｻｰﾐｽﾀ〈凝縮温度〉異常
※E10	ｻｰﾐｽﾀ〈圧縮機ｼｪﾙ油温〉異常
※E11	液ﾊﾞｯｸ保護作動
※E12	高油温保護作動
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器〈高圧〉作動 温度開閉器〈吐出〉作動
E15	瞬停保護
※E16	ｻｰﾐｽﾀ〈返油管温度〉異常
E17	ｻｰﾐｽﾀ〈機械室温度〉異常
※E18	返油管詰まり異常
E99	基板異常

表中の※ﾏｰｸには保護器等が作動した圧縮機番号が表示されます。
例えば、圧縮機<No.1>の圧力開閉器<高圧>が作動した場合には『1E14』と表示されます。

MITSUBISHI

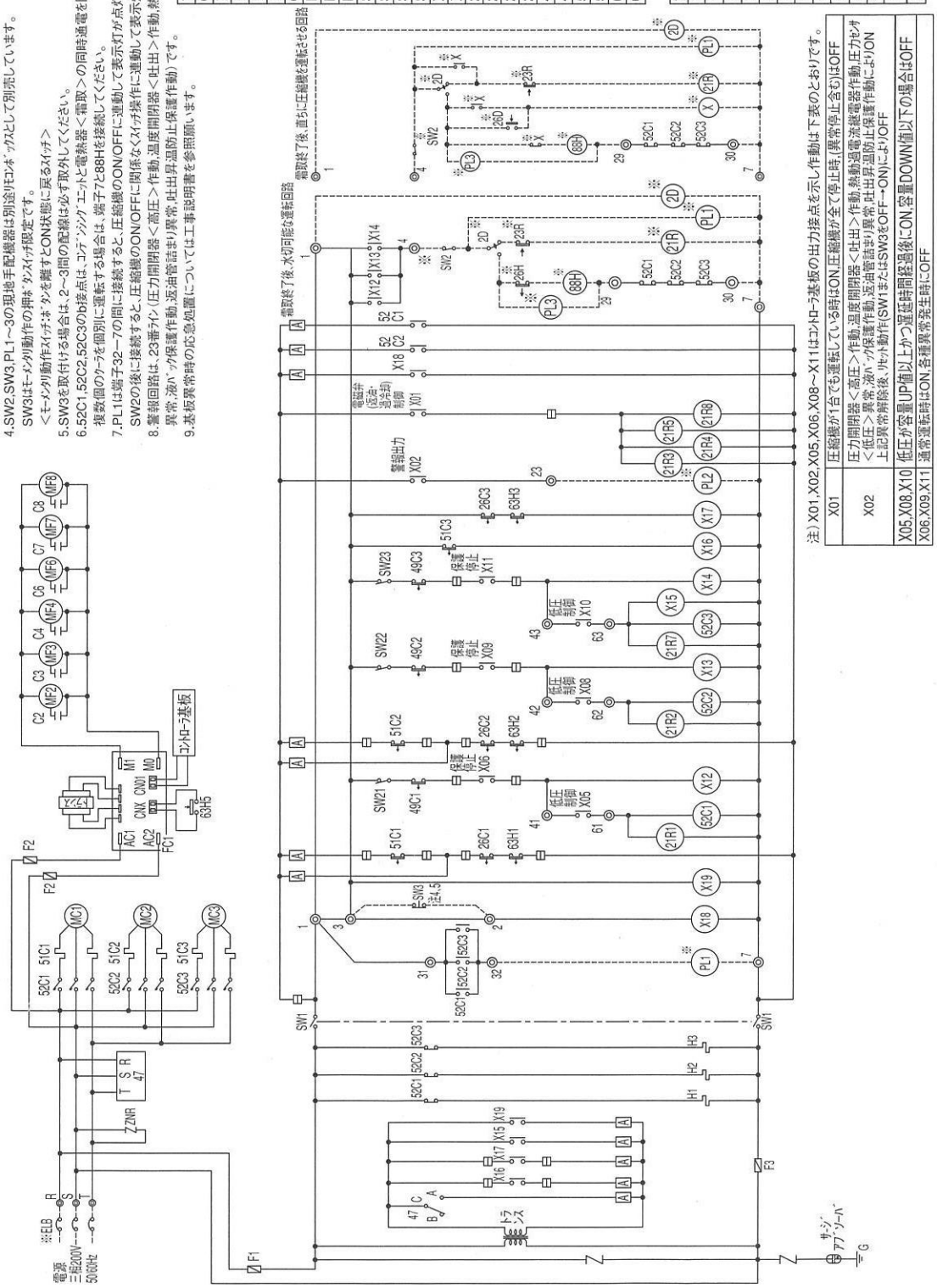
■ECA-EP形

ECA-EP225A形（コントローラ基板コネクタ非表示）

注）1.※印の機器は、現地手配となります。
2. ---- 線は、現地配線となります。また回路はｼﾝﾀﾞｳ回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモｺﾝｽｲｯﾁとして別売しています。
SW3はﾓｰﾒﾝﾀﾘ動作の押ﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ限定です。
<モーメンタリ動作スイッチ:ﾎﾞﾀﾝを離すとON状態に戻るスイッチ>
5.SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6.52C1,52C2,52C3のb接点は、ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾕﾆｯﾄと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。
接数個のｺﾝﾀｰを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7.PL1は端子32一7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくｽｲｯﾁ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8.警報回路は、23番ﾗｲﾝ(圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力ｾﾝｻ<低圧>
異常,液ﾊﾞｯｸ保護作動,返油管詰まり異常,吐出昇温防止保護作動)です。
9.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。

記号	名称
C2～4,6～8	ｺﾝﾃﾞﾝｻ〈送風機用電動機〉
F1	ﾋｭｰｽﾞ〈制御回路:6A〉
F2	ﾋｭｰｽﾞ〈送風機:15A〉
F3	ﾋｭｰｽﾞ〈制御回路:5A〉
FC1	電子ﾌｧﾝｺﾝﾄﾛｰﾗ
G	接地〈ｱｰｽ〉
H1～3	電熱器〈ｸﾗﾝｸｹｰｽ〉
MC1～3	圧縮機用電動機
MF2～4,6～8	送風機用電動機
SW1	ｽｲｯﾁ〈運転・停止〉
SW21	ｽｲｯﾁ(No.1圧縮機個別運転〉
SW22	ｽｲｯﾁ(No.2圧縮機個別運転〉
SW23	ｽｲｯﾁ(No.3圧縮機個別運転〉
X01,2,5,6,8～11	補助継電器〈基板内〉
X12～X19	補助継電器
21R1,2,7	電磁弁〈ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ〉
21R3,4,8	電磁弁〈油戻し〉
21R5	電磁弁〈ｻﾌﾞｸｰﾙｵｲﾙ〉
26C1～3	温度開閉器〈吐出〉
47	逆相防止器
49C1～3	温度開閉器〈圧縮機ｲﾝﾅｰｻｰﾓ〉
51C1～3	熱動過電流継電器〈圧縮機〉
52C1～3	電磁開閉器〈圧縮機〉
63H1～3	圧力開閉器〈高圧〉
63H5	圧力開閉器〈ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ〉

記号	名称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯〈運転・ﾄﾘｯﾌﾟ〉
※PL2	表示灯〈異常・ﾌｶ〉
※PL3	表示灯〈霜取・オレンジ〉
※SW2	ｽｲｯﾁ〈運転・停止:ﾎﾞｯﾌﾟﾀﾞｳﾝ〉
※SW3	ｽｲｯﾁ〈異常ﾘｾｯﾄ〉
※X	補助継電器
※2D	ﾀｲﾑｽｲｯﾁ〈霜取〉
※21R	電磁弁〈液〉
※23R	温度調節器〈庫内〉
※26D	温度開閉器〈霜取終了〉
※26H	温度開閉器〈過熱防止〉
※88H	電磁接触器〈電熱器〉



注）X01,X02,X05,X06,X08～X11はコントローラ基板の出力接点を示し作動は下表のとおりです。

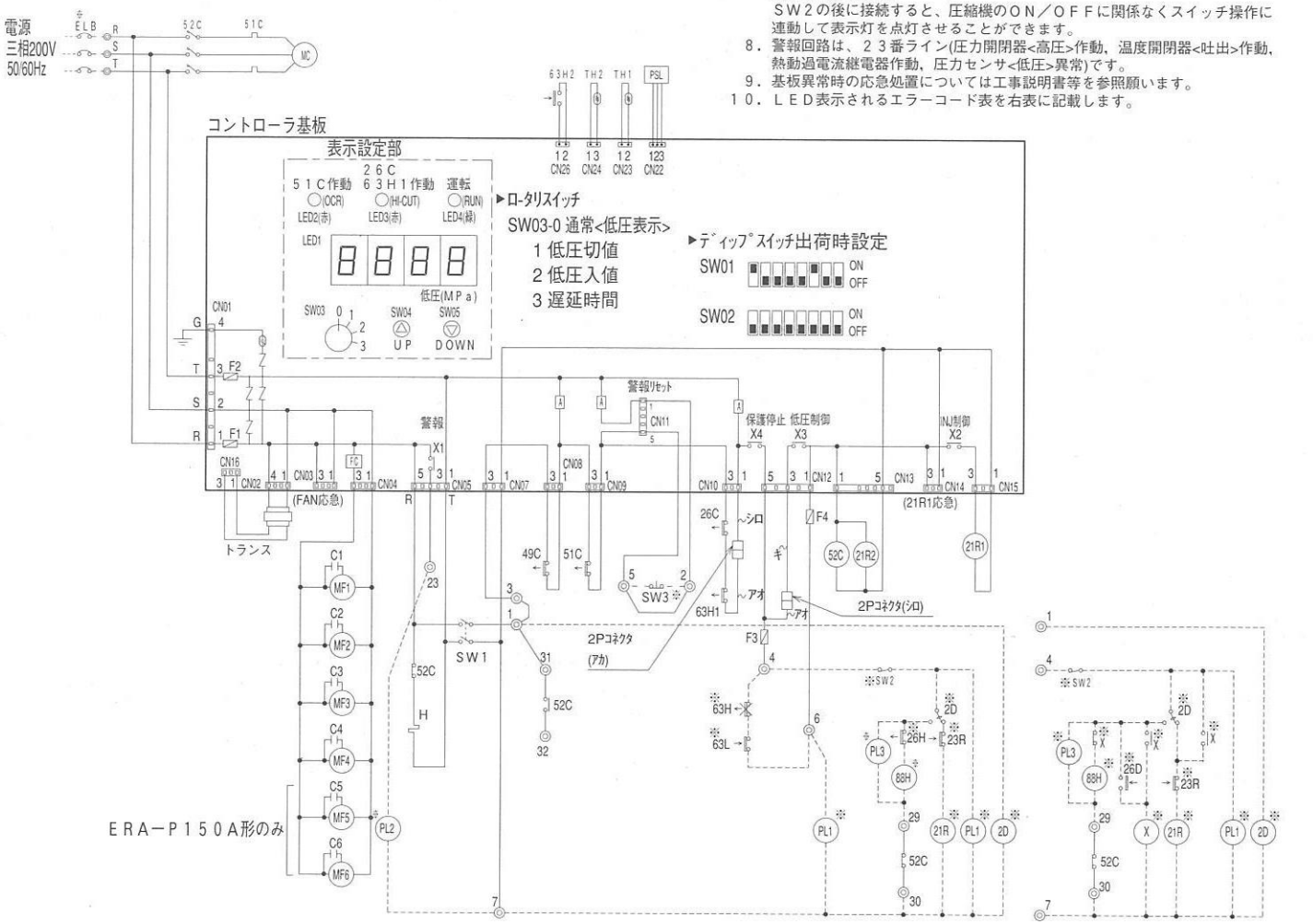
X01	圧縮機が1台でも運転している時はON,圧縮機が全て停止時(異常停止含む)はOFF
X02	圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力ｾﾝｻ<低圧>異常,液ﾊﾞｯｸ保護作動,返油管詰まり異常,吐出昇温防止保護作動により上記異常解除後,ﾘｾｯﾄ動作(SW1またはSW3をOFF→ON)によりOFF
X05,X08,X10	低圧が容量UP値以上かつ遅延時間経過後にON,容量DOWN値以下の場合はOFF
X06,X09,X11	通常運転時はON,各種異常発生時にOFF

電気回路

■ERA形

ERA-P110A・P150A形

注）1．※印の機器は、現地手配となります。
2．------ 線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3．接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4．SW2，SW3、PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
（モーメンタリ動作スイッチ：ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ）
5．SW3を取付ける場合は、2～5間の配線は必ず取り外してください。
6．52Cのb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7．PL1は端子7－6の間に接続すると、圧縮機のON／OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON／OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8．警報回路は、23番ライン(圧力開閉器<高圧>作動、温度開閉器<吐出>作動、熱動過電流継電器作動、圧力センサ<低圧>異常)です。
9．基板異常時の応急処置については工事説明書等を参照願います。
10．LED表示されるエラーコード表を右表に記載します。



記号	名称
C1～6	ｺﾝﾃﾞﾝｻ<送風機用電動機>
F1	ﾋｭｰｽﾞ<送風機:15A>
F2	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:6A>
F3	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:5A>
F4	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:5A>
G	接地<アース>
H	電熱器<クランクケース>
MC	圧縮機用電動機
MF1～6	送風機用電動機
PSL	圧力ｾﾝｻ<低圧>
SW1	ｽｲｯﾁ<運転ー停止>
TH1	ｻｰﾐｽﾀ<凝縮温度>
TH2	ｻｰﾐｽﾀ<吐出管温度>
X1	補助継電器<警報出力>
X2	補助継電器<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ制御>
X3	補助継電器<低圧制御>
X4	補助継電器<保護停止制御>
21R1	電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ>
21R2	電磁弁<ｻﾌﾞｸｰﾙｺｲﾙ>
26C	温度開閉器<吐出>
49C	温度開閉器<圧縮機ｲﾝﾅｰｻｰﾓ>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
52C	電磁開閉器<圧縮機>
63H1	圧力開閉器<高圧>
63H2	圧力開閉器<ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ>
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯<運転・ミドリ>
※PL2	表示灯<異常・アカ>
※PL3	表示灯<霜取・オレンジ>
※SW2	ｽｲｯﾁ<運転-停止:ﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞｳﾝ>
※SW3	ｽｲｯﾁ〈異常リセット〉
※X	補助継電器
※2D	ﾀｲﾑｽｲｯﾁ<霜取>
※21R	電磁弁<液>
※23R	温度調節器<庫内>
※26D	温度開閉器<霜取終了>
※26H	温度開閉器<過熱防止>
※63H	圧力開閉器<高圧:応急時の高圧制御>
※63L	圧力開閉器<低圧:応急時の低圧制御>
※88H	電磁接触器<電熱器>

エラーコード対応表

コード	エラー内容
E00	電源異常<電源同期信号異常>
E03	高圧力差保護作動
E05	吐出昇温防止保護作動
E06	圧力センサ<低圧>異常
E07	サーミスタ<吐出管温度>異常
E08	サーミスタ<凝縮温度>異常
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動
※E15	瞬停保護

※E13、E14、E15は異常履歴表示のための識別記号で通常はﾃﾞｼﾞﾀﾙ表示しません。

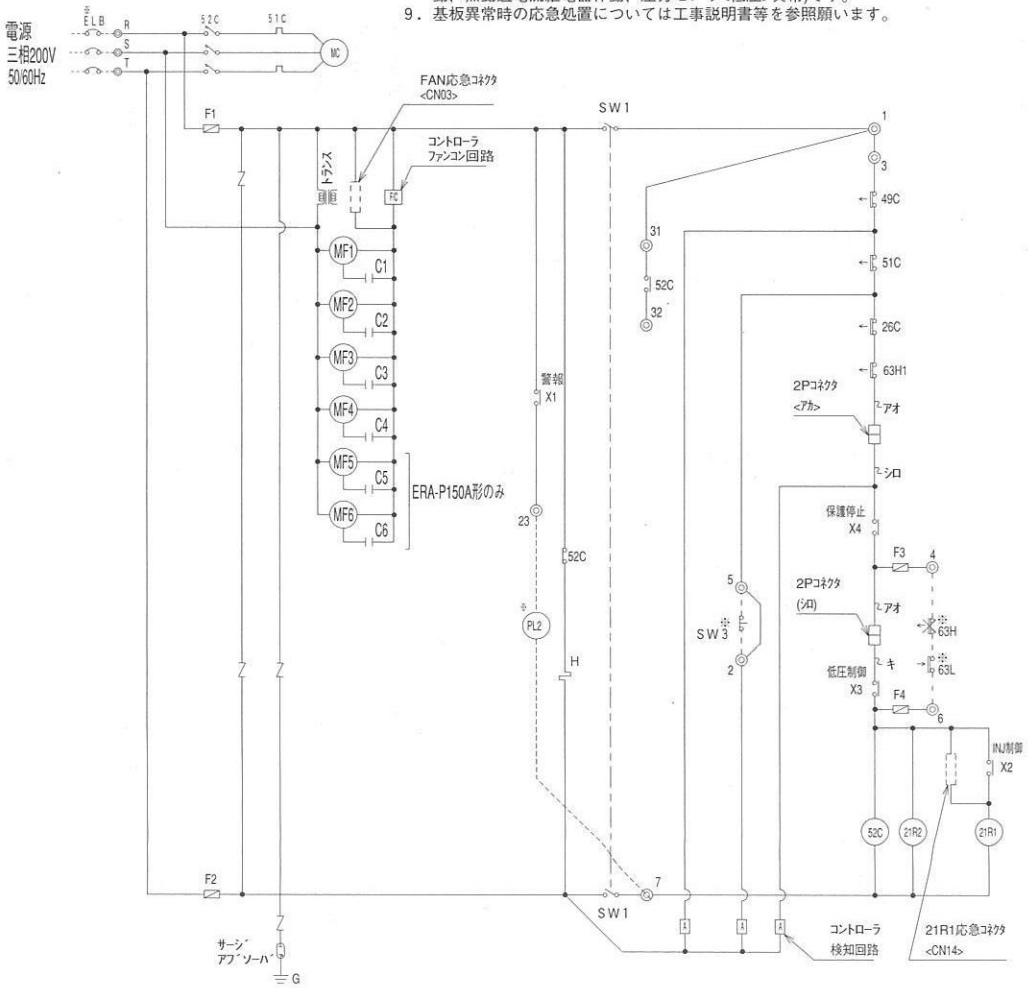
MITSUBISHI

■ERA形

ERA-P110A・P150A形（コントローラ基板コネクタ非表示）

注）1．※印の機器は、現地手配となります。
2．－－－－線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3．接点の矢印は，圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4．SW2，SW3、PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
（モーメンタリ動作スイッチ：ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ）
5．SW3を取付ける場合は，2～5間の配線は必ず取り外してください。
6．52Cのb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。複数個のクーラを個別に運転する場合は，端子7と88Hを接続してください。
7．PL1は端子7－6の間に接続すると、圧縮機のON／OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON／OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8．警報回路は、23番ライン(圧力開閉器<高圧>作動，温度開閉器<吐出>作動，熱動過電流継電器作動，圧力センサ<低圧>異常)です。
9．基板異常時の応急処置については工事説明書等を参照願います。

(ｺﾝﾄﾛｰﾗ基板ｺﾈｸﾀ非表示)

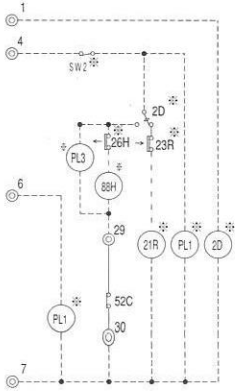


記　号	名　　称	記　号	名　　称
C1～6	ｺﾝﾃﾞﾝｻ<送風機用電動機>	63H1	圧力開閉器<高圧>
F1	ﾋｭｰｽﾞ<送風機:15A>	※ELB	漏電遮断器
F2	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:6A>	※PL1	表示灯<運転・ミドリ>
F3	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:5A>	※PL2	表示灯<異常・アカ>
F4	ﾋｭｰｽﾞ<制御回路:5A>	※PL3	表示灯<霜取・オレンジ>
G	接地<アース>	※SW2	ｽｲｯﾁ<運転-停止:ﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞｳﾝ>
H	電熱器<ｸﾗﾝｸｹｰｽ>	※SW3	ｽｲｯﾁ<異常リセット>
MC	圧縮機用電動機	※X	補助継電器
MF1～6	送風機用電動機	※2D	ﾀｲﾑｽｲｯﾁ<霜取>
SW1	ｽｲｯﾁ<運転ー停止>	※21R	電磁弁<液>
X1	補助継電器<警報出力>	※23R	温度調節器<庫内>
X2	補助継電器<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ制御>	※26D	温度開閉器<霜取終了>
X3	補助継電器<低圧制御>	※26H	温度開閉器<過熱防止>
X4	補助継電器<保護停止制御>	※63H	圧力開閉器<高圧:応急時の高圧制御>
21R1	電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ>	※63L	圧力開閉器<低圧:応急時の低圧制御>
21R2	電磁弁<ｻﾌﾞｸｰﾙｺｲﾙ>	※88H	電磁接触器<電熱器>
26C	温度開閉器<吐出>		
49C	温度開閉器<圧縮機ｲﾝﾅｰｻｰﾓ>		
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>		
52C	電磁開閉器<圧縮機>		

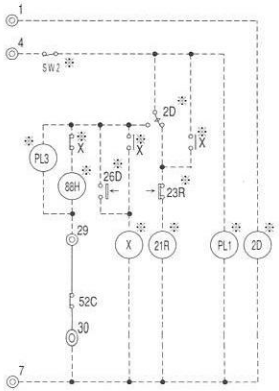
注)X1～4は、コントローラ基板の出力接点を示し、作動は次のとおりです。
詳細は工事説明書を参照願います。

X1	圧力開閉器<高圧>作動、温度開閉器<吐出>作動、熱動過電流継続器作動、圧力センサ<低圧>異常によりON。 上記異常解除後、ﾘｾｯﾄ動作<SW1またはSW3をOFF→ON>によりOFF。
X2	電磁弁<ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ>ON、OFF制御
X3	低圧が低圧入値以上でかつ遅延時間経過後にON。 低圧切値以下でOFF。また、圧力ｾﾝｻ<低圧>異常時はOFF。
X4	通常運転時はON。 圧力開閉器<高圧>作動、温度開閉器<吐出>作動、熱動過電流継電器作動、圧力ｾﾝｻ<低圧>異常、各種保護停止時にOFF。

霜取終了後、水切可能な運転回路

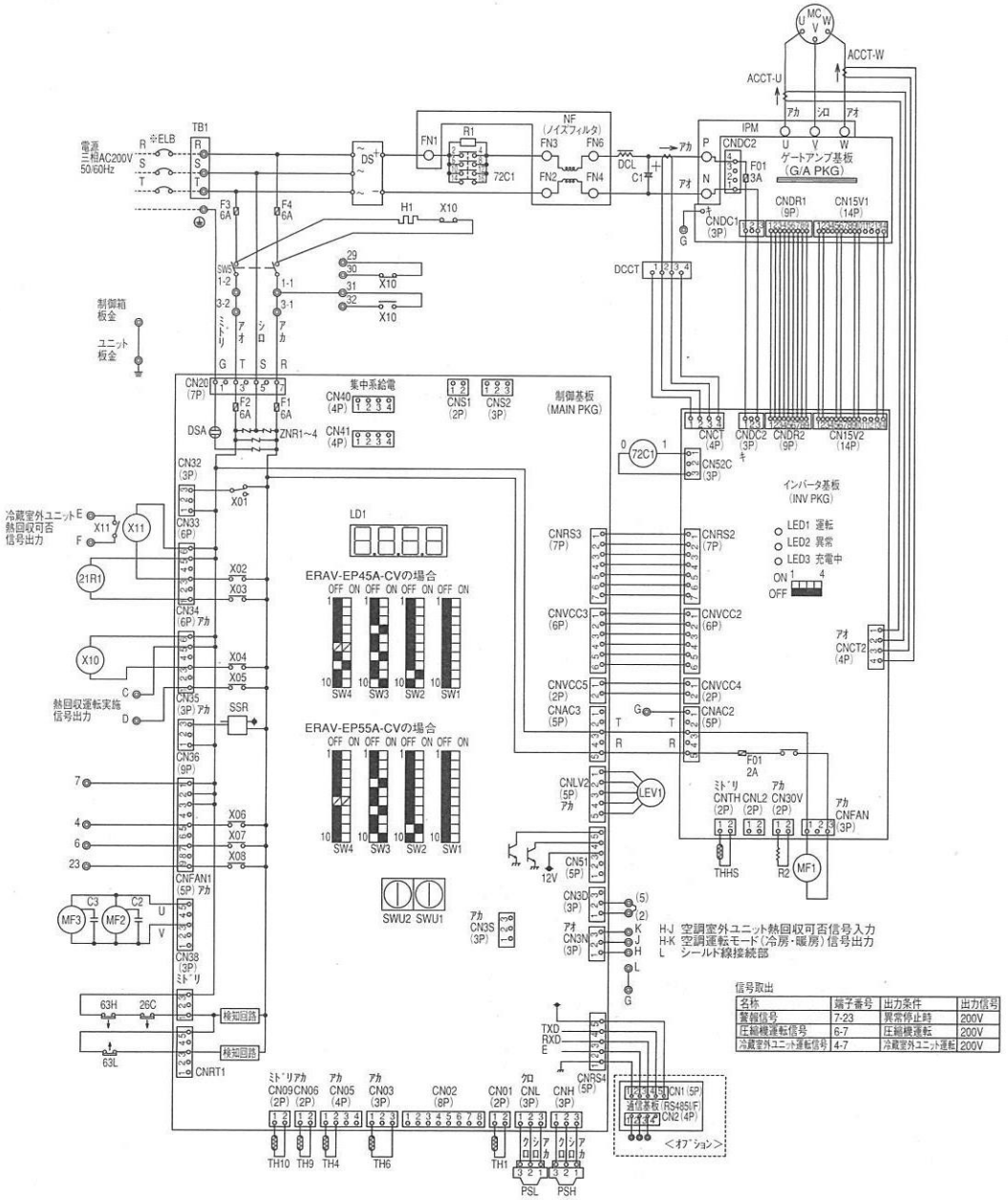


霜取終了後、直ちに圧縮機を運転させる回路



電気回路

ERAV-EP-CV形
ERAV-EP45A・EP55A-CV形



信号取出

名称	端子番号	出力条件	出力信号
警報信号	7-23	異常停止時	200V
圧縮機運転信号	6-7	圧縮機運転	200V
冷蔵室外ユニット運転信号	4-7	冷蔵室外ユニット運転	200V

注1.※印は、現地手配となります。
2. ------ 線は、現地配線となります。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.空調室外ユニットと複合運転(省エネ運転)を行う場合、空調室外ユニットとの通信線を端子E、F、H、J、Kに接続してください。詳細は据付工事説明書(システム編)を参照ください。

記号説明

記号	名称
ACCT−U,ACCT−W	電流センサ<交流電流>
CNAC2,3	コネクタ<交流電源>
CNCT,CNCT2	コネクタ<電流検知>
CNDC1,2	コネクタ<直流母線電源>
CNDR1,2	コネクタ<INV信号>
CNFAN	コネクタ<送風機用電動機>
CNFAN1	コネクタ<送風機用電動機>
CNH	コネクタ<圧力センサ<高圧>>
CNL	コネクタ<圧力センサ<低圧>>
CNLV2	コネクタ<電子膨張弁>
CNL2	コネクタ<チョークコイル<伝送>>
CNRS2,3	コネクタ<シリアル通信信号>
CNRT1	コネクタ<圧力開閉器<低圧>>
CNS1	コネクタ<M-NET信号入出力>
CNTH	コネクタ<サーミスタ>
CNVCC2 ～ 5	コネクタ<制御電源>
CN15V1,2	コネクタ<IPM駆動電源>
CN01	コネクタ<サーミスタTH1>
CN03	コネクタ<サーミスタTH6>
CN05	コネクタ<サーミスタTH4>
CN06	コネクタ<サーミスタTH9>
CN09	コネクタ<サーミスタTH10>
CN20	コネクタ<交流電源>
CN3D	コネクタ<異常リセット>
CN3N	コネクタ<空調側信号入力>
CN30V	コネクタ<抵抗<ブリーダ>>
CN33	コネクタ<冷蔵ユニット熱回収可否信号出力・補助継電器>
CN34	コネクタ<熱回収運転実施信号出力・補助継電器>
CN36	コネクタ<客先配線接続>
CN38	コネクタ<圧力開閉器<高圧>>、<温度開閉器<吐出>>
CN52C	コネクタ<電磁接触器・インバータ回路主回路>
C1	主コンデンサ<平滑>
C2,3	コンデンサ<送風機用電動機>
DCCT	電流センサ<直流電流>
DCL	直流リアクトル
DS	ダイオードスタック
DSA	アレスタ
F1～4	ヒューズ<6A>
G	接地<アース>
H1	電熱器<クランクケース>

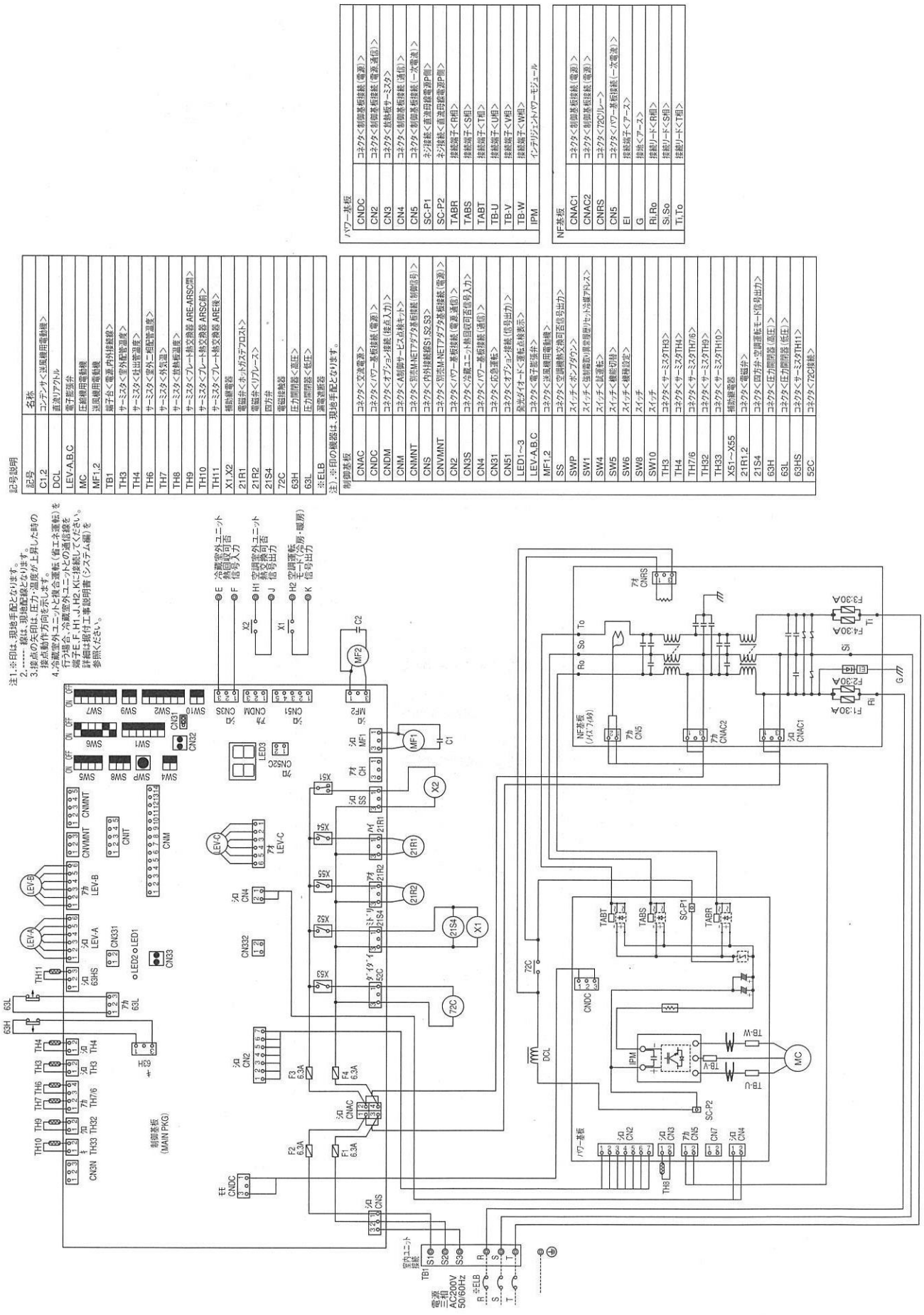
記号	名称
IPM	インテリジェントパワーモジュール
LD1	表示灯<発光ダイオード>
LEV1	電子膨張弁<インジェクション>
MC	圧縮機用電動機
MF1	送風機用電動機<制御箱・放熱板>
MF2,3	送風機用電動機<凝縮器>
NF	直流ノイズフィルタ
R1	抵抗<突入電流防止>
R2	抵抗<ブリーダ>
SSR	ソリッドステートリレー
SWU1,2	スイッチ<設定値入力>
SW1～4	スイッチ<設定モード切替>
SW5	スイッチ<運転・停止>
TB1	電源用端子台
TH1	サーミスタ<吐出管温度>
TH4	サーミスタ<吸入管温度>
TH6	サーミスタ<外気温度>
TH9	サーミスタ<液配管:プレート熱交換器出口温度>
TH10	サーミスタ<圧縮機ｼｪﾙ油温>
THHS	サーミスタ<放熱板温度>
X01～X08	補助継電器
X10	補助継電器
X11	補助継電器<熱交換許可信号>
ZNR1～4	バリスタ
21R1	電磁弁<インジェクション>
26C	温度開閉器<吐出>
63H	圧力開閉器<高圧>
63L	圧力開閉器<低圧>
PSH	圧力センサ<高圧>
PSL	圧力センサ<低圧>
72C1	電磁接触器<インバータ主回路>
※ELB	漏電遮断器

注).※印の機器は、現地手配となります。

MITSUBISHI

■EPUZ-WRP形

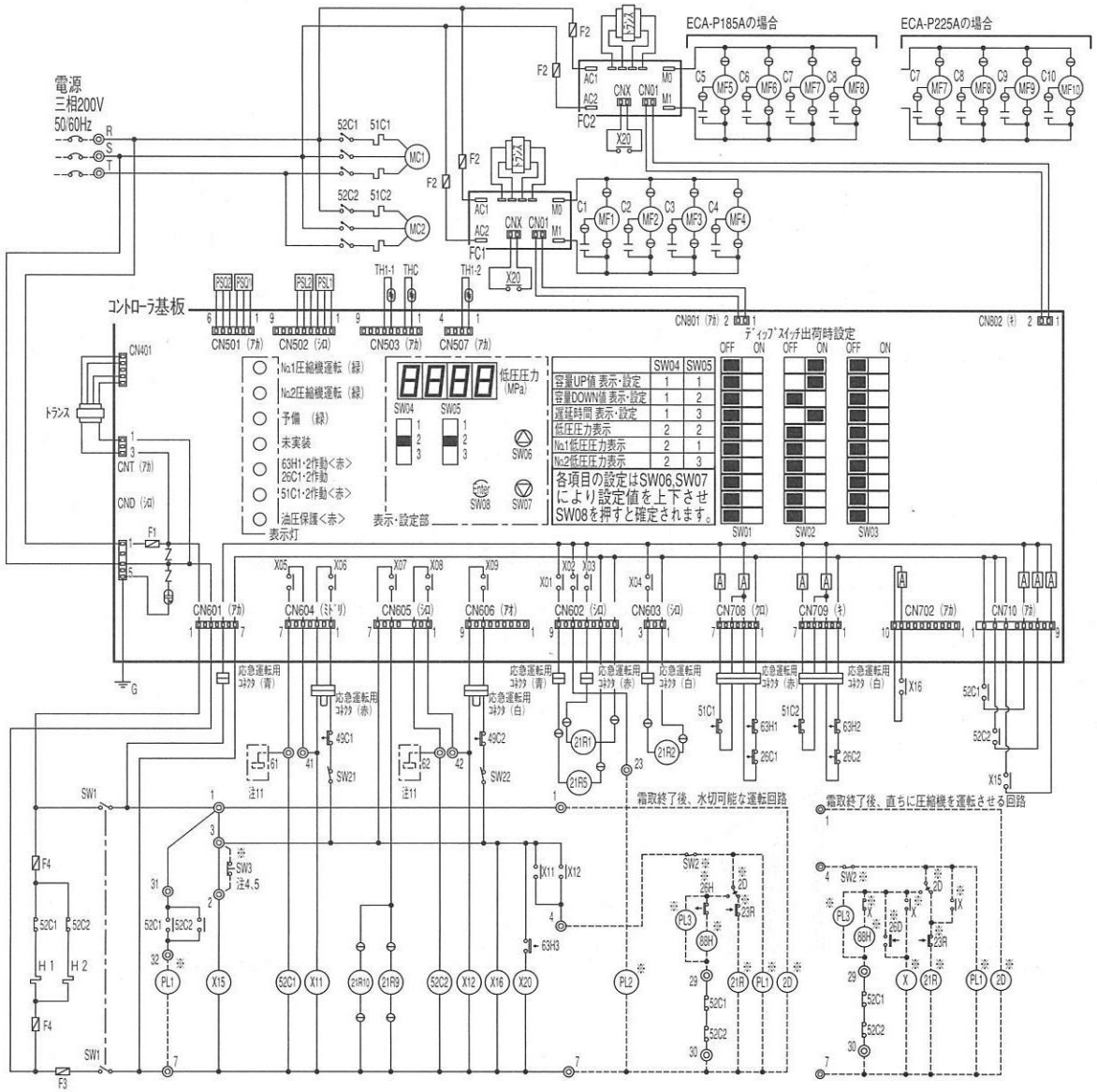
EPUZ-WRP140HA形



電気回路

■ECA-P形

ECA-P185A・P225A形



注）1.※印の機器は、現地手配となります。
2. -----線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4. SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
<モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ>
5. SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6. 52C1,52C2のb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。
複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7. PL1は端子32－7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8. 警報回路は、23番ライン（圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ<低圧>異常,油圧異常）です。
9. 基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
10. LED表示されるエラーコードを下表に記載します。
11. ------ は、付属品（応急運転コネクタ用）です。

記号	名　称
C1～8	コンデンサ〈送風機用電動機〉〈ECA-P185Aの場合〉
C1～4,7～10	コンデンサ〈送風機用電動機〉〈ECA-P225Aの場合〉
F1	ヒューズ〈制御回路:6A〉
F2	ヒューズ〈送風機:15A〉
F3	ヒューズ〈制御回路:5A〉
F4	ヒューズ〈電熱器:5A〉
FC1,2	電子ファンコントローラ
G	接地〈アース〉
H1,2	電熱器〈クランクケース〉
MC1,2	圧縮機用電動機
MF1～8	送風機用電動機〈ECA-P185Aの場合〉
MF1～4,7～10	送風機用電動機〈ECA-P225Aの場合〉
SW1	スイッチ〈運転-停止〉
SW21	スイッチ〈No.1圧縮機個別運転〉
SW22	スイッチ〈No.2圧縮機個別運転〉
THC	サーミスタ〈凝縮温度〉
TH1-1,1-2	サーミスタ〈吐出管〉
PSL1,2	圧力センサ〈低圧〉
PSQ1,2	圧力センサ〈油圧〉
X01～X09	補助継電器〈基板内〉
X11,X12,X15,X16,X20	補助継電器
21R1,2	電磁弁〈インジェクション〉
21R5	電磁弁〈サブクールコイル〉
21R9,10	電磁弁〈均油〉
26C1,2	温度開閉器〈吐出〉
49C1,2	温度開閉器〈圧縮インナーサーモ〉
51C1,2	熱動過電流継電器〈圧縮機〉
52C1,2	電磁開閉器〈圧縮機〉
63H1,2	圧力開閉器〈高圧〉
63H3	圧力開閉器〈ファンコンバックアップ〉

記号	名　称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯〈運転・ミドリ〉
※PL2	表示灯〈異常・アカ〉
※PL3	表示灯〈霜取・オレンジ〉
※SW2	スイッチ〈運転-停止：ポンプダウン〉
※SW3	スイッチ〈異常リセット〉
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ〈霜取〉
※21R	電磁弁〈液〉
※23R	温度調節器〈庫内〉
※26D	温度開閉器〈霜取終了〉
※26H	温度開閉器〈過熱防止〉
※88H	電磁接触器〈電熱器〉

エラーコード対応表

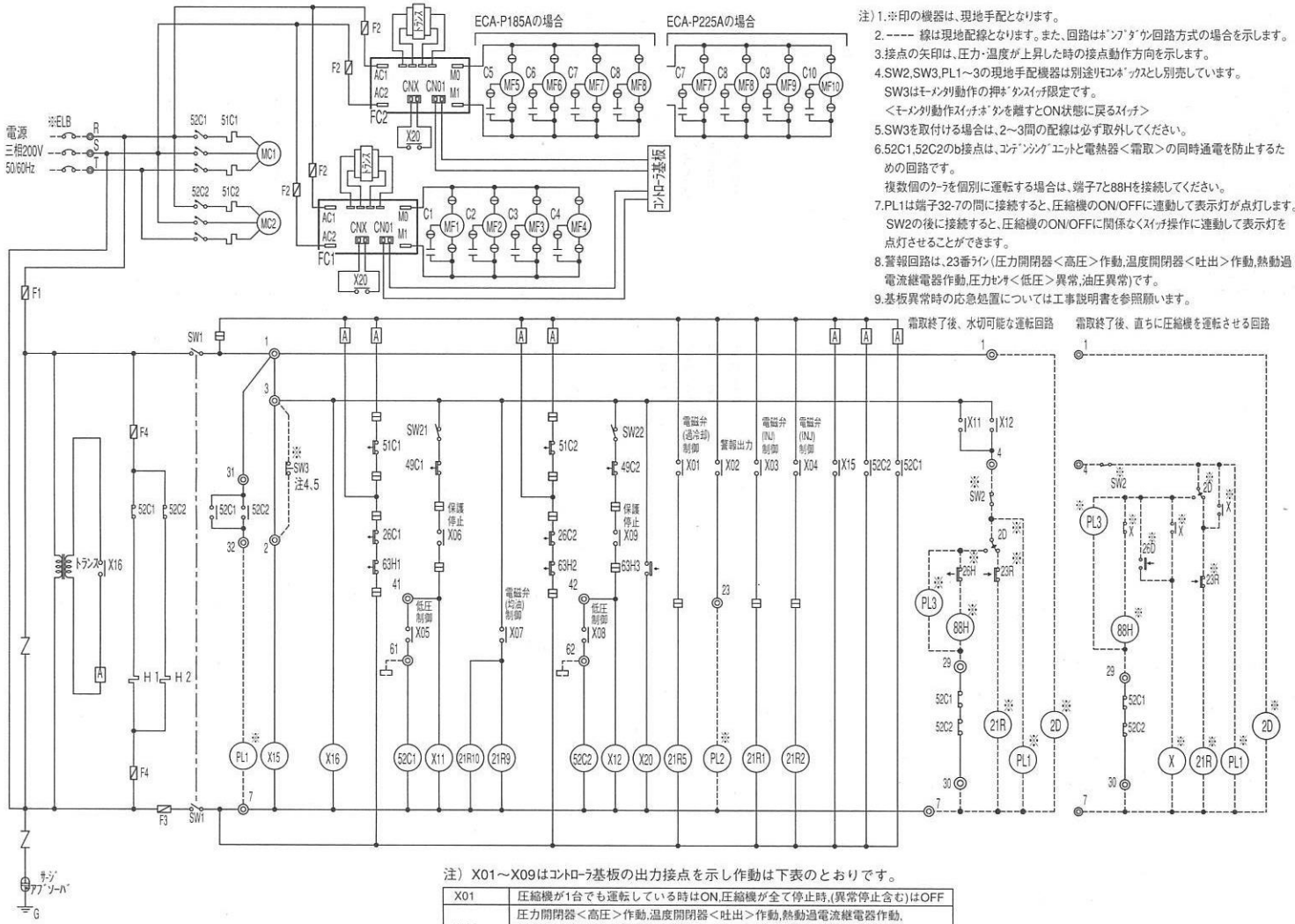
コード	エラー内容
※E05	吐出昇温防止保護作動
※E06	圧力センサ〈低圧〉異常
※E07	サーミスタ〈吐出管温度〉異常
E08	サーミスタ〈凝縮温度〉異常
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器〈高圧〉作動,温度開閉器〈吐出〉作動
E15	瞬停保護
※E19	圧力センサ〈油圧〉異常
※E20	油圧異常
E99	基板異常

表中の※マークには保護器等が作動した圧縮機番号が表示されます。
例えば、圧縮機〈No.1〉の圧力開閉器〈高圧〉が作動した場合には『1E14』と表示されます。

MITSUBISHI

■ECA-P形

ECA-P185A・P225A形（コントローラ基板コネクタ非表示）



注）1.※印の機器は、現地手配となります。
2.---- 線は現地配線となります。また、回路はﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞｳﾝ回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途ﾘﾓｺﾝﾎﾞｯｸｽとし別売しています。
SW3はﾓｰﾒﾝﾀﾘ動作の押ﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ限定です。
<ﾓｰﾒﾝﾀﾘ動作ｽｲｯﾁ:ﾎﾞﾀﾝを離すとON状態に戻るｽｲｯﾁ>
5.SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6.52C1,52C2のb接点は、ｺﾝﾃﾞﾝｼﾝｸﾞﾕﾆｯﾄと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。
複数個のｸｰﾗを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7.PL1は端子32-7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくｽｲｯﾁ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8.警報回路は、23番ﾗｲﾝ（圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力ｾﾝｻ<低圧>異常,油圧異常）です。
9.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。

記号	名称
C1～8	ｺﾝﾃﾞﾝｻ〈送風機用電動機〉〈ECA-P185Aの場合〉
C1～4,7～10	ｺﾝﾃﾞﾝｻ〈送風機用電動機〉〈ECA-P225Aの場合〉
F1	ﾋｭｰｽﾞ〈制御回路:6A〉
F2	ﾋｭｰｽﾞ〈送風機:15A〉
F3	ﾋｭｰｽﾞ〈制御回路:5A〉
F4	ﾋｭｰｽﾞ〈電熱器:5A〉
FC1,2	電子ﾌｧﾝｺﾝﾄﾛｰﾗ
G	接地〈アース〉
H1,2	電熱器〈ｸﾗﾝｸｹｰｽ〉
MC1,2	圧縮機用電動機
MF1～8	送風機用電動機〈ECA-P185Aの場合〉
MF1～4,7～10	送風機用電動機〈ECA-P225Aの場合〉
SW1	ｽｲｯﾁ〈運転-停止〉
SW21	ｽｲｯﾁ〈No.1圧縮機個別運転〉
SW22	ｽｲｯﾁ〈No.2圧縮機個別運転〉
X01～X09	補助継電器〈基板内〉
X11,X12,X15,X16,X20	補助継電器
21R1,2	電磁弁〈ｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ〉
21R5	電磁弁〈ｻﾌﾞｸｰﾙｺｲﾙ〉
21R9,10	電磁弁〈均油〉
26C1,2	温度開閉器〈吐出〉
49C1,2	温度開閉器〈圧縮機ｲﾝﾅｰｻｰﾓ〉
51C1,2	熱動過電流継電器〈圧縮機〉
52C1,2	電磁開閉器〈圧縮機〉
63H1,2	圧力開閉器〈高圧〉
63H3	圧力開閉器〈ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ〉

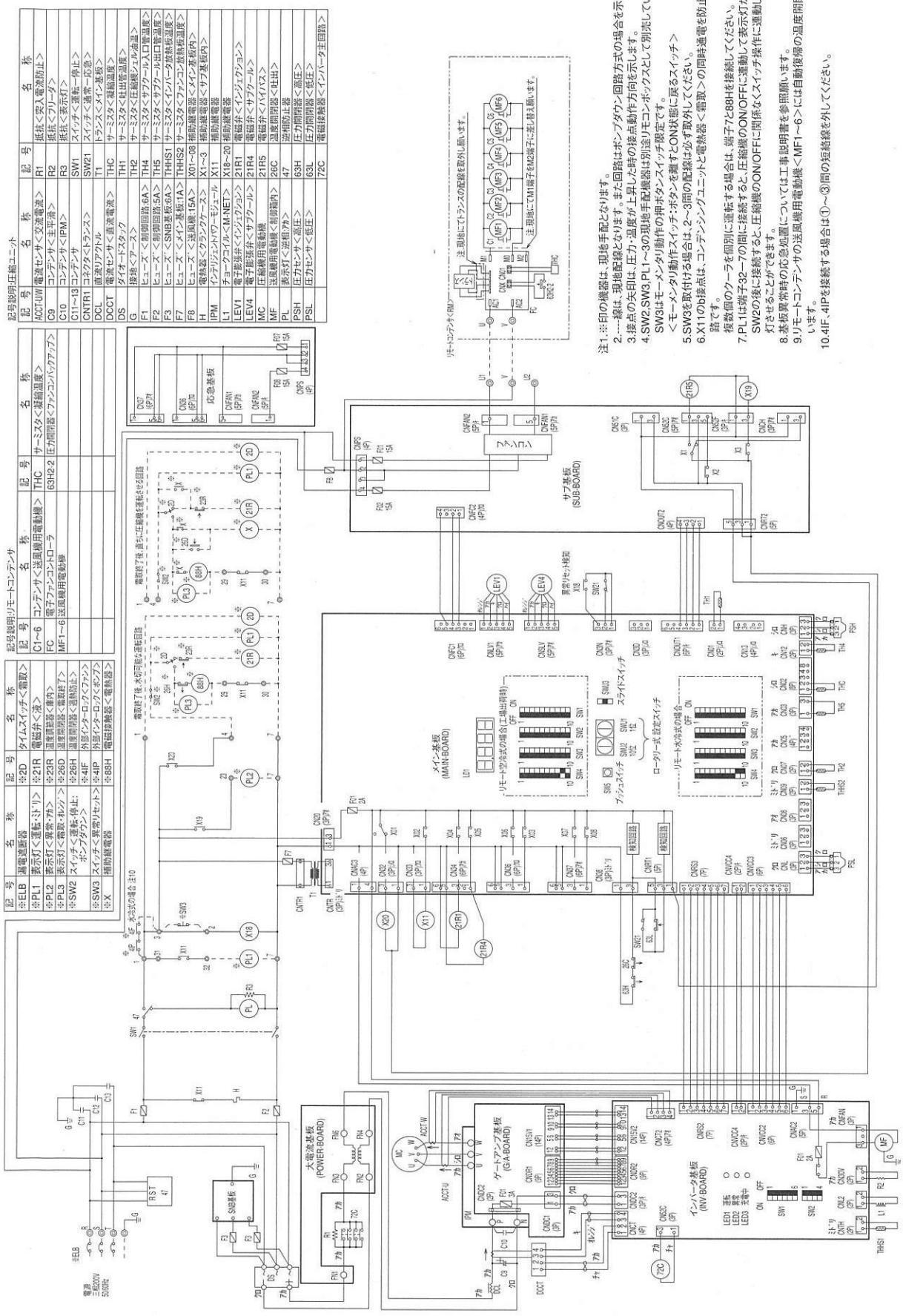
記号	名称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯〈運転・ﾐﾄﾞﾘ〉
※PL2	表示灯〈異常・ｱｶ〉
※PL3	表示灯〈霜取・ｵﾚﾝｼﾞ〉
※SW2	ｽｲｯﾁ〈運転-停止:ﾎﾟﾝﾌﾟﾀﾞｳﾝ〉
※SW3	ｽｲｯﾁ〈異常ﾘｾｯﾄ〉
※X	補助継電器
※2D	ﾀｲﾑｽｲｯﾁ〈霜取〉
※21R	電磁弁〈液〉
※23R	温度調節器〈庫内〉
※26D	温度開閉器〈霜取終了〉
※26H	温度開閉器〈過熱防止〉
※88H	電磁接触器〈電熱器〉

注）X01～X09はｺﾝﾄﾛｰﾗ基板の出力接点を示し作動は下表のとおりです。

X01	圧縮機が1台でも運転している時はON,圧縮機が全て停止時,(異常停止含む)はOFF
X02	圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動, 圧力ｾﾝｻ<低圧>異常,油圧異常によりON 上記異常解除後、ﾘｾｯﾄ動作(SW1またはSW3をOFF→ON)によりOFF
X03,X04	吐出管温度が105℃以上でON、78℃以下でOFF 圧縮機停止中はOFF
X05,X08	低圧が容量UP値以上かつ遅延時間経過後にON、容量DOWN値以下の場合はOFF
X07	圧縮機が全停止中でかつ全停止後3分以上経過した場合、 圧縮機が1台運転となってから3分間、圧縮機2台運転 積算1時間ごとの交互均油運転中はON、その他の場合はOFF
X06,X09	通常運転時はON,各種異常発生時にOFF

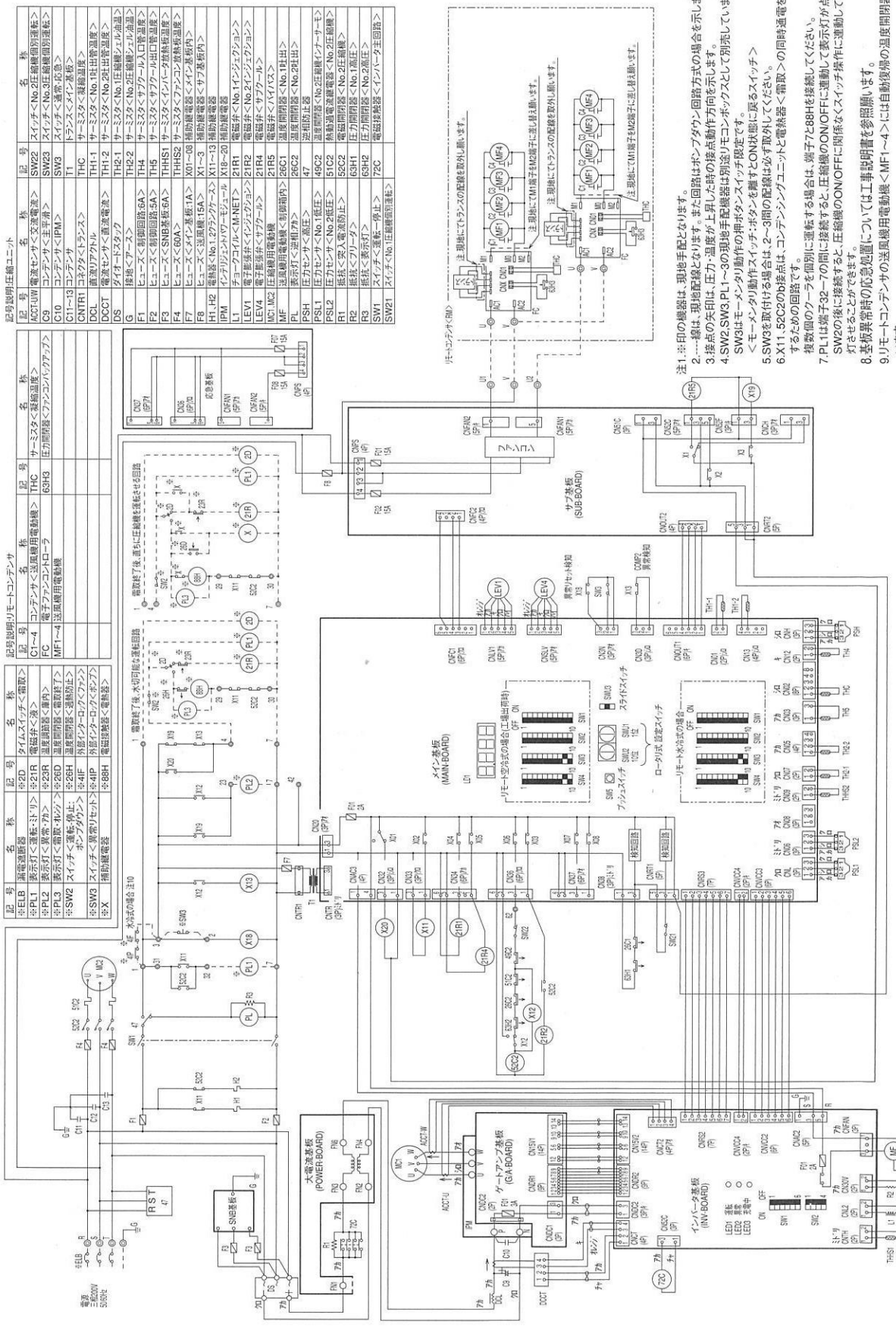
■ERV-EP＋RM-P(RMW-P)形

ERV-EP110A＋RM-P(RMW-P)形



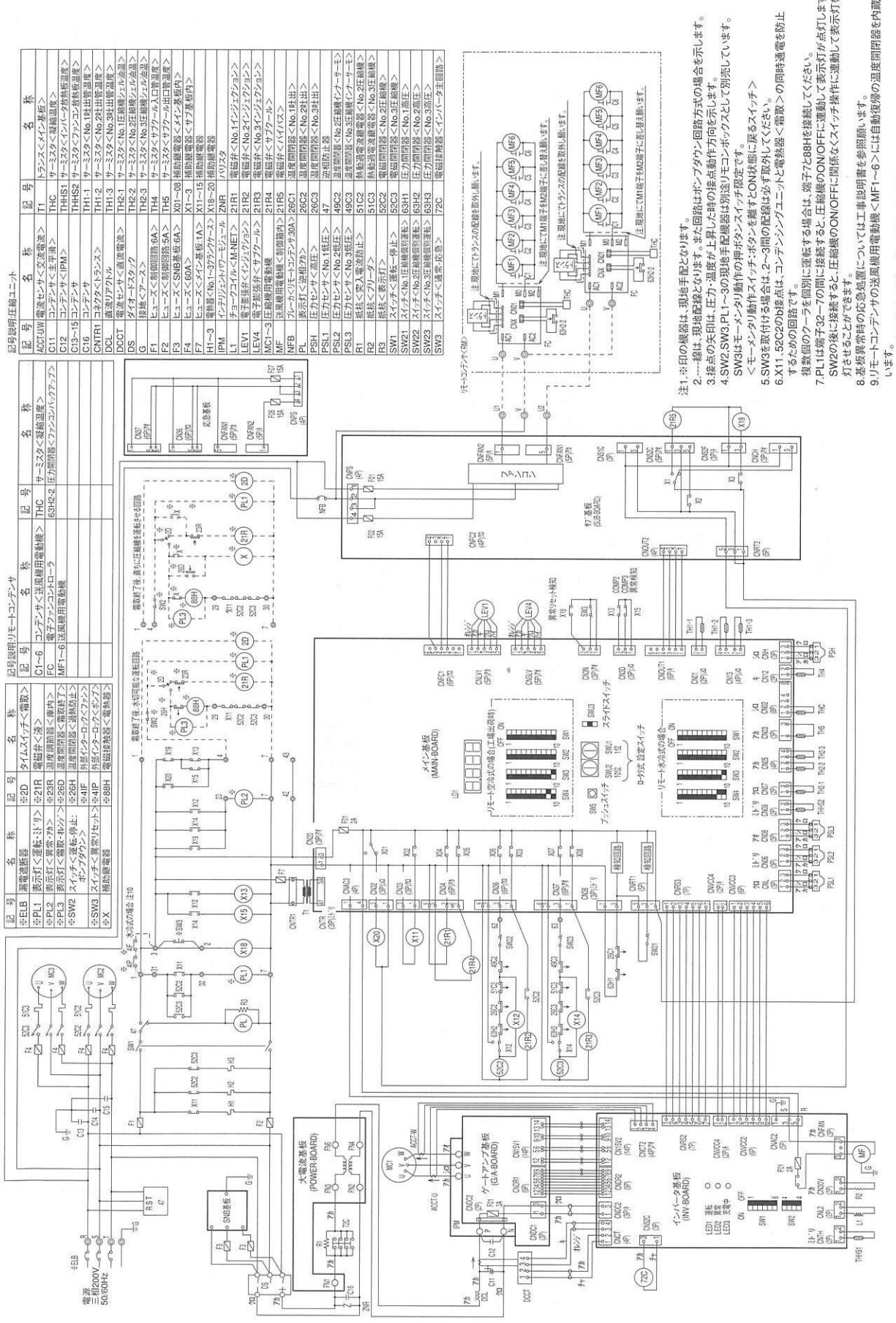
■ECV-EP＋RM-P(RMW-P)形

ECV-EP185A＋RM-P(RMW-P)形



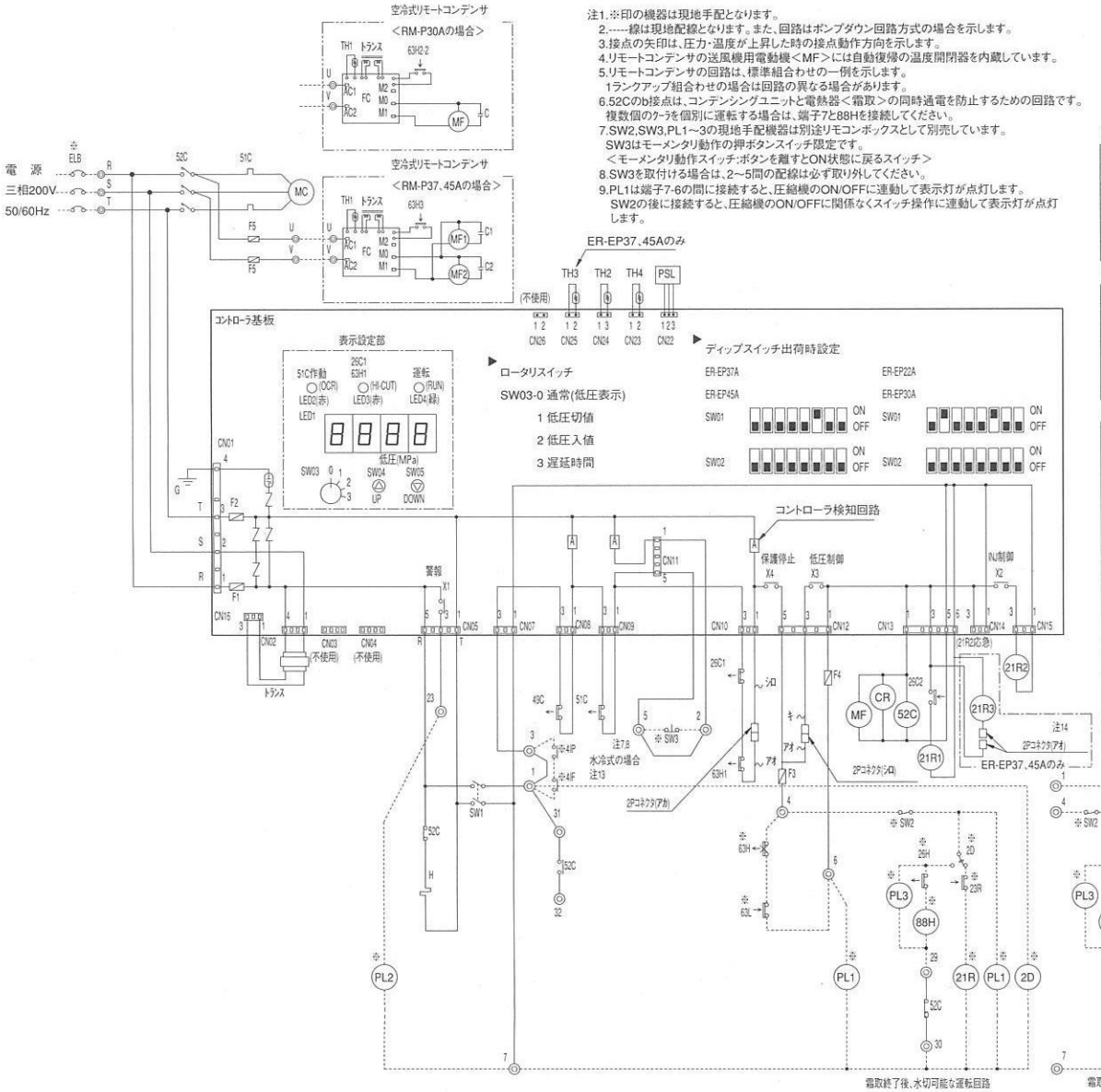
■ECV-EP＋RM-P(RMW-P)形

ECV-EP260A＋RM-P(RMW-P)形



■ER-EP+RM-P(RMW-P)形

ER-EP22A・EP30A・EP37A・EP45A+RM-P(RMW-P)形



注1.※印の機器は現地手配となります。
2.-----線は現地配線となります。また、回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.リモートコンデンサの送風機用電動機<MF>には自動復帰の温度開閉器を内蔵しています。
5.リモートコンデンサの回路は、標準組合わせの一例を示します。
1ランクアップ組合わせの場合は回路の異なる場合があります。
6.52Cのb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。
複数個のｸｰﾗを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7.SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
<モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ>
8.SW3を取付ける場合は、2～5間の配線は必ず取り外してください。
9.PL1は端子7-6の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯が点灯します。
10.警報回路は、23番ライン<圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ<低圧>異常>です。
11.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
12.LED表示されるエラーコード表を下表に記載します。
13.4IF,4IPを接続する場合は1～3間の短絡線を外してください。
14.庫内温度を-10℃以上とする場合のみ青色コネクタを接続してください。
高圧凝縮液にサブクールが追加できます。(ER-EP37、45Aのみ)

記号説明:リモートコンデンサ(RM-P37・45Aの場合)

記号	名 称
C1,2	コンデンサ<送風機用電動機>
FC	電子ファンコントローラ
MF1,2	送風機用電動機
TH1	サーミスタ<凝縮温度>
63H3	圧力開閉器<ファンコンパックアップ>

記号説明:リモートコンデンサ(RM-P30Aの場合)

記号	名 称
C	コンデンサ<送風機用電動機>
FC	電子ファンコントローラ
MF	送風機用電動機
TH1	サーミスタ<凝縮温度>
63H3	圧力開閉器<ファンコンパックアップ>

エラーコード対応表。

コード	エラー内容
E00	電源異常<電源同期信号異常>
E01	電源異常<逆相>
E02	差圧起動防止保護作動
E03	高圧力差保護作動
E05	吐出昇温防止保護作動
E06	圧力センサ<低圧>異常
E07	サーミスタ<吐出管温度>異常
E08	サーミスタ<凝縮温度:圧縮ユニット内>異常
E10	サーミスタ<圧縮機シェル油温>異常(EP37、45Aのみ)
E11	液バック保護作動(EP37、45Aのみ)
E12	高油温異常(EP37、45Aのみ)
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器<高圧>作動, 温度開閉器<吐出>作動
※E15	瞬停保護

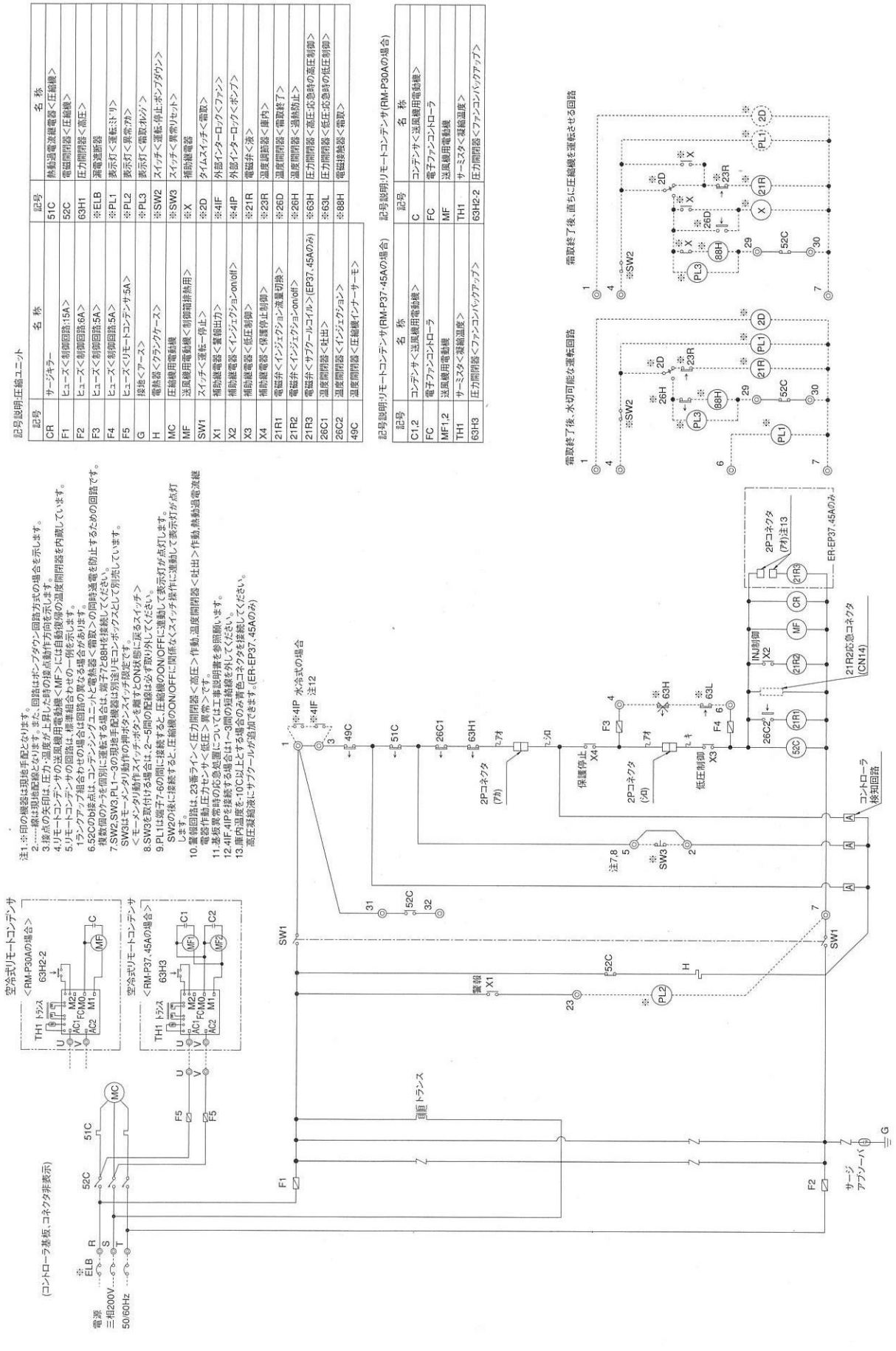
※E13、E14、E15は異常履歴表示のための識別記号で通常はデジタル表示しません。

記号説明:圧縮ユニット

記号	名 称
CR	サージキラー
F1	ヒューズ<制御回路:15A>
F2	ヒューズ<制御回路:6A>
F3	ヒューズ<制御回路:5A>
F4	ヒューズ<制御回路:5A>
F5	ヒューズ<リモートコンデンサ:5A>
G	接地<アース>
H	電熱器<クランクケース>
MC	圧縮機用電動機
MF	送風機用電動機<制御箱排熱用>
PSL	圧力センサ<低圧>
SW1	スイッチ<運転一停止>
TH2	サーミスタ<吐出管温度>
TH3	サーミスタ<圧縮機シェル油温>(EP37、45Aのみ)
TH4	サーミスタ<凝縮温度:圧縮ユニット内>
X1	補助継電器<警報出力>
X2	補助継電器<インジェクションon/off>
X3	補助継電器<低圧制御>
X4	補助継電器<保護停止制御>
21R1	電磁弁<インジェクション流量切換>
21R2	電磁弁<インジェクションon/off>
21R3	電磁弁<サブクールコイル>(EP37、45Aのみ)
26C1	温度開閉器<吐出>
26C2	温度開閉器<インジェクション>
49C	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
52C	電磁開閉器<圧縮機>
63H1	圧力開閉器<高圧>
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯<運転:ﾐﾄﾞﾘ>
※PL2	表示灯<異常:ｱｶ>
※PL3	表示灯<霜取:ｵﾚﾝｼﾞ>
※SW2	スイッチ<運転-停止:ポンプダウン>
※SW3	スイッチ<異常リセット>
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ<霜取>
※4IF	外部インターロック<ファン>
※4IP	外部インターロック<ポンプ>
※21R	電磁弁<液>
※23R	温度調節器<庫内>
※26D	温度開閉器<霜取終了>
※26H	温度開閉器<過熱防止>
※63H	圧力開閉器<高圧:応急時の高圧制御>
※63L	圧力開閉器<低圧:応急時の低圧制御>
※88H	電磁接触器<霜取>

■ER-EP+RM-P(RMW-P)形

ER-EP22A・EP30A・EP37A・EP45A＋RM-P(RMW-P)形（コントローラ基板コネクタ非表示）

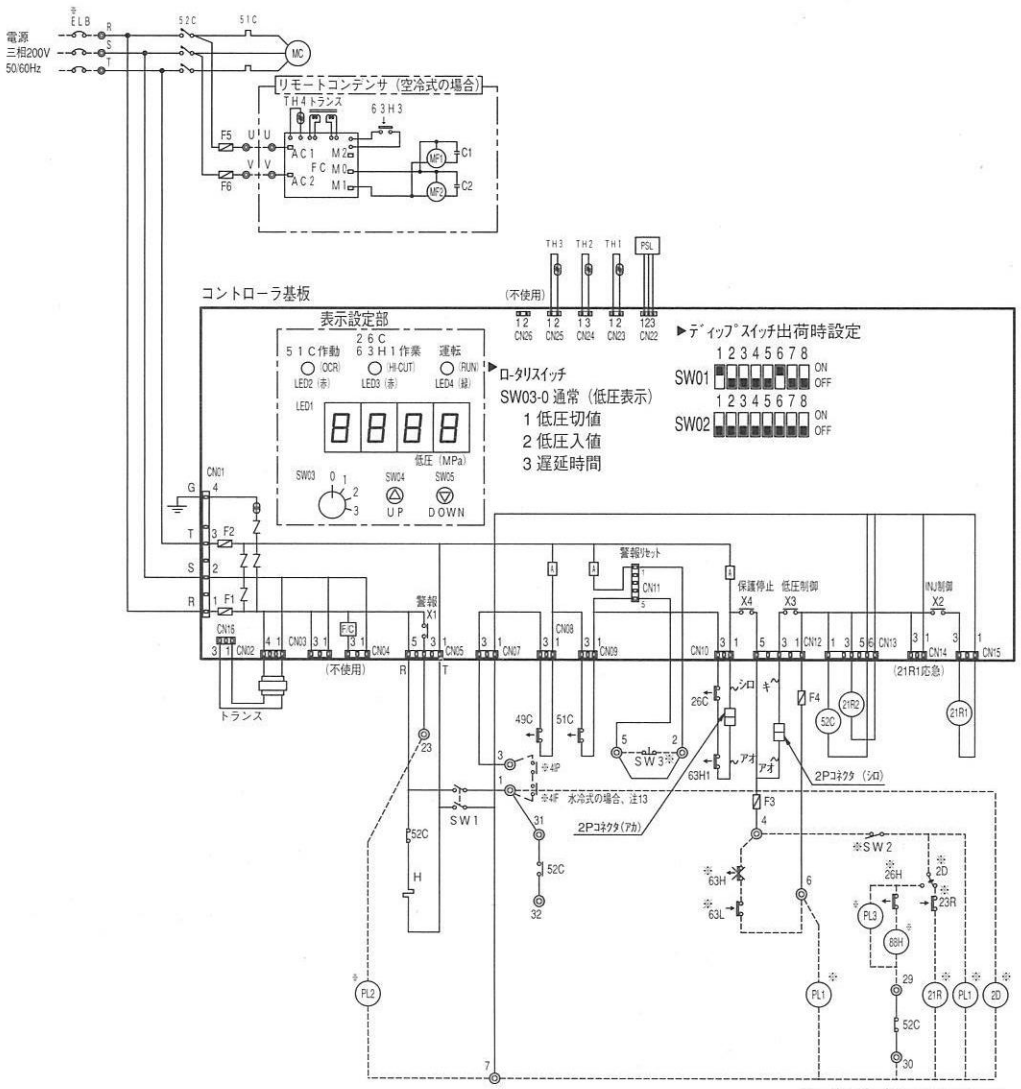


記号	名称	記号	名称
CR	サージキラー	51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
F1	ヒューズ<制御回路:15A>	52C	電磁開閉器<圧縮機>
F2	ヒューズ<制御回路:6A>	63H1	圧力開閉器<高圧>
F3	ヒューズ<制御回路:5A>	※ELB	漏電遮断器
F4	ヒューズ<制御回路:5A>	※PL1	表示灯<運転:ミドリ>
F5	ヒューズ<リモートコンデンサ:5A>	※PL2	表示灯<異常:アカ>
G	接地<アース>	※PL3	表示灯<霜取:オレンジ>
H	電熱器<クランクケース>	※SW2	スイッチ<運転・停止:ポンプダウン>
MC	圧縮機用電動機	※SW3	スイッチ<異常リセット>
MF	送風機用電動機<制御箱排熱用>	※X	補助継電器
SW1	スイッチ<運転・停止>	※2D	タイムスイッチ<霜取>
X1	補助継電器<警報出力>	※4IF	外部インターロック<ファン>
X2	補助継電器<インジェクション:on/off>	※4IP	外部インターロック<ポンプ>
X3	補助継電器<低圧制御>	※21R	電磁弁<液>
X4	補助継電器<保護停止制御>	※23R	温度調節器<庫内>
21R1	電磁弁<インジェクション流量切換>	※26D	温度開閉器<霜取終了>
21R2	電磁弁<インジェクション:on/off>	※26H	温度開閉器<過熱防止>
21R3	電磁弁<サブクールコイル>(EP37,45Aのみ)	※63H	圧力開閉器<高圧:応急時の高圧制御>
26C1	温度開閉器<吐出>	※63L	圧力開閉器<低圧:応急時の低圧制御>
26C2	温度開閉器<インジェクション>	※88H	電磁接続器<霜取>
49C	温度開閉器<圧縮機インナーサーモ>		

記号	名称	記号	名称
C1,2	コンデンサ<送風機用電動機>	C	コンデンサ<送風機用電動機>
FC	電子ファンコントローラ	FC	電子ファンコントローラ
MF1,2	送風機用電動機	MF	送風機用電動機
TH1	サーミスタ<凝縮温度>	TH1	サーミスタ<凝縮温度>
63H3	圧力開閉器<ファンコンバックアップ>	63H2-2	圧力開閉器<ファンコンバックアップ>

■ER-EP+RM-P(RMW-P)形

ER-EP55A・EP75A+RM-P(RMW-P)形



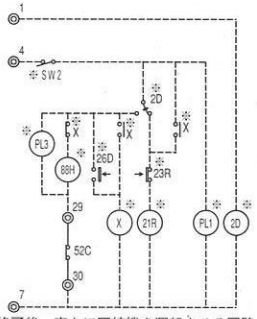
霜取終了後、水切可能な運転回路

注1. ※印の機器は現地手配となります。
2. ------ 線は現地配線となります。又、回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4. リモートコンデンサの送風機用電動機<MF1,2>には自動復帰の温度開閉器を内蔵しています。
5. リモートコンデンサの回路は、標準組合わせの一例を示します。
1ランクアップ組合わせの場合は回路の異なる場合があります。
6. 52Cのb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7. SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
<モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ>
8. SW3を取付ける場合は、2～5間の配線は必ず取り外してください。
9. PL1は端子7－6の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
10. 警報回路は、23番ライン（圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ<低圧>異常）となっています。
11. 基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
12. LED表示されるエラーコード表を下表に記載します。
13. 4IF,4IPを接続する場合は1～3間の短絡線を外してください。

エラーコード対応表

コード	エラー内容
E00	電源異常〈電源同期信号異常〉
E01	電源異常〈逆相〉
E02	差圧起動防止作動
E03	高圧力差保護作動
E05	吐出昇温防止保護作動
E06	圧力センサ〈低圧〉異常
E07	サーミスタ〈吐出管温度〉異常
E08	サーミスタ〈凝縮温度〉異常
E10	サーミスタ〈圧縮機シェル油温〉異常
E11	液バック保護作動
E12	高油温異常
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器〈高圧〉作動,温度開閉器〈吐出〉作動
※E15	瞬停保護

※E13、E14、E15は異常履歴表示のための識別記号で通常はデジタル表示しません。



霜取終了後、直ちに圧縮機を運転させる回路

記号説明:圧縮ユニット

記号	名称
F1	ヒューズ〈制御回路:15A〉
F2	ヒューズ〈制御回路:6A〉
F3	ヒューズ〈制御回路:5A〉
F4	ヒューズ〈制御回路:5A〉
F5	ヒューズ〈リモートコンデンサ:10A〉
F6	ヒューズ〈リモートコンデンサ:10A〉
G	接地〈アース〉
H	電熱器〈クランクケース〉
MC	圧縮機用電動機
PSL	圧力センサ〈低圧〉
SW1	スイッチ〈運転一停止〉
TH1	サーミスタ〈凝縮温度:圧縮ユニット内〉
TH2	サーミスタ〈吐出管温度〉
TH3	サーミスタ〈圧縮機シェル油温〉
X1	補助継電器〈警報出力〉
X2	補助継電器〈電磁弁21R1制御〉
X3	補助継電器〈低圧制御〉
X4	補助継電器〈保護停止制御〉
21R1	電磁弁〈インジェクション〉
21R2	電磁弁〈サブクールコイル〉
26C	温度開閉器〈吐出〉
49C	温度開閉器〈圧縮機インナーサーモ〉
51C	熱動過電流継電器〈圧縮機〉
52C	電磁開閉器〈圧縮機〉
63H1	圧力開閉器〈高圧〉
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯〈運転:ミドリ〉
※PL2	表示灯〈異常:アカ〉
※PL3	表示灯〈霜取:オレンジ〉
※SW2	スイッチ〈運転一停止:ポンプダウン〉
※SW3	スイッチ〈異常リセット〉
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ〈霜取〉
※4IF	外部インターロック<ファン>
※4IP	外部インターロック<ポンプ>
※21R	電磁弁〈液〉
※23R	温度調節器〈庫内〉
※26D	温度開閉器〈霜取終了〉
※26H	温度開閉器〈過熱防止〉
※63H	圧力開閉器〈高圧:応急時の高圧制御〉
※63L	圧力開閉器〈低圧:応急時の低圧制御〉
※88H	電磁接触器〈電熱器〉

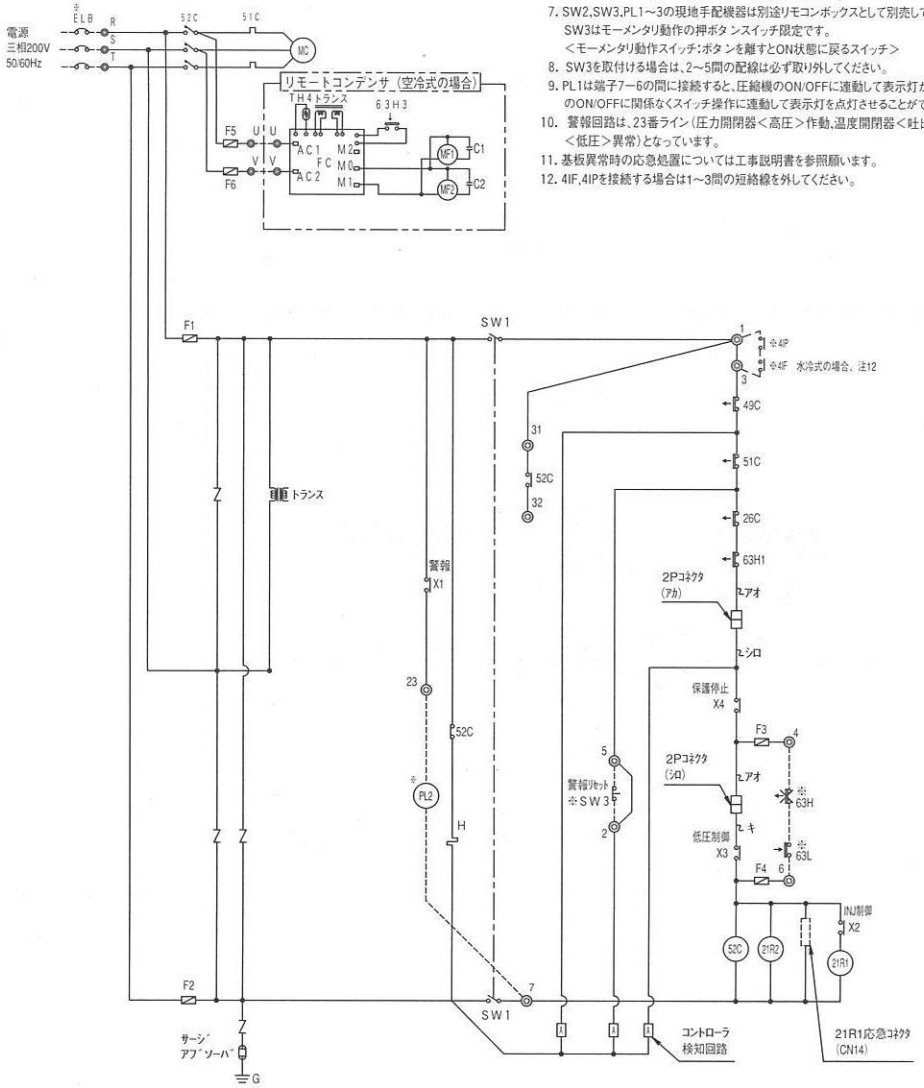
記号説明:圧縮リモートコンデンサ

記号	名称
C1,C2	コンデンサ〈送風機用電動機〉
FC	電子ファンコントローラ
MF1,2	送風機用電動機
TH4	サーミスタ〈凝縮温度〉
63H3	圧力開閉器〈ファンコンバックアップ〉

電気回路

■ER-EP+RM-P(RMW-P)形

ER-EP55A・EP75A+RM-P(RMW-P)形（コントローラ基板コネクタ非表示）



注1. ※印の機器は現地手配となります。
2. ------- 線は現地配線となります。また、回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4. リモートコンデンサの送風機用電動機<MF1,2>には自動復帰の温度開閉器を内蔵しています。
5. リモートコンデンサの回路は、標準組合わせの一例を示します。
1ランクアップ組合わせの場合は回路の異なる場合があります。
6. 52Cのb接点は、コンデンシングユニットと電熱器<霜取>の同時通電を防止するための回路です。複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7. SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
<モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ>
8. SW3を取付ける場合は、2～5間の配線は必ず取り外してください。
9. PL1は端子7－6の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。SW2の後に 接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
10. 警報回路は、23番ライン（圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ<低圧>異常）となっています。
11. 基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
12. 4IF,4IPを接続する場合は1～3間の短絡線を外してください。

説明記号:圧縮ユニット

記号	名称	記号	名称
F1	ヒューズ〈制御回路:15A〉	63H1	圧力開閉器〈高圧〉
F2	ヒューズ〈制御回路:6A〉	※ELB	漏電遮断器
F3	ヒューズ〈制御回路:5A〉	※PL1	表示灯〈運転:ミドリ〉
F4	ヒューズ〈制御回路:5A〉	※PL2	表示灯〈異常:アカ〉
F5	ヒューズ〈リモートコンデンサ:10A〉	※PL3	表示灯〈霜取:オレンジ〉
F6	ヒューズ〈リモートコンデンサ:10A〉	※SW2	スイッチ〈運転一停止:ポンプダウン〉
H	電熱器〈クランクケース〉	※SW3	スイッチ〈異常リセット〉
MC	圧縮機用電動機	※X	補助継電器
SW1	スイッチ〈運転一停止〉	※2D	タイムスイッチ〈霜取〉
X1	補助継電器〈警報出力〉	※4IF	外部インターロック<ファン>
X2	補助継電器〈電磁弁21R1制御〉	※4IP	外部インターロック<ポンプ>
X3	補助継電器〈低圧制御〉	※21R	電磁弁〈液〉
X4	補助継電器〈保護停止制御〉	※23R	温度調節器〈庫内〉
21R1	電磁弁〈インジェクション〉	※26D	温度開閉器〈霜取終了〉
21R2	電磁弁〈サブクールコイル〉	※26H	温度開閉器〈過熱防止〉
26C	温度開閉器〈吐出〉	※63H	圧力開閉器〈高圧:応急時の高圧制御〉
49C	温度開閉器〈圧縮機インナーサーモ〉	※63L	圧力開閉器〈低圧:応急時の低圧制御〉
51C	熱動過電流継電器〈圧縮機〉	※88H	電磁接触器〈電熱器〉
52C	電磁開閉器〈圧縮機〉		

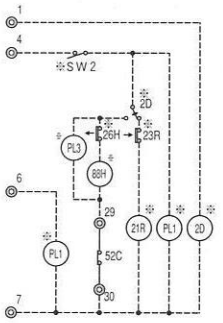
説明記号:リモートコンデンサ

記号	名称	記号	名称
C1,C2	コンデンサ〈送風機用電動機〉	TH4	サーミスタ〈凝縮温度〉
FC	電子ファンコントローラ	63H3	圧力開閉器〈ファンコンバックアップ〉
MF1,2	送風機用電動機		

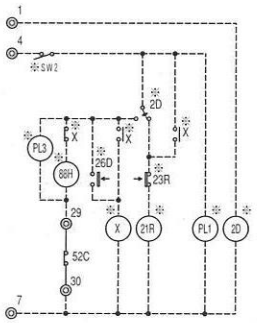
注）X1～4は、コントローラ基板の出力接点を示し、作動は次のとおりです。
詳細は工事説明書を参照願います。

X1	圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継続器作動, 圧力センサ<低圧>異常によりON。 上記異常解除後、リセット動作<SW1またはSW3をOFF→ON>によりOFF。
X2	電磁弁<インジェクション>ON、OFF制御
X3	低圧が低圧入値以上でかつ遅延時間経過後にON。 低圧切値以下でOFF。また、圧力センサ<低圧>異常時はOFF。
X4	通常運転時はON。 圧力開閉器<高圧>作動,温度開閉器<吐出>作動,熱動過電流継電器作動 圧力センサ<低圧>異常、各種保護停止時にOFF。

霜取終了後、水切可能な運転回路



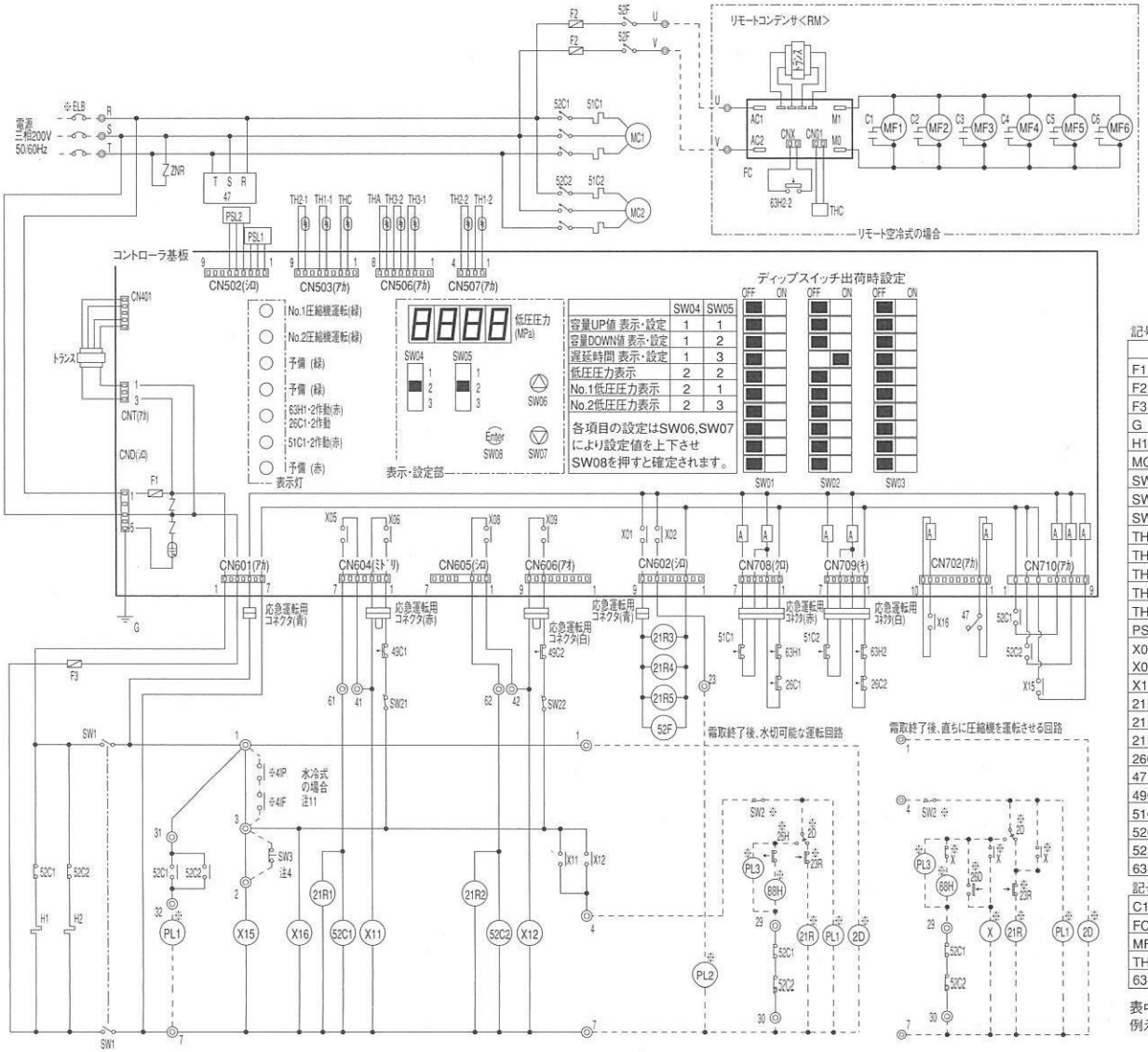
霜取終了後、直ちに圧縮機を運転させる回路



MITSUBISHI

■EC-EP+RM-P(RMW-P)形

EC-EP150A+RM-P(RMW-P)形



注1.※印の機器は、現地手配となります。
2.----線は、現地配線となります。また、回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
＜モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ＞
5.SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6.52C1,52C2のb接点は、コンデンシングユニットと電熱器＜霜取＞の同時通電を防止するための回路です。
複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7.PL1は端子32-7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8.警報回路は、23番ライン(圧力開閉器＜高圧＞作動,温度開閉器＜吐出＞作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ＜低圧＞異常,液バック保護作動)です。
9.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
10.LED表示されるエラーコードを下表に記載します。
11.4IF,4IPを接続する場合は①～③間の短絡線を外してください。
12.リモートコンデンサの回路は、標準組合わせの一例を示します。
1ランクアップ組合わせの場合は回路の異なる場合があります。

記号説明:圧縮ユニット

記号	名　称
F1	ヒューズ＜制御回路:6A＞
F2	ヒューズ＜送風機:15A＞
F3	ヒューズ＜制御回路:5A＞
G	接地＜アース＞
H1,2	電熱器＜クランクケース＞
MC1,2	圧縮機用電動機
SW1	スイッチ＜運転-停止＞
SW21	スイッチ＜No.1圧縮機個別運転＞
SW22	スイッチ＜No.2圧縮機個別運転＞
TH1-1,1-2	サーミスタ＜吐出管温度＞
TH2-1,2-2	サーミスタ＜圧縮機ｼｪﾙ油温＞
TH3-1,3-2	サーミスタ＜返油管温度＞
THA	サーミスタ＜機械室温度＞
THC	サーミスタ＜凝縮温度＞
PSL1,2	圧力センサ＜低圧＞
X01,X02,X05,X06,X08,X09	補助継電器＜基板内＞
X11,X12,X15,X16	補助継電器
21R1,2	電磁弁＜インジェクション＞
21R3,4	電磁弁＜油戻し＞
21R5	電磁弁＜サブクールコイル＞
26C1,2	温度開閉器＜吐出＞
47	逆相防止器
49C1,2	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞
51C1,2	熱動過電流継電器＜圧縮機＞
52C1,2	電磁開閉器＜圧縮機＞
52F	電磁接触器＜送風機＞
63H1,2	圧力開閉器＜高圧＞

記号説明:リモートコンデンサ

C1～6	コンデンサ＜送風機用電動機＞
FC	電子ファンコントローラ
MF1～6	送風機用電動機
THC	サーミスタ＜凝縮温度＞
63H2-2	圧力開閉器＜ファンコンバックアップ＞

記号	名　称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯＜運転・ﾐﾄﾞﾘ＞
※PL2	表示灯＜異常・ｱｶ＞
※PL3	表示灯＜霜取・ｵﾚﾝｼﾞ＞
※SW2	スイッチ＜運転-停止:ポンプダウン＞
※SW3	スイッチ＜異常リセット＞
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ＜霜取＞
※4IF	外部インターロック＜ファン＞
※4IP	外部インターロック＜ポンプ＞
※21R	電磁弁＜液＞
※23R	温度調節器＜庫内＞
※26D	温度開閉器＜霜取終了＞
※26H	温度開閉器＜過熱防止＞
※88H	電磁接触器＜電熱器＞

エラーコード゛対応表

コード	エラー内容
E01	電源異常＜逆相＞
E02	差圧起動防止保護作動
※E05	吐出昇温防止保護作動
※E06	圧力センサ＜低圧＞異常
※E07	サーミスタ＜吐出管温度＞異常
E08	サーミスタ＜凝縮温度＞異常
※E10	サーミスタ＜圧縮機ｼｪﾙ油温＞異常
※E11	液バック保護作動
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器＜高圧＞作動 温度開閉器＜吐出＞作動
E15	瞬停保護
※E16	サーミスタ＜返油管温度＞異常
E17	サーミスタ＜機械室温度＞異常
※E18	返油管詰まり異常
E99	基板異常

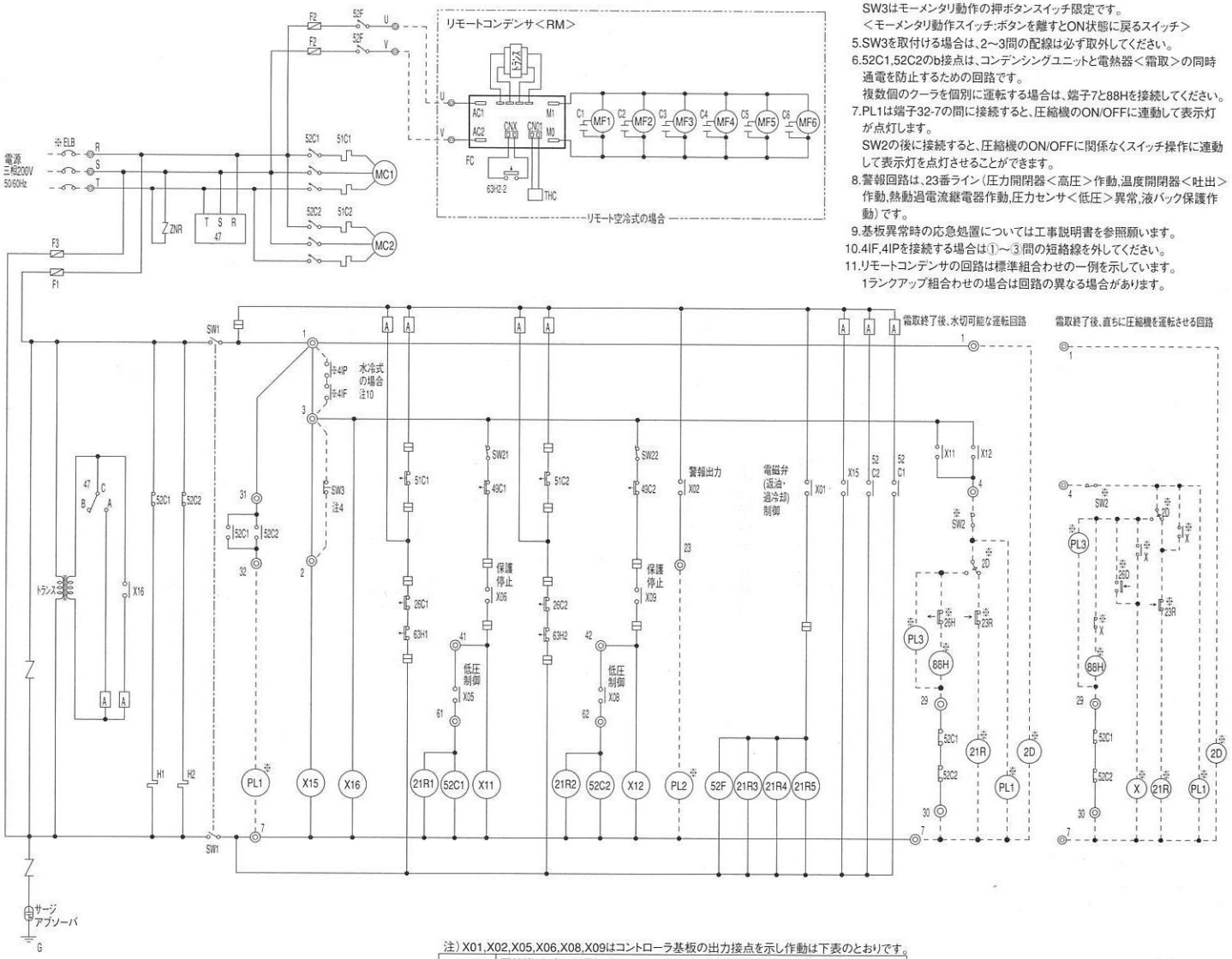
表中の※マークには保護器等が作動した圧縮機番号が表示されます。
例えば、圧縮機＜No.1＞の圧力開閉器＜高圧＞が作動した場合には『1E14』と表示されます。

電気回路

■EC-EP＋RM-P(RMW-P)形

EC-EP150A＋RM-P(RMW-P)形（コントローラ基板コネクタ非表示）

注1.※印の機器は、現地手配となります。
2.----線は、現地配線となります。また、回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
＜モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ＞
5.SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6.52C1,52C2のb接点は、コンデンシングユニットと電熱器＜霜取＞の同時通電を防止するための回路です。
複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7.PL1は端子32-7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8.警報回路は、23番ライン（圧力開閉器＜高圧＞作動,温度開閉器＜吐出＞作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ＜低圧＞異常,液バック保護作動）です。
9.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
10.4IF,4IPを接続する場合は①～③間の短絡線を外してください。
11.リモートコンデンサの回路は標準組合わせの一例を示しています。
1ランクアップ組合わせの場合は回路の異なる場合があります。



記号説明:圧縮ユニット

記号	名称
F1	ヒューズ＜制御回路:6A＞
F2	ヒューズ＜送風機:15A＞
F3	ヒューズ＜制御回路:5A＞
G	接地＜アース＞
H1,2	電熱器＜クランクケース＞
MC1,2	圧縮機用電動機
SW1	スイッチ＜運転-停止＞
SW21	スイッチ＜No.1圧縮機個別運転＞
SW22	スイッチ＜No.2圧縮機個別運転＞
X01,X02,X05,X06,X08,X09	補助継電器＜基板内＞
X11,X12,X15,X16	補助継電器
21R1,2	電磁弁＜インジェクション＞
21R3,4	電磁弁＜油戻し＞
21R5	電磁弁＜サブクールコイル＞
26C1,2	温度開閉器＜吐出＞
47	逆相防止器
49C1,2	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞
51C1,2	熱動過電流継電器＜圧縮機＞
52C1,2	電磁開閉器＜圧縮機＞
52F	電磁接触器＜送風機＞
63H1,2	圧力開閉器＜高圧＞

記号	名称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯＜運転・ﾐﾄﾞﾘ＞
※PL2	表示灯＜異常・ｱｶ＞
※PL3	表示灯＜霜取・ｵﾚﾝｼﾞ＞
※SW2	スイッチ＜運転-停止:ポンプダウン＞
※SW3	スイッチ＜異常リセット＞
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ＜霜取＞
※4IF	外部インターロック＜ファン＞
※4IP	外部インターロック＜ポンプ＞
※21R	電磁弁＜液＞
※23R	温度調節器＜庫内＞
※26D	温度開閉器＜霜取終了＞
※26H	温度開閉器＜過熱防止＞
※88H	電磁接触器＜電熱器＞

記号説明:リモートコンデンサ

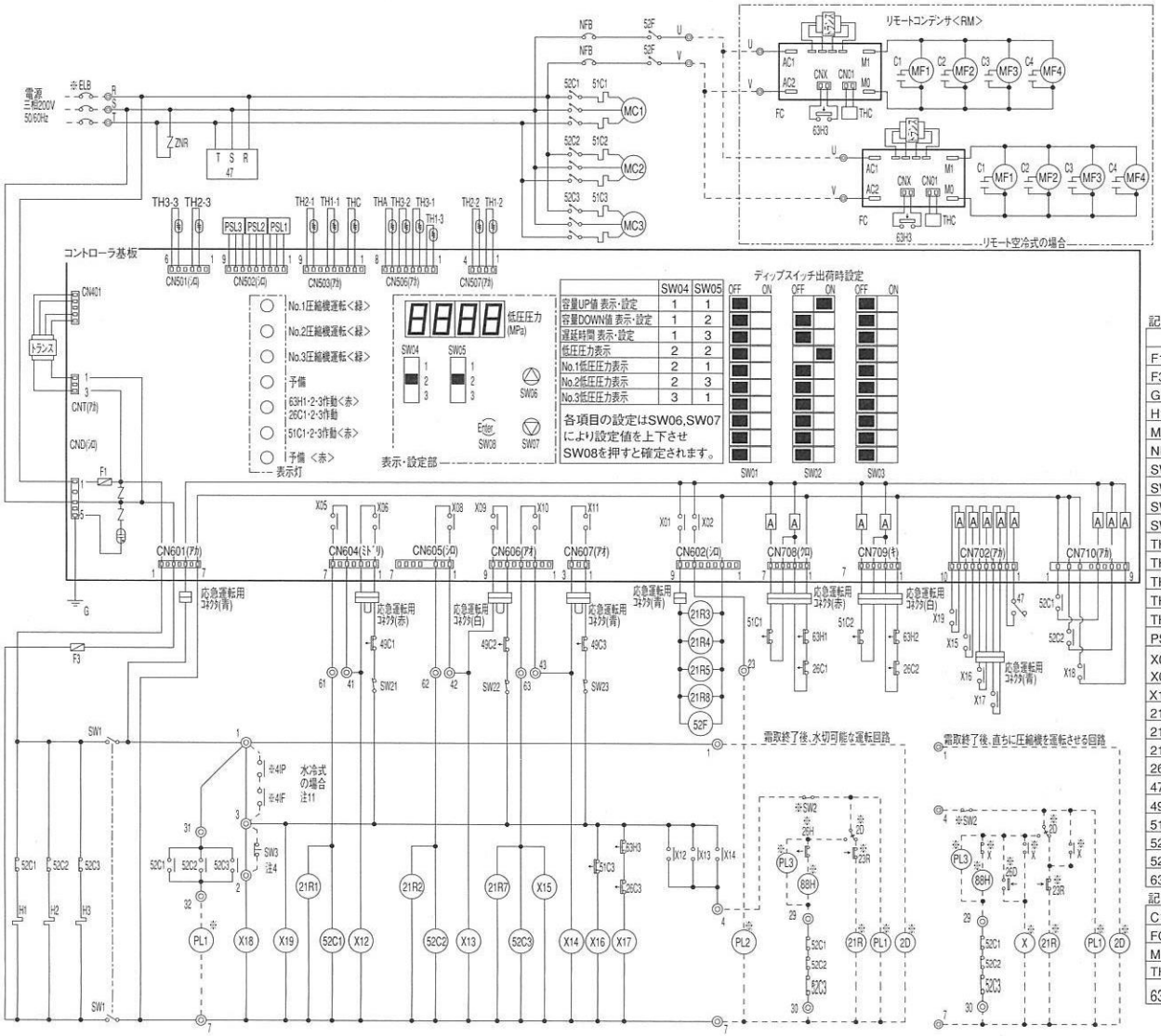
C1～6	コンデンサ＜送風機用電動機＞
FC	電子ファンコントローラ
MF1～6	送風機用電動機
THC	サーミスタ＜凝縮温度＞
63H2-2	圧力開閉器＜ファンコンバックアップ＞

注）X01,X02,X05,X06,X08,X09はコントローラ基板の出力接点を示し作動は下表のとおりです。

X01	圧縮機が1台でも運転している時はON,圧縮機が全て停止時,（異常停止含む）はOFF
X02	圧力開閉器＜高圧＞作動,温度開閉器＜吐出＞作動,熱動過電流継電器作動, 圧力センサ＜低圧＞異常,液バック保護作動によりON 上記異常解除後、リセット動作（SW1またはSW3をOFF→ON）によりOFF
X05,X08	低圧が容量UP値以上かつ遅延時間経過後にON,容量DOWN値以下の場合はOFF
X06,X09	通常運転時はON,各種異常発生時にOFF

■EC-EP+RM-P(RMW-P)形

EC-EP225A+RM-P(RMW-P)形



注1.※印の機器は、現地手配となります。
2.----線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
＜モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ＞
5.SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6.52C1,52C2,52C3のb接点は、コンデンシングユニットと電熱器＜霜取＞の同時通電を防止するための回路です。
複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7.PL1は端子32ー7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8.警報回路は、23番ライン（圧力開閉器＜高圧＞作動,温度開閉器＜吐出＞作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ＜低圧＞異常,液バック保護作動,返油管詰まり異常,吐出昇温防止保護作動）です。
9.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
10.LED表示されるエラーコードを下表に記載します。
11.4IF,4IPを接続する場合は①～③間の短絡線を外してください。
12.リモートコンデンサの回路は、標準組合わせの一例を示します。
1ランクアップ組合わせの場合は回路の異なる場合があります。

記号説明:圧縮ユニット

記号	名　称
F1	ヒューズ＜制御回路:6A＞
F3	ヒューズ＜制御回路:5A＞
G	接地＜アース＞
H1～3	電熱器＜クランクケース＞
MC1～3	圧縮機用電動機
NFB	ブレーカ＜リモートコンデンサ:20A＞
SW1	スイッチ＜運転-停止＞
SW21	スイッチ＜No.1圧縮機個別運転＞
SW22	スイッチ＜No.2圧縮機個別運転＞
SW23	スイッチ＜No.3圧縮機個別運転＞
THA	サーミスタ＜機械室温度＞
THC	サーミスタ＜凝縮温度＞
TH1-1,1-2,1-3	サーミスタ＜吐出管温度＞
TH2-1,2-2,2-3	サーミスタ＜圧縮機ｼｪﾙ油温＞
TH3-1,3-2,3-3	サーミスタ＜返油管温度＞
PSL1～3	圧力センサ＜低圧＞
X01,02,05,06,X08～11	補助継電器＜基板内＞
X12～X19	補助継電器
21R1,2,7	電磁弁＜インジェクション＞
21R3,4,8	電磁弁＜油戻し＞
21R5	電磁弁＜サブクール＞
26C1～3	温度開閉器＜吐出＞
47	逆相防止器
49C1～3	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞
51C1～3	熱動過電流継電器＜圧縮機＞
52C1～3	電磁開閉器＜圧縮機＞
52F	電磁接触器＜リモートコンデンサ＞
63H1～3	圧力開閉器＜高圧＞

記号説明:リモートコンデンサ

記号	名　称
C1～4	コンデンサ＜送風機用電動機＞
FC	電子ファンコントローラ
MF1～4	送風機用電動機
THC	サーミスタ＜凝縮温度＞
63H3	圧力開閉器＜ファンコンバックアップ＞

記号	名　称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯＜運転・ﾐﾄﾞﾘ＞
※PL2	表示灯＜異常・ｱｶ＞
※PL3	表示灯＜霜取・ｵﾚﾝｼﾞ＞
※SW2	スイッチ＜運転-停止:ポンプダウン＞
※SW3	スイッチ＜異常リセット＞
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ＜霜取＞
※4IF	外部インターロック＜ファン＞
※4IP	外部インターロック＜ポンプ＞
※21R	電磁弁＜液＞
※23R	温度調節器＜庫内＞
※26D	温度開閉器＜霜取終了＞
※26H	温度開閉器＜過熱防止＞
※88H	電磁接触器＜電熱器＞

エラーコード対応表

コード	エラー内容
E01	電源異常＜逆相＞
E02	差圧起動防止保護作動
※E05	吐出昇温防止保護作動
※E06	圧力センサ＜低圧＞異常
※E07	サーミスタ＜吐出管温度＞異常
E08	サーミスタ＜凝縮温度＞異常
※E10	サーミスタ＜圧縮機ｼｪﾙ油温＞異常
※E11	液バック保護作動
※E12	高油温保護作動
※E13	熱動過電流継電器作動
※E14	圧力開閉器＜高圧＞作動 温度開閉器＜吐出＞作動
E15	瞬停保護
※E16	サーミスタ＜返油管温度＞異常
E17	サーミスタ＜機械室温度＞異常
※E18	返油管詰まり異常
E99	基板異常

表中の※マークには保護器等が作動した圧縮機番号が表示されます。
例えば、圧縮機＜No.1＞の圧力開閉器＜高圧＞が作動した場合には「1E14」と表示されます。

電気回路

■EC-EP＋RM-P(RMW-P)形

EC-EP225A＋RM-P(RMW-P)形（コントローラ基板コネクタ非表示）

注1.※印の機器は、現地手配となります。
2.----線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
3.接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
4.SW2,SW3,PL1～3の現地手配機器は別途リモコンボックスとして別売しています。
SW3はモーメンタリ動作の押ボタンスイッチ限定です。
＜モーメンタリ動作スイッチ:ボタンを離すとON状態に戻るスイッチ＞
5.SW3を取付ける場合は、2～3間の配線は必ず取外してください。
6.52C1,52C2,52C3のb接点は、コンデンシングユニットと電熱器＜霜取＞の同時通電を防止するための回路です。
複数個のクーラを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
7.PL1は端子32―7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに関係なくスイッチ操作に連動して表示灯を点灯させることができます。
8.警報回路は,23番ライン（圧力開閉器＜高圧＞作動,温度開閉器＜吐出＞作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ＜低圧＞異常,液バック保護作動,返油管詰まり異常,吐出昇温防止保護作動）です。
9.基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
10.4IF,4IPを接続する場合は1～3間の短絡線を外してください。
11.リモートコンデンサの回路は標準組合わせの一例を示しています。
1ランクアップ組合わせの場合は回路の異なる場合があります。

記号説明:圧縮ユニット

記号	名　称
F1	ヒューズ＜制御回路:6A＞
F3	ヒューズ＜制御回路:5A＞
G	接地＜アース＞
H1～3	電熱器＜クランクケース＞
MC1～3	圧縮機用電動機
NFB	ブレーカ＜リモートコンデンサ:20A＞
SW1	スイッチ＜運転-停止＞
SW21	スイッチ＜No.1圧縮機個別運転＞
SW22	スイッチ＜No.2圧縮機個別運転＞
SW23	スイッチ＜No.3圧縮機個別運転＞
X01,2,5,6,8～11	補助継電器＜基板内＞
X12～X19	補助継電器
21R1,2,7	電磁弁＜インジェクション＞
21R3,4,8	電磁弁＜油戻し＞
21R5	電磁弁＜サブクールコイル＞
26C1～3	温度開閉器＜吐出＞
47	逆相防止器
49C1～3	温度開閉器＜圧縮機インナーサーモ＞
51C1～3	熱動過電流継電器＜圧縮機＞
52C1～3	電磁開閉器＜圧縮機＞
52F	電磁接触器＜リモートコンデンサ＞
63H1～3	圧力開閉器＜高圧＞

記号	名　称
※ELB	漏電遮断器
※PL1	表示灯＜運転・ﾐﾄﾞﾘ＞
※PL2	表示灯＜異常・ｱｶ＞
※PL3	表示灯＜霜取・ｵﾚﾝｼﾞ＞
※SW2	スイッチ＜運転-停止:ポンプダウン＞
※SW3	スイッチ＜異常リセット＞
※X	補助継電器
※2D	タイムスイッチ＜霜取＞
※4IF	外部インターロック＜ファン＞
※4IP	外部インターロック＜ポンプ＞
※21R	電磁弁＜液＞
※23R	温度調節器＜庫内＞
※26D	温度開閉器＜霜取終了＞
※26H	温度開閉器＜過熱防止＞
※88H	電磁接触器＜電熱器＞

記号説明:リモートコンデンサ

C1～4	コンデンサ＜送風機用電動機＞
FC	電子ファンコントローラ
MF1～4	送風機用電動機
THC	サーミスタ＜凝縮温度＞
63H3	圧力開閉器＜ファンコンバックアップ＞

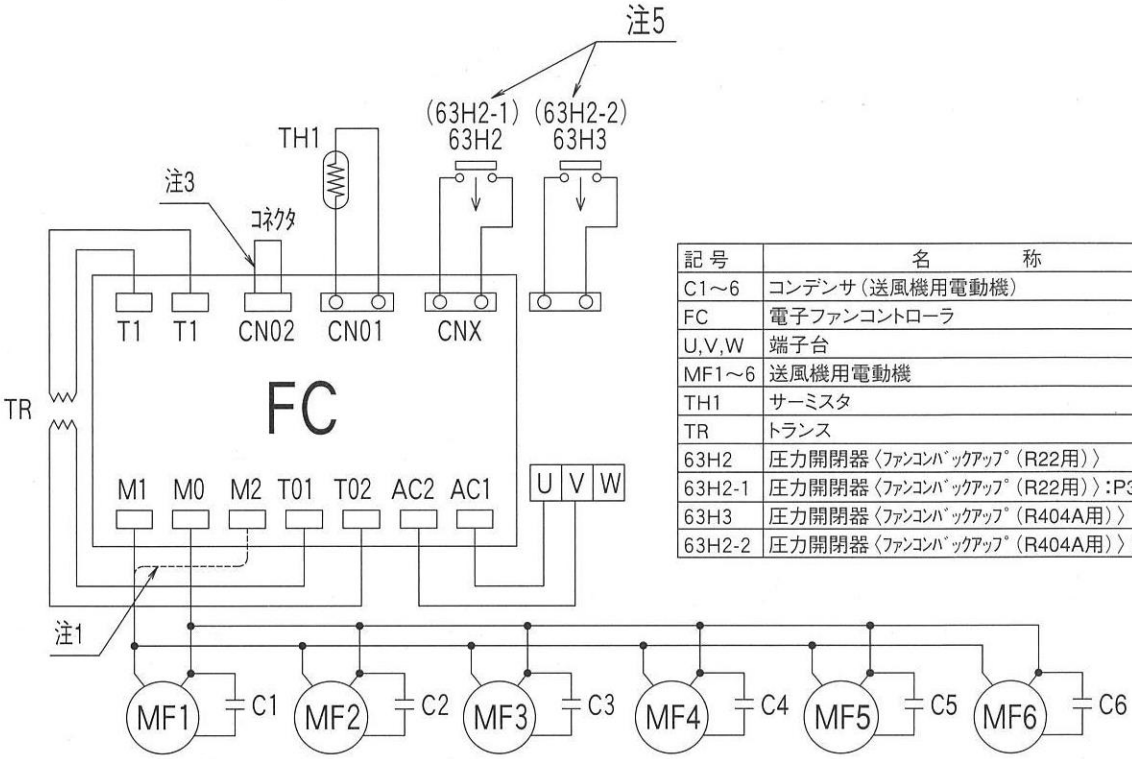
注）X01,X02,X05,X06,X08～X11はコントローラ基板の出力接点を示し作動は下表のとおりです。

X01	圧縮機が1台でも運転している時はON,圧縮機が全て停止時,(異常停止含む)はOFF
X02	圧力開閉器＜高圧＞作動,温度開閉器＜吐出＞作動,熱動過電流継電器作動,圧力センサ＜低圧＞異常,液バック保護作動,返油管詰まり異常,吐出昇温防止保護作動によりON 上記異常解除後,リセット動作(SW1またはSW3をOFF→ON)によりOFF
X05,X08,X10	低圧が容量UP値以上かつ遅延時間経過後にON,容量DOWN値以下の場合はOFF
X06,X09,X11	通常運転時はON,各種異常発生時にOFF

MITSUBISHI

■RM-P形

RM-P30A・P37A・P45A・P55A・P75A・P110A・P150A形



記号	名称
C1～6	コンデンサ（送風機用電動機）
FC	電子ファンコントローラ
U,V,W	端子台
MF1～6	送風機用電動機
TH1	サーミスタ
TR	トランス
63H2	圧力開閉器〈ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ（R22用）〉
63H2-1	圧力開閉器〈ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ（R22用）〉:P30・150A形
63H3	圧力開閉器〈ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ（R404A用）〉
63H2-2	圧力開閉器〈ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ（R404A用）〉:P30・150A形

注1. ファンコントローラ＜FC＞のM2端子は、故障時の全速運転用端子です。
図中の－－－－の様に配線の端子を差換えますと全速運転となります。
2. 接点の矢印は、圧力が上昇した時の接点動作方向を示します。
3. ファンコントローラの運転モード切換を高速＜省エネ＞に変更する場合は、付属コネクタに変更してください。
＜工場出荷時は標準モードとなっています。＞

運転モード	コネクタのリード線の色	
	RM-P30・37・45A	RM-P55・75・110・150A
標準	青	白
高速＜省エネ＞	赤	

4. 送風機用電動機およびコンデンサは下表のとおりです。
送風機用電動機一覧表

機種＼機器	送風機用電動機およびコンデンサ					
	MF1・C1	MF2・C2	MF3・C3	MF4・C4	MF5・C5	MF6・C6
RM-P30A	○	—	—	—	—	—
RM-P37・45・55・75A	○	○	—	—	—	—
RM-P110A	○	○	○	○	—	—
RM-P150A	○	○	○	○	○	○

5. 本製品は63H2と63H3、63H2-1と63H3-2のコネクタを差しかえることでR22,R404Aの冷媒で使用可能です。
なお、工場出荷時の冷媒はR22の設定になっています。
R404A対応の圧縮ユニットと組合わせる場合は緑色のコネクタに変更してください。

冷媒	記号	圧力開閉器＜ﾌｧﾝｺﾝﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ＞設定値＜MPa＞		ｺﾈｸﾀ色
		回路切	回路入	
R22	63H2 63H2-1	1.67	2.06	黒
R404A	63H3 63H2-2	1.96	2.45	緑

6. 製品の仕様は改良のため、予告なしに変更する場合があります。

電気特性

〈冷凍空調複合システム用冷蔵ユニット〉

項目			形名	ERAV-EP45A-CV	ERAV-EP55A-CV
電気特性	電源			三相 200V 50/60Hz	
	ユニット	※消費電力	kW	5.9	7.9
		※運転電流	A	18.6	24.6
		始動電流	A	15.0/15.0	
	圧縮機用電動機	定格出力	kW	4.5	5.5
		回転数	min^{-1}	3780 (63Hz)	4800 (80Hz)
	送風機用電動機定格出力		W	88+88	110+110
	クランクケースヒータ		W	45	
電気工事	ユニット	電線太さ※※	mm^2(m)	8.0 (15)	14 (21)
		過電流保護器 手元	A	50	
		過電流保護器 分岐	A	50	
		開閉器容量 手元	A	60	
		開閉器容量 分岐	A	60	
	制御回路配線太さ		mm^2	2.0	
	接地線太さ		mm^2	8.0	14.0
	進相コンデンサ(圧縮機)	容量	μF	取付不可	取付不可
			KVA	取付不可	取付不可
		電線太さ	mm^2	取付不可	取付不可

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（ ）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

〈屋外設置一体空冷式〉

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形　低温用

項目			形名	ERAV-EP45A	ERAV-EP55A	ERAV-EP110A	ECAV-EP185A	ECAV-EP260A
電気特性	電源			三相 200V 50/60Hz				
	ユニット	※消費電力	kW	6.6	7.9	13.0	20.6/22.5	28.9/32.2
		※運転電流	A	20.9	24.6	40.3	62.3/67.5	91.1/99.5
		始動電流	A	149/132	15.0/15.0	25.0/25.0	297/274	329/312
	圧縮機用電動機	定格出力	kW	4.5	5.5	11.0	11.0/7.45	11.0/7.45/7.45
		回転数	min^{-1}	3900(68Hz)	4800(80Hz)	5400 (90Hz)	INV：5400 (90Hz) ／ 定速：2900/3400	
	送風機用電動機定格出力		W	88+88	110+110	100×6	100×8	100×10
	クランクケースヒータ		W	45		72	72×2	72×3
電気工事	ユニット	電線太さ※※	mm^2(m)	8(21)	14(21)	22 (25)	38 (27)	60 (25)
		過電流保護器 手元	A	50		100	150	200
		過電流保護器 分岐	A	50		150	200	300
		開閉器容量 手元	A	60		100	200	
		開閉器容量 分岐	A	60		200		400
	制御回路配線太さ		mm^2	2.0				
	接地線太さ		mm^2	8.0	14.0		22.0	38.0
	進相コンデンサ(圧縮機)	容量	μF	取付不可	取付不可	取付不可	取付不可	取付不可
			KVA	取付不可	取付不可	取付不可	取付不可	取付不可
		電線太さ	mm^2	取付不可	取付不可	取付不可	取付不可	取付不可

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（ ）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形　低温用

項目			形名	ERAV-EP45HA	ERAV-EP97HA
電気特性	電源			三相 200V 50/60Hz	
	ユニット	※消費電力	kW	6.9	14.6
		※運転電流	A	21.5	44.7
		始動電流	A	15.0/15.0	25.0/25.0
	圧縮機用電動機	定格出力	kW	4.5	9.7
		回転数	min^{-1}	3600 (60Hz)	4200 (70Hz)
	送風機用電動機定格出力		W	110+110	100×6
	クランクケースヒータ		W	45	72
電気工事	ユニット	電線太さ※※	mm^2(m)	8.0 (19)	22 (27)
		過電流保護器 手元	A	50	100
		過電流保護器 分岐	A	50	100
		開閉器容量 手元	A	60	100
		開閉器容量 分岐	A	60	100
	制御回路配線太さ		mm^2	2.0	
	接地線太さ		mm^2	8.0	14.0
	進相コンデンサ(圧縮機)	容量	μF	取付不可	取付不可
			KVA	取付不可	取付不可
		電線太さ	mm^2	取付不可	取付不可

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度5℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（ ）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

〈屋外設置一体空冷式〉

■シングル式スクロール圧縮機搭載形　低温用

項目			形名	ERA-EP22A	ERA-EP30A	ERA-EP37A	ERA-EP45A	ERA-EP55A	ERA-EP75A
電気特性	電源			三相　200V　50/60Hz					
	ユニット	※消費電力	kW	3.1/3.9	4.1/5.0	5.0/6.0	6.2/7.5	6.7/8.15	7.8/9.5
		※運転電流	A	10.4/12.1	13.1/15.6	15.9/18.3	20.4/23.2	21.9/24.9	24.5/29.1
		始動電流	A	76/67	86/75	109/94	122/107	240/217	
	圧縮機用電動機	定格出力	kW	2.2	3.0	3.7	4.5	5.5	7.45
		回転数	min^{-1}	2900/3400					
	送風機用電動機定格出力		W	110		88+88		110×2	200×2
	クランクケースヒータ		W	62				72	
電気工事	ユニット	電線太さ※※	mm^2(m)	3.5(18)	3.5(15)	5.5(18)	8.0(21)	8.0(15)	14(24)
		過電流保護器 手元	A	30		50	75		100
		過電流保護器 分岐	A	50		60	100		
		開閉器容量 手元	A	30		60	100		
		開閉器容量 分岐	A	60			100		
	制御回路配線太さ		mm^2	2.0					
	接地線太さ		mm^2	2.0	3.5	5.5	8.0		14.0
	進相コンデンサ（圧縮機）	容量	μF	50/40		75/50	100/75		150/100
			KVA	0.63/0.60		0.94/0.75	1.26/1.13		1.88/1.51
		電線太さ	mm^2	2.0	3.5	5.5			8.0

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（　）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形　低温用

項目			形名	ECA-EP150A	ECA-EP225A
電気特性	電源			三相　200V　50/60Hz	
	ユニット	※消費電力	kW	11.8/13.9	18.9/22.3
		※運転電流	A	41.0/44.4	66.2/70.5
		始動電流	A	272/255	304/291
	圧縮機用電動機	定格出力	kW	7.45×2	7.45×3
		回転数	min^{-1}	2900/3400	
	送風機用電動機定格出力		W	100×5	100×6
	クランクケースヒータ		W	72×2	72×3
電気工事	ユニット	電線太さ※※	mm^2(m)	38（23）	60（29）
		過電流保護器 手元	A	150	200
		過電流保護器 分岐	A	200	300
		開閉器容量 手元	A	200	
		開閉器容量 分岐	A	200	400
	制御回路配線太さ		mm^2	2.0	
	接地線太さ		mm^2	22	38
	進相コンデンサ（圧縮機）	容量	μF	150×2/100×2	150×3/100×3
			KVA	1.88×2/1.51×2	1.88×3/1.51×3
		電線太さ	mm^2	5.5×2	8.0×3

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−40℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（　）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

電気特性

〈屋外設置一体空冷式〉

■シングル式半密閉圧縮機搭載形

項目				形名	ERA-P110A	ERA-P150A
電気特性	電源				三相 200V 50/60Hz	
	ユニット	※消費電力		kW	14.0/17.4	19.9/24.7
		※運転電流		A	51.4/59.3	71.4/77.3
		始動電流		A	299/276	432/382
	圧縮機用電動機	定格出力		kW	10.8	15.0
		回転数		min^{-1}	1450/1750	
	送風機用電動機定格出力			W	100×4	100×6
	クランクケースヒータ			W	180	
電気工事	ユニット	電線太さ※※		mm^2(m)	22 (25)	38 (31)
		過電流保護器	手元	A	100	150
			分岐	A	150	200
		開閉器容量	手元	A	100	200
			分岐	A	200	
	制御回路配線太さ			mm^2	2.0（現地配線）	
	接地線太さ			mm^2	22	38
	進相コンデンサ（圧縮機）	容量		μF	200/150	250/200
				KVA	2.51/2.26	3.14/3.02
		電線太さ		mm^2	14	

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（ ）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

■マルチ式半密閉圧縮機搭載形

項目				形名	ECA-P185A	ECA-P225A
電気特性	電源				三相 200V 50/60Hz , 220V 60Hz	
	※消費電力			kW	22.5/28.4	27.4/34.3
	※運転電流			A	84.1/96.2	98.9/113.1
	始動電流			A	299/276	432/382
	電動機	定格出力		kW	10.8+7.45	15.0+7.45
		回転数		min^{-1}	1450/1750	
	送風機用電動機定格出力			W	100×8	100×8
	電熱器〈クランクケース〉			W	180×2	
電気工事	電線太さ※※			mm^2(m)	60 (28)	60 (23)
	過電流保護器	手元		A	150	200
		分岐		A	200	300
	開閉器容量	手元		A	200	
		分岐		A	200	400
	制御回路配線太さ			mm^2	2.0	
	接地線太さ			mm^2	22	38
	進相コンデンサ	No.1圧縮機	容量	μF	200/150	250/200
				KVA	2.51/2.26	3.14/3.02
			電線太さ	mm^2	14	
		No.2圧縮機	容量	μF	150/100	
				KVA	1.88/1.51	
			電線太さ	mm	5.5	

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（ ）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

〈屋内設置リモート空冷式〉

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形

項目				形名	ERV-EP110A	ECV-EP185A	ECV-EP260A
電気特性	電源				三相 200V 50/60Hz		
	ユニット	※消費電力		kW	13.0	20.6/22.5	28.9/32.2
		※運転電流		A	40.3	62.3/67.5	91.1/99.5
		始動電流		A	25.0/25.0	297/274	329/312
	圧縮機用電動機		定格出力	kW	11.0	11.0／7.45	11.0/7.45/7.45
			回転数	min^{-1}	5400（90Hz）	INV：5400（90Hz）／ 定速：2900/3400	
	クランクケースヒータ			W	72	72×2	72×3
電気工事	ユニット	電線太さ※※		mm^2(m)	22（25）	38（27）	60（25）
		過電流保護器	手元	A	100	150	200
			分岐	A	150	200	300
		開閉器容量	手元	A	100	200	200
			分岐	A	200		400
	制御回路配線太さ			mm^2	2.0		
	接地線太さ			mm^2	14.0	22.0	38.0
	進相コンデンサ（圧縮機）	容量		μF	取付不可		
				KVA	取付不可		
		電線太さ		mm^2	取付不可		

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5K、運転周波数75Hz（定格）の場合です。
※※（ ）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

■シングル式スクロール圧縮機搭載形

項目				形名	ER-EP22A	ER-EP30A	ER-EP37A	ER-EP45A	ER-EP55A	ER-EP75A
電気特性	電源				三相 200V 50/60Hz					
	ユニット	※消費電力		kW	3.1/3.9	4.1/5.0	5.0/6.0	6.2/7.5	6.70/8.15	7.8/9.5
		※運転電流		A	10.4/12.1	13.1/15.6	15.9/18.3	20.4/23.2	21.9/24.9	24.5/29.1
		始動電流		A	76/67	13.1/15.6	109/94	122/107	240/217	
	圧縮機用電動機		定格出力	kW	2.2	3.0	3.7	4.5	5.5	7.45
			回転数	min^{-1}	2900/3400					
	クランクケースヒータ			W	62				72	
電気工事	ユニット	電線太さ※※		mm^2(m)	3.5（18）	3.5（15）	5.5（18）	8.0（21）	8.0（15）	14（24）
		過電流保護器	手元	A	30		50	75		100
			分岐	A	50		60	100		
		開閉器容量	手元	A	30		60	100		
			分岐	A	60			100		
	制御回路配線太さ			mm^2	2.0					
	接地線太さ			mm^2	2.0	3.5	5.5	8.0		14
	進相コンデンサ（圧縮機）	容量		μF	50/40		75/50	100/75		150/100
				KVA	0.63/0.60		0.94/0.75	1.26/1.13		1.88/1.51
		電線太さ		mm^2	2.0	3.5	5.5			8.0

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（ ）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形

項目				形名	EC-EP150A	EC-EP225A
電気特性	電源				三相 200V 50/60Hz	
	ユニット	※消費電力		kW	11.8/13.9	18.9/22.3
		※運転電流		A	41.0/44.4	66.2/70.5
		始動電流		A	272/255	304/291
	圧縮機用電動機		定格出力	kW	7.45×2	7.45×3
			回転数	min^{-1}	2900/3400	
	クランクケースヒータ			W	72×2	72×3
電気工事	ユニット	電線太さ※※		mm^2(m)	38（23）	60（29）
		過電流保護器	手元	A	150	200
			分岐	A	200	300
		開閉器容量	手元	A	200	
			分岐	A	200	400
	制御回路配線太さ			mm^2	2.0	
	接地線太さ			mm^2	22	38
	進相コンデンサ（圧縮機）	容量		μF	150×2/100×2	150×3/100×3
				KVA	1.88×2/1.51×2	1.88×3/1.51×3
		電線太さ		mm^2	5.5×2	8.0×3

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮器吸入空気温度32℃、蒸発温度−40℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（ ）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

電気特性

〈屋内設置水冷式〉

■インバータ式スクロール圧縮機搭載形

項目			形名	ERV-EP110A+RMW-P150A	ECV-EP185A+RMW-P225A	ECV-EP260A+RMW-P150A
電気特性	電源			三相 200V 50/60Hz		
	ユニット	※消費電力	kW	10.4	17.3/18.9	23.9/26.3
		※運転電流	A	32.1	52.4/56.9	73.5/81.0
		始動電流	A	25.0/25.0	297/274	329/312
	圧縮機用電動機	定格出力	kW	11.0	11.0/7.45	11.0/7.45/7.45
		回転数	min^{-1}	5400 (90,Hz)	INV：5400 (90Hz) ／ 定速：2900/3400	
	クランクケースヒータ		W	72	72×2	72×3
電気工事	ユニット	電線太さ※※	mm^2(m)	22 (25)	38 (27)	60 (25)
		過電流保護器 手元	A	100	150	200
		過電流保護器 分岐	A	150	200	300
		開閉器容量 手元	A	100	200	
		開閉器容量 分岐	A	200		400
	制御回路配線太さ		mm^2	2.0		
	接地線太さ		mm^2	14.0	22.0	38.0
	進相コンデンサ(圧縮機)	容量	μF	取付不可		
			KVA	取付不可		
		電線太さ	mm^2	取付不可		

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮温度35℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（　）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

■シングル式スクロール圧縮機搭載形

項目			形名	ER-EP22A+RMW-P30A	ER-EP30A+RMW-P30A	ER-EP37A+RMW-P45A	ER-EP45A+RMW-P45A	ER-EP55A+RMW-P75A	ER-EP75A+RMW-P75A
電気特性	電源			三相 200V 50/60Hz					
	ユニット	※消費電力	kW	2.5/3.1	3.2/3.9	3.8/4.6	5.1/6.1	5.91/7.1	6.95/8.38
		※運転電流	A	8.5/9.7	10.9/12.2	12.6/14.4	16.8/18.8	20.1/23.3	21.5/25.7
		始動電流	A	76/67	86/75	109/94	122/107	240/217	
	圧縮機用電動機	定格出力	kW	2.2	3.0	3.7	4.5	5.5	7.45
		回転数	min^{-1}	2900/3400					
	クランクケースヒータ		W	62				72	
電気工事	ユニット	電線太さ※※	mm^2(m)	3.5 (18)	3.5 (15)	5.5 (18)	8.0 (21)	8.0 (15)	14 (24)
		過電流保護器 手元	A	30		50	75	75	100
		過電流保護器 分岐	A	50		60	100	100	
		開閉器容量 手元	A	30		60	100	100	
		開閉器容量 分岐	A	60		60	100	100	
	制御回路配線太さ		mm^2	2.0				2.0	
	接地線太さ		mm^2	2.0	3.5	5.5	8.0	8.0	14
	進相コンデンサ(圧縮機)	容量	μF	50/40		75/50	100/756	100/75	150/100
			KVA	0.63/0.60		0.94/0.75	1.26/1.13	1.26/1.13	1.88/1.51
		電線太さ	mm^2	5.5				5.5	8.0

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮温度35℃、蒸発温度−10℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（　）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

■マルチ式スクロール圧縮機搭載形

項目			形名	EC-EP150A+RMW-P150A	EC-EP225A+RMW-P225A
電気特性	電源			三相 200V 50/60Hz	
	ユニット	※消費電力	kW	10.3/12.3	16.1/18.9
		※運転電流	A	36.0/39.0	56.6/59.0
		始動電流	A	272/255	304/291
	圧縮機用電動機	定格出力	kW	7.45×2	7.45×3
		回転数	min^{-1}	2900/3400	
	クランクケースヒータ		W	72×2	72×3
電気工事	ユニット	電線太さ※※	mm^2(m)	38 (23)	60 (29)
		過電流保護器 手元	A	150	200
		過電流保護器 分岐	A	200	300
		開閉器容量 手元	A	200	
		開閉器容量 分岐	A	200	400
	制御回路配線太さ		mm^2	2.0	
	接地線太さ		mm^2	22	38
	進相コンデンサ(圧縮機)	容量	μF	150×2/100×2	150×3/100×3
			KVA	1.88×2/1.51×2	1.88×3/1.51×3
		電線太さ	mm^2	5.5×2	8.0×3

※消費電力、運転電流は、冷媒R404A、凝縮温度35℃、蒸発温度−40℃、吸入ガス温度18℃、サブクール5Kの場合です。
※※（　）内の数字は、電圧降下2Vの時の電線最大こう長を示します。

冷媒配管工事について

一般事項

冷媒配管工事の設計・施工の良否が、冷凍装置の性能や寿命及びトラブル発生に大きな影響を与えますので、「高圧ガス保安法」及び「冷凍保安規則の機能性基準の運用について」によるほか、以下に示す項目に従って設計・施工してください。

注１）工場出荷時、ユニット本体には乾燥窒素ガスを封入してあります。水分や異物の混入を防止するため、配管接続直前までは、開放しないでください。配管接続時は封入ガスを開放し、残圧がなくなったことを確認した上で溶接等を実施してください。

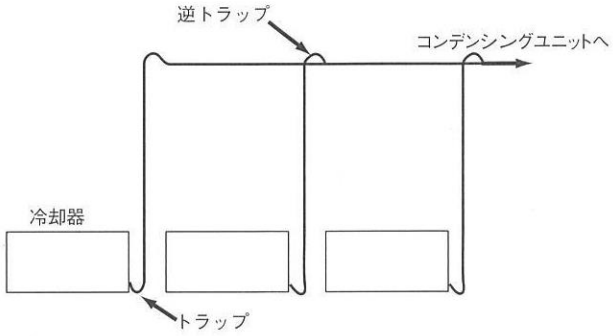
注２）本体を高所に設置される場合、試運転時やサービス時に冷媒ボンベ等重量物の運搬を考慮した搬入路の確保や、接続配管中、最もサービスしやすい位置にサービスバルブを設ける等の配慮した施工を行ってください。

吸入配管

□配管サイズは、コンデンシングユニット接続口の銅パイプ径に合わせてください。
1ランクアップ、1ランクダウンを採用する場合は、油戻りと圧力損失を十分考慮してください。

□吸入配管は必ず断熱を施してください。目安としては下表を参考にしてください。また吸入管と液管は抱き合わせ配管施工しないでください。

□複数台の冷却器を使用するとき
互いに他の冷却器の膨張弁の影響を受けないように、又停止中の冷却器に油が流れこまないための逆トラップを設けてください。

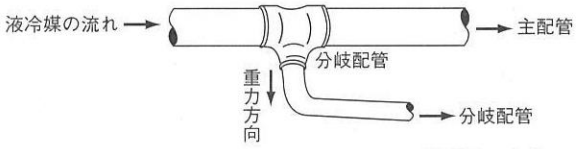


▲吸入配管の分岐図

液配管

液配管サイズは、通常は配管接続口の出口径に合わせてください。

■複数台の冷却器を使用するとき
冷媒が各々の冷却器に均等に流れるように各配管回路の圧力損失を均等にしてください。また、分岐は必ず配管の下から分岐してください。上から分岐すると、液冷媒が分岐回路に十分供給されず冷却不良になることがあります。



▲液配管の分岐

■高温場所を通るとき
液配管が他の熱源の影響を受け、加熱されると、フラッシュガスが発生し、不冷トラブルの原因になります。
液配管は、できるだけ温度の低い部分を通してください。
万一高温場所を通る場合は、液配管を断熱してください。

■吐出配管と液配管の距離
吐出配管と液配管との間隔は、吐出配管の熱影響を避けるため、10cm 以上離してください。

冷媒変更による冷凍機油の変更

新しい冷凍機油は、不純物等により劣化しやすく、故障の原因となります。

ドライ・クリーン・タイト

従来以上の厳しい配管管理・注意が必要

◆既設配管の流用禁止
◆保管場所の注意・保管時のシール
◆無酸化ロウ付の徹底　◆施工工具の扱い注意

断熱施工

□吸入配管は必ず断熱を施してください。目安としては下表を参考にしてください。

断熱材の厚さ

用途	ピット配管	天井配管
冷蔵	25mm以上	50mm以上
冷凍	50mm以上	50mm以上

断熱材料としては、発泡ポリウレタン・スチロール材を使用してください。

（※ユニット下部からユニット吸入ボールバルブまでの断熱施工は、パイプカバー（発泡ポリウレタンなど：20t）を使用してください。）

据付関係資料（R404A仕様機種）

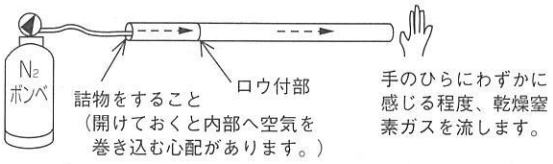
主な据付・サービス工具の比較表

使用する機器	R404A	変更内容
ゲージマニホールド	×	圧力がアップ 油の変更のため併用不可
チャージホース	×	同上
ガス漏れ検知機	×	HFC冷媒専用
真空ポンプ	○	逆止アダプタ使用必須
フレアーツール	○	出し代確保必要
トルクレンチ	○	対辺寸法を変更 （1/4、3/8は既存で可）
パイプカッタ	○	―
冷媒充てんハカリ	○	―

○:R22従来品と流用可　　×:新規に準備が必要

その他、配管工事上のご注意

□配管内部にごみ、水分等がないよう、十分洗浄されたリン脱酸銅管を使用してください。
また、ロウ付時には、酸化スケールが生成しないように、乾燥窒素ガス等の不活性ガスを配管に通しながら行ってください。



（ロウ付後もロウ付部の温度が200℃以下になるまで流し続けてください。）

▲無酸化ロウ付の例

□電磁弁＜液＞は冷却器膨張弁直前に取付けてください。室外ユニット付近に取付けると、ポンプダウン容量の不足をきたして高圧カットするおそれがあります。
□水平配管は必ず下り勾配（1/200 以上）となるようにしてください。
□フレア接続面には傷を付けないようご注意ください。
□配管は適当な間隔を置いて支持するとともに、温度変化による配管伸縮を吸収させるための曲管、迂回管（水平ループ）などを設けてください。
□吸入配管には、ストレーナ詰まりチェック用のチェックジョイントを取付けてください。

気密試験について

気密試験

冷凍サイクルが完成したら、配管に断熱を施す前に「高圧ガス保安法」に基づき、装置全体の気密試験を実施してください。

気密試験圧力は、設計圧力又は許容圧力のいずれか低い圧力以上の圧力としなければなりません。

ただし、圧力開閉器、圧力計保護のため、高圧部は3.5MPa、低圧部は 1.65MPa を超えないようにご注意ください。

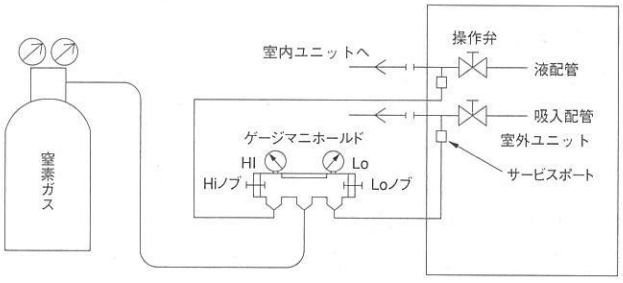
本ユニットの設計圧力は、下表のとおりです。

	高圧側	低圧側
設計圧力	2.94MPa	1.64MPa

注）R22 用の冷媒漏れ検知機では、漏れを検知できない為、必ず HFC 専用のものを使用してください。

▼試験要領

窒素ガスで機器の設計圧力まで、冷媒配管を加圧して行うため下図を参考に器具類を接続してください。
（必ず、液配管、吸入配管の両方に加圧してください。）



▲気密試験機器の接続系統図

真空引き乾燥について

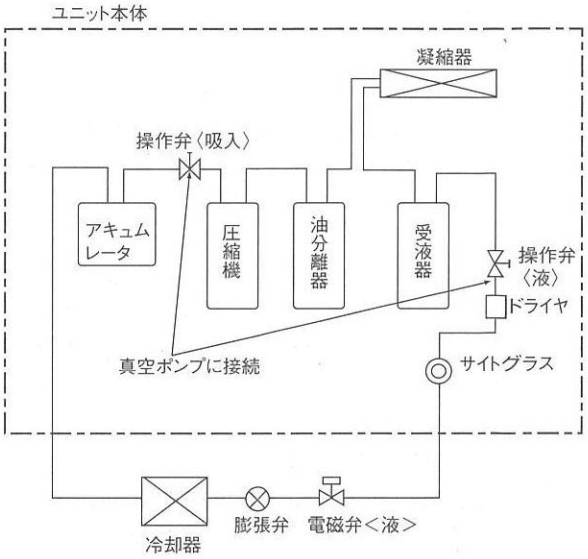
真空引き乾燥

□装置内の真空引きは必ず真空ポンプを用いてください。
尚、自力真空引きは絶対に行わないでください。
□逆流防止器付き真空ポンプを使用してください。
□真空引きはユニットの各操作弁のサービスポートより行ってください。（右図参照）
□装置内の水分除去のため、真空乾燥は充分に行なってください。

(1) 真空ポンプの真空度管理基準
5分運転後で66Pa以下のものをご使用ください。

(2) 真空引き時間
真空度計で計測して、266Paに到達後約1時間真空引きをします。
真空引き後約1時間放置して、真空度が低下しない事を確認してください。

(3) 真空ポンプ停止時の操作手順
真空ポンプの油が冷凍機側へ逆流するのを防止するため、真空ポンプ側のリリーフバルブを開くか、チャージホースを緩めて空気をすわせた後に運転を停止します。
逆流防止器付き真空ポンプを使用する場合でも停止の操作手順は同様にしてください。



▲真空引きのサービスポート（例）

警告

火気使用中に冷媒ガス（R404A）を漏らさないように注意する。

冷媒ガスがガスコンロ等の火に触れると分解して、有毒ガスを発生させガス中毒の原因になります。溶接作業は密閉された部屋で実施しないでください。また冷媒配管工事完了後、ガス漏れ検査を実施してください。

警告

据付けや移設の場合は、機器に表示されている冷媒（R404A）以外の異なった冷媒を入れない。

異なった冷媒や空気等が混入すると、冷凍サイクルが異常となり、破裂等の原因になります。

注意

逆流防止器付真空ポンプを使用する。

冷媒回路内に真空ポンプ油が逆流し、機器の冷凍機油劣化等の原因になります。

注意

チャージングシリンダを使用しない。

チャージングシリンダを使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。

注意

従来の冷媒に使用している下記に示す工具類は使用しない。
（ゲージマニホールド・チャージホース・ガス漏れ検知器・逆流防止器・冷媒チャージ用口金・冷媒回収装置）

- 従来の冷媒・冷凍機油が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 水分が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 冷媒中に塩素を含まないため、従来の冷媒用ガス漏れ検知器では反応しません。

注意

工具類の管理は従来以上に注意する。

冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分等が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。

冷媒充てん時のお願い

R404A専用ユニットは、R404A以外の冷媒を充てんしないでください。

冷媒の充てん

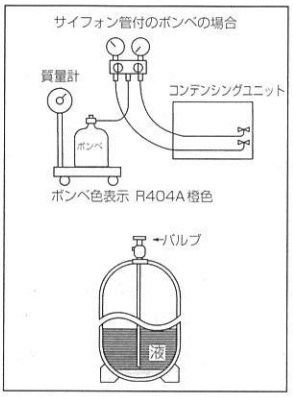
冷媒充てんは次の手順で行ってください。

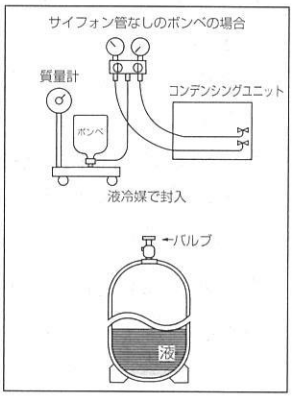
真空引乾燥終了
↓
冷媒ボンベの質量測定
↓
冷媒を液状で液出口操作弁の
サービスポートより封入する。
↓
冷媒ボンベの質量測定

追加充てん（右図）は、ユニットを運転中に操作弁＜液＞を閉じぎみとし、操作弁＜液＞のサービスサポートより液で封入してください。

冷媒の充てんは組成変化を抑えるためボンベからは液冷媒で高圧側へチャージをしてください。ガスで充てんすると冷媒組成が変わるため性能の低下や正常な動作ができなくなることがあります。

また、液冷媒を低圧側からチャージしないでください。液冷媒を低圧側からチャージすると圧縮機の故障のおそれがありますのでボンベとユニットとの間に専用のツールを使用してください。





冷媒充てん量

冷媒充てん量が少な過ぎたり、ガス漏れにより冷媒ガスが不足すると、低圧圧力が下がり冷えや油戻りが悪くなります。また過熱運転にもなります。
最小必要冷媒量は、庫内温度を所定の温度まで下げ、凝縮温度をできるだけ下げた状態（定常状態）で、液管サイトグラスからフラッシュガス（気泡）が消える冷媒量です。実際の充てんでは運転時の過渡現象等を考慮してさらに5～10%程度の冷媒を追加しておく必要があります。

最適冷媒充てん量＝最小必要冷媒量X（1.05～1.1）

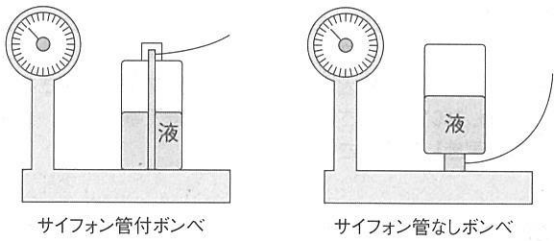
許容冷媒充てん量

最大でも許容冷媒充てん量を超えないようにしてください。過充てんされますと、高圧カット・始動不良等のトラブルが発生するおそれがあります。

冷媒封入

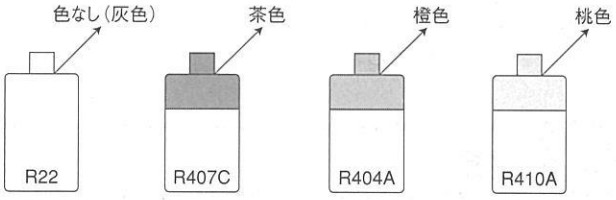
R404Aは、混合冷媒のため、液冷媒でチャージする必要があります。

※ボンベの種類によって、チャージ方法が異なります。



冷媒ボンベの種類

ボンベ上部の色にて識別



封入した冷媒量および冷媒封入業者名を、本製品に貼付している冷媒封入ラベルに、容易に消えない方法で記載してください。

フロン回収破壊法の施工に伴い、記載を怠った業者は法律に従って罰せられます。

お客様への説明

次のことをお客様に説明ください。

保守のおすすめ

適正な運転調整を行ってください。
工事されたかたは装置を安全にかつ、事故なく長持ちさせるため、顧客と保守契約を結び、点検を実施するようお願いいたします。

油の点検と定期的な交換

油の劣化・汚れは圧縮機の寿命に大きな影響を与えますので、汚れがひどくなった時には交換してください。

冷凍機油は当社指定のものを使用してください。

交換時期の目安は右表のとおりです。

1回目	試運転開始後	1日
2回目	試運転開始後	1ヶ月
3回目	試運転開始後	1年

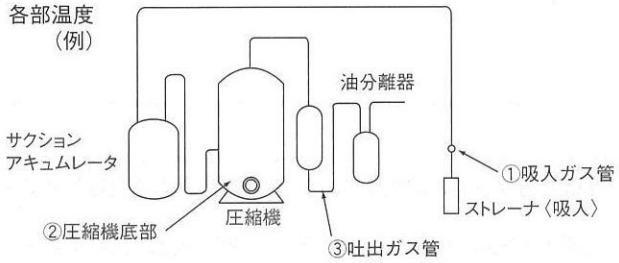
3回目以降は1年毎に点検を行い、油が茶色に変色している時には、交換してください。
また特に汚れ及び、変色が激しいときにはドライヤも交換してください。

連続液バック防止のご注意

霜取運転後の温風吹出し防止のための短時間を除いて、常に圧縮機の下部に着霜している場合は連続液バック運転になっていますので、膨張弁の開度調整、感温筒の取付け位置・状態・冷却器のファン運転（停止していないか、回転数が少なくなっていないか）などを点検し、連続液バックさせないようにしてください。

運転状態の定期的な確認

○適正な運転調整を行った場合の各部温度の目安を工事説明書に記載しています。工事された方は装置を安全にかつ長持させるため、顧客と保守契約を結び、点検を実施するようお願いいたします。



各部温度の目安

蒸発温度		(℃)	-10	-30	-40
凝縮温度		(℃)	48	43	38
各温度	①吸入ガス温度	(℃)	0～10	-10～0	-15～-5
	②圧縮機底部	(℃)	40～50	40～50	40～50
	③吐出ガス温度	(℃)	90～100	80～110	80～110

次の条件における値です。(1) 電源三相:200V 50/60 (2) 吸込空気温度:32℃

凝縮器フィンの清掃

凝縮器のフィンは、定期的に水道水等で掃除し、清浄な状態でご使用ください。フィンが汚れたままだと、高圧上昇の原因になります。この時、ファンモータや端子箱に水がかからないように注意してください。

パネルの清掃

中性洗剤を柔らかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。ベンジン・シンナー・磨き粉の使用は避けてください。ベンジン・シンナーを使用すると塗膜をいため、錆が発生することがあります。

冷媒回路部品の点検

中性洗剤を柔らかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。ベンジン・シンナー・磨き粉の使用は避けてください。ベンジン・シンナーを使用すると塗膜をいため、錆が発生することがあります。

■ストレーナ〈吸入〉にゴミ・異物が詰まっていませんか？
→チェックお願いします。
また、詰まりがひどい場合、異常音が発生することもあります。

■操作弁〈吸入〉を閉め放しにしていませんか？
→ショートサイクル運転（ON－OFF　運転）し、不冷運転または圧縮機故障に至る場合があります。

■凝縮器フィンが目詰まりをおこしていませんか？
→高圧及び吐出ガス温度異常になり大変危険です。

■操作弁〈液〉を閉める場合、液封になっていませんか？
→電磁弁＜液＞（冷却器側）や液配管途中のバルブ（現地取付）と操作弁＜液＞に挟まれる回路は液封を生じ危険です。液操作＜弁＞でポンプダウンして液封を防止してください。

■ボールバルブ〈インジェクション〉を閉め放しにしていませんか？
→インジェクション不足で吐出ガス温度が上昇します。
長期間放置しますと電磁弁〈インジェクション〉との間で液封を生じ危険です。

■ドライヤ〈液〉詰まりになっていませんか？
→冷媒不足で不冷に至ります。

ユニットの保証条件

無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め１年間が無償保証期間です。対象は、故障した当該部品または弊社が交換を認めた圧縮機およびコンデンシングユニットであり、代品を支給します。ただし、下記使用法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

保証できない範囲

(a) 機種選定、冷凍装置設計に不具合がある場合

据付工事説明書に記載事項及び注意事項を遵守せずに工事を行ったり、冷却負荷に対して明らかに過大過少の能力を持つユニット選定し、故障に至ったと弊社が判断する場合。
（例　膨張弁の選定ミス・取付ミス・電磁弁なき場合、ユニットに指定外の冷媒を封入した場合、充てん冷媒の種類の表示なき場合など）

(b) 弊社の製品仕様を据付けに当たって改造した場合、または弊社製品付属の保護機器を使用せずに事故となった場合。

(c) 工事説明書に指定した蒸発温度、凝縮温度、使用外気温度の範囲を守らなかったことによる事故の場合、規定の電圧以外の条件による事故の場合。

(d) 運転、調整、保守が不備なことによる事故

- 凝縮器の凍結パンク（水冷タイプのみ）
- 冷却水の水質不良（水冷タイプのみ）
- 塩害による事故
- 据付場所による事故（風量不足、腐食性雰囲気、化学薬品等の特殊環境条件）
- 調整ミスによる事故（膨張弁のスーパーヒート、吸入圧力調整弁の設定値、圧力開閉器の低圧設定）
- ショートサイクル運転による事故（運転ー停止おのおの５分以下をショートサイクルと称す）
- メンテナンス不備
（油交換なき場合、ガス漏れを気づかなかった場合）
- 修理作業ミス（部品違い、欠品、技術不良、製品仕様と著しく相違する場合）
- 冷媒過充てん、冷媒不足に起因する事故
（始動不良、電動機冷却不良）
- アイススタックによる事故
- ガス漏れ等により空気、水分を吸い込んだと判断される場合。

(e) 天災、火災による事故

(f) 据付工事に不具合がある場合

- 据付工事中取扱不良のため損傷、破損した場合
- 弊社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- 振動が大きく、もしくは運転音が大きいのを承知で運転した場合
- 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合

(g) 自動車、鉄道、車両、船舶等に搭載した場合

(h) その他、ユニット据付け、運転、調整、保安上常識になっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は一切保証できません。また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の２次補償は原則としていたしませんので、損害保険に加入されることをお勧めします。

■耐塩害仕様について

耐塩害仕様とは機器内外の鉄製部分やアルミ部分の腐食あるいは配管ロウ付部分等の腐食を防止するための処理を施したもので、標準仕様よりも塩分による耐蝕性が優れています。
但し、発錆においては万全というわけではありません。ユニットを設置する場所や設置後のメンテナンスに充分ご留意ください。

■補修用部品の保有期間について

コンデンシングユニットの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後９年間となっています。

■新冷媒用サービスツール

新冷媒対応のサービスツールは、三菱電機ビルテクノサービスまたは、三菱電機システムサービスにおいても取扱いしておりますので、ご照会ください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

低温機器　エラーコード検索

コントローラにエラーが表示された場合、エラーコードから異常内容と復帰方法を下記手段にて検索できます。

1 パソコン・携帯電話のいずれからでもアクセスできます。

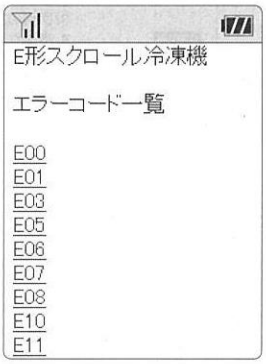
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/sss/rtc　（パッケージエアコンも検索可能）

●操作方法（E形スクロールコンデンシングユニットの点検コードの検索例）

❶機種画面

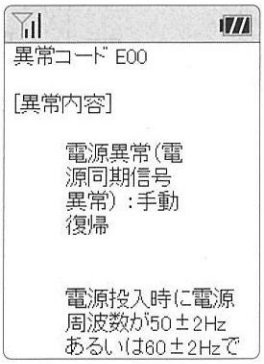
エラーコード対象機種を選択

❷エラーコード画面



内容を調べたい異常コードを選択

❸内容確認



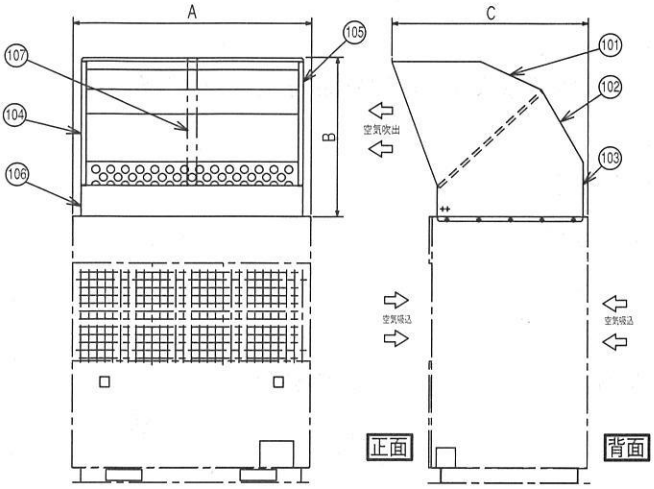
異常内容と状態、復帰方法等を見ることができます。

（1）防雪フード

項目＼形名		F-110D	F-150D	F-P75A	F-P110A
材質		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板			
塗装色		マンセル5Y 8/1			
質量	kg	41	49	25	45
適合機種		RM-P110A	ERA-P150A ECA-EP150A ERAV-EP110A RM-P150A	ERA-EP55A ERA-EP75A RM-P75A	ERA-P110A

注1　製品の仕様は改良のため、予告なしに変更する場合があります。

■外形寸法図



変化寸法表

形名＼項目	A	B	C
F-P75A	1377	637	768
F-P110A	1300	1010	1240

部品構成表

	品　名	F-P75A	F-P110A
101	トップフード　1	1	1
102	トップフード　2	1	1
103	トップフード　3	1	1
104	サイドフード　R	1	1
105	サイドフード　L	1	1
106	フロントフード	1	1
107	ササエ	―	―
108	止めネジ・ボルト・ザガネ	必要数付属	

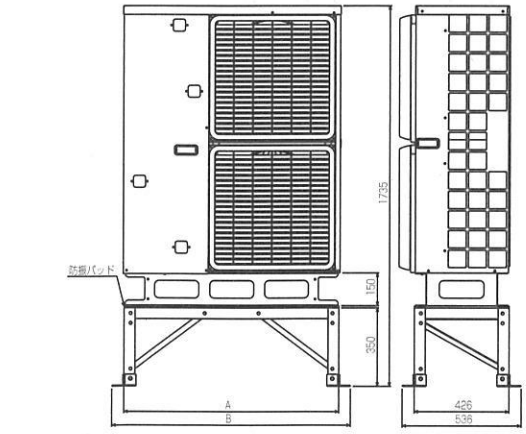
注1. 本品は、組立完成状態を示します。（納入時は各部品別になっています。）
2. ユニット設置時、季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように考慮してください。
3. 図例の寸法は、ERA-110・150C1に取付けた場合を示します。
4. 本品は前後逆取付により背面空気吹出しが可能です。
5. 立地条件や強風等により転倒のおそれのある場合は、形名によりワイヤ通し穴を設けていますので本体をワイヤにて十分な強度を保つように補強固定してください。
6. 形名によって部品構成の異なる場合があります。

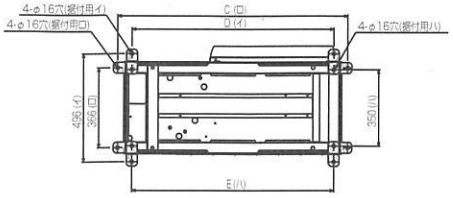
（2）架台

■仕様

形　名	EB-45A	EB-55A
適合機種	ERA-EP22A・30A・37A・45A RM-P37A・45A・55A	ERAV-EP45（H）A（-CV） ERAV-EP45A（-CV）

■外形寸法図(EB-45A,EB-55A)





架台		EB-45A	EB-55A
寸法	A	978	1178
	B	1088	1288
	C	1048	1248
	D	918	1118
	E	918	1118

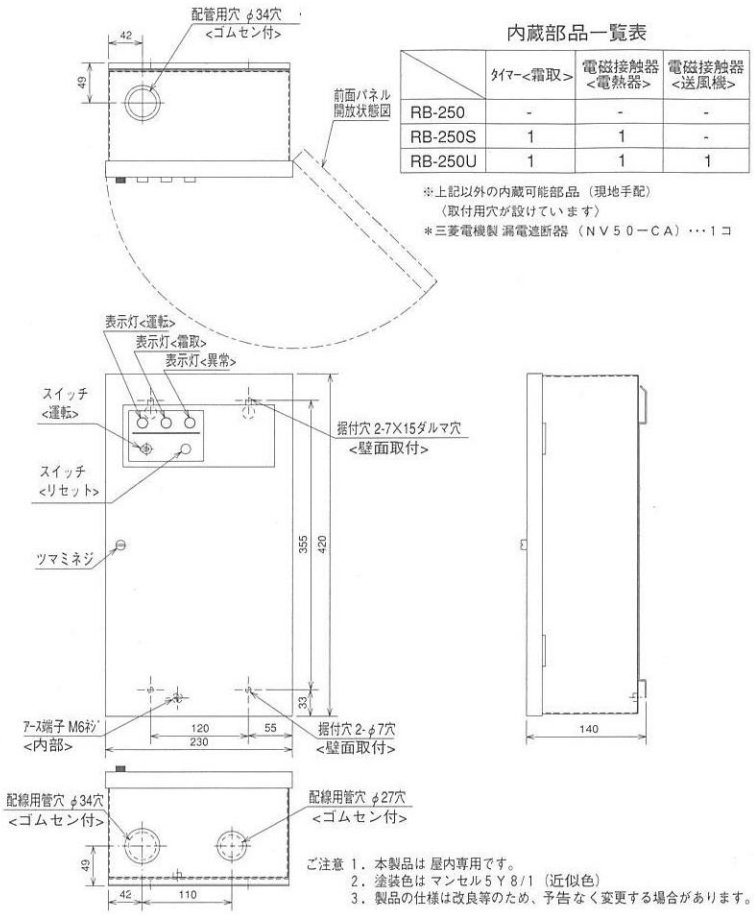
（3）リモコンボックス

■仕様

項目		形名	RB-250	RB-250S	RB-250U
据付条件		℃	屋内設置・周囲温度−10～+40（但し、凍結・結露なきこと）		
外装色			マンセル5Y 8/1		
用途			汎用	ショーケース	ユニットクーラ
電源			単相 200V 50/60Hz		
表示灯			運転（ミドリ）、除霜（オレンジ）、異常（アカ）		
スイッチ			運転／停止（ポンプダウン）、異常リセット		
電熱器用接触器			−	有	
	接点最大電流	A	−	60	
	AC200～220Vにおける接点最大容量	kW	−	20	
送風機用接触器			−		有
	接点最大電流	A	−		13
	AC200～220Vにおける接点最大容量	kW	−		2.7
除霜用タイマー			−	TU-60DR（セット金具付）	
外形寸法	高さ	mm	420		
	幅	mm	230		
	奥行	mm	140		
製品質量		kg	4.0	5.5	5.8

注1　電圧AC200～220V以外の電圧で使用する場合には最大容量が異なりますので、
　　下記の値を掛けてください。
　　AC100Vの場合　0.5
　　AC340Vの場合　1.7
　　AC380Vの場合　1.9
　　AC400Vの場合　2.0
2　タイマの仕様は下記の通りです。
　　プログラム周期：24時間（50/60Hz切換形）　ON-OFF
　　最短間隔　　：15分
3　適合コンデンシングユニット、ユニットクーラとの配線は、現地接続となります。
4　製品仕様は改良等のため、予告なしに変更する場合があります。

■外形寸法図



内蔵部品一覧表

	ﾀｲﾏｰ<霜取>	電磁接触器<電熱器>	電磁接触器<送風機>
RB-250	-	-	-
RB-250S	1	1	-
RB-250U	1	1	1

※上記以外の内蔵可能部品（現地手配）
（取付用穴が設けています）
＊三菱電機製 漏電遮断器（ＮＶ５０－ＣＡ）･･･１コ

ご注意 1．本製品は 屋内専用です。
2．塗装色は マンセル５Ｙ８/１（近似色）
3．製品の仕様は改良等のため、予告なく変更する場合があります。

（4）ホットガスデフロスト装置<サーモバンク式>

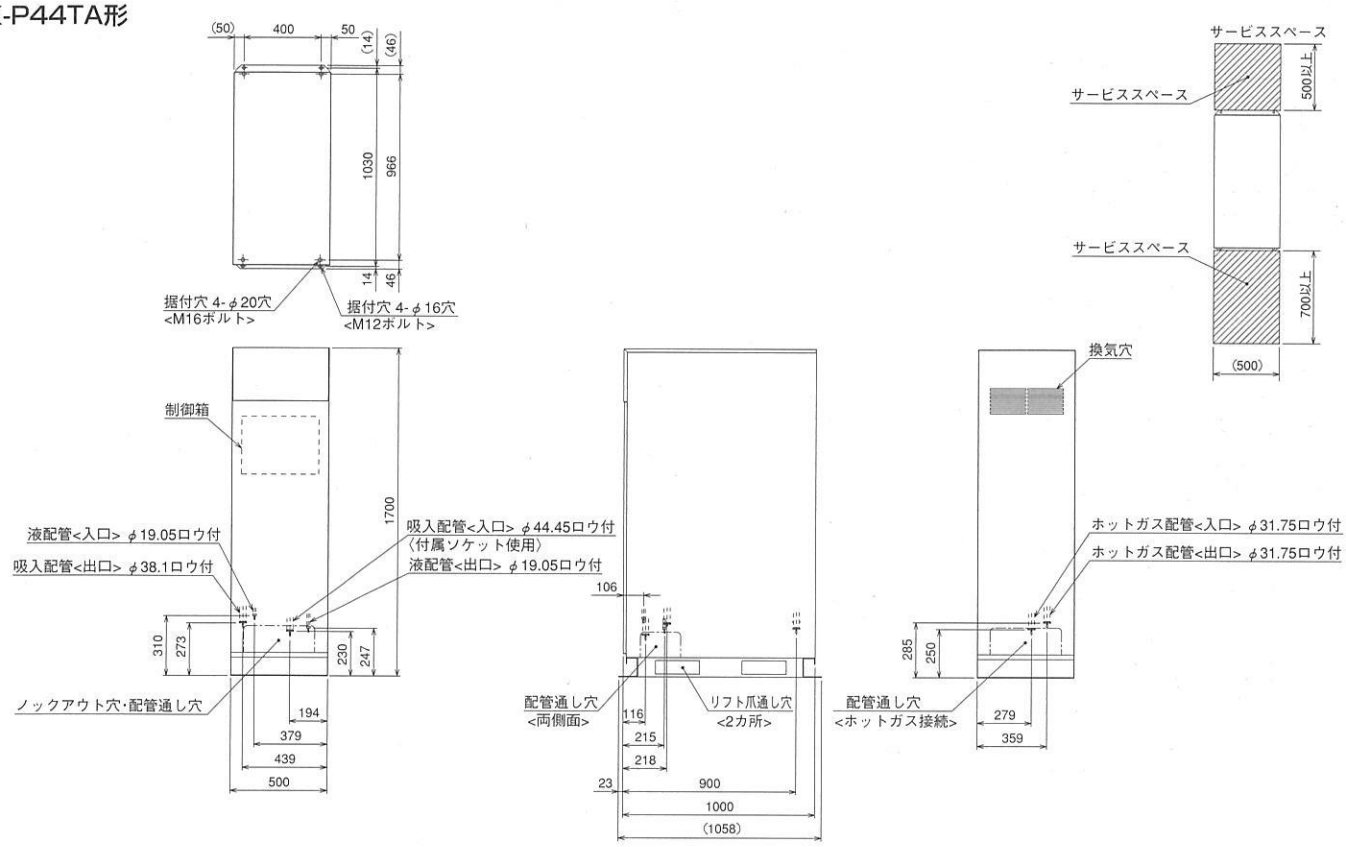
■仕様

項目			形名	VK-P44TA(-BS・-BSG)
霜取方法				サーモバンク方式
適合コンデンシングユニット容量		冷凍	<kW>	7.5～15.0（インバータ機を除く）
		冷蔵	<kW>	7.5～15.0（インバータ機を除く）
冷媒				R404A
据付条件			℃	屋外設置・周囲温度　-15～+43
電源				単相　200V　50/60Hz
蓄熱槽	蓄熱材<注１>			不凍液
	容量		<L>	80
	凍結点		<℃>	-20
	電熱器<補助ヒータ>		<W×個>	180　×　2
制御盤	補助継電器		<個>	4
	タイムスイッチ<霜取>			有
	限時継電器<霜取終了ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ>			有
	限時継電器<水切り>			有
	温度開閉器<電熱器(補助ヒータ)>			有
	電磁接触器<送風機(クーラ)>			有<接点最大電流:13.5A(AC3級)>
	電磁接触器<ヒータ(クーラ)>			有<接点最大電流:32A>
内蔵品	電磁弁<ホットガス>			有
	電磁弁<吸入>			有
	電磁弁<主液管>			有
	電磁弁<吐出>			有
	減圧弁<霜取運転時の吸入圧力制御>			有
	差圧弁			有
	吐出圧力調整弁			有
	プレッシャーキャップ			有
	圧力開閉器<電磁弁<吐出>制御>			有
外装色				マンセル　5Y8/1
外形寸法<高さ×幅×奥行>			<mm>	1700×500×1000
質量/荷造質量			<kg>	275/285
配管寸法<注2・4>	吸入配管 <入口>		<mm>	φ44.45S［付属ｿｹｯﾄ使用］
	吸入配管 <出口>		<mm>	φ38.1S
	ﾎｯﾄｶﾞｽ配管 <入口>		<mm>	φ31.75S
	ﾎｯﾄｶﾞｽ配管 <出口>		<mm>	φ31.75S
	液配管 <入口>		<mm>	φ19.05S<注3>
	液配管 <出口>		<mm>	φ19.05S

注1．ブラインの種類は以下の通りです。
　　メーカ：日本ケミカル工業株式会社　　品　名：ＪＣ－Ａ２
　　濃　度：３７％（体積比）　　希釈水：純粋または水道水
2．配管寸法欄　記号Ｓ：ロウ付接続
3．液配管サイズは配管長さが10m以上の場合、液配管サイズをコンデンシングユニットの標準サイズより1ランク太くしてください。
　　この場合サクションアキュムレータが必要となります。現地手配の上接続組合わせ使用をお願いします。
4．配管長さは総長40m以下としてください。
5．正常な霜取運転を行うためには高圧圧力は0.9MPa以上（R404A）確保しておく必要があります。必ず凝縮圧力調整機能付きの当社製コンデンシングユニットと組合わせてご使用ください。また、水冷式ユニットと組合わせてご使される場合は自動給水弁等で高圧圧力を維持してください。
6．最高使用圧力は冷媒回路　高圧側：2.94MPa，低圧側：1.64MPa，不凍液側:0.09MPaとなります。
7．液噴射弁<インジェクション>回路を装備したコンデンシングユニットと組合わせて使用される場合は、逆止弁が必要です。現地手配の上、取付けてください。
8．冷媒回路には出荷時に乾燥窒素ガスを封入しています。
9．製品仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

■外形寸法図

VK-P44TA形

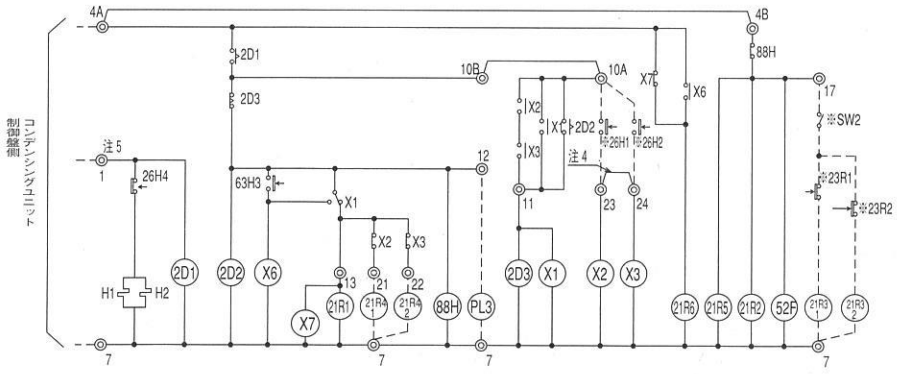


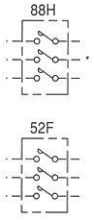
■電気配線図

VK-P44TA形

注１．※印の機器は現地配線となります。
２．－－－線は、現地配線となります。また回路はポンプダウン回路方式の場合を示します。
３．接点の矢印は圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
４．２６Ｈ１、２６Ｈ２を２個にて使用する場合は端子２３～２４番の短絡線を外してください。

記号	名称
H1,2	電熱器〈蓄熱槽〉
X1～X3,X6,X7	補助継電器
2D1	タイムスイッチ〈霜取〉
2D2	限時継電器〈霜取終了〉
2D3	限時継電器〈水切り〉
21R1	電磁弁〈ホットガス〉
21R2	電磁弁〈吸入〉
21R5	電磁弁〈主液管〉
21R6	電磁弁〈吐出〉
26H4	温度開閉器〈電熱器〉
52F	電磁開閉器〈冷却器送風機〉
88H	電磁接触器〈電熱器〉
63H3	圧力開閉器〈電磁弁吐出制御〉
※PL3	表示灯〈霜取〉
※SW2	スイッチ〈運転ー停止:ポンプダウン〉
※21R3-1,2	電磁弁〈液〉
※21R4-1,2	電磁弁〈冷却器ホットガスバイパス〉
※23R1,2	温度調節器〈庫内〉
※26H1,2	温度開閉器〈霜取終了〉





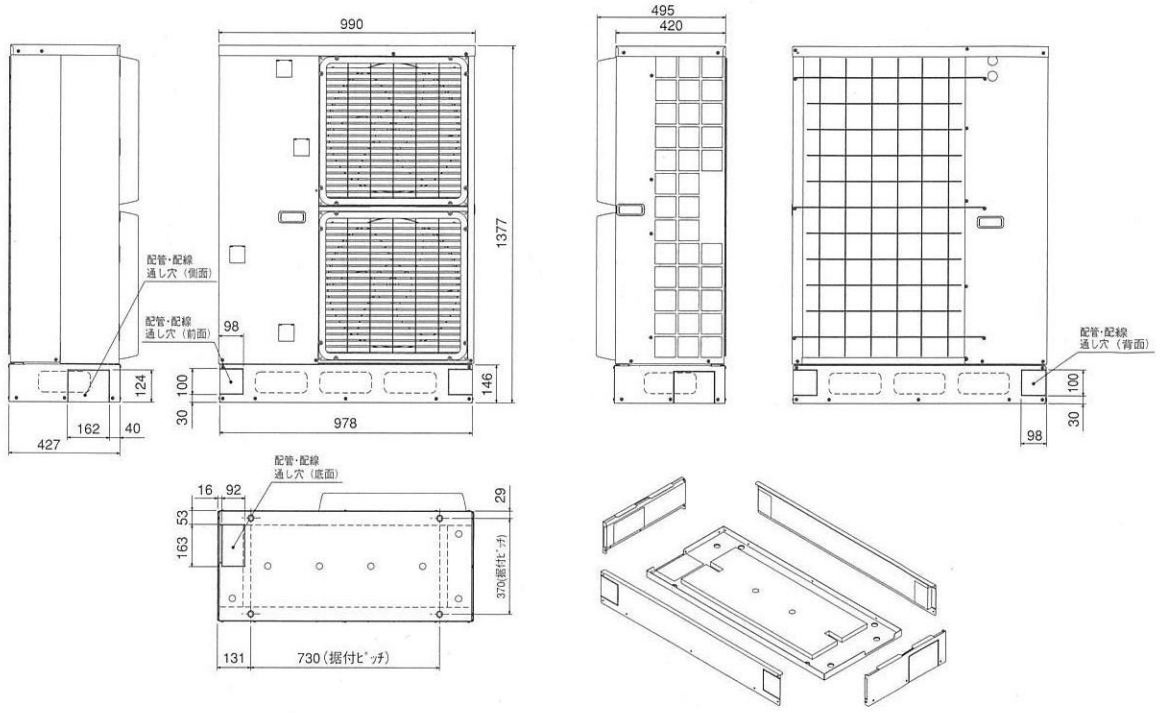
（５）防音パネル

■仕様

形名	適合機種
NP-45A	ERA-EP22A,EP30A,EP37A,EP45A,RM-P37A,P45A,P55A
NP-55A	ERAV-EP45A,EP55A,EP45HA,EP45A-CV,EP55A-CV
NP-75B	ER-EP55A,EP75A
NP-150B	EC-EP150A
NP-R45A	ER-EP22A,EP30A,EP37A,EP45A

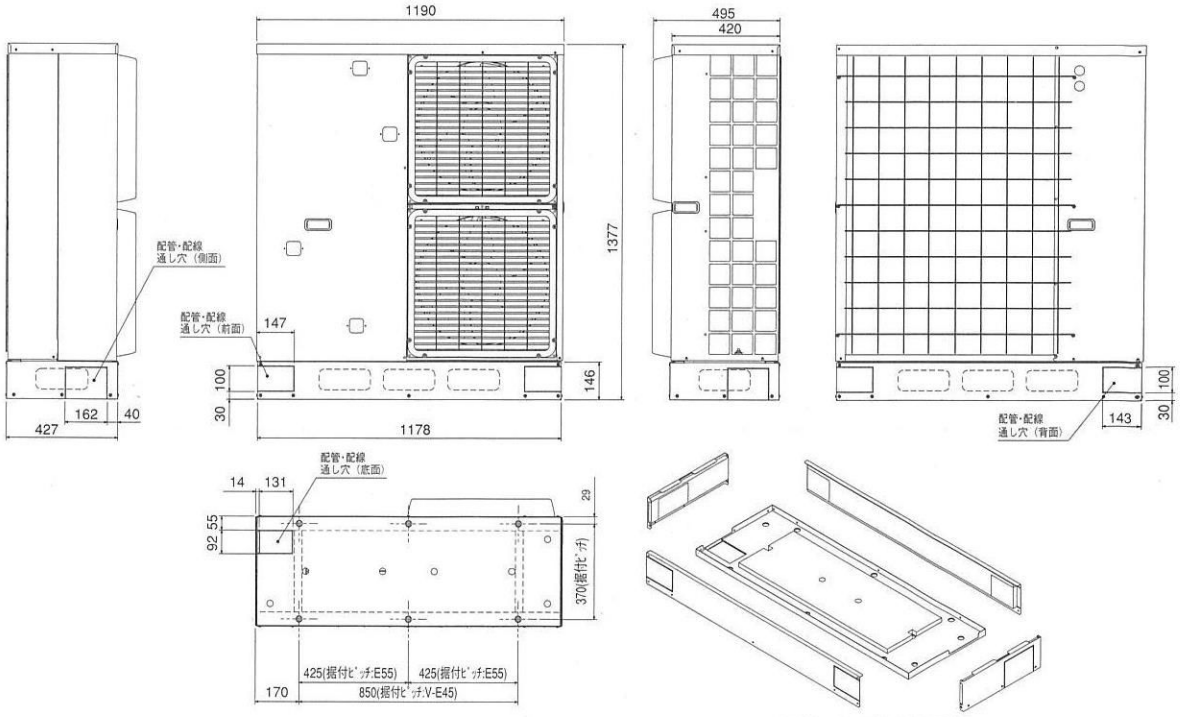
■外形図寸法

NP-45A



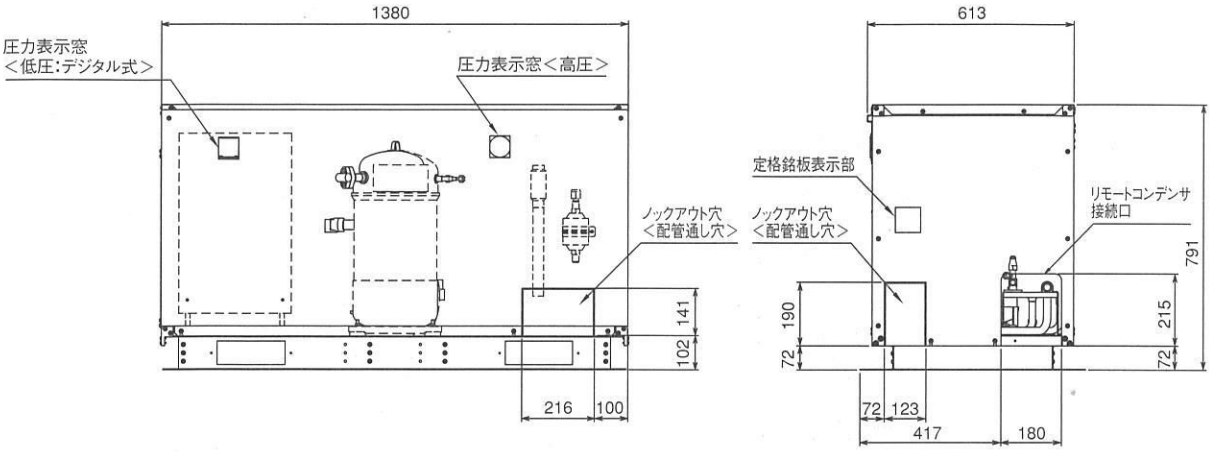
オプションパネル部品構成

NP-55A



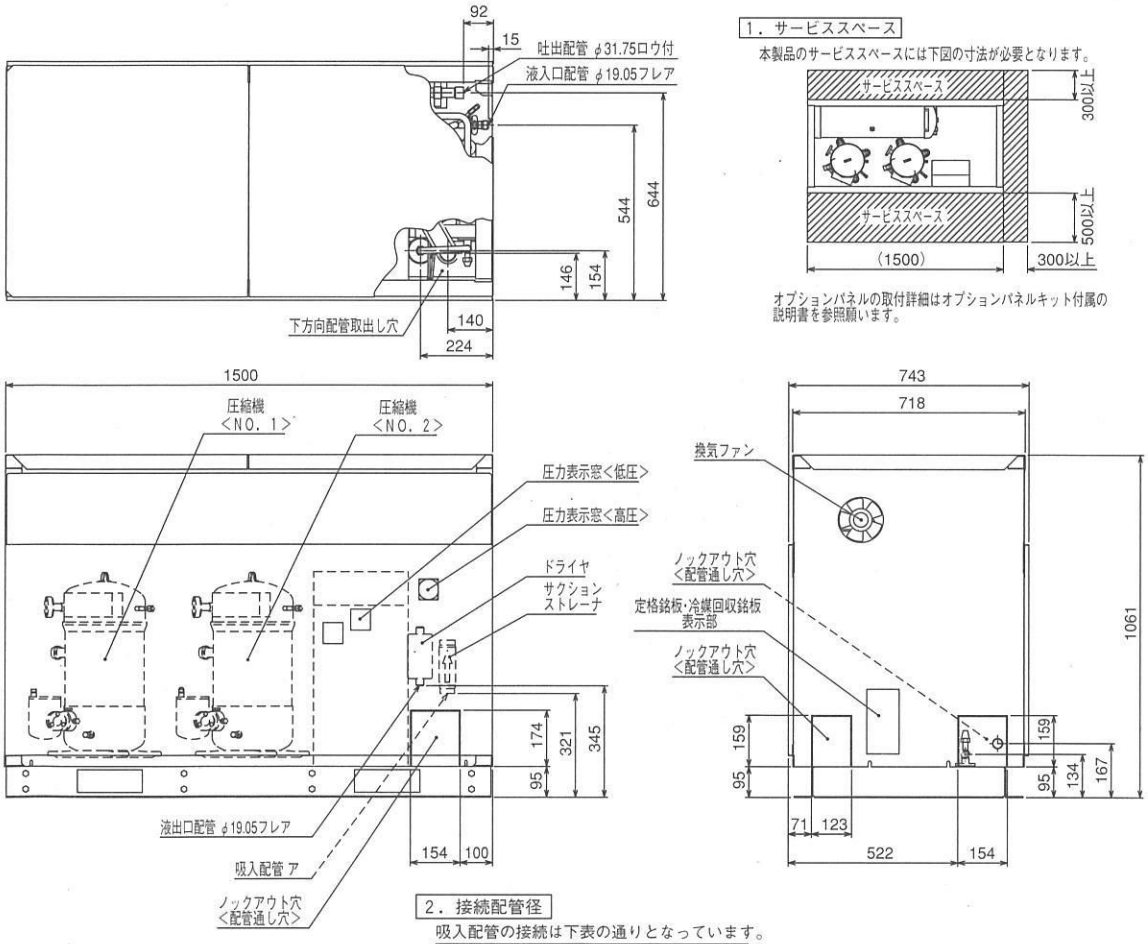
オプションパネル部品構成

NP-75B



注. オプションパネルの取付詳細はオプションパネルキット付属の説明書を参照願います。

NP-150B

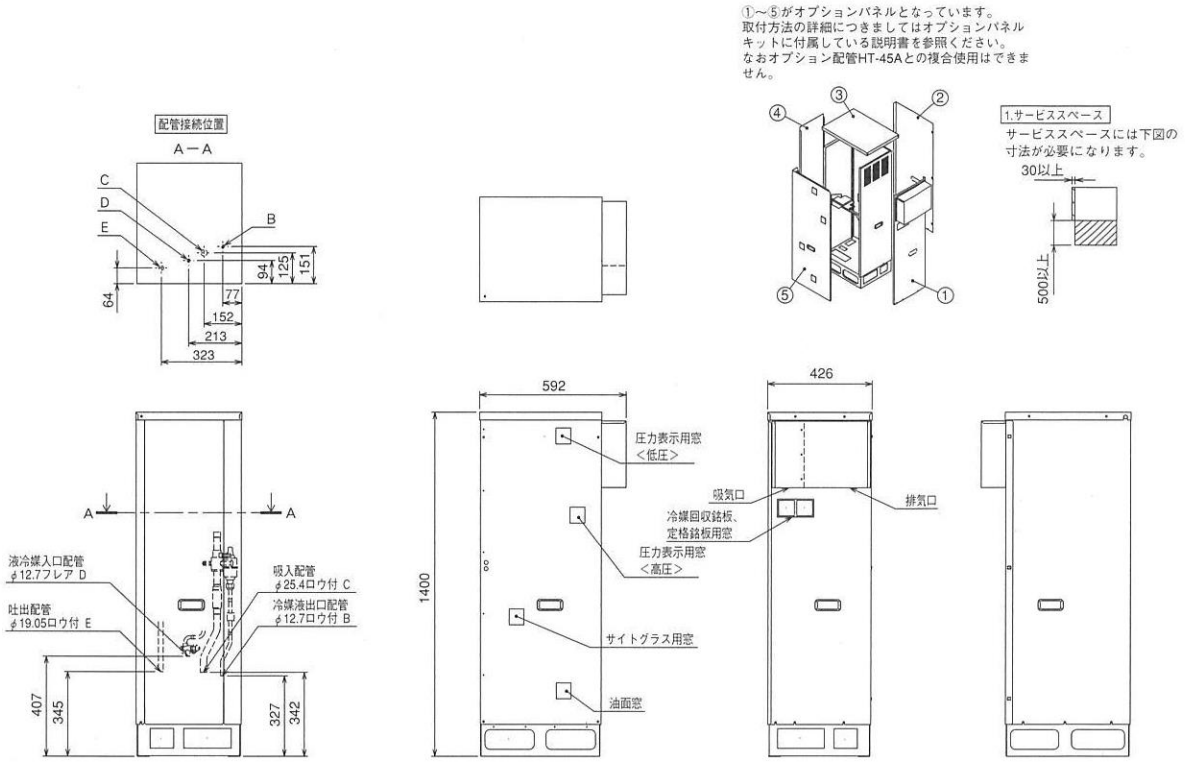


2. 接続配管径

吸入配管の接続は下表の通りとなっています。

機種名	ア
ER-UB110SB	φ38.1 ロウ付
ER-UB150SB	φ44.45 ロウ付

NP-R45A



（6）散水キット

■仕様

形　名	適　合　機　種
PAC-SG71ESS	ERA-EP22A,EP30A,EP37A,EP45A,ERAV-EP45A,EP55A,EP45HA,EP45A-CV,EP55A-CV RM-P37A,P45A,P55A

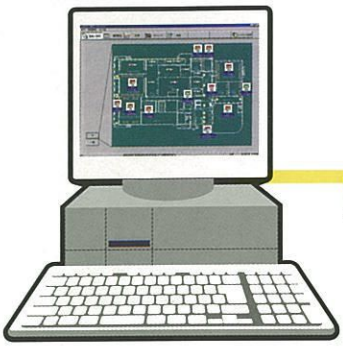
■サービス部品(補修塗料)

部品名	部品コード	仕様	希望小売価格
ﾄﾘｮｳｸﾐﾀﾃ	R61 A45 010	5Y 8/1	4,300円

※本部品は、三菱電機ビルテクノサービス扱い品です。

食品加工場から、低温流通倉庫まで、高度な温度管理で省力化・省電力化（電気料金節減）、HACCP対応をサポートします。

低温流通管理システム MELCOLD



CCP（重要点管理）
①室内温度・湿度　②商品温度
③加熱・冷却に要する温度
④保管温度　⑤水質管理
⑥細菌量　⑦その他

エネルギー管理
①電力量　②ガス
③水道　④蒸気
⑤その他

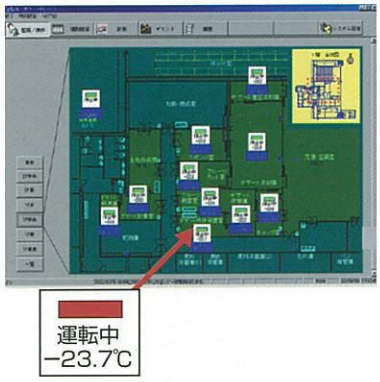
省人・省力
①日報　②トレンド記録
③運転・温度管理
④異常警報・異常記録
⑤その他

措置対策・監視・記録
①高温・低温警報　②室内温度
③商品温度
④加熱・冷却に要する温度
⑤保管温度　⑥水質管理
⑦その他

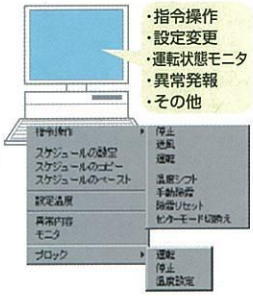
省エネルギー
①デマンド制御
②省エネ温度調節
③自動デフロスト制御
④スケジュール制御
⑤その他

設備の運転管理は画面上で行うことができます。省力化

大切な商品保管管理のPRにも大好評！

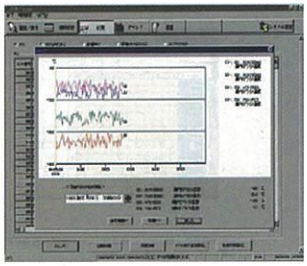


現場へ行って、リモコンを触らなくても、画面上で簡単に冷凍機の運転操作や設定変更ができます。



保管温度や状態履歴を自動記録することができます。

お客様の必要なデータを簡単にグラフや帳票に出力及び自動保存ができ、そのまま管理データとしてご使用できます。また、データを荷主様へご提出することで信頼も高まります。
さらに、運転状態／操作／異常の履歴も別メニューで表示できますので、逸脱したデータの原因特定にも役立ち、ISOやHACCPサポート機能としても活躍します。



荷主様に大好評！

徹底した省エネ・省電力機能で電気代をお安くできます。

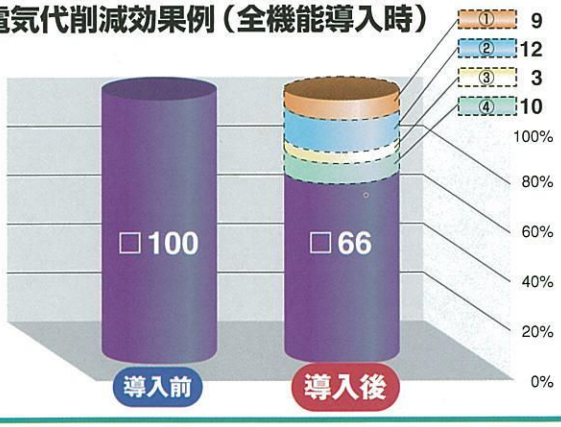
①省エネ温度調節（インテリジェンスサーモ制御）　省エネ率 6〜9%
無駄な冷やし過ぎ運転を防止し、冷凍機の運転時間を短縮することで、省エネ運転を行います。

②省エネデフロスト（エレクトニックディアイサ）　省エネ率 5〜12%
最適タイミングでのデフロスト制御と自己学習機能によって冷凍機の運転効率を高め、省エネを実現します。

③シフト運転（セットバック制御）　省エネ率 2〜3%
運転時間帯をシフトすることで、電力契約に合わせた運転を行い、電気代の低減を図ります。

④電力ピークシフト運転（デマンド制御）　省エネ率 10〜15%
電力量を監視し、温度の冷えている部屋よりピークカット運転を行う、低温流通用のデマンド機能です。

■電気代削減効果例（全機能導入時）



全国どこでも1ヵ所で管理できます。（広域管理対応）

各拠点で収集したデータを
本社等1ヶ所に集めることができます。（公衆回線・LAN回線使用）

広域管理を行なっているパソコンからも
各拠点へ操作・設定を行なうことができます。

納入時に広域管理対応としていなくても、
ソフトウェアの変更で後日広域対応とすることができます。

詳細につきましては、MELCOLD専用カタログをご覧ください。

三菱電機コンデンシングユニット

スクロール形 半密閉形 R404A

▲ コンデンシングユニット【スクロール形】【半密閉形】
R22

▲ コンデンシングユニット【ロータリ形】【全密閉形】
R404A/R22

▲ アルミ製ユニットクーラ
R404A/R22

▲ 冷蔵庫冷却システム クールマルチ
R404A/R22

⚠ 安全に関するご注意

〔本カタログに掲載の機器使用対象について〕
・車輌・船舶の冷蔵・空調用途としては使用しないでください。水漏れ、感電等の原因になります。
〔ご使用に際して〕
・本カタログに掲載の機器は、冷凍・冷蔵などの応用機器に使用される部品です。安全に正しくお使いいただくために設計・施工業者もしくは販売店に取扱方法などについて説明を受けご使用ください。
・この製品は日本国内向けに設計されており、本紙に記載の内容は日本国内においてのみ有効です。また、海外でのアフターサービスも受けかねますのでご了承ください。
・This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this documents can not be applied in any other country.
No servicing is available outside of Japan.
〔据え付けに際して〕
・据え付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ、万一不備がありますと、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
・別売品は、必ず当社指定の製品を使用してください。また、取付工事は販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ、万一不備がありますと、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
・小部屋に据え付ける場合は、冷媒漏洩時の限界濃度を越えない対策が必要です。本カタログに掲載の機器に使用している冷媒［R404A］は、それ自体は無毒・不燃性の安全な冷媒ですが、万一室内に冷媒が漏れた場合、その濃度が許容値を越えるような小部屋では、窒息等の危険がありますので、許容値を越えない対策が必要です。
・本機器はマイコンを搭載しておりますので、ノイズの影響を充分に考慮した設置場所選定を実施してください。特にアンテナや電子機器などが設置される場所には、機器から離れた場所へ設置をお勧めします。
〔ご使用場所について〕
・可燃性ガスの漏れる恐れや引火物のあるところへは据え付けないでください。可燃性ガスの発生、流入、滞留の恐れのある場所やカーボン繊維が浮遊する場所では火災の原因になることがあります。
・硫黄系ガス・酸・アルカリ、機械油煙環境でのご使用は避けてください。（室内・室外ユニット）
■硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気＜温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場等＞では、熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）等に腐食を起こす恐れがありますのでご使用を避けてください。
〔設置後のメンテナンスについて〕
・本カタログに掲載の機器を末長くご利用いただくために、メンテナンス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

BSI REGISTERED UKAS QUALITY MANAGEMENT 003
登録証番号 FM33568
取得年月日 1996年2月28日

スクロール形・半密閉形
コンデンシングユニットを製造している
三菱電機(株)冷熱システム製作所は、
品質保証に関する
ISO（国際標準化機構9000シリーズ）の登録工場です。

ISO 14001 JACO ORGANIZATION FOR ENVIRONMENT AND QUALITY AUDIT AND CERTIFICATION・JAPAN
EC97J1227
UKAS ENVIRONMENTAL MANAGEMENT 051

スクロール形・半密閉形
コンデンシングユニットを製造している
三菱電機(株)冷熱システム製作所は、
環境マネジメントシステム規格
（ISO14001）の登録工場です。
取得年月日 1998年3月10日

三菱電機株式会社 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 (073)436-9812

お問い合せは下記へどうぞ

三菱電機住環境システムズ株式会社 北海道社……(011) 893-1342
三菱電機住環境システムズ株式会社 東北社……(022) 231-2785
三菱電機住環境システムズ株式会社 東京社……(03) 3847-4339
三菱電機住環境システムズ株式会社 中部社……(052) 725-2045
北陸営業本部……(076) 252-9935
三菱電機住環境システムズ株式会社 関西社……(06) 6310-5061
三菱電機住環境システムズ株式会社 中四国社……(082) 278-7001
四国営業本部……(087) 879-1066
三菱電機住環境システムズ株式会社 九州社……(092) 571-7014
沖縄三菱電機販売株式会社 ……(098) 898-1111

三菱電機空調ワンコールシステム
空調 24時間 365日
0120-9-24365（フリーコール）
「修理依頼」「サービス部品注文」（365日・24時間受付）
「技術相談」（月～土曜 9:00～19:00、日曜・祝日 9:00～17:00）

設計サポートStation
三菱電機 冷熱・換気・照明設備機器の情報サービス
かんたんアクセス Yahoo!で 空調図面 検索 クリック！ 設計サポートStationを選択
www.MitsubishiElectric.co.jp/sss/

業界初
役に立つサービス情報を発信するITツール
携帯電話から空調機の簡易点検内容が検索できます。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/sss/rtc/
低温機器 エラーコード検索
QRコードでカンタンアクセス！

三菱電機冷熱相談センター
0037-80-2224（フリーボイス）/073-427-2224（携帯電話対応）
（月～土曜 9:00～19:00、日曜・祝日 9:00～17:00）
FAX（365日・24時間受付）0037-80-2229（フリーボイス）/073-428-2229（通常FAX）

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK
MEE05W400
この印刷物は、2006年1月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。
2006年1月作成